

豊見城市図書館基本計画 データ集

と み ぐ す く
豊見城市図書館基本計画
〔初版〕



令和4年3月
沖縄県豊見城市

令和4年3月
沖縄県豊見城市

豊見城市図書館基本計画〔初版〕 データ集

目 次

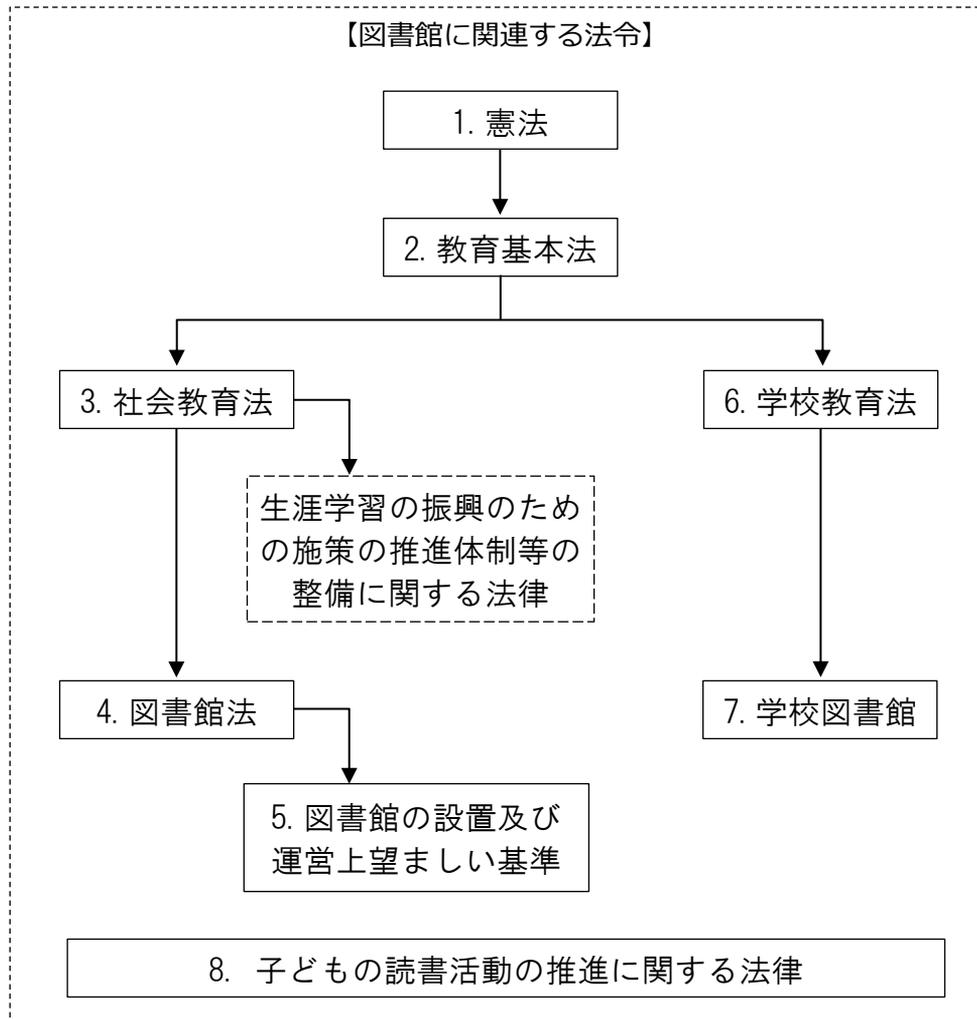
第1章 図書館をとりまく状況	- 1 -
1-1 国や県の動向.....	- 1 -
1-2 上位関連計画.....	- 13 -
1-3 豊見城市の状況.....	- 25 -
1-4 豊見城市立中央図書館の状況.....	- 30 -
1-5 学校図書館の状況.....	- 64 -
1-6 図書館に関する他市町村（同規模）との比較.....	- 66 -
1-7 現行計画に対する評価.....	- 78 -
1-8 司書ヒアリング.....	- 83 -
第2章 市民アンケート	- 88 -
2-1 アンケート概要.....	- 88 -
2-2 アンケート結果.....	- 91 -
第3章 図書館行政における課題	- 178 -
3-1 図書館行政における課題.....	- 178 -
第4章 策定経緯	- 185 -
4-1 計画策定の経緯.....	- 185 -
4-2 参考.....	- 186 -

第1章 図書館をとりまく状況

1-1 国や県の動向

1. 関連法令等の整理

国は、平成24年に「図書館の設置及び運営上望ましい基準」を改正し、社会変化等により図書館に対するニーズや地域課題の複雑化及び多様化に対応することを求めています。以下に、図書館法他関連法令の整理、図書館の設置及び運営上の望ましい基準の概要を記載します。



(1) 日本国憲法

■憲法において「知る権利」「教育を受ける権利」が示されている

【第3章 国民の権利及び義務】

第19条 思想及び良心の自由は、これを侵してはならない。

第21条 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。

②検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。

第23条 学問の自由は、これを保障する。

第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

②国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

第26条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

②すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

(2) 教育基本法

- 生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない（生涯学習の理念）第3条
- 国・地方公共団体は、図書館等の社会教育施設の設置等によって、社会教育の振興に努めなければならない（社会教育）第12条第2項

■法の目的

日本国憲法の精神にのっとり、我が国の未来を切り拓く教育の基本を確立し、その振興を図るため、この法律を制定する。（前文）

■教育の目標等

【教育の目標】

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。（第1条）

【生涯学習の理念】

国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その**生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現**が図られなければならない。（第3条）

【社会教育の基本】

個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

国及び地方公共団体は、**図書館**、博物館、公民館その他の**社会教育施設の設置**、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の**社会教育の振興**に努めなければならない。（第12条第2項）

(3) 社会教育法

- 国・地方公共団体は、国民の実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない（国及び地方公共団体の任務）第3条第1項
- 学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資するよう努めるものとする（国及び地方公共団体の任務）第3条第3項

■法の目的

教育基本法の本質に則り、社会教育に関する国及び地方公共団体の任務を明らかにすることを目的とする。（第1条）

■地方公共団体の任務

国及び地方公共団体は、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

国及び地方公共団体は、国民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することとなるよう努めるものとする。

国及び地方公共団体は、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

図書館及び博物館は、社会教育のための機関とする。（第3条）

(4) 図書館法

- 土地の事情や住民の希望に沿い、学校教育を援助し、家庭教育の向上に資することになるよう留意し、図書館の奉仕を行う（図書館奉仕）第3条
- 国は、図書館の健全な発達を図るため、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」を定め、公表する（設置及び運営上望ましい基準）第7条の2

■ 法の目的

社会教育法の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。（第1条）

■ 図書館奉仕

図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。（第3条）

- ・ 図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料を収集し、一般公衆の利用に供する
- ・ 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備する
- ・ 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応じる
- ・ 他の図書館、国立国会図書館、学校に附属する図書館等と緊密に連絡・協力、相互貸借
- ・ 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行う
- ・ 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励する
- ・ 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供する
- ・ 学習の成果を活用して行う教育活動等の機会を提供し、及びその提供を奨励する
- ・ 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力する

■ 設置及び運営上望ましい基準

文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。（第7条の2）

(5) 図書館の設置及び運営上望ましい基準

- 図書館の望ましい基準等を項目ごとに明示
- 地域の実情や多様な利用者等への配慮、ニーズや地域課題の複雑化・多様化、運営環境の変化に対応することが求められる

① 総則

設置の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市域の全域サービス網の整備に努める（図書館、分館、移動図書館、公民館図書室との連携等） ・ サービス対象地域の人口分布・構成、面積、地形、交通網等を勘案し、適切な位置、施設の床面積、蔵書収蔵能力、職員数等を確保
運営の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司書・司書補の確保、資質・能力の向上に十分留意し、必要な管理運営体制を構築する ・ 資料や情報の提供、利用者・住民に対する直接的なサービスの実施、読書活動の振興・地域の情報拠点として、地域の実情に即した運営に努める ・ 管理を委託する場合は、緊密な連携の下、この基準に定められた事項が確実に実施させるように努める
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の要望に対応し、学習活動を支援する機能の充実のため、他の施設・団体等との協力を積極的に推進（図書館相互や学校図書館・学校・社会教育施設、調査研究施設、民間団体等との連携） ・ 著作権等の権利を侵害することがないように努める ・ 事故や災害等の被害を防止するため、十分な措置を講じる（危機管理の手引書や訓練等）

② 市町村立図書館の運営

管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者・住民の要望、社会の要請に十分留意し、基本的な運営の方針を策定・公表 ・ 適切な指標の選定・目標設定、事業年度ごとの事業計画の策定・公表。また、目標・事業計画の達成状況について、点検・評価（自己・第三者）し、必要な措置を講じる。さらに、それらの公表に努める ・ 広報誌やインターネット等を活用した積極的・計画的な広報・情報公開 ・ 開館日・時間は地域の実情や利用者・住民の多様な生活時間に配慮 ・ 図書館協議会を設置し、地域の実情や利用者・住民の要望を反映した図書館運営 ・ 図書館資料や情報の検索、レファレンス、集会展示、事務管理に必要な施設・設備の確保 ・ 高齢者や障害者等、配慮を必要とする人も図書館施設を円滑に利用できるよう施設・設備の充実。児童・青少年のための専用スペースの確保
図書館資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者・住民の要望、社会要請、地域の実情に留意した図書館資料の収集に関する方針の策定、公表 ・ 十分な量の図書館資料の計画的な整備（郷土資料、地方行政資料、全国・地方新聞、視聴覚資料等の多様な資料）、郷土資料・地方行政資料の電子化 ・ 図書館資料の分類、配架、目録・索引の整備等による組織化

サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予約制度や複写サービス等、利用者の多様な資料要求に的確に応える ・ レファレンスサービス、案内・検索等のサービス充実、外部情報のアクセス環境・レフェラルサービスの実施 ・ 利用者や住民の要望、地域の実情を踏まえ、利用者や住民の生活や仕事に関する課題や地域の課題解決に関する資料・情報の整備・提供 ・ 多様な利用者・住民の利用を促進するサービスの充実（児童・青少年、高齢者、障害者、乳幼児・保護者、外国人、来館が困難な人） ・ 利用者・住民の自主的・自発的な学習活動・情報活用能力の向上を支援する多様な学習機会の提供 ・ ボランティア活動（読み聞かせ・代読サービス等）の機会や場所の提供・研修等の実施
職員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館長は図書館運営・行政に必要な知識・経験とともに司書資格を有する ・ 必要な司書・司書補を確保できるよう積極的な採用・処遇改善、計画的な人事交流 ・ 司書・司書補の他、必要な数の職員の配置 ・ 専門的な図書館サービス充実のための外部人材の活用 ・ 司書・司書補、館長・その他職員の資質・能力の向上のための職員の継続的・計画的な研修の実施

③ 平成 24 年度の改正の概要

経緯背景	<p>「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準（H13）」から、以下を踏まえて改訂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館法の改正 ・ 社会の変化や新たな課題への対応の必要性 <p>（ニーズや地域課題の複雑化・多様化、運営環境の変化）</p>
改正内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館法の改正を踏まえた規定の整備 <ul style="list-style-type: none"> → 運営状況に関する評価・住民への情報提供、多様なボランティア活動等の機会・場所の提供 2. 図書館に対するニーズや地域課題の複雑化・多様化に対する規定の整備 <ul style="list-style-type: none"> → 図書館は地域の情報拠点等として重要な役割、地域の課題に対応したサービスの充実、多様な利用者への対応 3. 図書館の運営環境の変化に対応するための規定の整備 <ul style="list-style-type: none"> → 必要な管理運営体制を構築、基本的運営方針、指標・目標、事業計画の策定・公表等 4. その他 <ul style="list-style-type: none"> → 著作権等の権利の保護、危機管理、郷土資料等の電子化等

(6) 学校教育法

■図書館に関する各学校教育の目的として、以下が定められている

- ・義務教育：読書に親しませ、生活に必要な国語の理解、使用する基礎的な能力を養う
- ・幼稚園：絵本等を通じて、言葉の使い方を正しく導き、相手の話を理解しようとする態度を養う
- ・高等学校：一般的な教養を高め、専門的な知識、技術・技能の習得

■学校図書館の運営

【義務教育】(第21条) ※抜粋

- ・学校内外における社会的活動を促進し、自主、自律及び協同の精神、規範意識、公正な判断力並びに公共の精神に基づき主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- ・我が国と郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに、進んで外国の文化の理解を通じて、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。
- ・家族と家庭の役割、生活に必要な衣、食、住、情報、産業その他の事項について基礎的な理解と技能を養うこと。
- ・**読書に親しませ、生活に必要な国語を正しく理解し、使用する基礎的な能力を養う**こと。

【幼稚園】(第23条)

- ・健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
- ・集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
- ・身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
- ・**日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養う**こと。
- ・音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

【高等学校】(第51条)

- ・義務教育として行われる普通教育の成果を更に発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。
- ・社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、**一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させる**こと。
- ・個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。

(7) 学校図書館法

■ 学校図書館の運営について、図書館資料の収集と提供、図書館資料の利用に関する指導、他の図書館との連絡・協力が位置付けられている（学校図書館の運営）第4条

■ 法の目的

学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もって学校教育を充実することを目的とする。（第1条）

■ 学校図書館の運営

学校は、以下のような方法によって、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

- ・ 図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
- ・ 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- ・ 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
- ・ 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。
- ・ 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

また、学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる。（第4条）

(8) 子どもの読書活動の推進に関する法律

■すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備推進が必要 第2条

■法の目的

この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。(第1条)

■基本理念

子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。(第2条)

■各主体の責務等

(地方公共団体の責務)

地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。(第4条)

(事業者の努力)

事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。(第5条)

(保護者の役割)

父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。(第6条)

(関係機関等との連携強化)

国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。(第7条)

■子ども読書活動推進計画

市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。(第9条第2項)

2. 県の動向

沖縄県では、平成26年3月に「新県立図書館基本計画」を策定し、それに基づき、平成30年12月に移転を行いました。

(1) 新県立図書館基本計画の概要

■ 目標像等

目標像

琉球・沖縄の『知と心 文化創造のランドマーク』

3つの方向性

- ・ 県民の主体性
- ・ 機能やサービスの多様化
- ・ 知識や文化の創造性

7つの基本方針

- ① 県民が気軽に利用でき、県民の **多様なニーズに応える** 図書館
- ② 琉球・沖縄の **知識や文化継承・発展の中核** となる誇りうる図書館
- ③ 地域や県民の **課題解決を支援** する図書館
- ④ 「アジアの中の沖縄」としての **国際色豊かな** 図書館
- ⑤ **雇用・就業・ビジネスを支援** する図書館
- ⑥ **地域のセーフティネット** の役割を果たす図書館
- ⑦ **進化型、持続可能な施設** の図書館

■ 県立図書館の必要な機能

■ 沖縄県の中核図書館

- 1) 誰でも利用できる利便性の高い閲覧・貸出機能
- 2) 琉球・沖縄の情報・研究拠点機能
- 3) 図書・資料の保存・管理機能

■ 沖縄県の専門図書館

- 4) 子どもの読書活動推進機能
- 5) 課題解決や多様な学習への支援機能
- 6) 市町村支援機能

■ 未来に向けた図書館

- 7) 図書館情報ネットワーク・電子図書館機能
- 8) 県民参加・交流・情報発信機能
- 9) 国際性豊かなサービス機能

(2) 沖縄県立図書館の概要・取り組み

沖縄県立図書館では、以下のような特徴的な取り組みが実施されています。

① 図書館資料関係

【国際】

- ・アメリカ情報コーナーや上海ウィンドウなど外国語資料を配架したコーナーの設置

【電子図書館】

- ・所蔵する貴重資料の利用と保護を図るため、デジタル画像をインターネット上で提供（貴重資料デジタル書庫）
- ・オンラインデータベースの提供

② サービス

【貸出サービス】

- ・空とぶ図書館…離島や北部地域向けの移動図書館（平成29年度実績：41回、17,358冊貸出）
- ・一括貸出…県内の公共図書館、学校、公民館、福祉施設等の**団体を対象に最大500冊の貸出**（平成29年度実績：342回、42,520冊貸出）
- ・協力貸出…離島・北部地域の市町村立図書館や教育委員会に対し、利用者からリクエストのあった図書を随時貸出（平成29年度実績：27団体参加、1,975冊貸出）
- ・遠隔地返却サービス…県立図書館で借りた本を**市町村立図書館で返却できる制度**（豊見城市、名護市、沖縄市、石垣市、宮古島市で実施）

【子どもの読書活動推進】

- ・子どもの読書活動推進研究室…**子どもの読書活動に取り組む個人や団体の支援**を行う場所と環境を提供し、読書活動の実践研究、読み聞かせの準備・練習などを実施

【障害者サービス】

- ・デイジー図書・再生機の貸出
- ・点字図書や大活字本の貸出
- ・対面朗読室
- ・拡大読書器の設置
- ・身体の障害等により来館が困難な人への資料の貸出・返却の郵送サービス

【ボランティアの受け入れ】

- ・書架整理
- ・破損した資料の整理
- ・閲覧室の飾りつけ等

【施設の貸出】

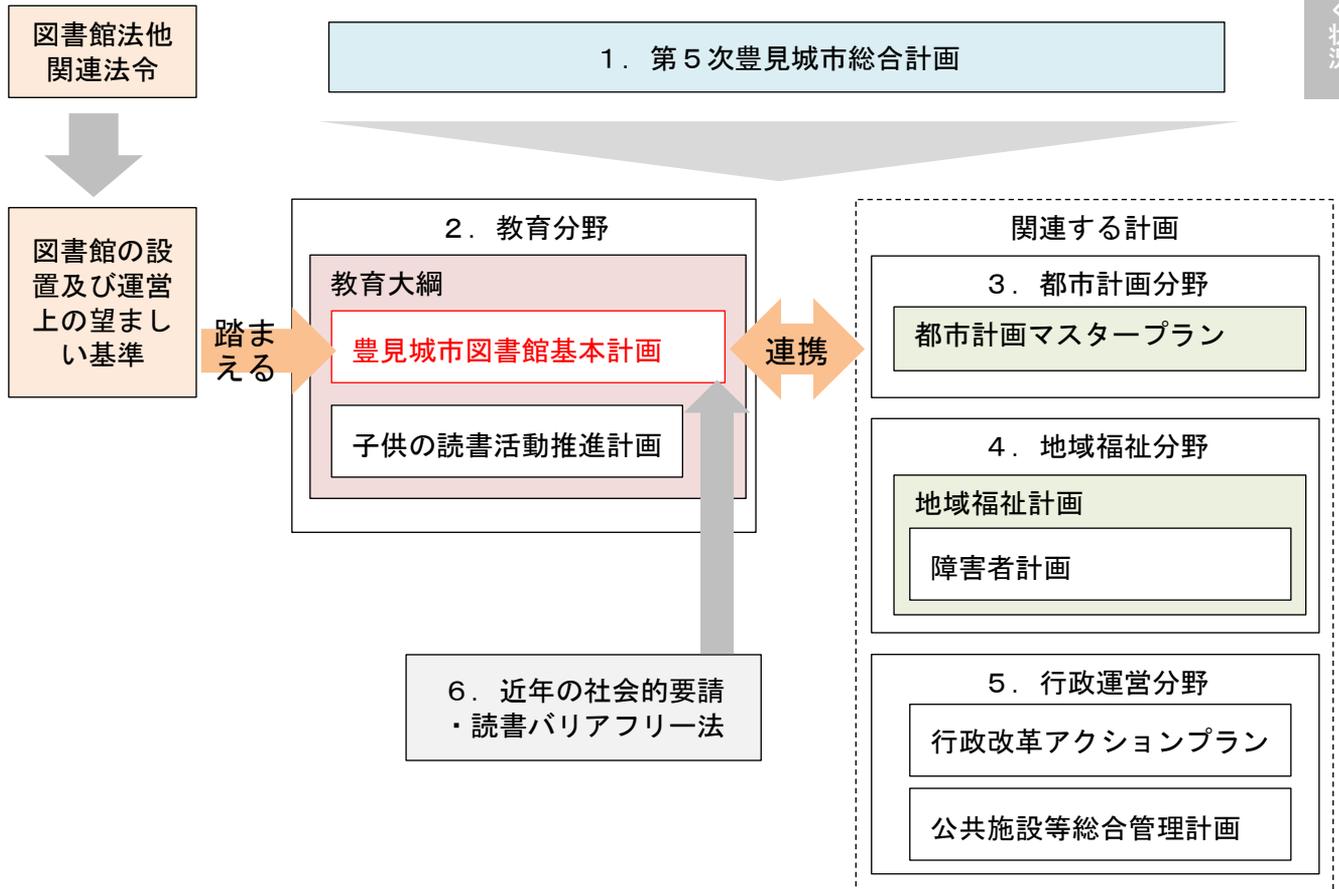
- ・ホール（有料）
- ・交流ルーム・ビジネスルーム（無料）

【展示】

- ・公共団体や公益的な活動を行う団体・個人と連携した企画展示

1-2 上位関連計画

本計画を策定するにあたり、豊見城市の上位計画や関連する計画について、整理を行います。計画の体系は以下のとおりです。



1. 第5次豊見城市総合計画（令和3年3月）

- 生涯学習による地域交流の推進
- ICTを活用した生涯学習の推進
- 図書館基本計画の策定。学校図書館との連携や図書館資料・行事の充実

■将来像

＜基本理念＞

とよ とみぐすく
『響むまち・豊見城』

＜まちづくりのテーマ（将来像）＞

『Welcomeな思いで ハートがつながり みんなで彩るまち とみぐすく』

■図書館行政に関する主な記載事項等

（前期基本計画 1子どもが活きる夢と希望にみちたまち 1-5生涯学習社会の確立）

■生涯学習のまちづくり

学びの成果を確認する機会の充実、伝統文化や文化芸術の発表の場の提供を図るため、生涯学習フェスティバルを開催し、生涯学習による地域交流の推進を図ります。

様々な学習の場における ICT（情報通信技術）を活用した生涯学習の推進を図ります。

第二次豊見城市子供の読書活動推進計画に基づき、家庭、地域、学校等における読書活動を計画的に推進し、自ら進んで読書に親しむ子どもの育成を図ります。

図書館利用の推進・拡大を図るため、図書館基本計画を策定し、中央図書館と各学校図書館との連携、図書館資料及び図書館行事の充実、令和2（2020）年度に導入した電子図書館等の ICTを活用した図書館サービスの向上を図ります。

■生涯学習推進のための人材育成

生涯学習のまちづくりを推進するためには、様々な市民意見等を反映し、対話を促し、地域生活の課題解決を図っていく人材が求められていることから、社会教育行政（中央公民館、図書館等）職員や生涯学習関係部局職員を対象に生涯学習に関する研修の実施及び研修への職員派遣を行い、職員の資質向上に努めます。

■目標指標

- ①この1年間で自発的に学習（生涯学習）した市民の割合（市民意識調査）
現状値（R1）39% → 目標値（R7）50%
- ②中央図書館における利用満足度
現状値（R1）3.0 → 目標値（R7）3.6（毎年0.1の向上を目指す）
- ③社会教育行政職員（館長、社会教育指導員、図書館司書等）研修延べ時間
現状値（R1）236時間 → 目標値（R7）295時間（毎年10時間の増加を目指す）

2. 教育分野

(1) 豊見城市の教育大綱

- 新しい地域文化の創造
- 生涯学習のための機会やプログラムの充実
- 情報活用能力に優れた人材の育成

■目標

『「ゆめ」「まなび」「ひと」を大事にする響むま^{とよ}ちの教育』

■ゆめ

目標を立てることで自ら学ぶ意欲を持ち、心豊かでたくましく、創造性・国際性に富む幼児児童生徒の育成を図ります。

■まなび

家庭・学校・地域社会の相互連携のもとに、社会の変化に主体的に対応し得る生涯学習社会の実現を図ります。

■ひと

郷土の自然や文化に誇りを持ち、心身ともに健康で、主体的に社会に貢献する市民の育成を図ります。

■図書館行政に関する主な記載事項等

■地域文化の振興

- ・「グスク」や戦跡などの史跡、文化財の保全と活用に努めていきます。また、地域の誇りやアイデンティティの源泉となるよう、地域に眠る文化を掘り起こし再評価する取組や **新しい地域文化の創造**の動きを支援します。

■生涯学習社会の確立

- ・いつでも気軽に学び、生涯にわたり新たな知識や技能を習得しながら、自己実現を果たし、生きがいに満ちあふれた生活を送ることができるよう **生涯学習のための機会やプログラムの充実**に努めます。

■教育行政の充実

- ・市民に開かれた教育行政の展開や国際性豊かで広い視野を持ち、 **情報活用能力に優れた人材の育成**に努めます。

(2) 豊見城市子供の読書活動推進計画（平成31年3月）

- 中央図書館は子供の読書活動推進において、中心的な役割。幼児期から本とふれあう場を積極的に提供
- 学校図書館はきめ細やかな働きかけによる生涯読書の礎となる読書習慣の定着化を推進

■基本方針

『子供が読書の楽しさに気づき、自ら読書を楽しむことのできる環境づくり』

豊見城市の全ての子供たちが、たくさんの本に出会い、その楽しさを知ることにより、読書を通して生きる力を育むことができるよう、読書環境の整備を図るとともに、自ら進んで読書に親しむ子供の育成を図ります。

- ・子供の自主的な読書活動の推進
- ・家庭、地域、学校等を通じた社会全体での取組の推進
- ・子供の読書に親しむ機会の提供と諸条件の整備・充実
- ・子供の読書活動に関する理解と関心の普及

■図書館行政に関する主な記載事項等

（子供の読書活動推進の方策 2 地域における読書活動の推進）

■中央図書館の役割

地域における子供の読書推進において、中心的な役割を果たすよう努めます。そして、幼時期から本とふれあう場を積極的に提供していくとともに、児童・生徒の図書館利用を促進するために、関係機関・団体との一層の連携・協力を図り、子供の読書活動の推進に努めます。

■中央図書館の今後の方策

①多様なニーズに対応した図書館機能の強化と図書館資料の整備・提供

蔵書の充実に努め本に親しむ機会を積極的に提供し、言葉と心が育つことを支援します

②子供の利用のためのスペース等の設置

乳幼児向け「絵本コーナー」を利用しやすく工夫し、発達段階に合った絵本の充実に努めます。子育て施策や福祉施策等の担当等と連携・協力を図り、子供にとって利用しやすい図書館の整備を促します。

③障害のある子供のための諸条件の整備・充実

子供の特性や興味関心に沿った資料の充実を図ります。

④見学・職場体験、インターンシップの受入れの継続と充実

見学、職場体験、就労体験等の生徒を受け入れ、充実した体験学習ができるように体制を整えます。

⑤学校図書館等との連携・協力

学校で活用できる資料の充実に図り、児童生徒の学習及び読書活動を支援し、学校司書との情報交換を積極的に行います。

⑥読書活動ボランティア活動の促進

情報交換の場を増やし、研修の機会の提供等、地域における読書活動の充実を図ります。

⑦ファミリー読書の日の普及・啓発（HP、とみぐすく広報からの発信）

(子供の読書活動推進の方策 3 学校における読書活動の推進)

■小学校・中学校の役割

本に親しみを持ち、読書の楽しさを知るだけでなく、知識を広げることの喜びを知るのは義務教育の時期です。子供たちの生活の中心のひとつである学校で、担任や学校司書等を通して、児童・生徒の発達段階や読書傾向等に合わせたきめ細かな働きかけをすることで、子供たちの読書意欲を高め、生涯読書の礎となる読書習慣の定着化を進めていくことが可能です。

また、読書活動を通して、想像力やコミュニケーション力などの言語能力を身につけることは、すべての教科の学習の基礎となり、確かな学力の定着につながります。学校図書館は、子供の読書活動及び調べ学習を組織的に推進するうえでも、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての役割を果たすことが求められています。

さらに、新学習指導要領においても、学校図書館は、読書活動推進のために利活用されることに加え、調べ学習や新聞を活用した学習など、各教科等の様々な授業で活用されることになり、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に資する役割が一層期待されています。

■小学校・中学校の今後の方策

①子供の読書習慣の形成及び読書指導の充実

年間計画に位置付けた学習活動における学校図書館の利用を促進し、継続して朝の読書の時間の確保と内容の充実に努める。

②読書センター、学習センター、情報センターとして発達段階に応じた読書環境の整備

③障害のある子供への読書活動

④中央図書館との連携の継続と協力

⑤ファミリー読書の日の普及・啓発

小中学校は、毎月第3日曜日「家庭の日・ファミリー読書の日」には、「ノーテレビ、ノーゲームの時間」「家庭読書の時間」を設けるよう、保護者や児童生徒へ働きかける。

3. 都市計画分野

(1) 豊見城市都市計画マスタープラン (平成 29 年 3 月)

■ 西部地域の身近な交流拠点として、中央図書館周辺を位置づけ

■ 将来像・都市づくりの目標

将来像：「ひと・まち・みどりが調和する誰もが暮らしやすい都市」

～市の自立性・求心力を高める都市づくり～

～広域都市圏の一体的な発展に貢献する都市づくり～

- ① 「まちの顔」の視点に対する目標：魅力的な「まちの顔」の創出
- ② 「居住」の視点に対する目標：便利で快適な住宅地の形成
- ③ 「交流」の視点に対する目標：交流・連携の促進によるにぎわいの創出
- ④ 「働く場」の視点に対する目標：雇用と活力を生み出す産業の振興
- ⑤ 「社会情勢」の視点に対する目標：都市とみどりが調和する環境にやさしい都市の構築
- ⑥ 「プラス1」の目標：協働・参画による地域のまちづくりの推進

■ 図書館行政に関する主な記載事項等 (地域別構想—西部地区)

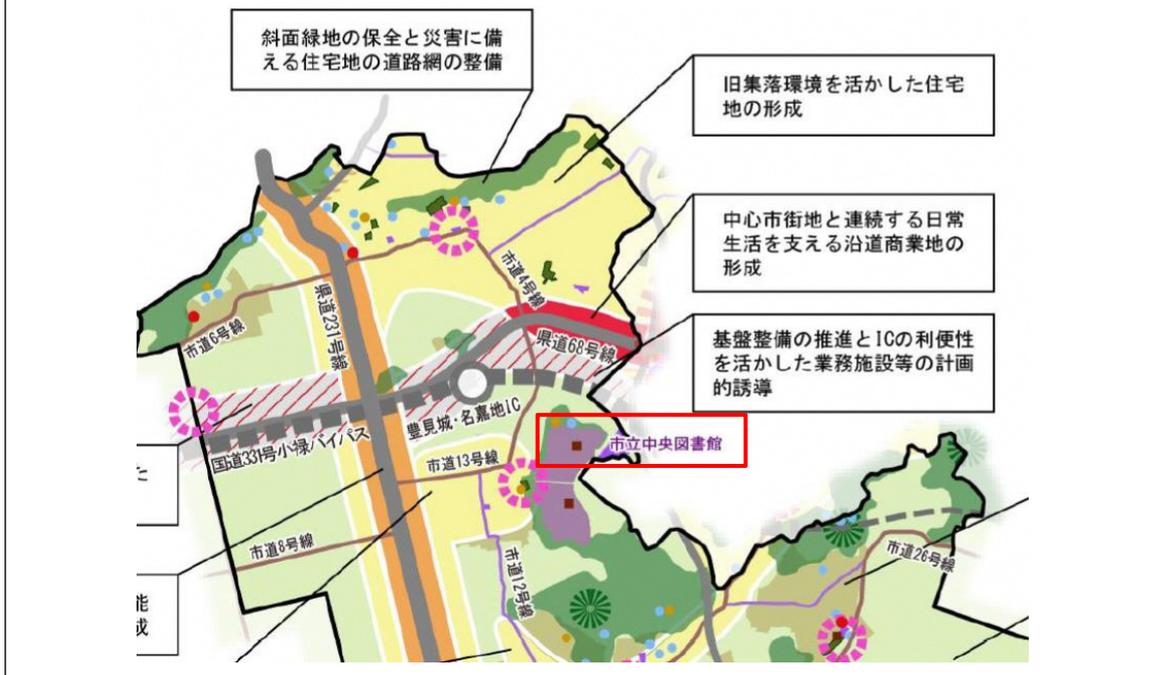
西部地域の身近な交流拠点として、中央図書館周辺を位置づけ

地域別構想 西部地区

基本目標 都市圏軸を中心とした市街地の発展と多様な農村環境が共存する地域づくり

<身近な交流拠点>

教育施設の活用や、公民館などの環境改善、公園などのオープンスペースの活用などにより、地域内に6つの身近な交流拠点を育成する。また、これらの教育施設や公民館のうち、災害時避難所に指定されている施設では、その周辺の防災性を強化し、身近な防災機能として活用を進める。



4. 地域福祉分野

(1) 第3次豊見城市地域福祉計画（平成30年3月）

■ 地域福祉や健康づくりに関する情報提供が必要

■ 基本理念

人と人、地域がつながる優しさの輪、みんなで支える地域福祉のまちづくり

基本目標1：住民の主体的参加の仕組みづくり

基本目標2：地域に根ざした支え合いの仕組みづくり

基本目標3：サービス利用に対するきめ細やかな支援

基本目標4：健康で安心して暮らせるまちづくり

■ 生涯学習等に関する主な記載事項等

(基本目標1-1-(1) 地域福祉への関心を高める福祉教育の充実)

・ 地域の歴史・文化や地域活動情報の発信

自治会など身近な地域についての周知を図るため、**地域の歴史や文化及び地域活動情報の発信**を行います。

(基本目標3-1-(2) 福祉情報提供体制の充実)

・ 関係機関等への情報発信、情報共有の充実

福祉サービスや制度等について、関係機関や関係団体への情報発信・共有を積極的に行い、様々なところから各種情報が得られたり、相談やコーディネート機能を発揮しやすいように図ることで、包括的な対応に寄与します。

・ 地域情報の発信

自治会等の地域情報を集約し、市のホームページ等で発信するなど、**地域情報の発信**により、地域を知る機会の確保に努めます。

(基本目標4-1-(1) 健康づくりに対する理解の促進)

・ 健康づくりについての情報発信、活動促進

住民の健康の保持増進のために、保健事業に関する情報誌「健康カレンダー」、望ましい「食生活」に関する情報誌「食育だより」を発行し、住民への情報提供を行います。そのほか健康に関する情報を広報紙、ホームページ等に掲載し、**住民への情報発信**を行います。

(基本目標4-2-(1) 住みよい生活環境づくりの推進)

・ 公共施設や生活環境等のバリアフリー化

公共施設、公園や水辺空間、道路環境等のバリアフリー化を推進します。

(2) 豊見城市障害者計画（令和3年3月）

- 障害者に対して、様々な情報を分かりやすく様々な手法で伝えることが必要
- 障害者のことを知ってもらうこと、成長の支援が必要

■ 基本理念

将来像

幸せな社会を目指し、共に支え合い 生き活きと暮らすまち 豊見城

基本理念1 人権を尊重し市民が共に暮らす福祉のまちづくり

障害のある人も障害のない人も同じ人格と権利を有する人間であり、同じく豊見城市民としてともに支え合い生きていくということを基本に福祉のまちづくりを目指します。

基本理念2 障害者が安心して暮らせるまちづくり

障害の種別にかかわらず、障害に応じた適切なサービスを利用しながら、住み慣れた地域や本人が希望する地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

基本理念3 障害者が生き活きと活動するまちづくり

障害者が地域において自立して生活し、その生活の質の向上が図られるよう、働く機会の拡大、さまざまな交流や活動の場の提供、学習機会の拡大など、障害者の希望や能力に応じた活動の場が広がるまちづくりを推進します。

■ 図書館行政に関する主な記載事項等（4施策の展開）

基本目標1 情報アクセシビリティ（利用しやすさ）の向上及び意思疎通支援の充実

1 多様な情報の提供と発信

1-1 多様な方法による情報の提供

②障害種別対応図書の充実

- ・ 点字図書、大活字本、CDブック等の収集、閲覧及び貸出等の充実を図ります。
- ・ 障害により図書館へ行くことが困難な方に対し、読書バリアフリー法に対応した電子図書システムの整備及び電子図書の拡充に取り組むとともに郵送サービス等について検討を行います。
- ・ 障害に配慮した図書の利用促進に向け、周知に努めます。

5. 行政運営分野

(1) 第5次豊見城市行政改革アクションプラン (平成30年3月策定、令和3年4月修正)

■行政改革の一環として、業務委託の検討や雑誌スポンサー制度の周知

■基本理念

改革を実感できる行政システムの構築

- 行政サービスの質の向上
- 財政マネジメントの強化
- 行政運営の信頼確保

■図書館行政に関する主な記載事項等

(実施計画 1 行政サービスの質の向上—(3)事務効率化による行政サービスの向上)

- ・効率・効果的な自治体運営手法の確立

図書館：業務委託導入—中央図書館の業務委託導入の検討

(実施計画 2 財政マネジメントの強化—(3)持続可能な財政運営)

- ・企業広告の導入により経費削減を図る

図書館：雑誌スポンサー制度の周知 (広報、図書館だより、市ホームページ)

(2) 公共施設等総合管理計画（平成29年3月）

- 住民ニーズに対応した効率的・効果的な管理の実現に向け、公共施設等のマネジメントの実施
- 更新時のPPP・PFI活用、指定管理者制度などの導入を検討

■ 基本的な考え方

本市の将来における課題を解消すべく公共施設等の管理に関する基本方針を定め、それに基づく公共施設の安全性の確保や適正配置の検討による公共施設等のマネジメントを行い、施設の長寿命化並びに施設機能の統廃合や集約化、PPP・PFIなどの民間活力の活用、近隣市町村との公共施設の相互利用等についても検討したうえで、住民ニーズに対応した効率的、効果的な管理の実現を目指します。

項目	考え方・実施方針
安全確保	・ 安全性の確保に向け、各種法令に基づく点検などを適切に実施
長寿命化	・ 長寿命化計画の策定およびこれに基づく予防管理、長寿命化に資する改善 ・ 長寿命化を図りながら、 <u>施設は原則40年以上使用</u> する
民間活用	・ 維持管理・運営コストを抑制しつつサービスの質を向上するため、 <u>指定管理者制度などを活用</u> ・ 施設の <u>整備・更新時にはPPP・PFIなどの民間活用の導入可能性について調査・検討</u> を行う ・ 民間等による施設サービスが期待できる分野においては、その <u>提供主体を民間等へ移行することを検討</u>
維持管理 修繕・更新	・ 適切なメンテナンスサイクルにより過度な劣化を抑えながら長寿命化を図る ・ 計画的な更新によるライフサイクルコストの適正化やコスト平準化を進める ・ 安全で快適な公共施設等を効果的に管理していくため、技術革新を踏まえながら持続可能な管理水準を検討

■ 図書館行政に関する主な記載事項等

- ・ 当面の人口増加が見込まれ、市民ニーズも高いことを念頭におき、現施設の長寿命化を図るために、定期的な点検などで事前保全型の修繕対策を講じていきます。
- ・ 老朽化に伴う建替時には複合施設として多機能化の可否を検討します。

(3) 公共施設等総合管理計画個別施設管理計画【中央図書館】(令和3年3月)

- 建物や設備の老朽化対策を推進し、安心・安全に過ごせる場所を提供
- 予防保全型の管理へ転換
- 目標使用年数：60年（現在26年）

■施設管理の目指す姿

①安全・安心な図書館施設づくり

- ・図書館施設は、高齢者、子育て世代、乳幼児などあらゆる年代の利用がある施設であることから、施設の安心、安全を確保するため、**建物や設備の老朽化対策を推進**し、計画的に施設の整備・充実を図り、**安心、安全に過ごせる場所を提供**します。
- ・地域のコミュニティ拠点等としての役割も果たすことから、バリアフリー化やユニバーサルデザイン化など、**高齢者、子育て世帯、乳幼児や障害者等の利用に配慮した施設整備**に取り組みます。

②教育環境の充実した図書館施設づくり

- ・多様化するニーズに対応でき、**快適に学ぶことができる施設整備**に取り組みます。

③多様な役割に対応する図書館施設づくり

- ・地域の文化的な活動や交流、生涯学習などにも活用され、**地域におけるまちづくりのさまざまな役割に対応できる施設整備**に取り組みます。

④長期間にわたって持続可能な図書館施設づくり

- ・事後保全型の管理から**予防保全型の管理**へ転換し、長寿命化を前提とした効率的で計画的な改修を実施し、図書館施設が長期間にわたって良好な状態を維持できるように努めていきます。
- ・地域の大切な資産でもある図書館施設を、耐久性が高く長持ちする部材や工法の採用、維持管理を容易にするなどライフサイクルコストの低減を図るとともに、よりよい施設環境の構築に向けて**図書館の規模や配置の適正化を地域と共に検討**していきます。

■施設整備の基本方針

※現在の築年数 26年

①目標使用年数

- ・目標使用年数 60年

②改修周期

- ・中規模改修 築後20年、築後40年
- ・長寿命化改修 築後30年
- ・改築 築後60年

6. 近年の社会的要請

(1) 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（読書バリアフリー法）

- 障害の有無にかかわらず読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受できる社会の実現
- アクセシブルな電子書籍の普及、アクセシブルな書籍の提供、それらの量的拡充・質の向上

■ 目的 (第1条)

書籍について、**視覚による表現の認識が困難な者の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進**し、障害の有無にかかわらず全ての国民が等しく**読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受**することができる社会の実現に寄与する

■ 理念 (第3条)

- ・ アクセシブルな電子書籍等（デジタイズ図書・音声読上げ対応の電子書籍・オーディオブック等）の普及、アクセシブルな書籍（点字図書・拡大図書等）の提供
- ・ **アクセシブルな書籍・電子書籍等の量的拡充・質の向上**
- ・ 視覚障害者等の障害の種類・程度に応じた配慮

■ 基本的施策 (第9～17条)

- ・ 視覚障害者等の図書館利用に係る体制整備等
- ・ インターネットを利用したサービス提供体制の強化
- ・ 特定書籍・特定電子書籍等の製作の支援
- ・ アクセシブルな電子書籍等の販売等の促進等
- ・ 外国からのアクセシブルな電子書籍等の入手のための環境整備
- ・ 端末機器等・これに関する情報の入手支援
- ・ 情報通信技術の習得支援
- ・ アクセシブルな電子書籍等・端末機器等に係る先端的技術等の研究開発の推進等（第16条）
- ・ 製作人材・図書館サービス人材の育成等

1-3 豊見城市の状況

1. 人口

(1) 総人口・年齢別人口の推移・推計

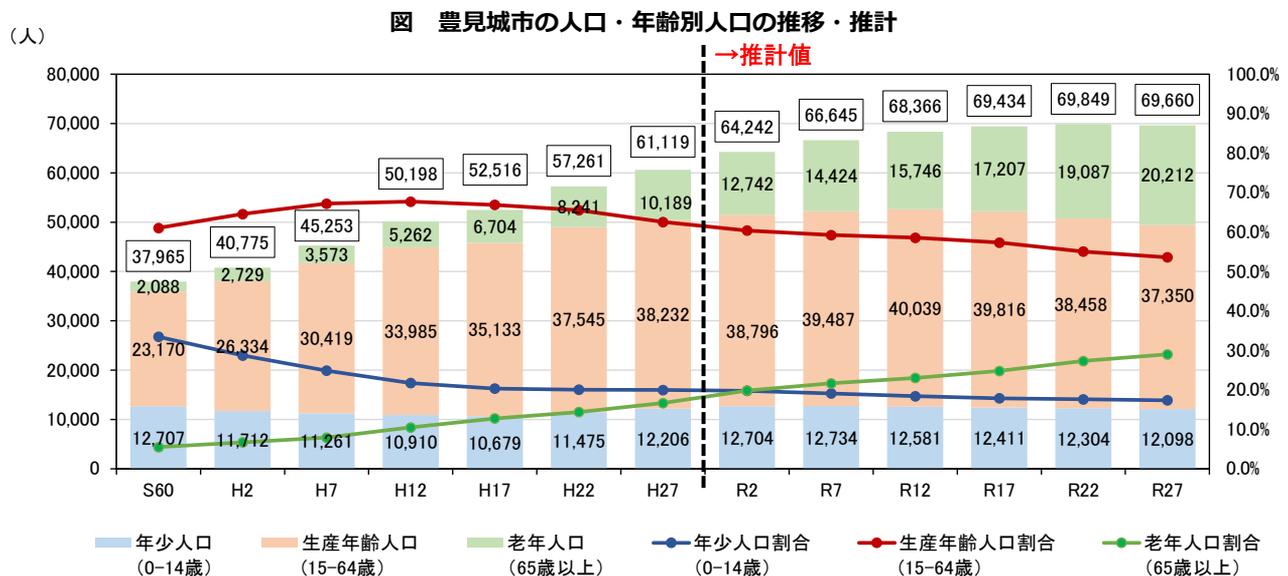
- 豊見城市の人口は増加傾向で推移し、今後も増加することが予想
- 少子高齢化はこれまでも進行しており、今後も進行が予想
- 一方で、年少人口・生産年齢人口の割合は他市町村に比べ高い状況
- 外国人登録者数は増加傾向

- ・ 今後も人口の増加が予想されるため、それに見合う規模（蔵書等）や拡大するニーズへの対応が必要
- ・ 高齢化に対応し、高齢者向けの資料収集やバリアフリーの対応が必要
- ・ ただし、現在の年少人口・生産年齢人口の割合は他市町村に比し、高いことから、子供や子育て世代への注力も引き続き必要
- ・ 増加する外国人への対応も必要

豊見城市（以下、本市といいます）の人口は平成27年時点で61,119人となっており、増加傾向で推移しています。今後もしばらく増加傾向で推移し、令和22年にピークを迎えることが予想されます。

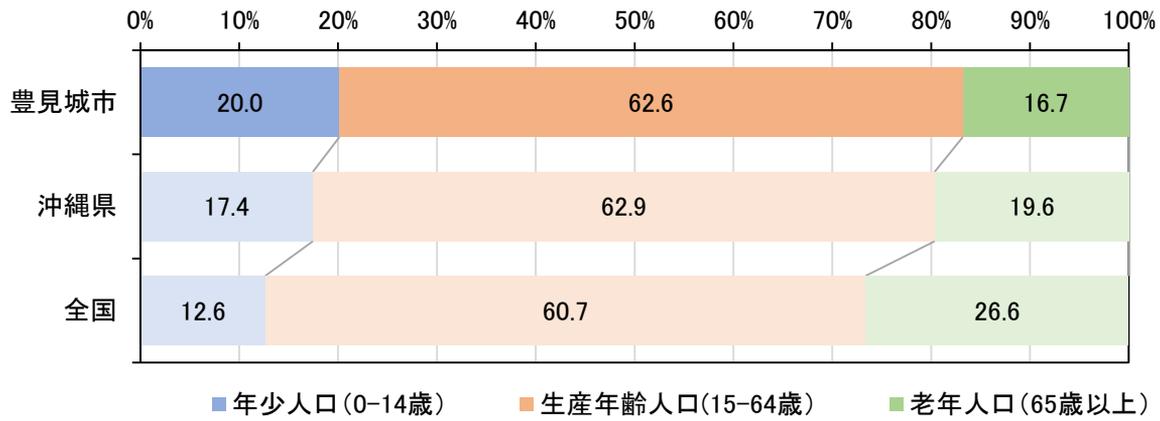
年齢3区分別人口をみると、平成27年時点で年少人口は12,206人、生産年齢人口は38,232人、老年人口は10,189人となっています。年少人口は減少傾向、老年人口は増加傾向で推移し、少子高齢化が進行していますが、沖縄県や全国と比較すると、年少人口の割合は高く、老年人口の割合は低くなっています。今後もこの傾向は続き、令和27年には老年人口は20,212人と全体の約3割にせまり、更なる少子高齢化の進行が予想されます。

また、外国人登録者数は増加傾向にあり、平成28時点で227人の外国人登録者がいます。国籍別では中国が69人と最も多いです。



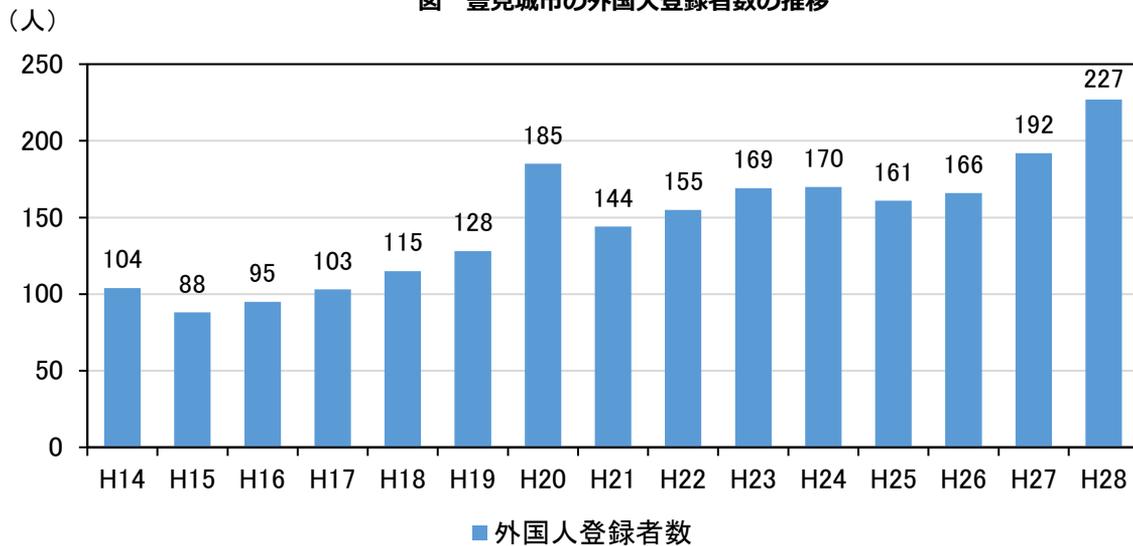
[資料：H27 国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所]

図 豊見城市・沖縄県・国の年齢別人口



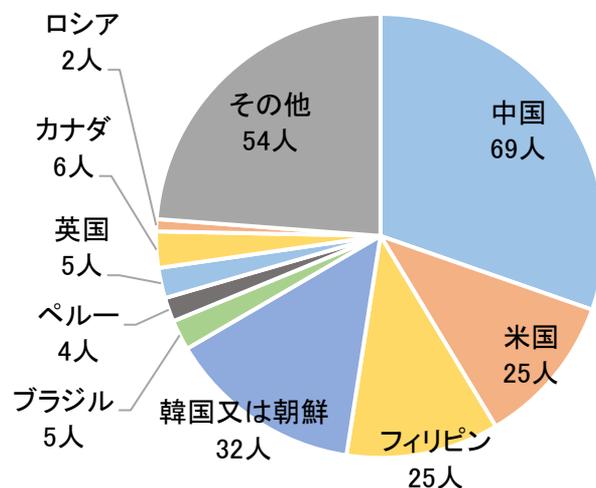
[資料：H27 国勢調査]

図 豊見城市の外国人登録者数の推移



[資料：H19・H24・H29 統計とみぐすく]

図 豊見城市の国勢別外国人登録者数 (H28)



[資料：H29 統計とみぐすく]

(2) 目指すべき将来人口

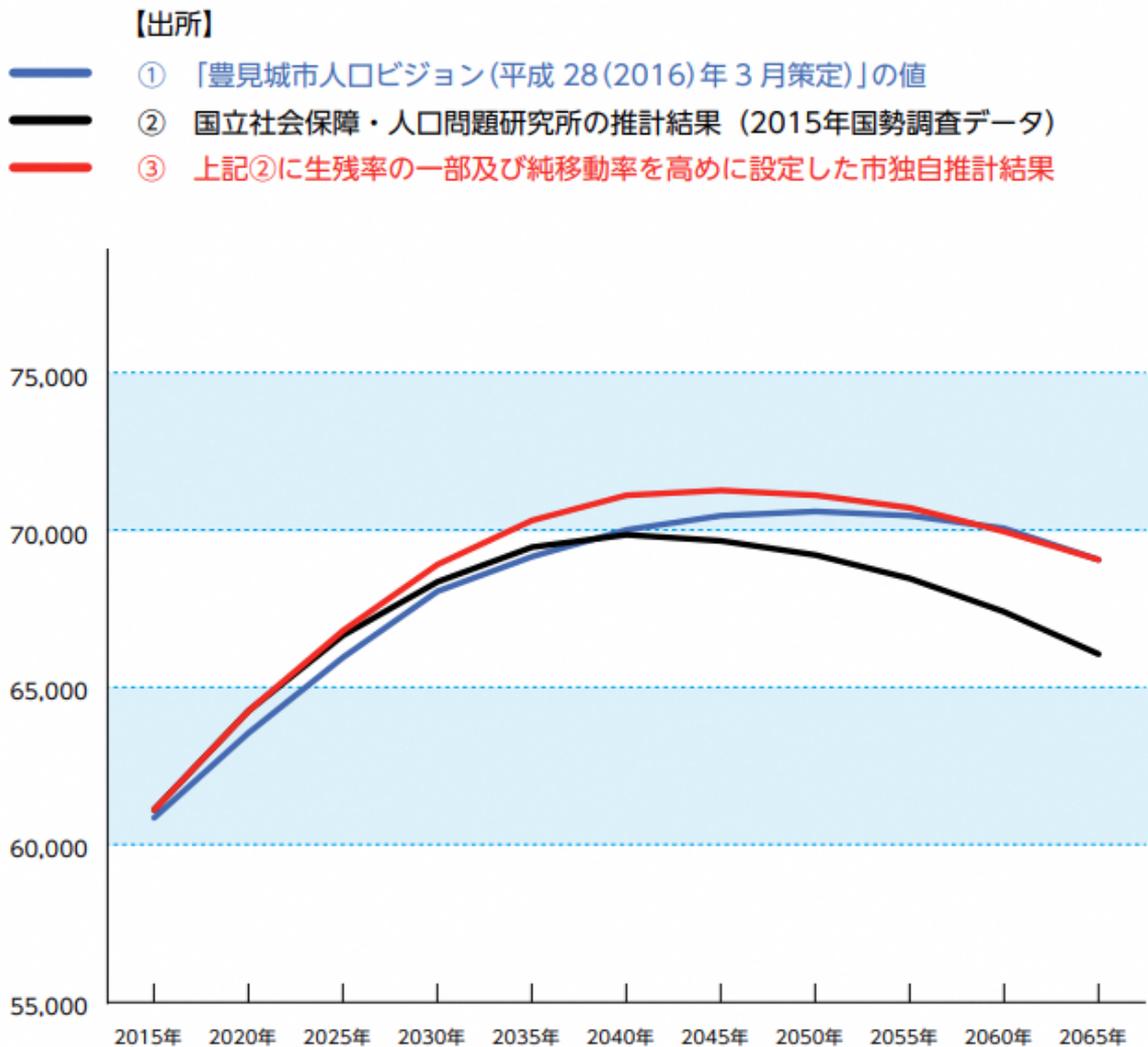
■ 目標人口を7万人と設定し、中長期的に上回ることを目指す

・ 転入促進と健康長寿社会の実現を目指すことで、目標人口を7万人と設定し、中長期的にこれを上回ることを目指す

本市における、2015年国勢調査データに基づく人口推計（社人研推計準拠）としては、2040年に向けて人口増が続くものの、2045年以降は人口減が見込まれています。

このような中長期的な見込みに対して、市街化の拡大等の住環境づくりや、企業立地の促進等を含めた雇用の確保等により転入促進を図るとともに、健康づくり等による健康長寿社会の実現を目指すことで、目標人口を引き続き70,000人と設定し、中長期的にこれを上回ることを目指すこととしています。

図 豊見城市の人口推計



[資料：第5次豊見城市総合計画]

2. 都市の性格

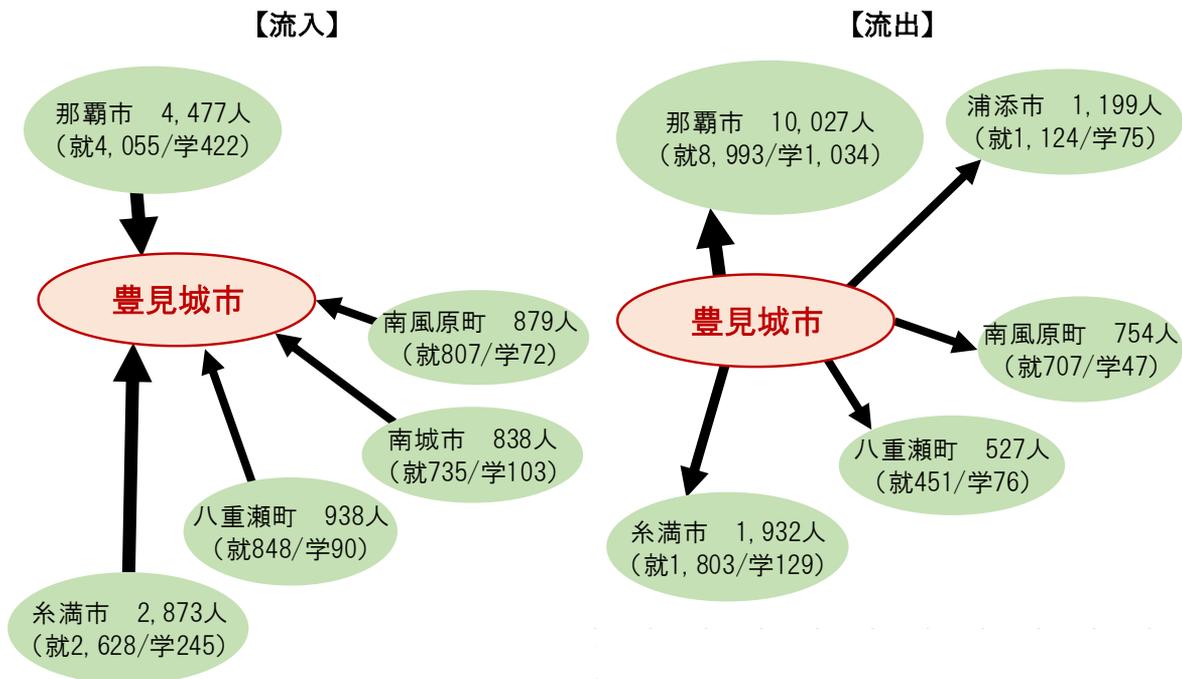
(1) 通勤・通学状況

- 人口の約3割が他都市へ流出
- 流入・流出とも隣接し、県庁所在地である那覇市が最も多い

・人口の約3割が他都市へ流出（特に人口の6人に1人は那覇市に通勤・通学）していることから、近隣市町村（特に那覇市）と密接に連携した取り組みが必要

本市は、通勤通学による流出17,112人に対して、流入12,104人と流出超過の状況です。流入先・流入元の市町村をみると、どちらも隣接している那覇市が最も多い状況です。

図 豊見城市の通勤・通学の状況(流出・流入人口の上位5市町村)



[資料：H27 国勢調査]

(2) 都市性格分類

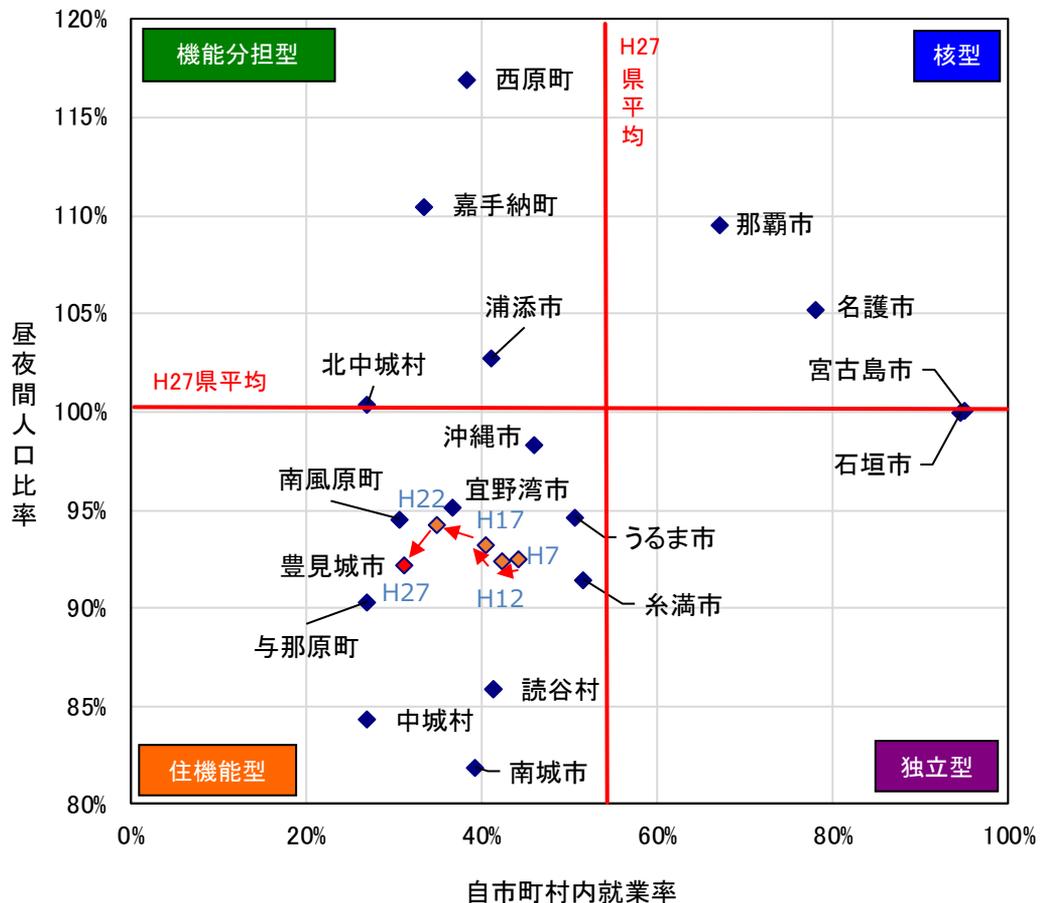
■ 周辺都市の住宅都市として機能している

- ・住機能が強い都市の図書館として、平日は子供や主婦(夫)、高齢者をターゲットに、休日はファミリー層が気軽に使うことができる工夫が必要
- ・平日(日常利用)や休日(余暇利用)が多いことが想定されることから、小説等や生活支援機能の充実が必要。一方、ビジネス需要が多いとは想定されない

本市の昼夜間人口比率、自市町村内就業率を沖縄県内の都市と比較すると、昼夜間人口比率、自市町村内就業率ともに平均値以下となっています。

このことから、本市は周辺都市の住宅都市として機能する「住機能型」の都市であるといえます。また、自市内就業率は減少傾向にあり、住機能型の都市の性格はより強くなっています。

図 県内主要都市の自市町村内就業率・昼夜間人口比率



核型：自市町村内で働く人が多く、就業・通学者を含めた昼間の人口が多い都市であり、生活圏における中心都市として機能

独立型：自市町村内で働く人は多いが、昼間の人口は多くない都市であり、1都市である程度独立した生活圏を形成

住機能型：自市町村内で働く人が少なく、夜間の人口が多い都市であり、周辺都市等の住宅都市として機能

機能分担型：自市町村内で働く人は少ないが、昼間の人口が多い都市であり、職・教育等の機能に特化

[資料：H29 とみぐすく「まちの顔」拠点づくり計画書及び
H29 都市計画マスタープラン (H27 国勢調査追加反映)]

1-4 豊見城市立中央図書館の状況

1. 概要

(1) 沿革

- 平成8年に開館し、開館後25年が経過
- 時代の変化にあわせ、土日の開館時間の延長やインターネットにより予約等ができるシステムの導入、ボランティア団体の発足など、様々な取り組みを実施

中央図書館は、平成8年3月に開館し、時代の変化にあわせ、様々な取り組みを進めています。主な沿革は以下のとおりです。

表 中央図書館の沿革

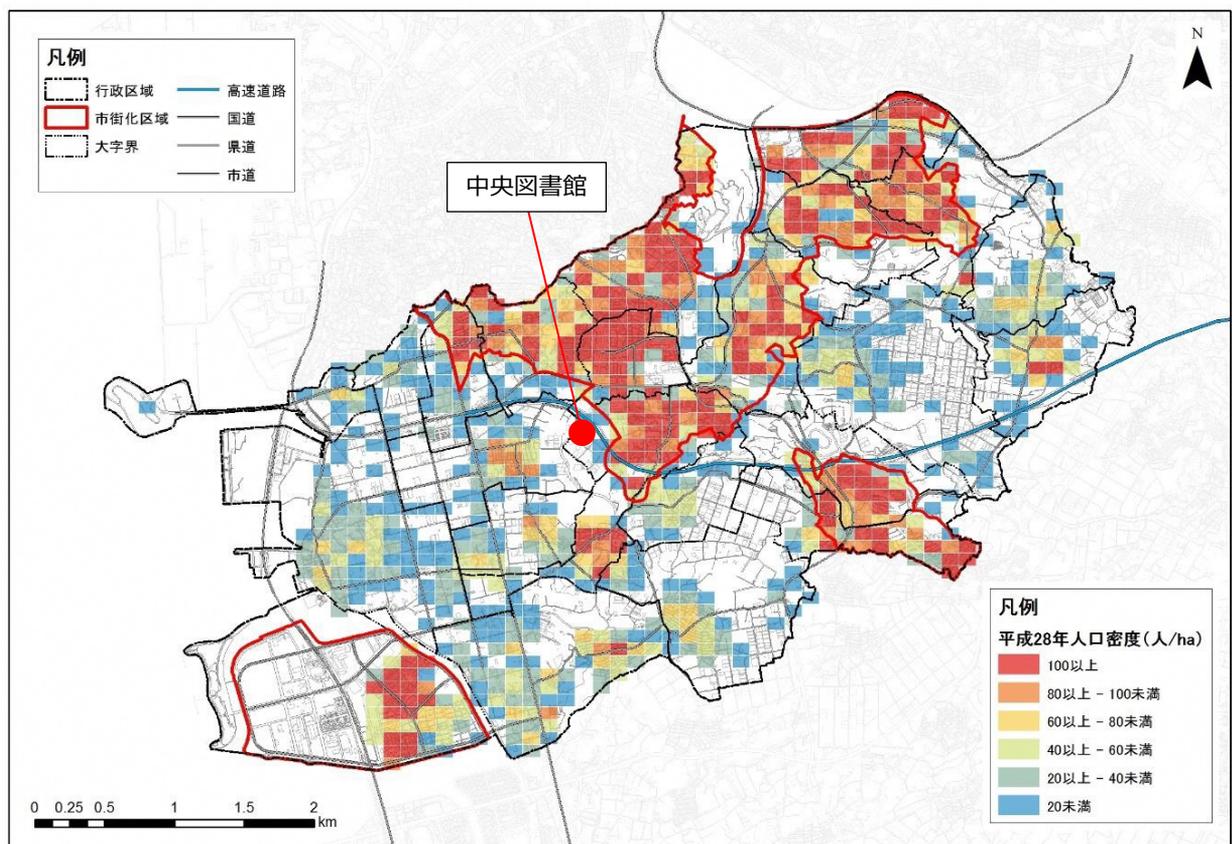
年月	経緯
平成5年 11月	豊見城村立中央図書館基本計画・建設計画書策定
平成8年 3月	豊見城村立中央図書館開館
平成9年 3月	住民一人あたりの貸出が10冊を超える（県内公共図書館で初）
平成12年 10月	第86回全国図書館大会（沖縄県）で優秀図書館として表彰
平成13年 3月	読み聞かせコーナー「おとぎのへや」完成 利用者用インターネット端末機の設置
平成15年 5月	図書館新システム運用開始 真嘉部コミュニティーセンターにブックポスト設置（資料返却が可能）
9月	図書館ホームページ開設 インターネットでの蔵書検索の運用開始
平成17年 10月	沖縄県図書館総合目録システム事業に参加
平成18年 4月	土・日曜日の開館時間の延長
11月	開館10周年記念イベント「図書館まつり」
平成19年 4月	平成19年度文部科学省「子どもの読書活動優秀実践図書館」表彰
平成20年 8月	コミュニティー放送局「FMとよみ」の「おはなしの小部屋（職員による読み聞かせコーナー）」の放送が開始
平成24年 1月	閲覧用機の増設
3月	AVコーナーにDVD・ビデオ館内視聴機器設置
平成25年 3月	雑誌スポンサー制度の開始
4月	図書館新システムを導入（インターネットでの予約・連絡が可能） 「おひざにだっこ」スタート
11月	市内読み聞かせボランティアによる「図夢の会」発足
平成26年 4月	文部科学省のホームページ・図書館実践事例集にて、沖縄県代表として、ブックトークの取り組みが紹介
平成26年 8月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの開始
平成27年 9月	開館20周年記念イベント「絵本ライブ」「バイオリンコンサート」
令和2年 3月	新型コロナウイルス感染症感染拡大 ※以降、休館措置や開館時間の短縮措置の実施、書籍除菌機や非接触型体温測定機の設置、WEB予約貸出サービスなど対策を実施
12月	とみぐすく電子図書館プレオープン（翌年3月本格稼働）

(2) 立地

- 市内のほぼ中央に位置
- 公共交通により市内全域からアクセスが可能

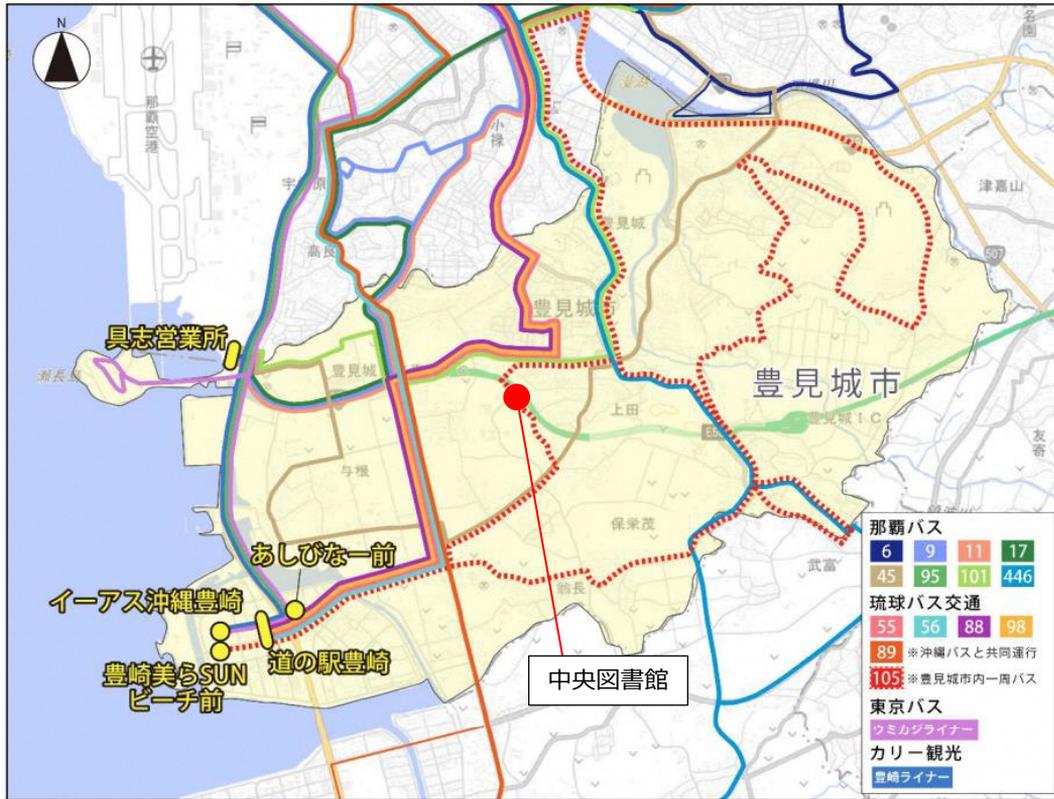
中央図書館は、本市のほぼ中央に位置し、人口密度の高い、字宜保や字上田に隣接しています。また、豊見城市内一周バスが中央図書館前バス停を経由しており、市内全域から公共交通でアクセスすることができます。

図 中央図書館の位置と人口密度



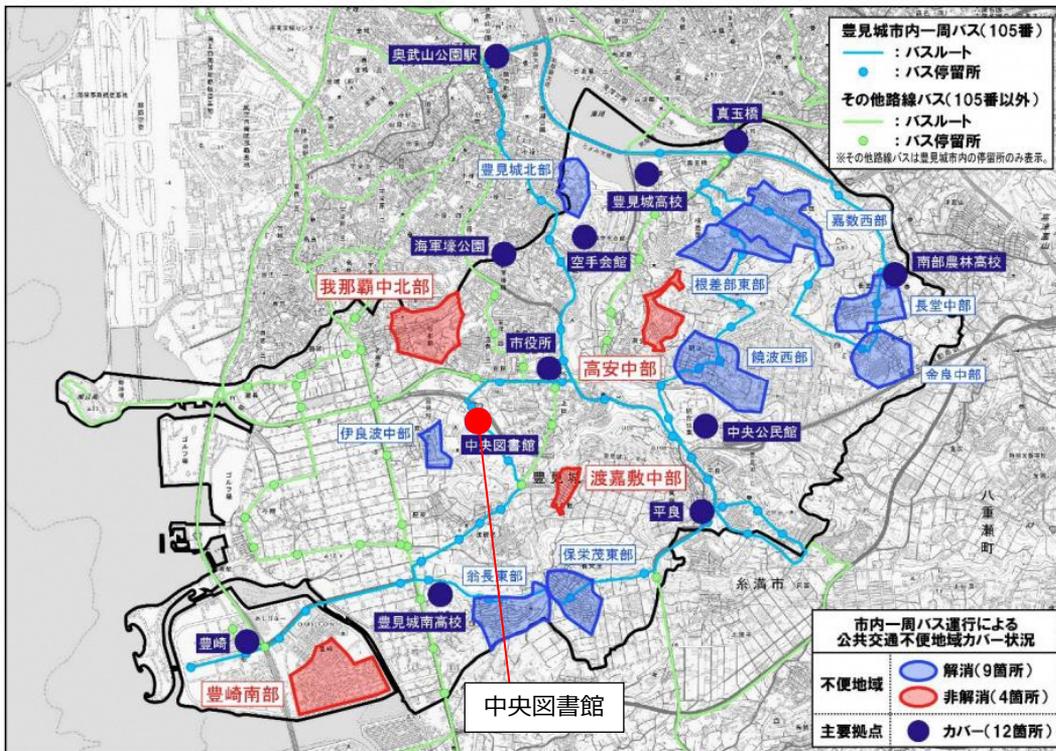
[資料：H29 とみぐすく「まちの顔」拠点づくり計画書<資料編>]

図 中央図書館の位置と公共交通網



[資料：豊見城市交通基本計画 (令和3年2月)]

図 本市の公共交通不便地域



[資料：豊見城市交通基本計画 (令和3年2月)]

(3) サービス概要

■ 基本的な貸出サービスの他、レファレンスサービス、インターネット利用サービス、また、オンライン上で予約等ができるサービスを実施

開館時間等、現在のサービスの概要を以下に示します。

表 サービス概要

項目	サービスの内容
開館時間	10:00~19:00 (市内小中学校の夏休み期間は9:30~19:00)
休館日	月曜日、国民の休日(こどもの日及び文化の日を除く※)、慰霊の日、館内整理日、館内特別整理期間
開館日数	令和元年度実績 264日
登録要件	市内在住・在勤・在学者
貸出	<p><個人貸出> 図書・雑誌…10冊以内/2週間以内 視聴覚資料…2点以内/2週間以内</p> <p><団体貸出> 図書・雑誌…100冊以内/1ヵ月以内</p>
その他のサービス	予約・リクエスト・相互貸借 予約：利用したい本が貸出中の場合は予約可能(図書・雑誌・紙芝居等合計8冊) リクエスト：中央図書館にない図書館資料を年度あたり、一人2冊までリクエストを受け付け、購入・貸出を行う 相互貸借：中央図書館にない図書資料を他の図書館から借用して提供する
	レファレンスサービス 中央図書館内のカウンターにて、図書資料及び調べものに関する質問等に対応
	図書館資料の複写サービス 著作権法の範囲内で、図書館の資料に限り複写(有料)
	インターネット利用サービス 調べもの等に使えるインターネット端末を設置
	オンラインサービス ホームページ上で、利用申し込み、資料予約、資料リクエスト、行事等予約を行うことが可能

※こどもの日及び文化の日の開館は令和2年度より実施

(4) 施設概要

- 玄関がある2階に開架図書、閲覧スペース及び学習スペースを配置
- 1階部分に集会室や閉架図書を配置

① 施設概要

表 施設概要

項目	施設概要
敷地面積	6,805 m ²
建築面積	2,322 m ² (鉄筋コンクリート2階建て)
各階床面積	1階 2,002 m ² 2階 2,115 m ² 中3階 86 m ²
資料収蔵能力	<ul style="list-style-type: none"> ・一般コーナー 45,000 冊 ・暮らしコーナー 9,000 冊 ・YAコーナー 7,000 冊 ・郷土参考室 9,000 冊 ・児童コーナー 32,000 冊 ・AVコーナー 10,000 点 ・雑誌架 240 誌 ・新聞架 24 紙 ・座席数 167 席 ・閉架書庫 80,000 冊

② 1階平面図

【集会室（大・小）】
読書会・講演会・研修会や上映会・コンサート等に利用。「おひざにだっこ」を毎月開催



集会室（大）

1階平面図



【閉架書庫】
約8万冊収容可能



閉架書庫

③ 2階平面図

【児童コーナー】

子供たちが利用しやすいよう玄関からすぐ見える位置に配置し、絵本や紙芝居を低書架に配架

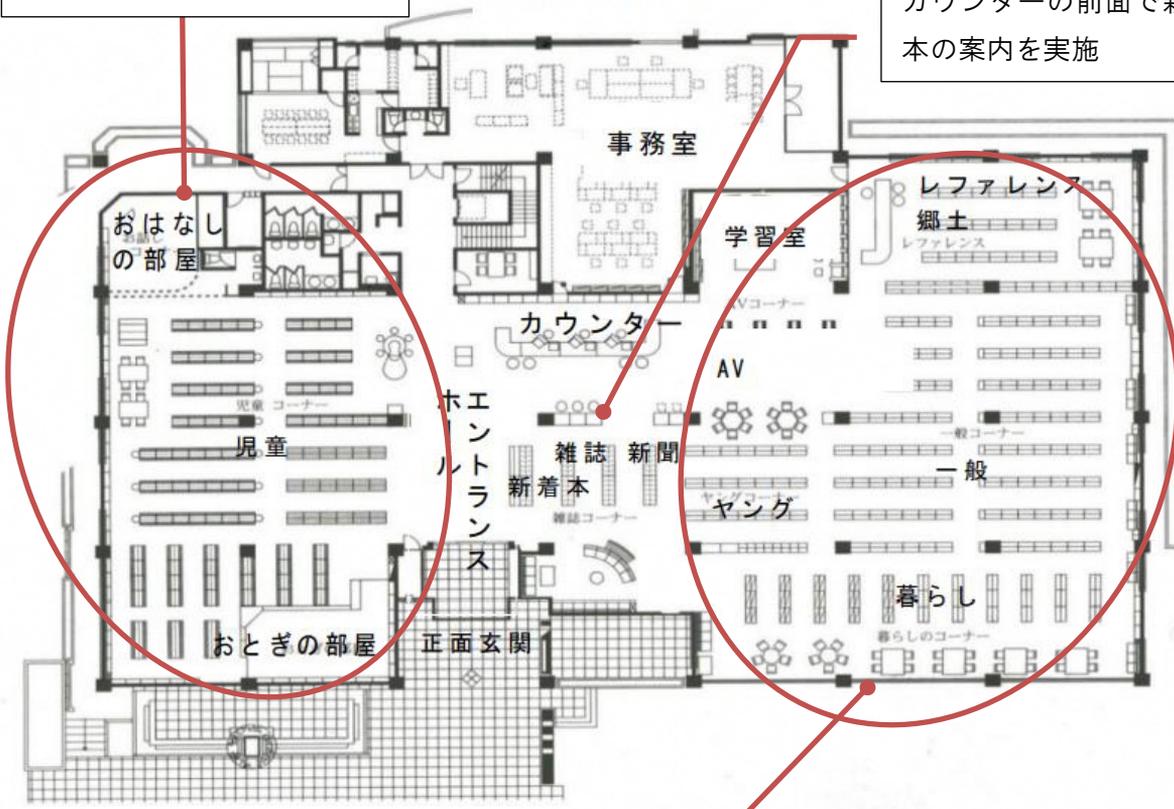
- ・おとぎの部屋…親子で本に触れ合えるスペース
- ・おはなしの部屋…読み聞かせ会を開催



児童コーナー

2階平面図

カウンターの前面で新着本の案内を実施



【一般コーナー】

- ・暮らしコーナーは館内で一番明るい場所に配置。書架を低書架にし、窓際に閲覧席を設置
- ・ヤングコーナーには中高生向けの資料を別置配架
- ・奥の窓際には3人掛けソファを設置



一般コーナー



視聴覚コーナー



レファレンスコーナー

(5) 電子図書館の概要

- 令和3年3月より電子図書館を稼働
- インターネット環境があればどこでも・いつでも本を読める環境を整備

令和3年3月より電子図書館を本格稼働しています（令和2年12月よりプレオープン）。サービスの概要は以下のとおりです。

① サービス概要

サービス利用対象者：豊見城市立中央図書館の利用カード所持者

貸出点数：3点

貸出期間：7日間

予約点数：3点

延長：1点につき1回のみ可能

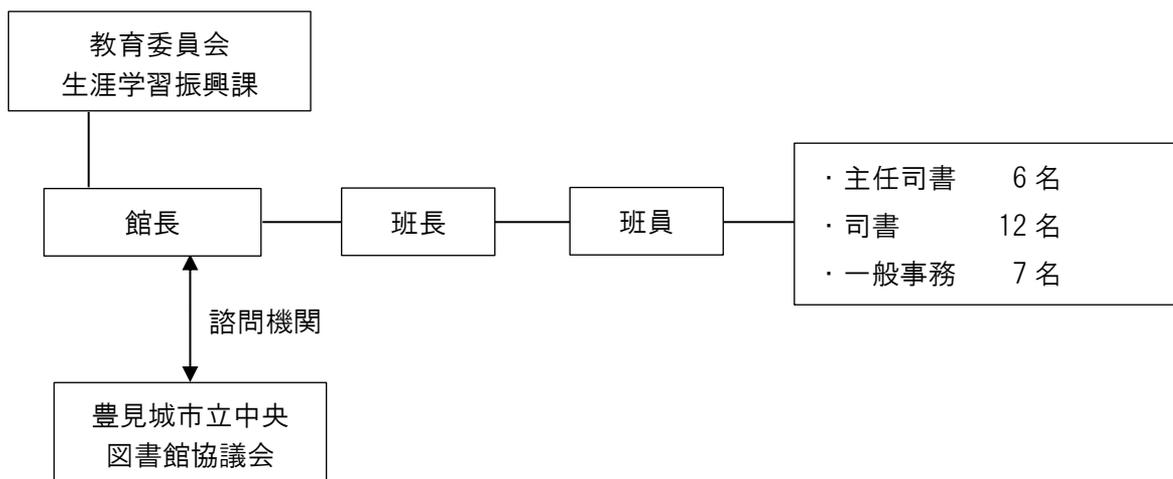
コンテンツ数：約3,140点（令和3年3月時点）

図 電子図書館のサービス画面

(6) 運営組織

- 館長を始め、28名の職員で運営
- うち、司書は18名

中央図書館は令和3年現在、館長1名、職員2名、会計年度任用職員25名（司書・一般事務）で運営を行っています。このうち、18名が司書の資格を有しています。以下に、運営組織図を示します。



また、職員の資質向上やサービス向上に向けて、以下のとおり職員研修を実施しています。以下の他、沖縄県図書館協会による講演会や研修会、公共図書館連絡協議会による研修会等も参加しています。

月	研修	内容
7	情報セキュリティ研修	・本市情報所管部署による情報セキュリティ研修
9	図書館サービス研修①	・図書館サービスに係る職員研修（外部委託）
10	救急救命研修	・本市消防本部での救急救命に係る職員研修
10	図書館サービス研修②	・図書館サービスに係る職員研修（外部委託）
11	図書館サービス研修③	・図書館サービスに係る職員研修（外部委託）
11	防災消火訓練研修	・図書館における防災消火の職員研修

※令和2年度の計画（7月時点）

2. 統計

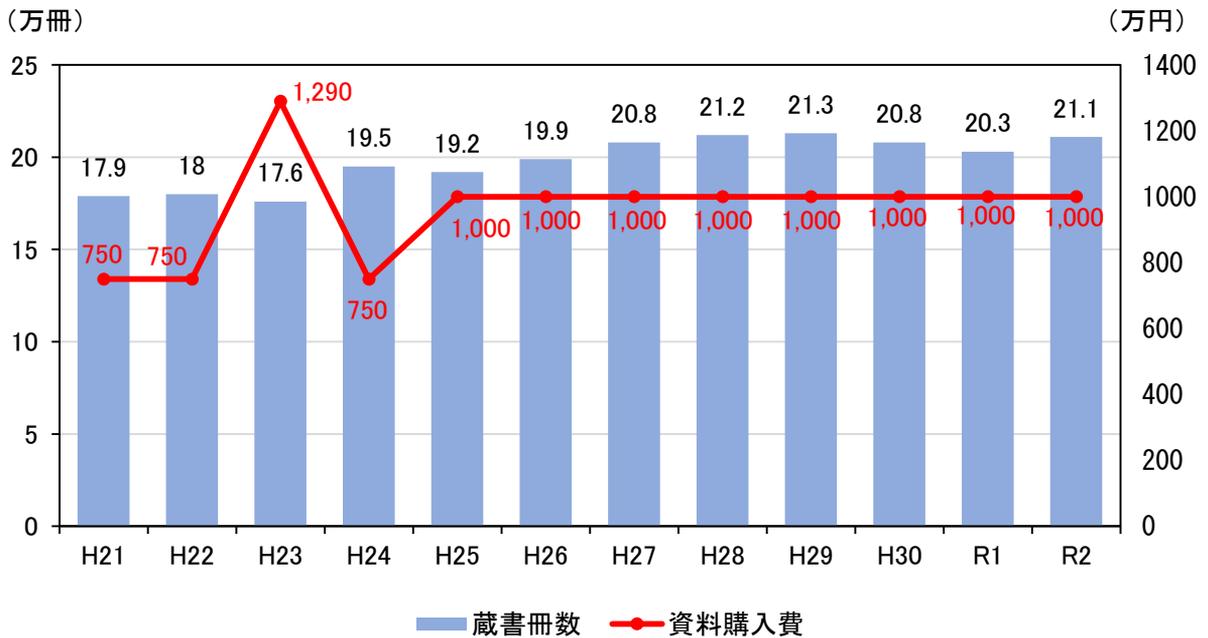
(1) 蔵書

- 蔵書冊数は20万冊程度で推移
- 蔵書は一般書や児童書を中心に、郷土資料も多く収蔵している

① 蔵書冊数・資料購入費の推移

蔵書冊数や資料購入費は近年横ばいで推移しています。

図 蔵書冊数・資料購入費の推移



[資料：豊見城市立中央図書館報 第5号、第6号、第7号をもとに作成]

② 年間図書館資料購入冊数

資料収集方針に基づく資料収集を実施しており、図書の種類は年度によりややばらつきがあります。

表 年間図書館資料購入冊数 (令和元年度)

年度	児童			一般	暮らし	YA	郷土	参考図書	視聴覚		雑誌	合計 (冊・点)
	紙芝居	絵本	児童書						CD	DVD		
平成30年	19	629	1,136	1,824	875	615	394		60	11	2,208	7,771
令和元年	22	598	644	1,475	798	750	232	102	76	87	1,997	6,781
令和2年	29	571	809	1,455	615	643	248	59	61	32	1,999	6,521

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

③ 蔵書冊数・内訳

一般書・児童書を中心に約21万冊の蔵書があります。

表 蔵書冊数・内訳

統計分類	資料区分										合計
	一般	児童	暮らし	YA	参考図書	郷土資料	雑誌	視聴覚	HS	その他	
総記	2,924	629		279	891	3,917	280	2		5	8,927
哲学	3,625	466	1,636	439	115	212					6,493
歴史	6,235	2,295	2,287	758	920	5,023	7			1	17,526
社会	15,015	1,850	2,898	1,508	1,596	7,997	22			14	30,900
自然	7,358	3,891	1,296	1,063	730	860	53				15,251
技術	3,846	1,160	6,090	717	482	1,036	12				13,343
産業	2,764	758	925	245	405	546	35				5,678
芸術	7,399	1,750	2,336	2,261	594	1,734	29				16,103
言語	1,505	680	441	324	581	318	11				3,860
文学	33,556	14,596	1	5,605	399	2,328	68				56,553
絵本		17,450				3	1				17,456
紙芝居		988					1				989
雑誌		34				1	6,869	1		34	6,905
視聴						2		9,966		57	10,025
HS	16		13						174		237
その他	8	143	1			30	972			25	1,179
合計	84,252	46,690	17,924	13,200	6,713	24,007	8,360	9,969	174	136	211,425

※児童：児童、絵本、紙芝居

※郷土資料：郷土資料、地図

※視聴覚：CD、カセット、ビデオ、DVD

※その他：付録、貸出用備品

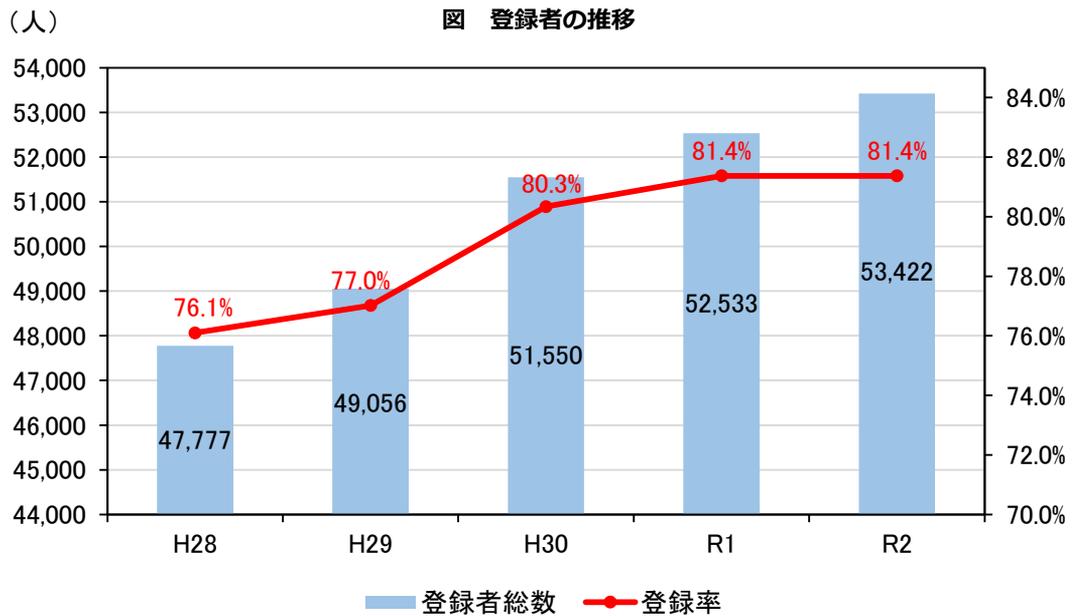
[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

(2) 登録者

- 登録者・登録率は増加傾向にある
- 地域別の登録率では、図書館周辺の地域が高い
- 登録者は女性や子育て世代が多い

① 登録者の推移

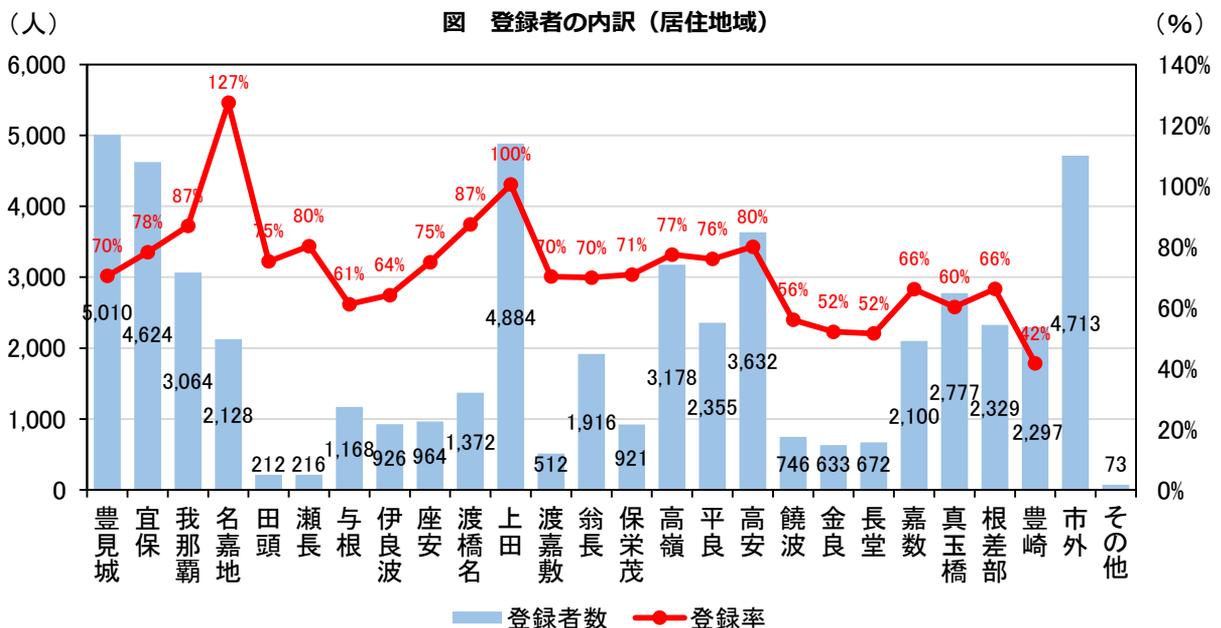
登録者や登録率は年々増加傾向にあります。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

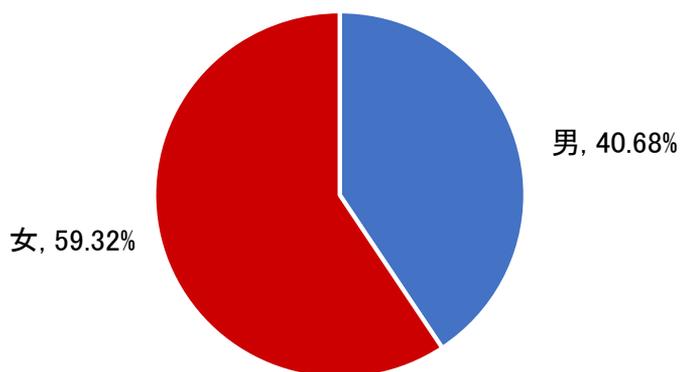
② 登録者の内訳（性別・年代・居住地域）

登録者の内訳をみると、中央図書館周辺の地域の方が多く、また、女性や30～40代の子育て世代が多くなっています。



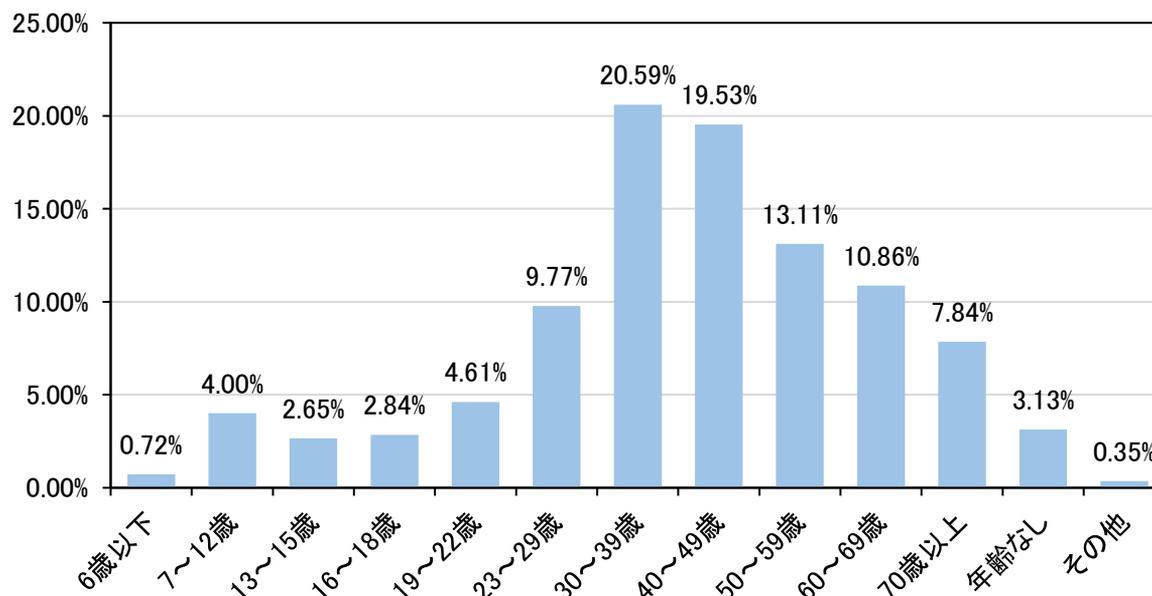
[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号・豊見城市指定区別人口調 (令和3年5月)をもとに作成]

図 登録者の内訳（性別）



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

図 登録者の内訳（年代）



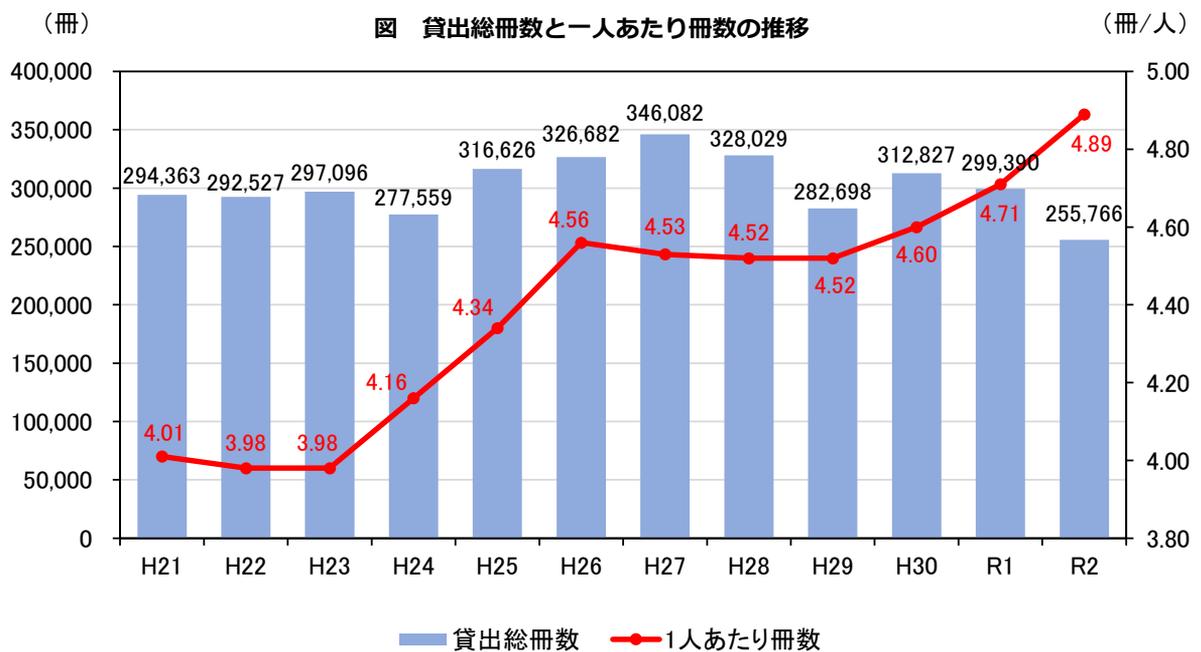
[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

(3) 貸出サービス

- 貸出総冊数は減少傾向、1人あたりの貸出冊数はやや増加傾向
- 月別では夏休みにあたる7・8月が多い
- 貸出利用の時間帯は11時と16時にピークを迎え、また、土曜・日曜が多い

① 貸出冊数の推移

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大による影響もありますが、貸出総冊数は減少傾向にあります。一方で、一人あたりの貸出冊数は増加傾向にあります。

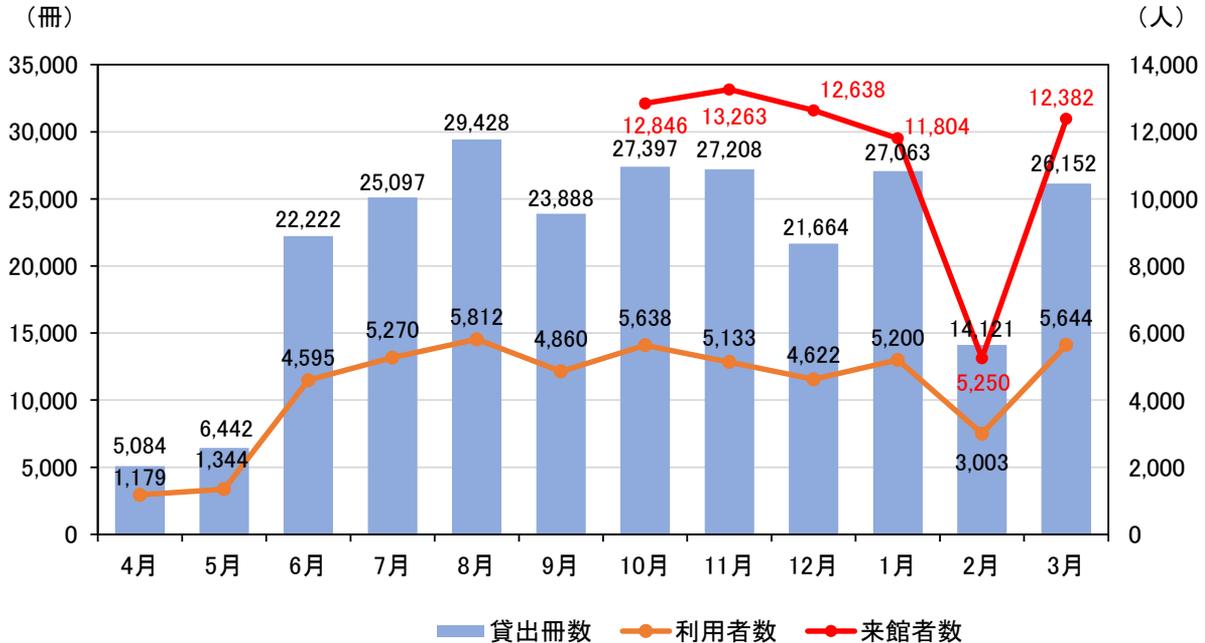


[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

② 月ごとの貸出冊数

学校の夏休みにあたる8月の貸出冊数が多くなっています。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大等の影響が強いことが想定されます。

図 月間貸出冊数と月間貸出利用者数（令和2年度）



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

※新型コロナウイルスによる臨時休館等

- 新型コロナウイルス感染症感染拡大の為、臨時休館(4/7～5/25)
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大の為、館内利用時間の短縮(8/5～9/6)
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大の為、開館時間の短縮(1/21～1/31)
- 特別館内整理期間により休館(2/2～2/14)
- 新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う館内利用時間の短縮(2/16～2/27)

③ 時間帯による貸出冊数の変化

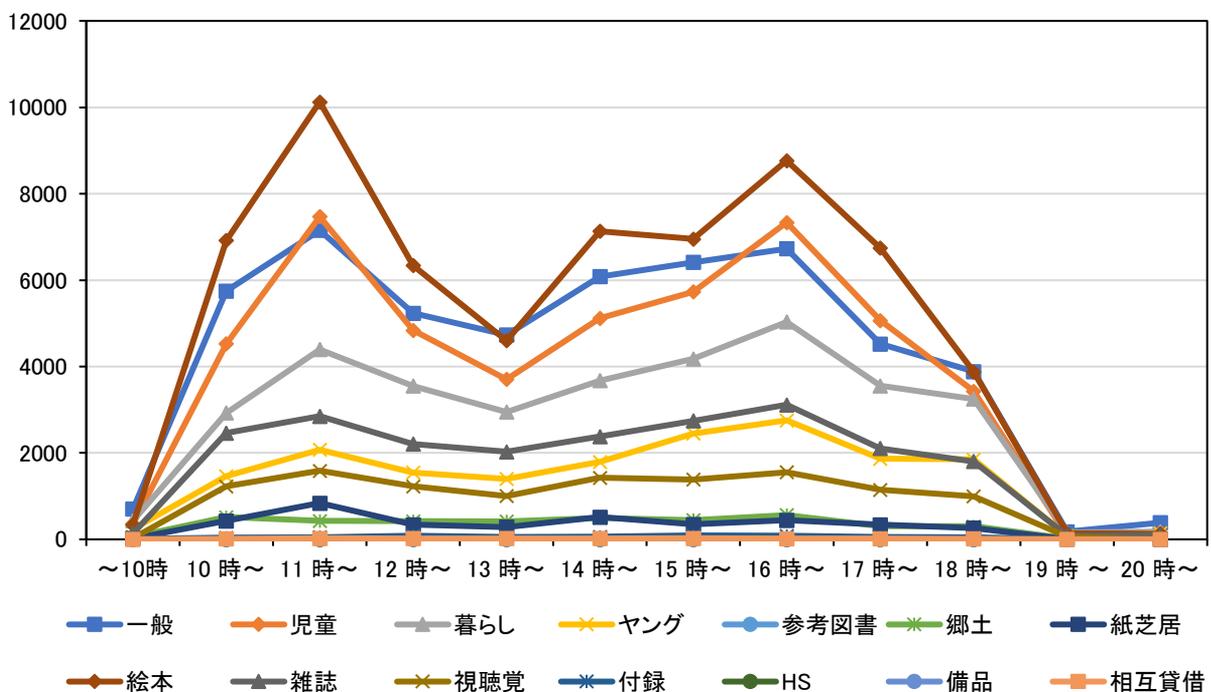
貸出利用は11時と16時にピークを迎えています。

表 時間別貸出利用数 (資料区分別)

資料区分	～10時	10時～	11時～	12時～	13時～	14時～	15時～	16時～	17時～	18時～	19時～	20時～	合計
一般	703	5,747	7,156	5,235	4,731	6,082	6,412	6,728	4,521	3,884	176	386	51,761
児童	357	4,528	7,471	4,837	3,703	5,117	5,732	7,333	5,066	3,430	78	168	47,820
暮らし	430	2,925	4,395	3,551	2,947	3,674	4,179	5,032	3,555	3,248	160	176	34,272
ヤング	239	1,461	2,073	1,547	1,399	1,791	2,449	2,752	1,864	1,850	78	143	17,646
参考図書	0	0	1	5	5	2	4	5	6	2	0	0	30
郷土	55	516	428	420	417	496	444	562	303	303	20	24	3,988
紙芝居	19	427	836	338	282	513	345	441	339	262	3	2	3,807
絵本	338	6,921	10,122	6,339	4,599	7,131	6,951	8,767	6,745	3,875	140	131	62,059
雑誌	137	2,460	2,850	2,206	2,027	2,380	2,741	3,112	2,105	1,804	80	95	21,997
視聴覚	27	1,227	1,587	1,226	1,002	1,424	1,385	1,554	1,145	997	61	0	11,635
付録	11	39	50	87	54	59	89	80	54	45	0	8	576
HS	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3
備品	0	0	6	3	0	1	2	0	0	0	0	0	12
相互貸借	1	12	22	19	19	20	23	17	14	13	0	0	160
合計	2,317	26,264	36,997	25,813	21,187	28,690	30,756	36,383	25,717	19,713	796	1,133	255,766

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

図 時間別貸出利用数 (資料区分別)



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

④ 曜日による貸出冊数の変化

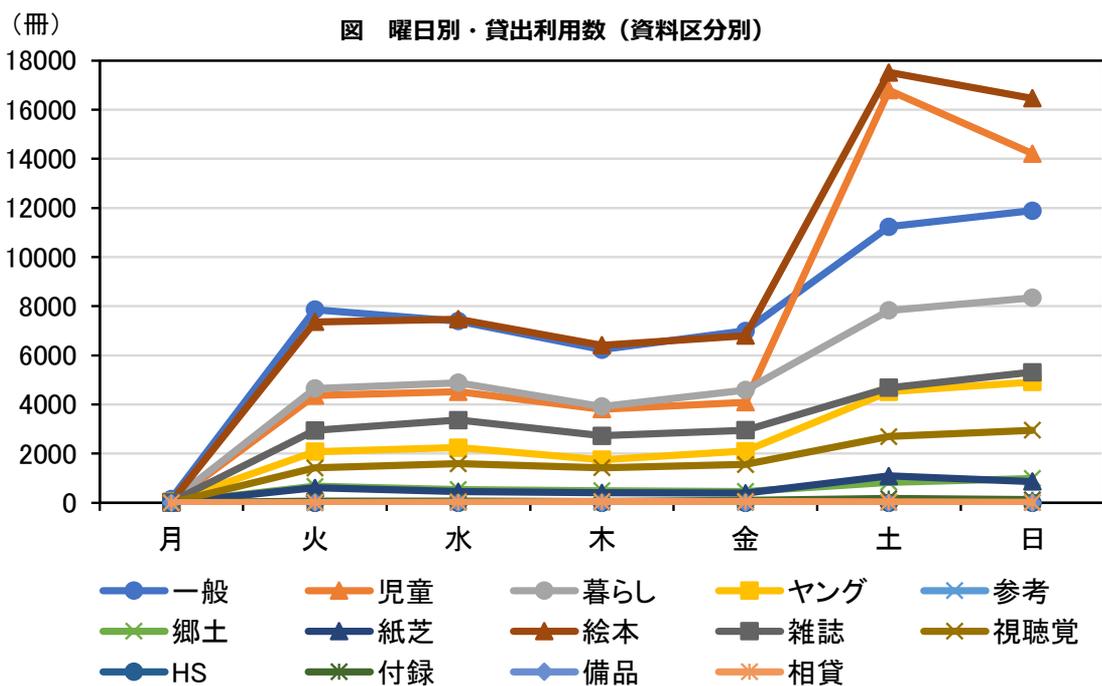
貸出利用は土曜日・日曜日に利用が多くなっています。

資料区分別にみても全般的に土曜日・日曜日の利用が多く、学校や仕事が休みになることが多いことから、特に、絵本や児童書の貸出が多くなっています。

表 曜日別・貸出利用数（資料区分別）

資料区分	月	火	水	木	金	土	日	計
一般	151	7,864	7,390	6,230	6,998	11,235	11,893	51,761
児童	30	4,364	4,519	3,810	4,090	16,794	14,213	47,820
暮らし	63	4,648	4,882	3,915	4,591	7,831	8,342	34,272
ヤング	39	2,079	2,245	1,751	2,105	4,514	4,913	17,646
参考	0	1	6	5	6	5	7	30
郷土	8	670	538	493	460	829	990	3,988
紙芝	3	607	447	404	390	1,089	867	3,807
絵本	39	7,362	7,468	6,411	6,800	17,516	16,463	62,059
雑誌	29	2,940	3,365	2,726	2,949	4,678	5,310	21,997
視聴覚	0	1,417	1,585	1,428	1,553	2,697	2,955	11,635
HS	0	0	0	1	0	1	1	3
付録	0	71	67	55	94	166	123	576
備品	0	5	0	1	2	2	2	12
相貸	0	7	22	46	42	30	13	160
計	362	32,035	32,534	27,276	30,080	67,387	66,092	255,766

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

(4) その他のサービス

- 複写サービスやインターネット・館内視聴ブースの利用は減少傾向にあります
- 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについてはあまり利用されていない状況です
- 予約貸出件数は増加傾向にあります

① 複写サービス

複写サービスについては、近年利用人数、件数、枚数とも減少傾向です。

年度	利用人数 (人)	複写件数 (件)	印刷枚数 (枚)
平成30年	767	1,199	3,723
令和元年	674	1,032	2,885
令和2年	490	712	2,491

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

② レファレンス対応

レファレンス対応は年間3,000件程度対応を行っています。

年度	クイック (郷土)	レファレンス (郷土)	書架案内	館内案内	その他	計
平成30年	1,190 (226)	622 (340)	397	198	611	3,018
令和元年	1,495 (126)	687 (275)	420	94	383	3,083
令和2年	1,641 (329)	294 (119)	110	39	460	2,544

※平成30年度は7月から集計開始

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

③ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス複写利用状況

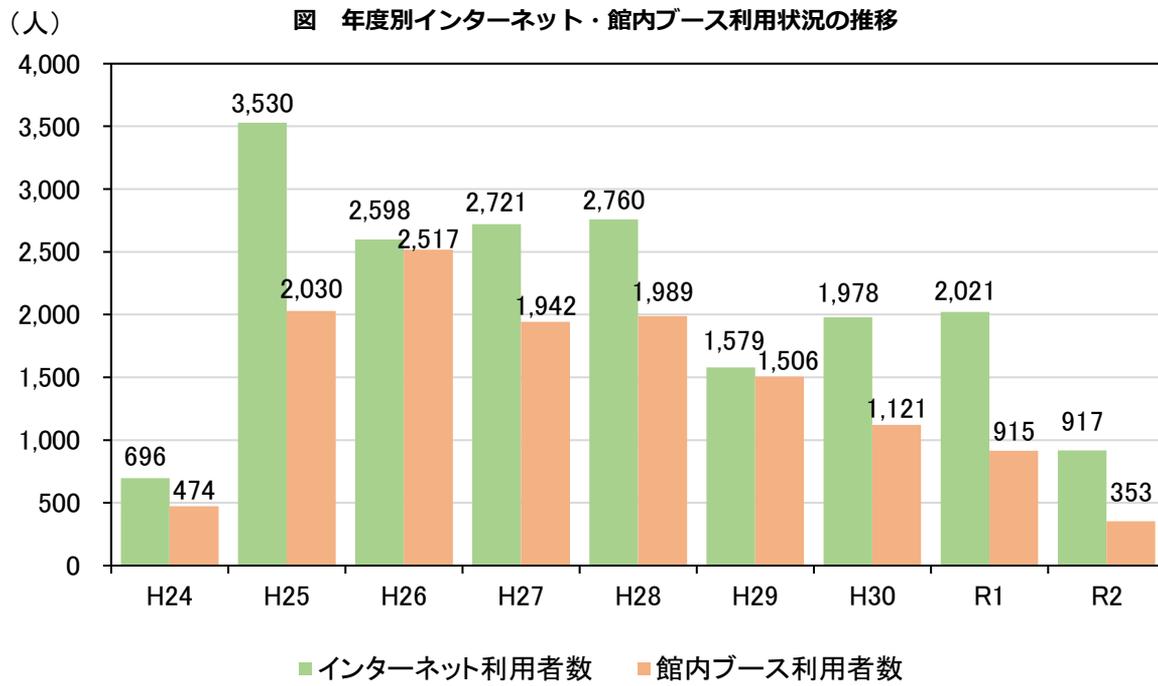
国立国会図書館デジタル化資料送信サービスについては、あまり利用されていない状況です。

年度	利用人数 (人)	複写件数 (件)	印刷枚数 (枚)
平成30年	2	3	34
令和元年	0	0	0
令和2年	2	2	51

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

④ インターネット・館内視聴ブースの利用状況

インターネット・館内視聴ブースの利用状況は、年々減少傾向にあります。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

⑤ 相互貸借の状況

相互貸借は沖縄県立図書館、那覇市立中央図書館、宜野湾市民図書館での貸出・借受が多くなっており、本市では借受よりも貸出が多くなっています。

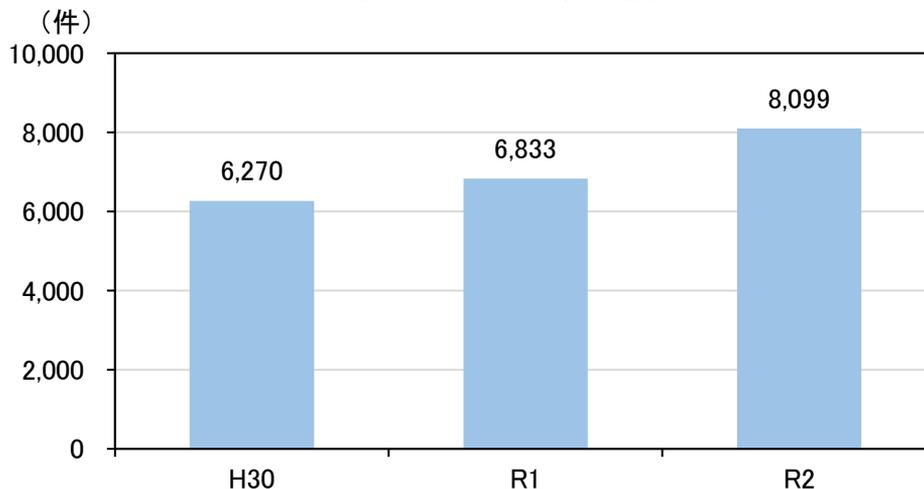
館名	H30		R 1		R 2		計
	貸出 冊数	借受 冊数	貸出 冊数	借受 冊数	貸出 冊数	借受 冊数	
沖縄県立	9	19	33	21	41	43	166
那覇市立中央	8	19	12	44	14	26	123
浦添市立	10	15	20	6	10	4	65
宜野湾市民	32	16	23	24	20	7	122
沖縄市立	12	12	12	19	9	4	68
うるま市立中央	15	12	10	6	11	2	56
名護市立中央	8	14	2	10	3	1	38
糸満市立中央	2	16	2	10	5	18	53
与那原町立	25	2	15	3	23	4	72
金武町立	8	6	12	0	11	1	38
嘉手納町立	4	4	10	3	12	3	36
南風原町立	10	0	14	3	19	2	48
西原町立	10	13	5	14	9	6	57
北谷町立	7	9	3	0	0	0	19
読谷村立	12	5	4	3	12	0	36
南城市立	13	0	34	5	46	3	101
本部町立	0	0	0	0	0	0	0
宜野座村文化センター	0	2	4	3	3	3	15
北中城あやかりの杜	3	9	5	9	11	0	37
恩納村文化情報センター	5	5	1	11	1	9	32
中城村護佐丸歴史資料館	3	0	9	4	4	1	21
八重瀬町中央公民館	5	0	1	0	7	2	15
宮古島立平良	3	0	2	5	4	21	35
石垣市立	10	1	5	3	10	1	30
琉球大学附属図書館	7	0	9	1	2	3	22
合計	221	179	249	207	287	164	1,307

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

⑥ 予約受付件数・リクエストの推移

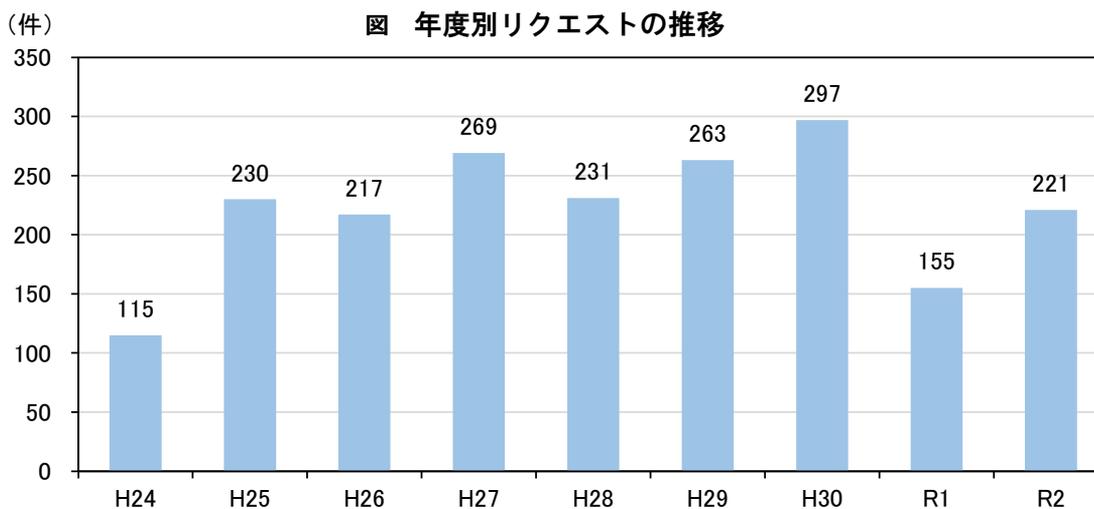
予約件数は近年増加傾向にあります。リクエスト制度については、年度によりばらつきがありますが、購入予算の範囲内でリクエストに対応しているため、概ね横ばいで推移しています。

図 年度別予約貸出件数の推移



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

図 年度別リクエストの推移



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

⑦ 市図書館ホームページ訪問数

図書館ホームページへの訪問数は昨年度に比べ、やや増加しました。

図 年度別ホームページ訪問数

	令和元年	令和2年	備考
訪問数	7,052 (2,526)	7,351 (3,697)	PC版 (スマホートフォン版)

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

(5) 電子図書館の利用状況

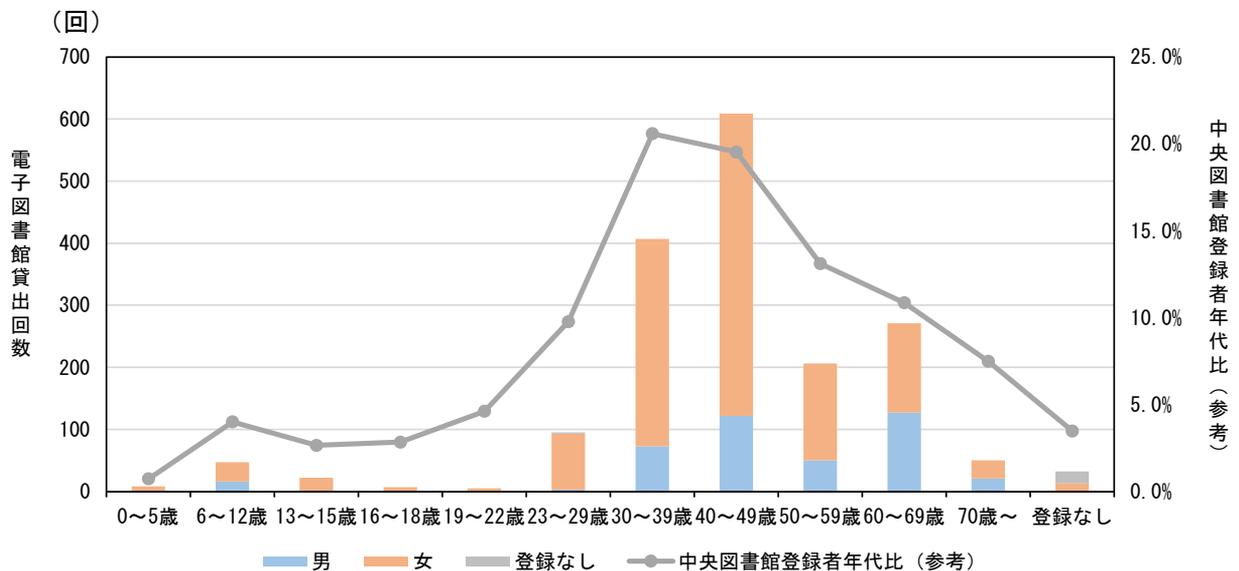
- 電子図書館サービスを令和2年12月25日より開始（令和3年3月本格稼働）
- 利用者は女性の30～40代が多い

① 年代・男女別貸出回数（令和2年度）

電子図書館の利用者は女性の30～40歳代の方が多くなっています。中央図書館の登録者年代比と比較すると、概ね中央図書館の登録者と比例して電子図書館の利用者が多くなっていますが、若年層や老年層は中央図書館の登録者と比較してやや利用が少ない状況です。

図 年代・男女別貸出回数（12月25日～3月31日）

年代 性別	0～ 5歳	6～ 12歳	13～ 15歳	16～ 18歳	19～ 22歳	23～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70～ 79歳	不明	合計
男	0	16	1	1	0	3	73	122	50	127	21	1	415
女	8	31	21	6	5	90	334	487	156	144	29	12	1,323
登録 なし	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	19	21
合計	8	47	22	7	5	95	407	609	206	271	50	32	1,759



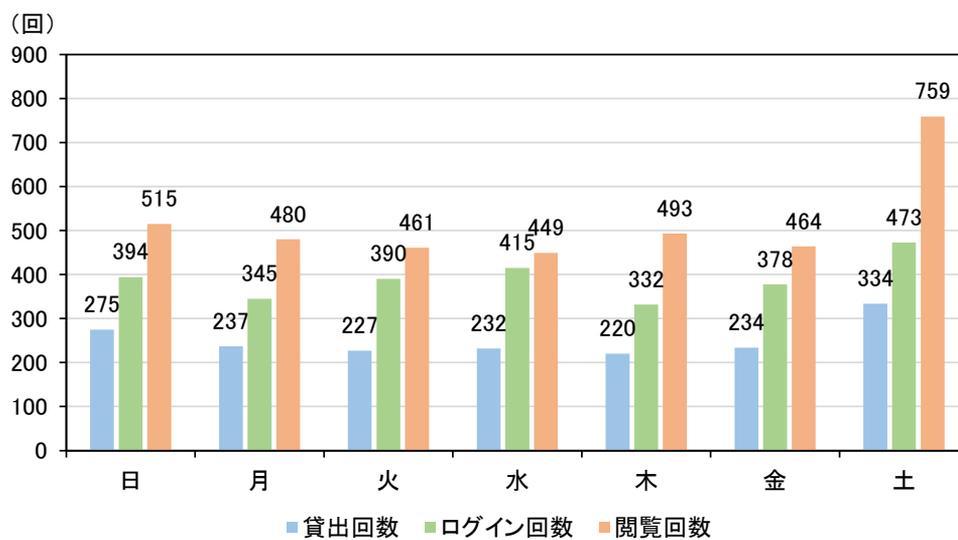
[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

② 曜日別・利用回数（令和2年度）

曜日別にみると土曜日の利用が突出して多くなっています。

図 曜日別・利用回数（12月25日～3月31日）

種別 \ 曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
貸出回数	275	237	227	232	220	234	334	1,759
ログイン回数	394	345	390	415	332	378	473	2,727
閲覧回数	515	480	461	449	493	464	759	3,621



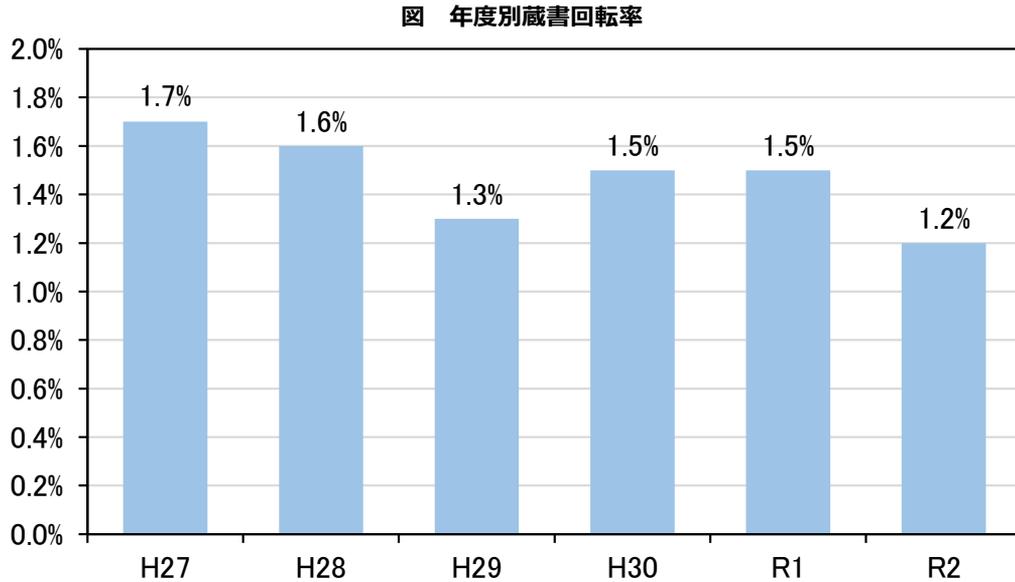
[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

(6) 図書館パフォーマンス指標

■ 図書館に関する指標（蔵書回転率、人口あたり貸出数、人口あたり来館者）はやや減少傾向にある

① 蔵書回転率

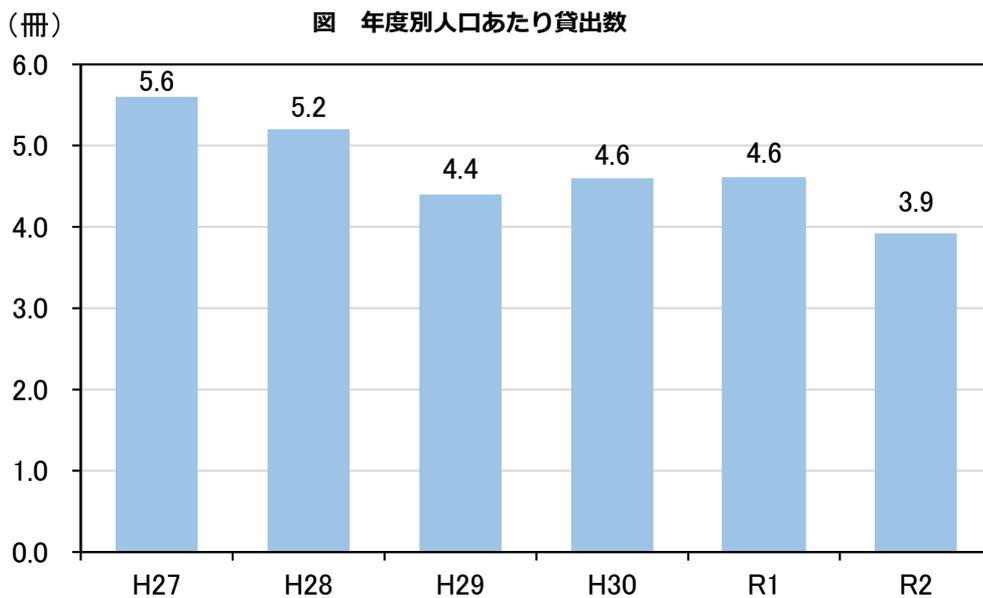
蔵書回転率はやや減少傾向にあります。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

② 人口あたり貸出数

人口あたり貸出数はやや減少傾向にあります。

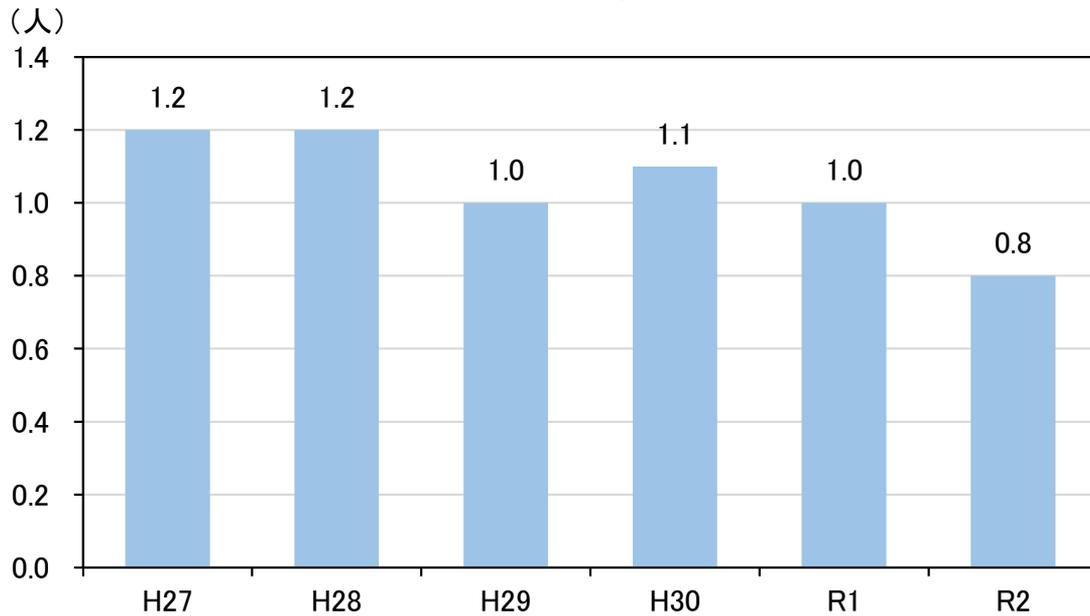


[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

③ 人口あたり来館者数

人口あたり来館者数はやや減少傾向にあります。

図 年度別人口あたり来館者数

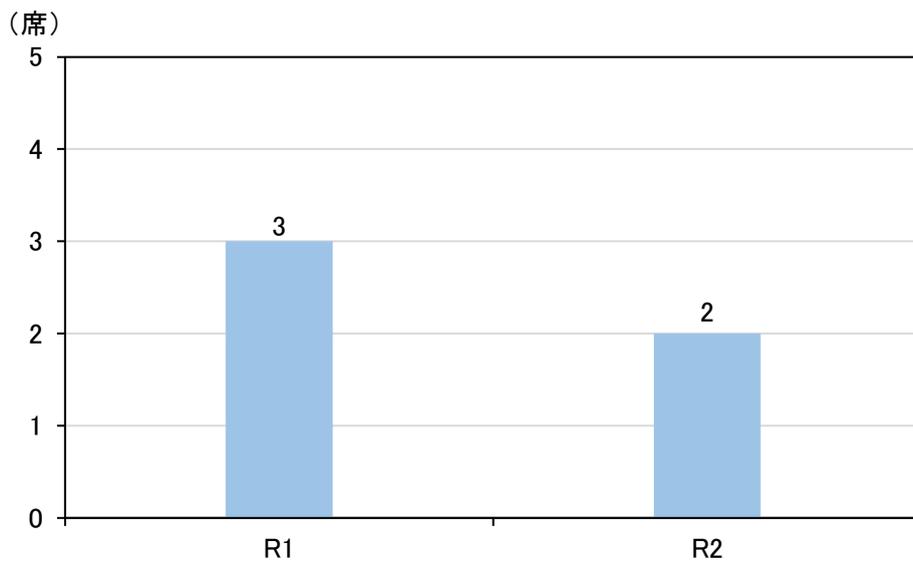


[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

④ 人口あたりの座席数

令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、座席間隔をあけたことから、人口あたり座席数が減少しています。

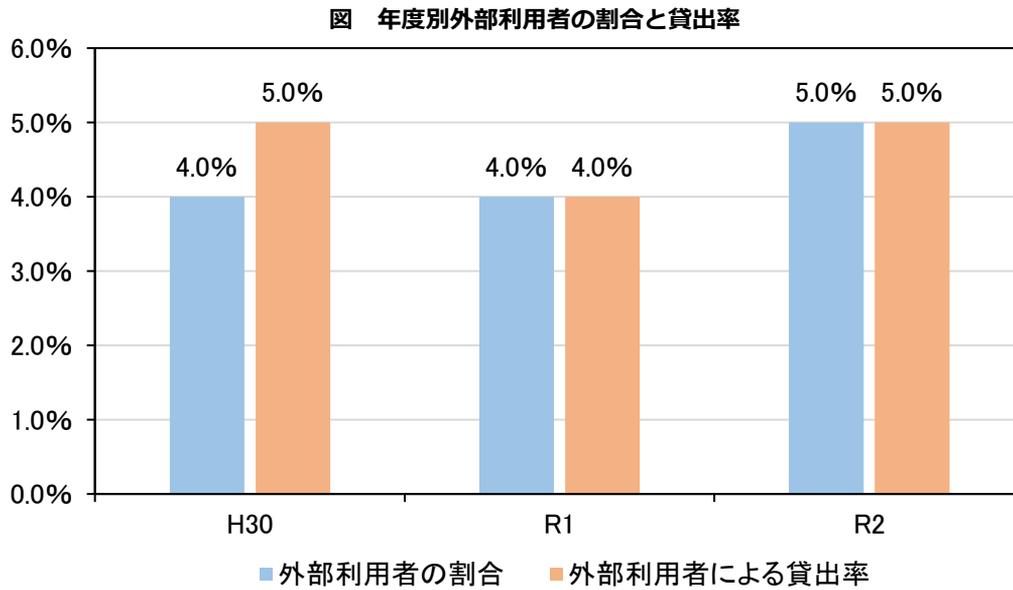
図 年度別人口あたり座席数



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

⑤ 外部利用者の割合と貸出率

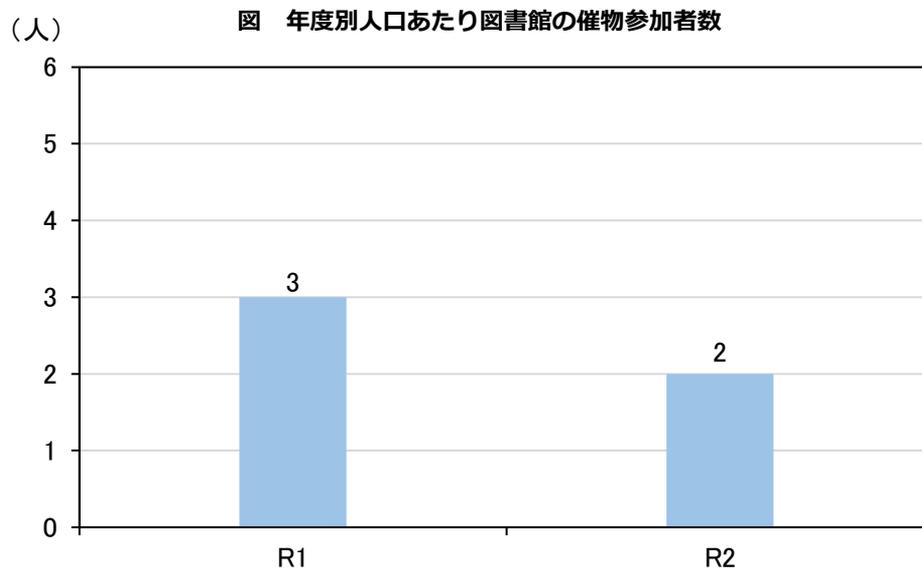
外部利用者の割合・貸出率は概ね横ばいです。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

⑥ 人口あたり図書館の催物参加者数

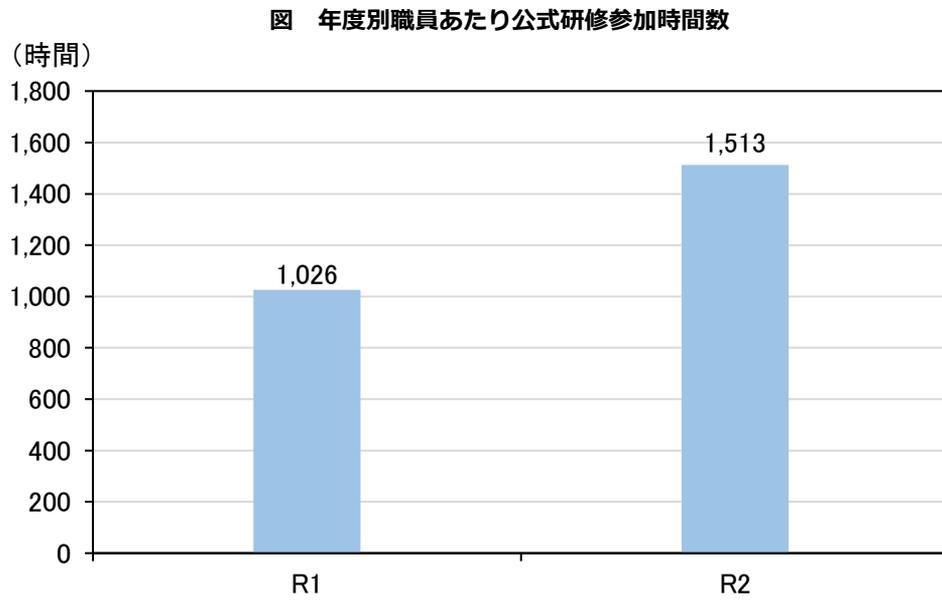
令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、計画していた催物の中止や参加人数の制限を行ったため、人口あたり図書館の催物参加者数が減少しました。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

⑦ 職員あたり公式研修参加時間数

令和2年度から市独自の職員研修を開始したことから、職員あたりの公式研修参加時間数は増加しました。



[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号をもとに作成]

3. 豊見城市立中央図書館の取り組み

(1) 運営方針と重点目標

- 運営方針・重点目標を毎年度作成・公表
- 数値目標を設定し、令和元年度分から点検と評価を実施

運営方針と重点目標については、毎年度作成し、図書館報にて公開を行っています。

【令和3年度 運営方針・重点目標】

<運営方針>

図書館は、「地域の知の拠点」である。当館では、本市の教育大綱で定めた目標「ゆめ・まなび・ひとを大事にする響むまちの教育」を踏まえ、多様化及び高度化する市民ニーズ及び令和元年に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」等の社会変化に伴う対応に努める。また、図書及びその他の資料の収集、整理、保存、利用促進を図り、幅広い世代の教養、調査研究の援助等に取り組み、本市の「文化活動の拠点」及び「地域情報センター」となるよう運営を行う。

<重点目標>

① 図書館資料の整備

利用者の生活課題の解決や知識、又は利用者が充足感の得られる図書館資料についてバランスよく収集等を行うと共に、本市における地域に関する資料やデジタイズ図書、SDGs 関連図書及び新鮮で多様な図書館資料の収集や利用者からのリクエストには迅速な対応を図る等の利用しやすい図書館資料の整備に努める。

② レファレンスサービスの充実

利用者の日常生活上の疑問や調査、生涯にわたる課題解決及び学習支援をするため、図書館職員は、図書館資料に関する豊富な知識と相談者の意図を的確に理解できる幅広い能力を身につける等、レファレンスサービスの充実に努める。

③ 利用者に応じた図書館サービスの充実

利用者の自主的、又は自発的な学習環境の援助を行うと共に、乳幼児、児童、成人、高齢者及び障害者等のすべての利用者が、本館の図書館サービスを「いつでも、誰でも、どこに住んでいても」受けることができるようその充実に努め、来館困難者に対応する電子図書館の整備を推進すると共に、「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律」に対応した電子書籍を整備し、その利用促進に向け周知に努める。また、豊見城市立中央図書館新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドラインに基づいた対策を実施し、利用者の図書館利用機会を確保する。

④ 情報発信の充実

利用者の学習機会の提供等となる講演会、講座、映写会、地域及び生涯学習の活性化を狙った「発信する図書館」等の図書館行事に取り組む。また、情報セキュリティの強化を図りながら、インターネットを活用した蔵書検索等の図書館サービスの提供、利用申込や図書館資料の予約申込等のオンライン化、及び図書館が発信する情報を利用者が把握できるよう、本市の「広報誌」、「館内放送」、「SNS」及び「ホームページ」を充実させ、情報発信に努める。

＜重点目標（続き）＞

⑤ 子供の読書活動の推進

平成31年3月に策定された「第二次豊見城市子供の読書活動推進計画」に基づき、次世代を担う子供の読書活動の推進のため、市内小中学校でブックトークを継続し、内容の充実を図る等、豊かな心と確かな知を育むことのできる場を提供し、読書意欲の向上に繋がる読書通帳等の施策について検討及び試行等を実施する。

⑥ 「地域の知の拠点」を支える体制の推進

本館の効率的効果的な運営を行うため、図書館職員の資質向上を図る研修、雑誌スポンサー制度の推進及び集会室の有効利用等に取り組む。

⑦ 関係機関等との連携

他市町村の公共図書館、読書ボランティアとの情報交換及び図書館見学や職場体験、インターンシップ及び読み聞かせ講座の実施等の教育施設との連携を推進し、読書活動推進及び読書環境の整備に取り組む。

【令和3年度点検と評価（令和2年度分）】

＜評価項目＞

運営方針・重点目標から7つの指標を設定

（①資料回転率、②レファレンス受付件数、③人口あたり来館回数、④人口あたりの図書館催物参加者数、⑤ブックトーク参加者、⑥学校図書館への資料貸出、⑦図書館だより配布数）

＜評価＞

総合評価：「B（ほぼ達成できた）」

図書館協議会からの評価：「おおむね良好」

- ・レファレンスの受付件数については、目標値を大きく上回った。
- ・人口あたり来館回数と図書館の催物参加者数については、駐車場が手狭で止められないことがあった。よって、改善策として、駐車場拡張整備を要望してほしい。
- ・図書館だより配布数の目標値については実績が大きく上回っていた為、今後の目標値の決め方は検討が必要である。
- ・点検と評価については、指導等の対象とはならないが、参考にして図書館運営の改善に努めてほしい。

(2) 図書館協議会

■ 図書館協議会を設置し、運営上の基本的な事項について検討・具申

図書館の運営に関する諮問機関として、「豊見城市立中央図書館協議会」を設置し、図書館運営上の基本的な事項について検討し、具申する活動を行っています。また、図書館協議会は、学識経験者、学校関係者および社会教育関係者等で構成されています。

【豊見城市立中央図書館協議会 概要】

＜豊見城市立中央図書館協議会委員＞

	区分	所属（令和3年時点）
1	学識経験者	琉球大学 元非常勤講師
2	学校教育	豊見城中学校 校長
3	学校教育	豊見城小学校 校長
4	家庭教育	豊見城市自治会長会 副会長
5	家庭教育	社会福祉協議会 事務局長
6	社会教育	琉球大学 准教授
7	社会教育	放送大学 客員准教授

※令和3年7月時点

＜協議内容＞

- ・各年度の事業計画
- ・各年度の点検と評価

＜参考＞

図書館法

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

(3) 資料収集方針

■資料収集方針を策定・公開し、同方針に基づいて図書館資料を収集

資料収集方針を定め、図書館報にて公開を行っています。資料収集方針は以下のとおりです。

【資料収集方針 平成6年9月策定 平成27年12月改正】

<基本方針>

豊見城市立中央図書館は、市民の幼児期から高齢者にいたるライフサイクル全体にわたる創造性豊かな自己教育の場であり、住民自治と地域文化の発展に寄与する公共図書館としての役割に立脚し、情報化社会に対応する教育・文化・情報のための民主的機関である。

その図書館サービスは、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」の民主的サービス原則によって行われる。

この理念と原則を踏まえ、資料の収集を次の方針に基づき行う。

- ① 市民の要求に基づいた資料を収集する。
- ② 本市に関する資料や、市内で刊行された資料は、網羅的に収集する。
- ③ 資料は図書のほかに、雑誌などの逐次刊行物等、ビデオ、CD等の視聴覚資料、多様な形態の資料を収集する。特に最近市民の日常生活における重要な情報源となっている雑誌やニューメディアとして大きな比重を持ちつつある視聴覚資料は積極的に収集する。
- ④ すべての分野において「今」に対応する新鮮な資料を豊富に収集する。
- ⑤ 資料の選択にあたっては、次の点に留意する。
 - ・多様な対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - ・著作者の思想的・宗教的・党派的立場にとらわれて、その著作物を排除しない。
 - ・図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない。
 - ・個人・組織・団体からの圧力や干渉によって、収集すべき資料を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制しない。
 - ・寄贈資料についても同様である。
- ⑥ 本市の特性に応じた次の事項に留意して収集する。
 - ・年少人口（0～14歳）の全人口に占める割合が28.7%（平成6年9月作成時資料より）と、全国市町村で最も高いという市の特徴から、児童サービスの重視とヤングアダルト層へのサービスを展開する。
 - ・市民平均年齢が30.9歳と年齢人口構成が示す“働き盛りで育児真っ最中”の世代に対応して、主婦層への情報提供を充実する。特に育児、暮らしなどに関する資料の収集提供に努める。
 - ・テレビ育ち、コンピュータで遊ぶ若い世代に対する図書館の役割を考慮して、映像文化、音響文化の拡がりに繋がる。映像資料、音声資料の拡充、月刊誌をはじめ雑誌、新聞、マンガ等
 - ・働き盛りの成人やヤングアダルト層にハンディで気軽に読める文庫及び新書本スタイルの資料を十分に用意する。
 - ・通勤サラリーマン世帯が広がるベッドタウン化の傾向から、サラリーマン世代が求める「今」に対応した新しい情報の提供に努める。

(4) 図書館行事等の状況

- 子供向けの「おはなし会」等を通年で開催。その他のイベントも多数開催
- この他、ブックトークなどの取り組みを実施

中央図書館では、以下のような様々なイベント・事業を実施しています（令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止から一部のイベントを中止、参加人数の制限を実施）。

【図書館行事（通年）】

イベント・事業	概要	実施状況	
		令和元年度	令和2年度
おはなし会	毎月第2土曜日、第4日曜日に「おはなし会」として、ボランティアや図書館司書による読み聞かせを実施	22回実施 大人147名、 子供276名参加	10回実施 大人54名、 子供147名参加
上映会	子供向け・大人向けの映画の上映会を実施	10回実施 大人293名、 子供242名参加	8回実施 大人48名、 子供53名参加
おひざにだっこ	毎月第4木曜日に「おひざにだっこ」として、赤ちゃんのためのお話しや手遊び、わらべ歌などを実施	11回実施 大人142名、 子供137名参加	7回実施 大人21名、 子供43名参加
リサイクル本の譲渡会	受入できなかった寄贈本や保存期限の切れた資料等を市民に提供	2回実施 譲渡数 3,270	3回実施 譲渡数 2,856

【図書館行事（抜粋）】

イベント・事業	概要	実施状況	
		令和元年度	令和2年度
図書館講演会	講師による文学に関する講演会を開催	1回開催 28名参加	—
発信する図書館	地域活性化につながる取り組みとして、地域産業に関する講演会を開催	1回開催 18名参加	1回開催 9名参加
生涯学習フェスティバル	ボランティアによる絵本の読み聞かせや図書館行事報告を実施	1回開催 大人60名、 子供106名参加	中止
ブックトーク	市内の小中学校に司書が出向き、図書の紹介（ブックトーク）を実施。併せて、図書の団体貸出も実施	派遣10校 参加1131人	派遣7校 参加1107人
小学生の図書館見学	図書館に親しみをもってもらうため市内の小学校2年生を対象に図書館の見学を実施	参加8校	参加2校

上記のほか、慰霊の日関連行事や読書週間など様々なイベントを実施

【その他の取り組み】

取り組み	概要	実施状況 (R2)
雑誌スポンサー制度	雑誌購入費用の削減や雑誌コーナーの充実などを目的に、スポンサーとなる事業所に雑誌購入費用を負担していただき提供雑誌の最新号のカバーに、スポンサー名と広告を掲載する制度	参加5社 提供10誌

(5) ボランティア活動

■ボランティアによる読み聞かせ等を実施

中央図書館では、ボランティアにより以下のような活動を行っています。

ボランティア 人数・団体	以下の3つのボランティア団体が活動を行っている。 ・ 図夢の会（14名） ・ 島田・ハート組（2名） ・ 橋本組（1名）
活動内容	■ ボランティアによる活動 ・ おひざにだっこ…図書館職員と協力し、月に1回読み手を担当 ・ おはなし会…月に2回、読み手を担当 ・ 生涯学習フェスティバルにおいて、「おはなしのへや」の取り組みを実施 ■ ボランティアの連携 ・ 読書ボランティアの連絡会

(6) ブックスタート (子育て支援課)

■乳児一般健診時に、全員を対象に絵本のプレゼントを実施

乳児一般健診時に、全員を対象に絵本のプレゼントを実施しています。(令和3年度まで)

事業概要	<p>乳児一般健康診査事業・絵本プレゼント ※乳児一般健康診査前期(3～6か月児)を受診したすべての子供を対象に絵本のプレゼントを実施 ※平成23年度から実施</p>																																												
実施状況 (年度別)	<table border="1" data-bbox="495 728 1388 1310"> <thead> <tr> <th></th> <th>健診対象人数 (乳児健診前期)</th> <th>健診受診者 (絵本配布数)</th> <th>受診率 (絵本配布率)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H23</td><td>847</td><td>818</td><td>96.5</td></tr> <tr><td>H24</td><td>940</td><td>884</td><td>94.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>949</td><td>871</td><td>91.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>891</td><td>865</td><td>97.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>917</td><td>836</td><td>91.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>916</td><td>835</td><td>91.2</td></tr> <tr><td>H29</td><td>861</td><td>811</td><td>94.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>827</td><td>775</td><td>93.7</td></tr> <tr><td>R1</td><td>760</td><td>698</td><td>91.8</td></tr> <tr><td>R2</td><td>—</td><td>510</td><td>—</td></tr> </tbody> </table> <p>※令和2年度は乳児健康診査の方法を変更したため、従前のおり健診対象人数及び受診率を算定することができないため「—」と表示しています。</p>		健診対象人数 (乳児健診前期)	健診受診者 (絵本配布数)	受診率 (絵本配布率)	H23	847	818	96.5	H24	940	884	94.0	H25	949	871	91.8	H26	891	865	97.1	H27	917	836	91.2	H28	916	835	91.2	H29	861	811	94.2	H30	827	775	93.7	R1	760	698	91.8	R2	—	510	—
	健診対象人数 (乳児健診前期)	健診受診者 (絵本配布数)	受診率 (絵本配布率)																																										
H23	847	818	96.5																																										
H24	940	884	94.0																																										
H25	949	871	91.8																																										
H26	891	865	97.1																																										
H27	917	836	91.2																																										
H28	916	835	91.2																																										
H29	861	811	94.2																																										
H30	827	775	93.7																																										
R1	760	698	91.8																																										
R2	—	510	—																																										
保護者の声	<ul style="list-style-type: none"> ・無料で本をもらえるのは嬉しい。 ・まだ字が読めなくても絵本と触れ合う機会を作った方が良い事に気づかされ、発見があった。 																																												
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児健診では、平成23年度より母子保健推進員の活動としての絵本プレゼントを行ってきた。 																																												

1-5 学校図書館の状況

1. 学校図書館の概要

市内には小学校が8校、中学校が3校あり、それぞれの学校図書館の概要は以下のとおりです。

図 小中学校と中央図書館の位置



[資料：国土地理院地図]

図 小中学校ごとの蔵書数

学校名	児童・生徒数		蔵書数		1人あたり蔵書数		蔵書の基準※1		
	H25	H29	H25	H29	H25	H29	基準値	達成	
小学校	上田	1,206	722	14,607	10,729	12	15	12,560	
	長嶺	541	526	11,031	11,462	20	22	11,160	達成
	座安	412	424	10,683	10,850	26	26	10,560	達成
	豊見城	476	548	9,860	8,110	21	15	11,360	
	伊良波	594	667	10,421	10,284	18	15	11,960	
	とよみ	702	681	13,839	13,213	20	19	11,960	達成
	豊崎	655	866	9,282	12,043	14	14	13,000	
	ゆたか	—	598	—	8,035	—	13	11,360	
中学校	豊見城	780	805	10,994	11,837	23	22	15,840	
	長嶺	603	580	14,964	14,700	25	25	14,240	達成
	伊良波	708	756	14,357	12,956	20	17	15,520	

※1…「学校図書館図書標準（文部科学省平成5年3月）」に定められる学級数に応じた整備すべき蔵書の標準

※各学校1名ずつ専任の職員を配置

[資料：(児童・生徒数) 統計とみぐすく平成29年度版 (蔵書数他) 各学校提供資料]

2. 中央図書館との連携

中央図書館と市内小中学校の学校図書館はそれぞれ連携し、以下のような取り組みを行っています。

■学校図書館への図書館資料貸出

学校名	貸出数		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
上田小学校	107	90	48
長嶺小学校	216	315	46
座安小学校	0	52	1
豊見城小学校	201	211	0
伊良波小学校	150	80	0
とよみ小学校	52	124	15
豊崎小学校	106	46	22
ゆたか小学校	412	334	19
豊見城中学校	0	100	0
長嶺中学校	0	37	0
伊良波中学校	157	57	0
合 計	1,401	1,446	151

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

■ブックトーク派遣事業（令和2年度）

実施日	学校	実施対象	派遣職員数
8/25・26（火・水）	豊崎小学校	3年生4クラス135名	3人
9/1・8（火・水）	上田小学校	3年生4クラス119名	3人
9/15・16・18（火・水・金）	豊見城中学校	2年生7クラス277名	3人
10/20・21（火・水）	ゆたか小学校	3年生4クラス114名	3人
10/27・28（火・水）	伊良波中学校	1年生4クラス151名	3人
10/29（木）	豊見城小学校	3年生3クラス109名	3人
11/4（水）	とよみ小学校	3年生3クラス102名	3人
合 計		29クラス（1,007名）	21人

[資料：豊見城市立中央図書館報 第7号]

1-6 図書館に関する他市町村（同規模）との比較

中央図書館の特徴を把握するため、県内・全国の人口が同規模の市町村や「これからの図書館の在り方検討協力者会議」報告書にある目標基準例との比較を行います。比較は、図書館の資料数や貸出し数など基本的な項目について、沖縄県内で人口規模が同等（人口6万人以上8万人未満）である糸満市・名護市及び全国で人口規模が同等の市町村（人口6万人以上8万人未満。以下、同規模市町村といいます）で行います。

また、「これからの図書館の在り方検討協力者会議」報告書の目標基準例に基づき、人口規模が同等の市町村で貸出密度（住民一人あたりの貸出資料数）が上位10%の市町村（以下、全国上位10%市町村といいます）との比較も行います。

※全国上位10%市町村：宮城県多賀城市、福島県白河市、茨城県笠間市、茨城県守谷市、埼玉県鶴ヶ島市、山梨県甲斐市、長野県塩尻市、愛知県田原市、京都府京田辺市、兵庫県三木市、福岡県福津市

※以降の表やグラフでは、一つの市町村に複数の図書館がある場合は、各図書館の合計値をその自治体の数値として用います。

(1) 図書館の規模

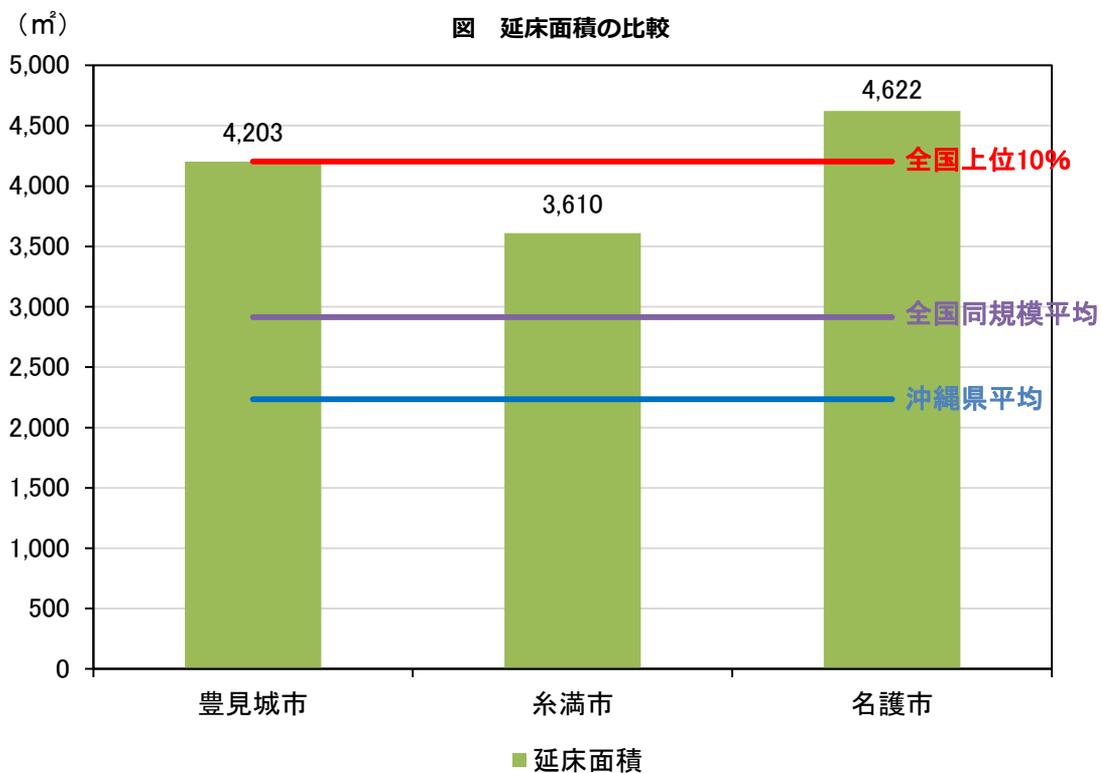
- 延床面積は同規模市町村より広く、全国上位 10%市町村と同等
- 職員数は同規模市町村と同程度であるが、全国上位 10%市町村の約 6 割程度

① 図書館の延べ床面積

中央図書館の延べ床面積は 4,203 m²であり、同規模市町村（平均 2,915 m²）と比べ、約 1.5 倍広い面積を所有しており、全国上位 10%市町村（平均 4,204 m²）とほぼ同等です。

表 延床面積の比較

種別	延床面積 (m ²)	人口一人あたり (m ² /人)
豊見城市	4,203	0.07
糸満市	3,610	0.06
名護市	4,622	0.07
沖縄県内市町村立図書館平均	2,235	0.08
同規模市町村平均	2,915	0.04
全国上位 10%市町村平均	4,204	0.06



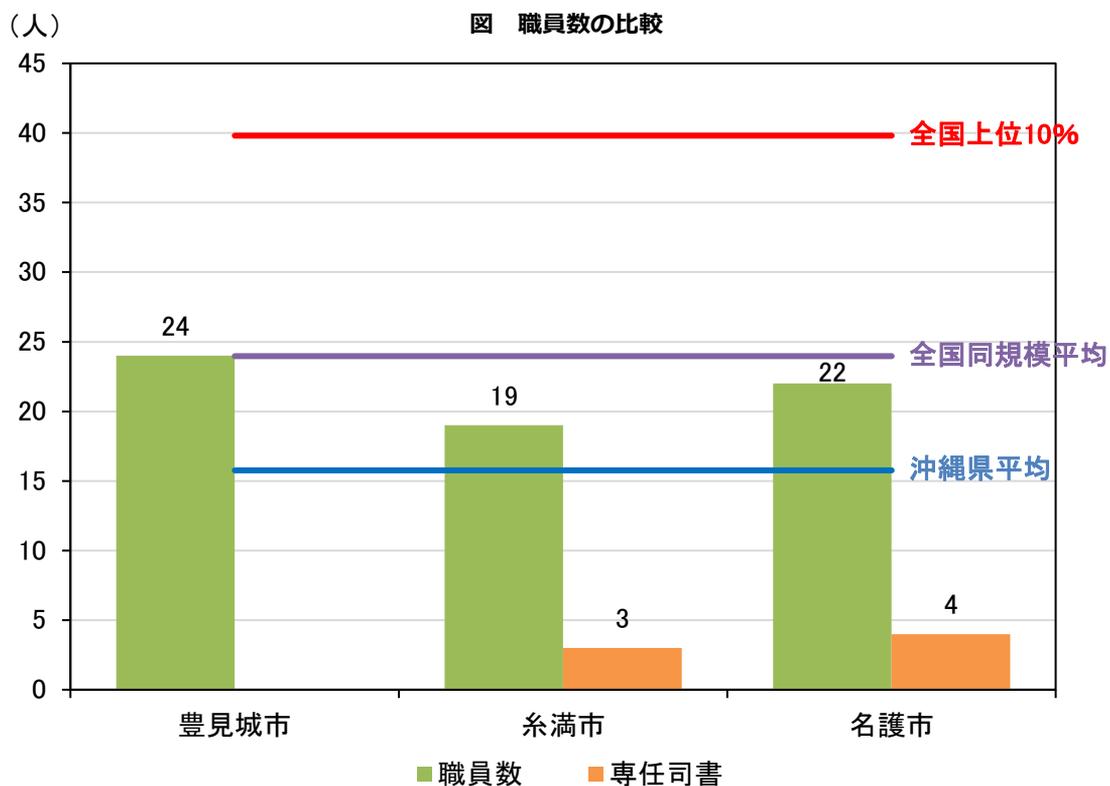
[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

② 職員数

中央図書館の職員数は24名であり、同規模市町村（平均24人）と同等ですが、全国上位10%市町村（平均39.8人）より40%程度少なく、差がみられます。

表 職員数の比較

種別	職員数 (人)	うち専任司書 (人)
豊見城市	24.0	0.0
糸満市	19.0	3.0
名護市	22.0	4.0
沖縄県内市町村立図書館平均	15.8	2.1
同規模市町村平均	24.0	2.8
全国上位10%市町村平均	39.8	4.4



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

(2) 資料

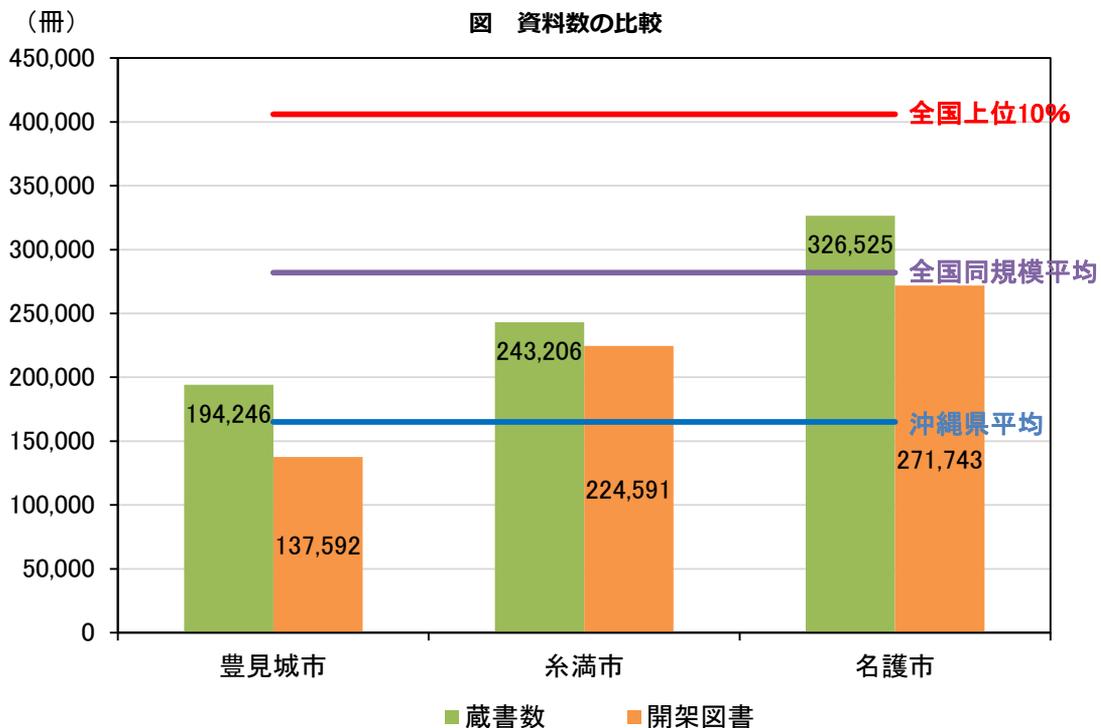
■現在の一人あたり資料数・年間受入冊数とも、同規模市町村、特に全国上位10%市町村とは大差が見られる

①現在の資料数

中央図書館の一人あたりの資料数は3.09冊であり、同規模市町村（平均4.09冊）より25%程度少なく、全国上位10%市町村（平均5.90冊）より50%程度少ない状況です。

表 資料数の比較

種別	蔵書数 (冊)	うち開架図書 (冊)	人口一人あたり (冊/人)
豊見城市	194,246	137,592	3.09
糸満市	243,206	224,591	3.99
名護市	326,525	271,743	5.22
沖縄県内市町村立図書館平均	164,927	111,924	4.53
同規模市町村平均	282,035	167,142	4.09
全国上位10%市町村平均	405,981	257,616	5.90



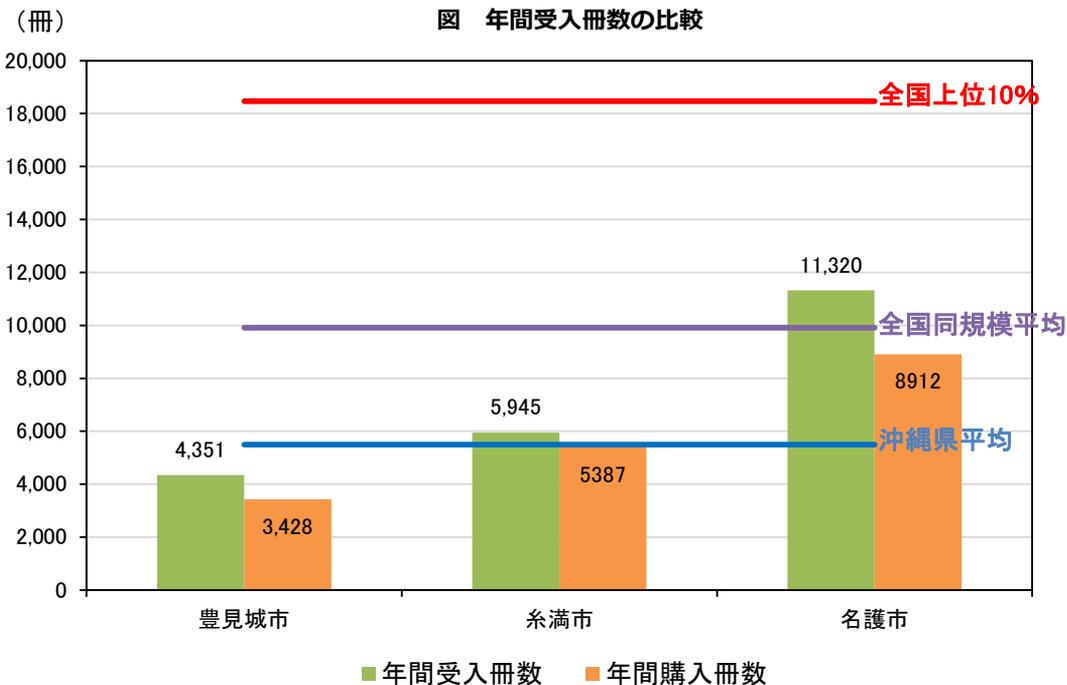
[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

② 年間受入冊数

中央図書館の一人あたりの年間受入冊数は0.07冊であり、同規模市町村（平均0.14冊）より50%程度少なく、全国上位10%市町村（平均0.28冊）より75%程度少ない状況です。

表 年間受入冊数の比較

種別	年間受入冊数 (冊)	うち購入冊数 (冊)	人口一人あたり (冊/人)
豊見城市	4,351	3,428.00	0.07
糸満市	5,945	5,387.00	0.10
名護市	11,320	8,912.00	0.18
沖縄県内市町村立図書館平均	5,497	4,100.36	0.17
同規模市町村平均	9,912	8,619.59	0.14
全国上位10%市町村平均	18,463	15,768.45	0.28



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

(3) 奉仕

- 登録者率は全国上位 10%市町村とほぼ同等
- 貸出数、予約数は同規模市町村、全国上位 10%市町村とも差がある
- 文献複写枚数は同規模市町村と大差ないが、全国上位 10%市町村とは差がある

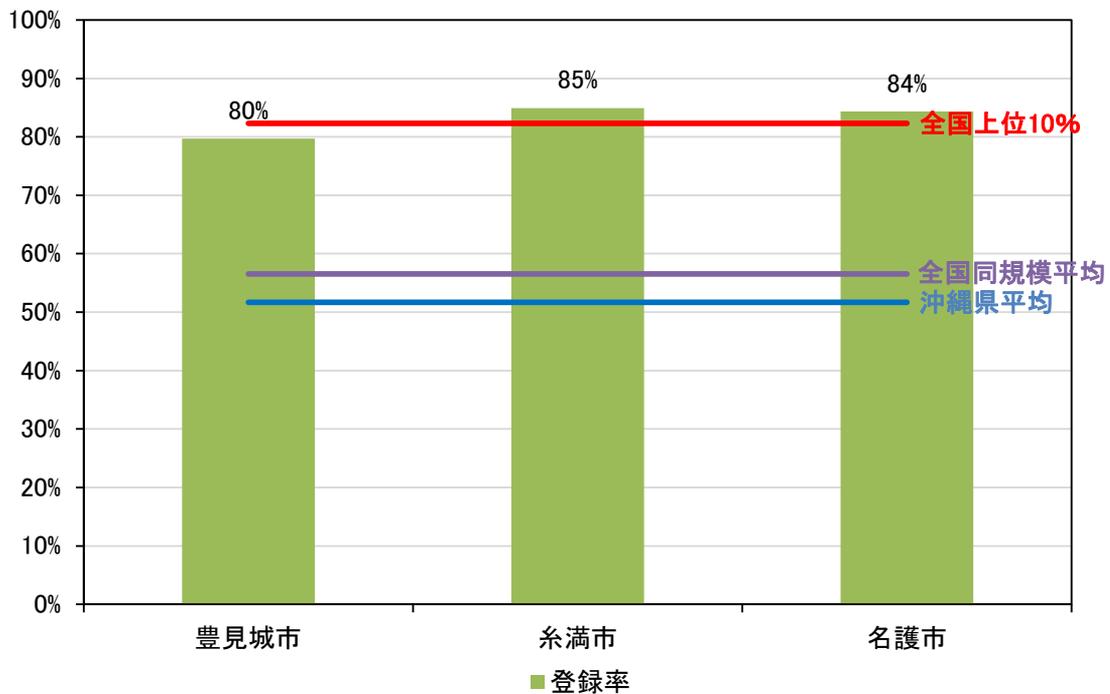
① 登録者数

中央図書館の登録率（人口に対する登録者数）は 79.7%であり、同規模市町村（平均 56.6%）より高く、全国上位 10%市町村（平均 82.3%）と比較しても大差ありません。

表 登録者の比較

種別	登録者数 (人)	登録率
豊見城市	50,127	79.7%
糸満市	51,701	84.9%
名護市	52,788	84.4%
沖縄県内市町村立図書館平均	29,020	51.7%
同規模市町村平均	39,075	56.6%
全国上位 10%市町村平均	56,040	82.3%

図 登録者の比較



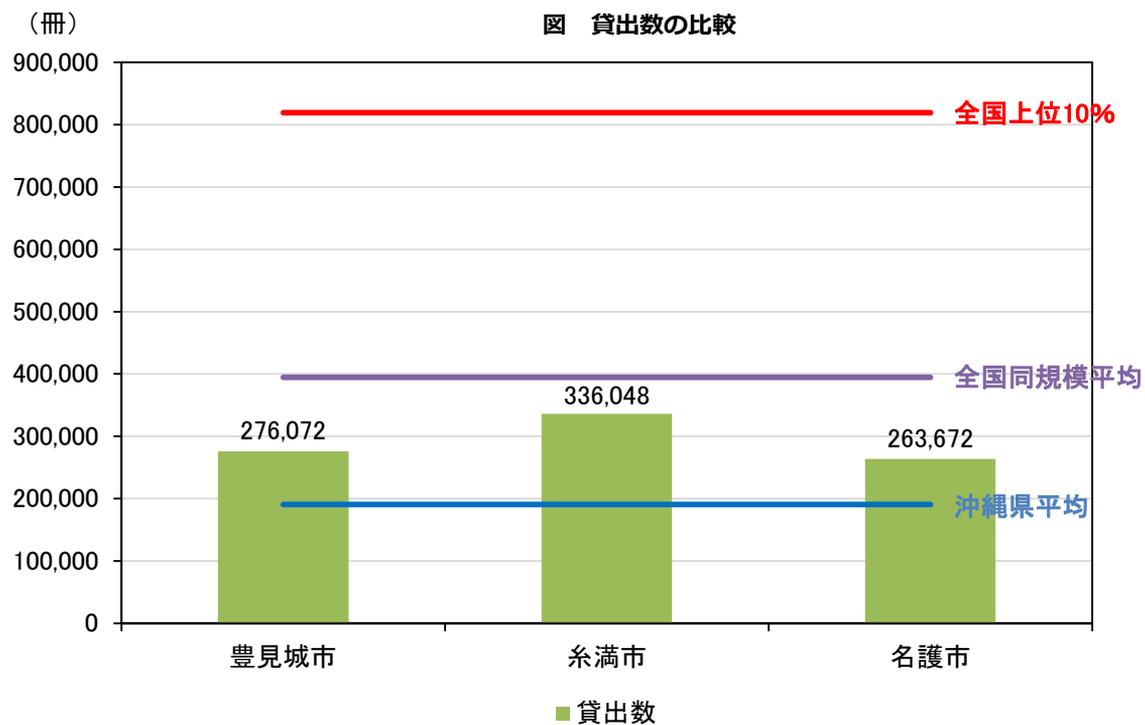
[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

② 貸出数

中央図書館の人口一人あたりの貸出数は4.39冊であり、同規模市町村(平均5.71冊)より25%程度少なく、全国上位10%市町村(平均11.94冊)より60%程度低い状況です。

表 貸出数の比較

種別	貸出数 (冊)	人口一人あたり (冊/人)
豊見城市	276,072	4.39
糸満市	336,048	5.52
名護市	263,672	4.21
沖縄県内市町村立図書館平均	190,645	3.65
同規模市町村平均	394,728	5.71
全国上位10%市町村平均	819,532	11.94



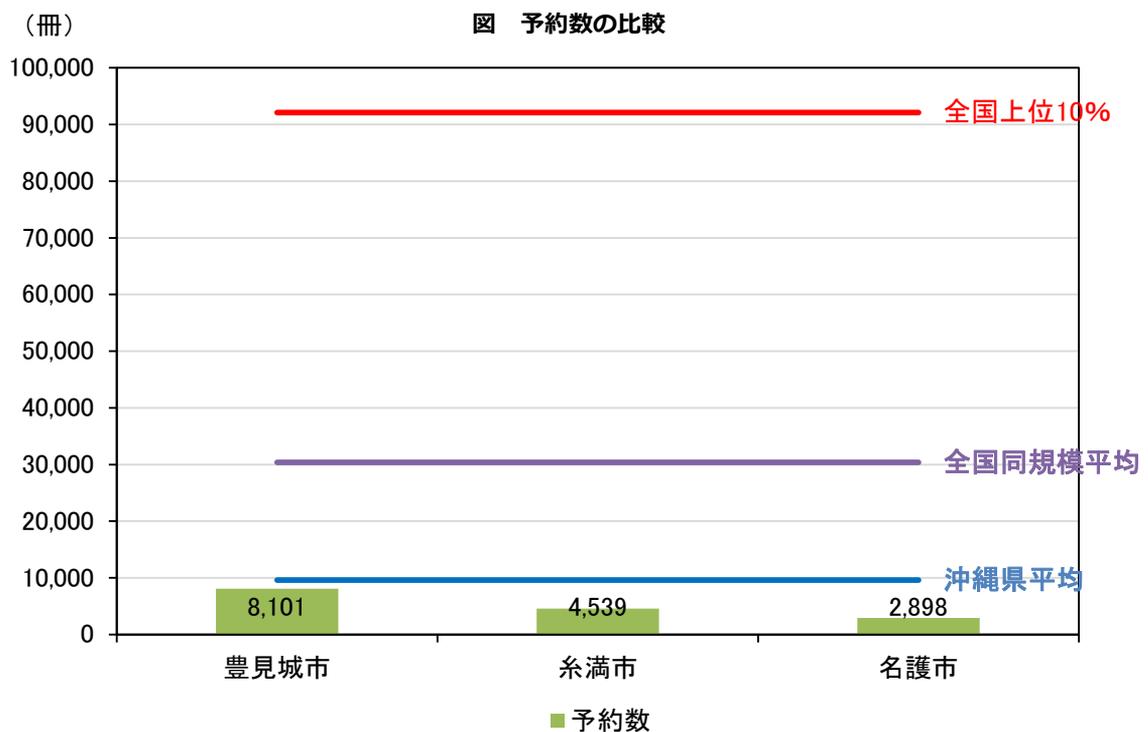
[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

③ 予約数

中央図書館の人口一人あたりの予約数は0.13冊であり、同規模市町村（0.44冊）より70%程度少なく、全国上位10%市町村（平均1.32冊）より90%程度低い状況です。

表 予約数の比較

種別	予約数 (冊)	人口一人あたり (冊/人)
豊見城市	8,101	0.13
糸満市	4,539	0.07
名護市	2,898	0.05
沖縄県内市町村立図書館平均	9,574	0.08
同規模市町村平均	30,360	0.44
全国上位10%市町村平均	92,119	1.32



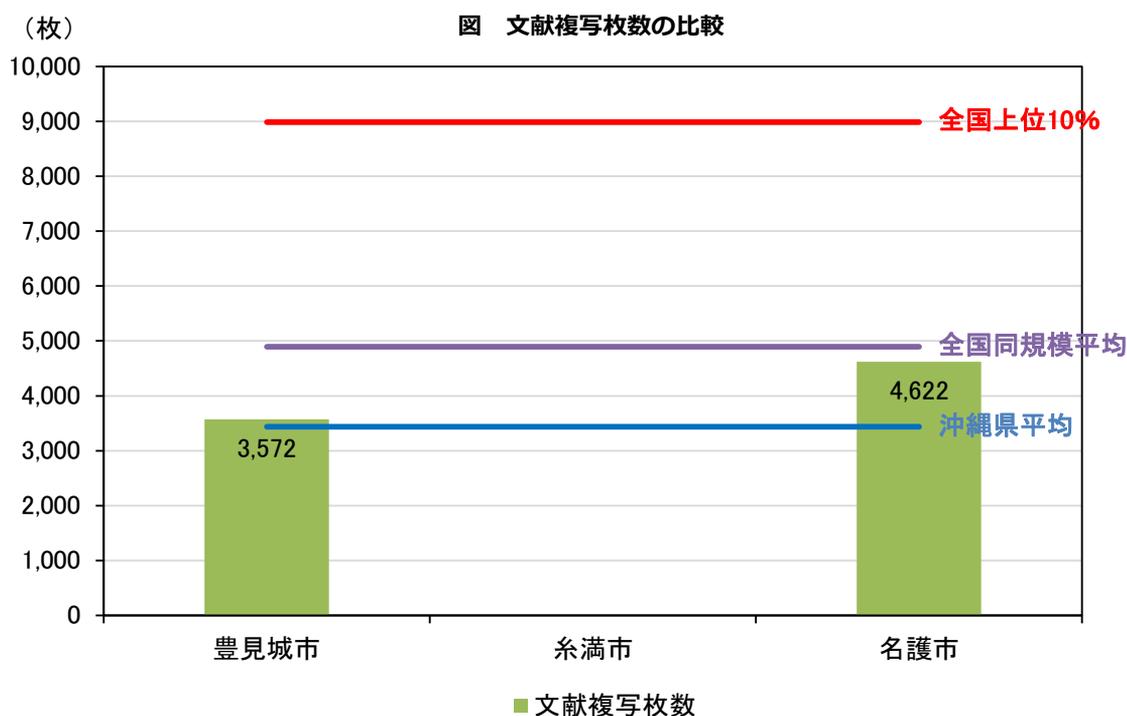
[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

④ 文献複写枚数

中央図書館の人口一人あたりの文献複写枚数は 0.06 枚であり、同規模市町村（平均 0.07 枚）とほぼ同等ですが、全国上位 10%市町村（平均 0.13 枚）より 50%程度低い状況です。

表 文献複写枚数の比較

種別	文献複写枚数 (枚)	人口一人あたり (枚/人)
豊見城市	3,572	0.06
糸満市	—	—
名護市	4,622	0.07
沖縄県内市町村立図書館平均	3,435	0.05
同規模市町村平均	4,897	0.07
全国上位 10%市町村平均	8,988	0.13



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

(4) 経費

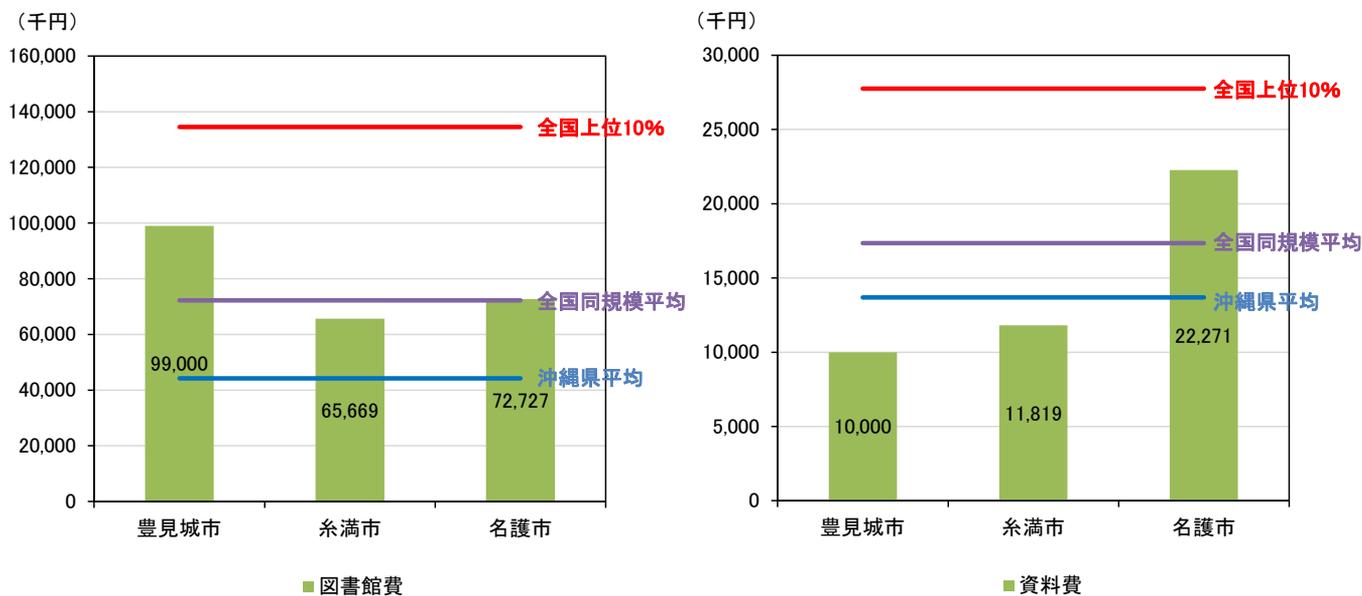
■人口一人あたり経費は同規模市町村や全国上位 10%市町村と倍以上の差

中央図書館の人口一人あたり経費（平成 28 年度決算額）は 159 円であり、同規模市町村（平均 251 円）より 40%程度低く、全国上位 10%市町村（平均 410 円）より 60%程度低い状況です。

表 経費の比較

種別	図書館費(千円)					1人あたり資料費(円)
		資料費(千円)				
		図書費(千円)	雑誌新聞費(千円)	視聴覚費(千円)		
豊見城市	99,000	10,000	8,000	1,500	500	159
糸満市	65,669	11,819	7,323	1,969	956	194
名護市	72,727	22,271	20,002	2,269	0	356
沖縄県内市町村立図書館平均	44,183	13,682	6,785	1,520	446	322
同規模市町村平均	72,205	17,348	12,973	2,154	836	251
全国上位 10%市町村平均	134,521	27,758	20,084	3,698	2,749	410

図 経費の比較



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

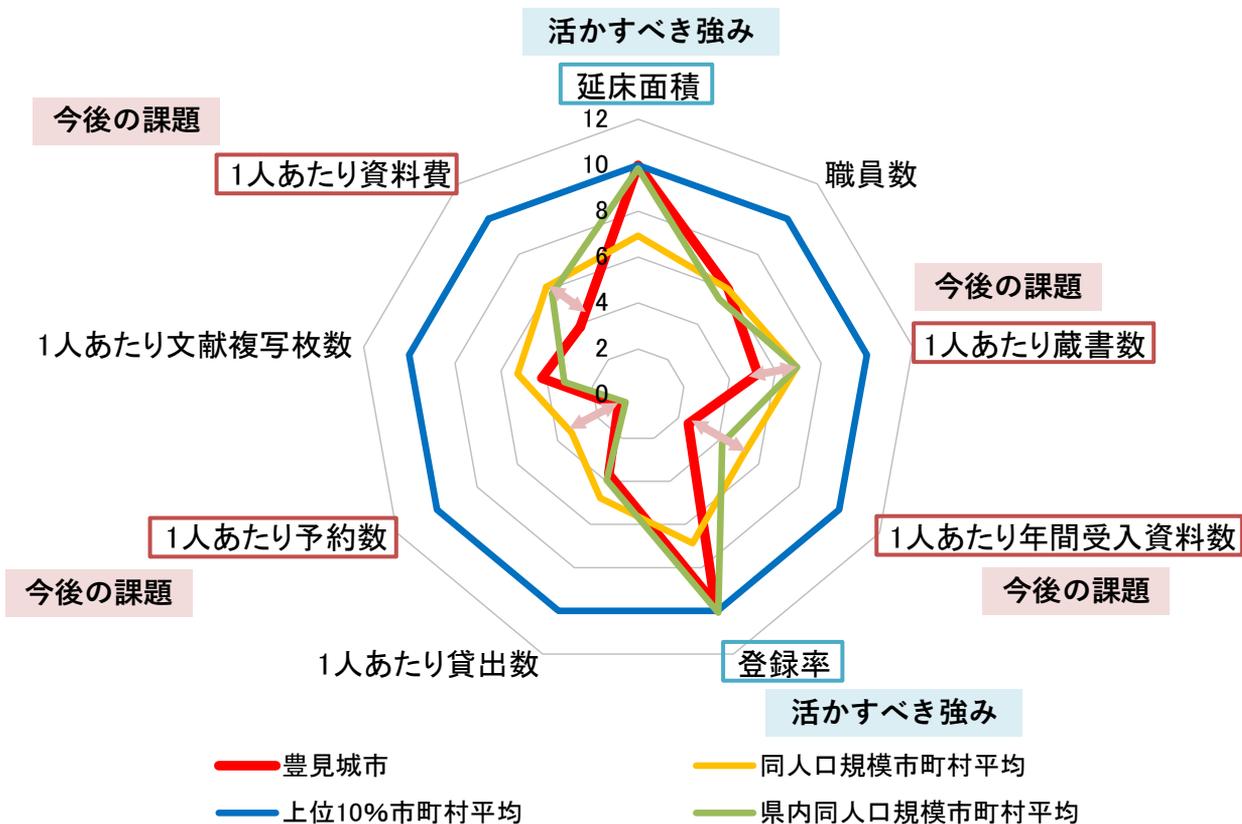
(5) まとめ

- 活かすべき強みとして、「延床面積」「登録率」
- 今後の課題として、「1人あたり蔵書数」「1人あたり年間受入資料数」「1人あたり予約数」「1人あたり資料費」

本市は図書館の面積や登録率が非常に高く活かすべき強みと言えます。一方で、蔵書数や年間受入資料数、予約数、資料費は同規模市町村と比較しても低く、今後の課題と言えます。その他の、職員数や貸出数、文献複写枚数は平均的ですが、全国上位10%市町村とは大きな差があります。

沖縄県内でみると、同規模市町村である名護市及び糸満市と比較すると、蔵書数や年間受入資料数、資料費が低く、全国と比較したときと同様に今後の課題であることが分かります。

図 全国上位10%市町村を10としたときの各項目の数値



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

(6) その他

① 開館時間・開館日数

中央図書館の開館時間や開館日数は沖縄県内の図書館と大きく変わりません。

表 開館時間・開館日数の比較

種別	開館時刻	閉館時刻	開館時間	開館日数
豊見城市	10:00	19:00	9:00	271
糸満市	10:00	19:00	9:00	-
名護市	9:00	19:00	10:00	285

図 沖縄県内の市町村立図書館の開館時間

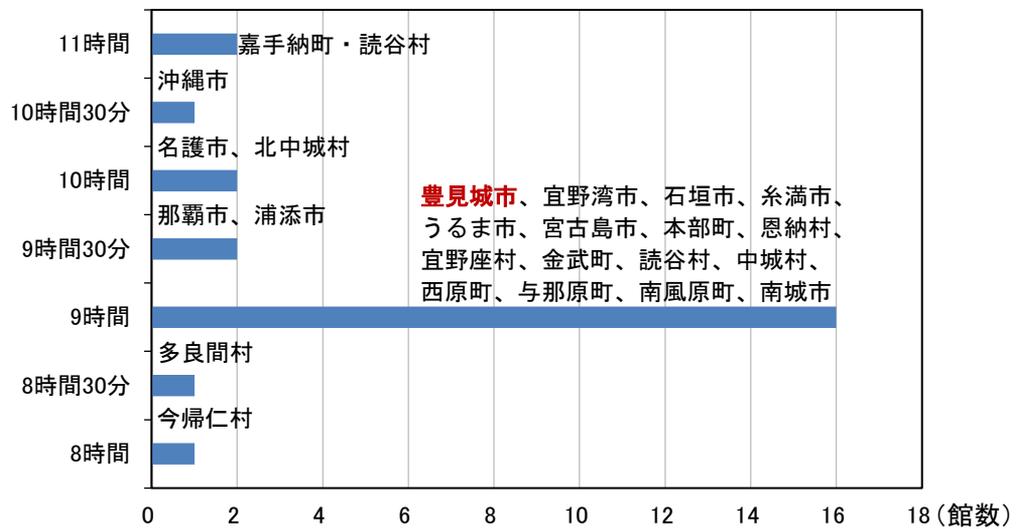
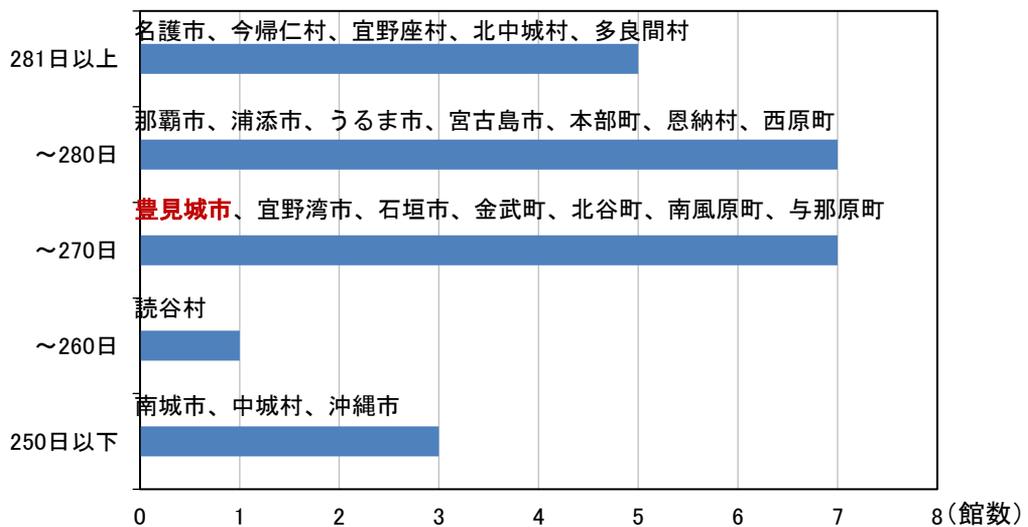


図 沖縄県内の市町村立図書館の開館日数



[資料：日本の図書館 統計と名簿 2018]

1-7 現行計画に対する評価

平成5年に策定した豊見城村立中央図書館基本計画・建設計画書（以下、「現行計画」といいます）について、現状評価を行います。

（1）基本機能・サービス網の段階的整備

<基本機能の考え方>

- ・ 村立図書館の基本的機能は、図書館資料を収集整理、保存して利用者の要求に応じて提供し、村民の知る権利、学習する権利を保障することにある
- ・ 「いつでも、誰でも、どこに住んでいても」図書館サービスを受けられる状態をつくり出すことが必要
- ・ 本館、いくつかの分館・分室及び自動車図書館を拠点にその他の機関とのサービス網を張り巡らし、全体としてのシステムを形成して、有機的に村民サービスを行うことが必要
- ・ 一挙に図書館サービス網を整備するのは不可能であるため、周到な計画を立て、段階的に順次実現を図る、すべての豊見城村民に均質な図書館サービスが行われるようにしたい。

<現状評価>

現行計画	現在の取り組み・状況
中央図書館の機能として、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館サービス網の運営 ・ 図書等の貸出と読書案内 ・ 調査・研究に対する援助 ・ 郷土・行政資料の収集・保存・提供 ・ 視聴覚資料の収集・保存・提供 ・ 障害者サービスのための資料の収集・作成・提供 ・ 村民の文化活動のための場の提供 ・ 分館・分室、自動車図書館の効率的運営のための調整・管理 ・ 図書館利用の推進、広報活動 ・ 施設の保守、管理業務の統括 	現在では、社会・市民ニーズに基づいた図書館運営がなされ、資料の収集・保存、貸出、レファレンスサービス等はもちろん、その他にも様々な取り組みが行われています。
分館・分室の機能として、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書等の予約・貸出 ・ 読書案内 ・ レファレンスサービス 	
自動車図書館の機能として、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書の貸出、読書案内、予約 	

今後の方針

- ・ 現在の取り組みを基本に、社会・市民ニーズにあわせ、図書館の基本的な機能（資料の収集・保存、貸出、レファレンスサービス等）はもちろん、様々な取り組みを行います。
- ・ 誰もが利用しやすいインターネットを利用した電子図書館等の整備を行います。
- ・ 道路や公共交通は今後も進展が予想されることから分館や分室、自動車図書館の整備は想定しません。

(2) サービス

＜現状評価＞

現行計画	現在の取り組み・状況
①一日平均の来館者 平日 200～300 人 土・日曜日 500～700 人 成人：青少年：児童＝3：1：6 ②一日平均の貸出冊数 平日 2,000 冊 土・日曜日 2,000～3,000 冊	<ul style="list-style-type: none"> ・来館者数は約 590 人/日※ (平日：約 570 人/日 休日：約 670 人/日) ・貸出サービスの利用者は 224 人/日 (平日：約 180 人/日 休日：約 300 人/日) ・貸出冊数は 1,093 冊/日 (平日：約 810 冊/日 休日：約 1610 冊/日) ・来館者は現行計画の目標値を超えています。一方で、貸出冊数はインターネットや電子書籍の普及など当時と社会情勢が大きく異なることもあり、現行計画の目標値は達成できていません ※来館者は令和2年10月から測定を開始 令和2年10月～令和3年3月の数値
貸出をサービスの中心におく ・貸出・閲覧による資料の提供 ・読書案内、予約、レファレンスサービス等	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の提供や案内、予約、レファレンスサービス等が行われています
豊富で新鮮な資料をそろえる ・村民の多様な関心に沿いできるだけ幅広くそろえる ・他機関との相互貸借によって、村民の要求に応える	<ul style="list-style-type: none"> ・21.1万冊の蔵書があり、豊富な資料を収集しています ・リクエスト制度により市民ニーズに沿った資料収集が行われています ・国立国会図書館デジタル複製サービス運用が行われているほか、県立図書館・県内市町村立図書館・琉球大学図書館との相互貸借が行われています
子供に読書の楽しさを ・図書に親しませる ・読書の楽しさを再認識	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年向け 13,200 冊、子供向け 46,690 冊の蔵書 ・子供向けのお話会の開催の他、おひざにだっこやブックトークなど読書に触れ合う機会を積極的に提供しています
高齢者・障害者へのサービスを大切にする ・気軽に安心して利用できるよう施設・設備、資料提供の面で工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害者も利用しやすいよう、体面朗読室や車いすへの対応設備、専用機を整備している他、点字図書、大活字本、デイジー図書、朗読 CD 等を備えています
村民の生涯学習を援助 ・学習活動の援助 ・文化活動の拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の支援として、学習スペースの提供や地域団体等と連携した取り組みを行っています
村民の情報センターとしての図書館 ・各分野の資料を可能な限り収集 ・地域資料の収集と活用に注力し、情報発信基地としての機能を重視	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料を 24,007 冊収集しています

今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、多くの市民にとって利用しやすい図書館環境を整備することで利用を推進するとともに、利用者の満足度の向上を目指します ・貸出については、図書館の基本的な機能として引き続きサービスの提供を行います ・資料については、今後も市民ニーズに沿った資料の収集に努めるとともに他機関との相互貸借により市民の要求に応えます ・子供が読書に親しみをもってもらえるよう資料の収集、各種イベント等の開催を行います ・高齢者の増加が予想されるため、一層の設備の充実を図ります

(3) 他図書館との連携・協力・ネットワーク

<現状評価>

現行計画	現在の取り組み・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・自館に所蔵せず、収集が困難な資料については他の図書館や機関との相互貸借を通じて、村民の要求に応じていく必要がある（連携・協力の対象） ・国会・県立図書館 ・近隣の市町村立図書館 ・県内の大学図書館 ・村内の学校図書館 ・その他専門図書館・類似機関 	<ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館デジタル複写サービス運用を行っています ・県立図書館・県内市町村立図書館・琉球大学図書館と相互貸借が行われています（令和元年度実績 貸出 249 冊、借受 207 冊） ・学校図書館との連携として、学校図書館への図書館資料の貸出（令和元年度実績 1,446 冊）、ブックトーク（図書館職員を各学校に派遣し、読み聞かせを実施。令和元年度実績 10 学校、延べ 28 人を派遣）、図書館見学・職場体験・インターンシップの受入

今後の方針
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も資料収集方針に基づいた図書館資料の収集及び拡充を図ります。

(4) 中央図書館が必要とする資料

<現状評価>

		現行計画		現在の状況	
開架	成人向け	一般書	30,000 冊 (50,000 冊)	一般書	84,252 冊
		参考図書 (郷土資料含む)	6,000 冊 (10,000 冊)	参考図書	6,713 冊
		婦人と暮らし関係図書	9,000 冊	郷土資料	24,007 冊
		青少年向け図書	9,000 冊	暮らし	17,924 冊
		児童向け図書 (絵本・紙芝居を含む)	21,000 冊 (36,000 冊)	YA	13,200 冊
	新聞	一般	25 紙	児童	46,690 冊
		児童	6 紙	新聞 (一般)	21 紙
	雑誌	一般向け	250 誌	新聞 (児童)	3 紙
		青少年	20 誌	雑誌	172 誌
		児童	15 誌		8,360 冊
保存	図書	計 400,000 冊			
	新聞				
	雑誌				
視聴覚	CD	10,000 本 (15,000 本)	視聴覚	9,969 本	
	録音テープ	1,000 本 (5,000 本)			
	ビデオテープ	2,000 本 (9,000 本)			
	館内視聴用 AV	1,000 本			
			その他	310 冊	

() 内は将来計画の数値

※現在の状況は図書館報 7 号より記載

今後の方針

・今後も資料収集方針に基づいた図書館資料の収集及び拡充を図ります。

(5) 組織・職員構成

<現状評価>

現行計画	現在の取り組み・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑な館運営のため十分な職員体制の確保が重要 ➢館長 1人 庶務整理係 3人 館内奉仕係 14人 館外奉仕係 5人 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の組織・職員は館長1名、職員2名、会計年度任用職員25名（司書、一般事務）で運営されています（P38参照） ・現行計画より多くの人数を確保しており、また、システム化等により円滑な図書館運営が行われています。組織体制は図書館運営や蔵書にあわせ、現在の形となっています

今後の方針

- ・今後も円滑な館運営につながるよう適切な組織構築、人員配置を行います。また、レファレンスサービス等市民の相談や調査に対応できる職員の育成を行います。

(6) コンピュータによる業務処理

<現状評価>

現行計画	現在の取り組み・状況
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータを活用した図書館の運営・管理による、利用者への資料の提供・資料情報の提供・資料検索等の業務を効果的に行い、図書館サービス及び管理を「質・量」とともに向上させ、利用者のサービスの拡大を図る ・業務処理の概要 <ol style="list-style-type: none"> ①サービスシステム（貸出、資料検索、資料案内・情報提供） ②管理業務システム（資料管理、整理・目録、発注・受入管理、統計業務） ③地域資料のデータベースの構築 ④図書館システム及びネットワーク（村立図書館内、村内学校・社会教育施設間、県内他図書館） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立中央図書館及び市内小中学校図書館では図書館システムにより利用者へのサービス提供をしています ・市立中央図書館では、館内利用者用資料検索機（館内 OPAC）やネットを介しての検索等システム（Web OPAC）を導入しています ・市立中央図書館では利用者が自ら資料の貸出処理を行える自動貸出機の導入を令和3年度中に始め、翌年度以降も台数を増やし、市内小中学校図書館への設置も行う予定としております ・市立中央図書館では、令和2年度10月より来館者の人数を計測・集計する来館者カウンターを設置及び運用開始し、図書館利用状況の把握に役立っています

今後の方針

- ・幅広いニーズと時代の変化に対応した図書館システムのリプレースを適宜行い、資料データの適切な管理と利用者サービスの向上を図ります。また、市立中央図書館・市内小中学校図書館間のシステム連携を構築していきます。

1-8 司書ヒアリング

中央図書館の現状について、図書館サービスの現場で利用者と実際に接している司書にヒアリング調査を行います。

(1) 図書館の現状について

項目	意見
設置	<p><分館・移動図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口増加に伴い、地域住民に十分なサービスが行き届くよう分館の設置、または移動図書館の検討が望ましい ※那覇市人口 31 万に対し分館 8 館。また糸満・浦添など近隣図書館ではブックモバイル（移動図書館）など取り組んでいる ※市内遠方から自家用車以外の来館は不便と考えられる ※子供でも徒歩圏内で利用したいとの声もある ※統計的に市内遠方の地域は利用が低い ・分館や移動図書館が難しいのであれば、電子図書の充実、公民館・児童館への団体貸出、庁用車で市内巡回（移動図書館の代替として）等が望ましい <p><アクセス性の向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内一周バスの利用案内（図書館前バス停が設置されている。バス停場所や時刻表案内）が必要ではないか <p><電子図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の利用促進（新着資料および特集表示の更新を積極的に行う）が望ましい
運営	<p><開館日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内整理日の固定が望ましい ※利用者からの問い合わせが多い ・こどもの日、ゴールデンウィーク期間、文化の日などは利用が見込まれるため開館が望ましい ※こどもの日、文化の日開館は、読書月間中（こども・秋）の利用促進につながる ・開館日について、職員体制的に可能であれば月曜日祝日の振替休館はないほうが望ましい（開館日数の確保） ・祝日の開館や時間延長はいずれ利用者の要望に応える体制にしても良いと考える
職員・ボランティア	<p><職員></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在土日勤務職員数（特に司書職）が減員のため、業務負担が大きく、改善が必要 ・有資格者でない職員に対して、司書とは別途にカウンター業務（資料検索等）の基礎的・実務的な研修が必要ではないか（カウンター対応水準の引き上げ）

項目	意見
職員・ボランティア (続き)	<p><ボランティア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアを毎年募集し(または更新し)、「おはなし会」「おひざにだっこ」の開催、「本の修理」「排架作業」「新聞製本」等のお手伝いを依頼してはどうか ※読み聞かせボランティア以外に排架・修理・館内周囲の植栽等など、資格がなくても活動できる作業もある <p><オペレーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務マニュアルの整備強化(装備仕様や資料登録方法など、全館的に統一できるように作成)が望ましい ・図書館運営に、図書館専門職(司書)以外の視点を取り入れてはどうか ※司書でない職員の「図書館を知らない」観点から、図書館のPR法や図書館でこういうことができるとおもしろい、というアイデアを基に広報やイベントを担当してもらう ・職員の配置・業務量を再検討し、蔵書構築に力を注げるようにしたい
施設・設備	<p><レイアウト></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書」「調べもの」目的の利用者と「自主学习」目的の利用者の住み分けが必要ではないか ※現在試験的に行っている集会室解放の効果を検証したい ・感染症予防対策時以前の通常時は、閲覧席・学習席ともに充実していると考え ・長時間滞在される方など休憩される場所の設置が必要ではないか。(コロナ流行後)居心地のよい綺麗な図書館づくりとしてテラス席の利用充実を図りたい <p><設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの時代、ジェンダー用のトイレが必要ではないか ・出口の自動ドアが必要ではないか ・児童コーナーからの音漏れがしないような設備が必要ではないか(子供の声、おはなし会、足音等) ・ゆったりと、くつろげるスペースが必要ではないか(テラスの充実) ・館内Wi-Fiの整備(自分のPCやスマホで調べ物ができる環境の整備)が必要ではないか
資料	<p><蔵書></p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内に中央図書館の行政資料収集機能を周知し、さらなる地域資料の充実を図り「豊見城の発行物を見たいなら図書館にある」が実現できるような図書館にしてはどうか ・いま何が流行っているのか常に情報を収集し、本の選書に活かす(幅広い年齢の方に対応した選書)ことが必要ではないか ・市で発行する行政資料を優先的に図書館へ寄贈してほしい ・郷土資料の充実(特に豊見城に関する資料) <p><蔵書の収集></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本計画に沿った中・長期的な資料購入計画を策定してはどうか ※計画的な資料購入が蔵書構築につながる ・資料収集方針を見直し、長期的、中期的、単年度の資料購入計画を立て、計画的な蔵書構築を図ることが必要ではないか ・県内発行物(パンフレット)などは、職員が収集してはどうか

項目	意見
資料 (続き)	<p><蔵書の収集> (続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携をとって、情報、パンフレットを収集する ・図書資料以外、地域情報を周知する資料やパンフレット等の活用。市関係機関、観光機関等との連携が必要ではないか ※地域の知の拠点として取り組む <p><サービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエストサービスや寄贈の周知および拡充が必要ではないか ※利用者あたり年間購入冊数・金額の見直し等 ※中央図書館に所蔵してほしいという声の表れであり、市民が図書館の本を選べる唯一の手段であることから、できるだけ受け入れてはどうか ・他館との連携（相互貸借）や縁戚機関の紹介（レフェラルサービス）など所蔵資料以外での情報提供を充実させてはどうか ・図書を購入し、特集や新着として展示する以外にも、新鮮な情報の案内展示を効果的にできるようにする。マンネリ化しないように情報発信に努める必要があるのではないか ・特集など掲示やPOPなどディスプレイを目立たせ、本を手にとってもらう工夫が必要ではないか ・相互貸借について、県外図書館からも資料を取り寄せできる体制の構築を行ってはどうか ※配送料を利用者負担で実施している県外図書館もある
サービス (貸出等)	<p><オペレーション></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動貸出・返却機を設置してはどうか（資料のICタグ管理） ・貸出・返却処理の迅速化の工夫が必要ではないか ①自動貸出機の導入を検討 ②対面でなくても返却ができる工夫（カウンターに返却コンテナ・返却ポストの活用など） ③カウンターでの資料状態の確認をやめ、貸出・返却処理に徹する ・児童コーナーに貸出返却カウンター設置が必要ではないか <p><サービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子図書の利用促進（来館せず貸出返却が可能）が必要ではないか ・来館困難者へのサービスを検討（郵送サービス等）が必要ではないか ・図書館の休館日や開館時間帯に来館できない方でも、予約本など資料を受け取るサービス（図書受取ロッカー設置）が必要ではないか ・返却場所の設置（市役所・各公民館等）が必要ではないか
サービス (レファレンス等)	<p><レファレンスの強化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスの基礎資料リスト化、過去の対応例を検索できるシステム構築（図書館開館数年間は紙に記録しているため資料を探すのに時間がかかる）が必要ではないか ・検索媒体をフル活用し、納得のいくアンサーに繋げるために司書のスキルアップが必要ではないか ・中央カウンターでのレファレンス対応は他の利用者との兼ね合いもあり、深めることが難しいが、職員の継続的なスキルアップと真摯に対応する姿勢（レファレンス室に引き継いでクイックレファレンスをレファレンスやレフェラルサービスに発展させる姿勢など）が必要ではないか

項目	意見
サービス (レファレンス等) (続き)	<p><レファレンスの強化> (続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市各部署(担当課)や縁戚機関との連携強化(市内・県内の専門機関の情報収集等)が必要ではないか ・レファレンスカウンターには職員を2名配置しているため、調べ物への対応もある程度満足していただけているのではないか <p><レファレンスの利用促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス室の敷居が高い、レファレンス室の存在を知らないことも想定される ①ロッカーにかばんを預けるのが面倒 →試験的にかばん持ち込みを許可する ②「レファレンス」の言葉に馴染みがない、意味を知らない →・図書館だより等でレファレンスサービスについて繰り返し広報・周知 ・職員が利用者の問いを発展させるスキルを学ぶ ③「郷土資料」に興味がない、面白い資料が揃っていることを知らない →図書館だより等で郷土資料の内容を周知する
サービス (生涯学習等)	<p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の子供出生率の高さなどから、ブックスタートなど、市と連携し、本の紹介やセット本の強化を図りたい。また、図書館からのおすすめ本や良書を選択し、冊子などで案内 ・中高生向けイベントの検討(イラスト・写真などを扱う催し、SNSでの募集など参加しやすい方法を探る)してはどうか ・ヤング世代の行事を増やす(その場合ただ増やすのではなく、大人&子ども行事の数を調整する)ことが必要ではないか ・一般、高齢者むけの行事を開催してはどうか ※利用者から「一般向け行事を行ってほしい」との声がある ・年間行事計画をもっと手軽に入手できる工夫が必要ではないか ※開館カレンダーの裏面に年間行事予定表を印刷し、カウンターで配付し、参加者増につなげてはどうか(行事の広報が都度のため、思い付きで行事を行っている印象を受ける) ・市各部署(文化課等)と連携したイベントを開催してはどうか ・高齢者向け電子図書館の利用の仕方の講習会を開催してはどうか ・沖縄に関する講習会(行事・歴史等)を開催してはどうか
市民の 読書状況	<p><小中学生></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書との交流・連携(情報交換)が必要ではないか →学校図書館の司書に対して学校の宿題・課題等での本の活用の仕方を研修(または情報交換)し、児童・生徒に「本から知識を得ることの楽しみや、図書館には生活すべてのことがテーマになって本が存在していること＝本は生活に役立つこと」を伝えてもらうなど ※子供たちに「何かあったら本を見てみる、本から情報を得る、本は役に立つ」と実感してもらうことが必要 ・学校図書館との連携の強化が必要ではないか ①学校図書館にいながらにして中央図書館の資料を受け取ることができる配送サービスの導入 ②中央図書館と学校図書館の総合目録の構築 ③市内学校図書館司書研修会への参加、情報交換

項目	意見
市民の 読書状況 (続き)	<p><小中学生> (続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内学校へのブックトークの継続が必要ではないか。また、そのような機会でのPR (利用案内、ホームページやLINE 公式アカウントの紹介など) が必要ではないか ・中高生向けの情報発信 (YA だよりをホームページにアップ、LINE で新刊情報案内、電子図書の利用促進) が必要ではないか ・読書離れがあるなか、手軽に本に出合える環境づくりが必要ではないか ※図書館側の展示のノウハウを学ぶ必要性がある (ポップなど) ※読みやすい本も多く出版されている ・児童書の充実をはかる ・中高生向けに電子図書館の広報活動が必要ではないか
市民の 図書館利用	<p><図書館の周知></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館以外で市民が集まる場所でのPR (市役所、公民館、体育館など) ・ホームページの改良が必要ではないか ※利用者から「ホームページが探せない、見づらい」との声あり ※市ホームページ TOP にバナー貼りつけなど ・「図書館でできること」の周知 (ホームページ TOP にサイネージ表示等) を行ってはどうか ・小中学校の図書館や図書委員との連携で、当館の特集本やおすすめ本などへの関わりや無理のない参加型のイベントなど活発化が必要 ※コミュニティラジオ、SNS 等で発信 ・図書館には難しい本だけでなく気軽に読める雑誌や新聞、CD や DVD があることをわかりやすい言葉で広く知ってもらおう工夫が必要ではないか ①コミュニティラジオでレファレンス事例を紹介し、図書館が無料で気軽に利用できる場所であることを周知する ②電子図書館をアピール ③図書館を利用しない人も書店には行くのではないか。市内書店と協力して図書館の存在をアピールできないか ④パン屋さんや病院など、市民が足を運ぶ場所に利用案内を置かせてもらい、興味がある人に手に取ってもらえる機会を増やす <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一度「資料が古い」との声があった。新刊本は定期的に購入しているので、書架を入れ替えるためにも、色褪せた本・出版年の古い本、汚損本等の抜き取りなど書架整理を徹底したい ・図書館をほとんど利用しない理由が分かれば対応できることもあるのではないか ・指定図書のように絵を描いてもらい館内で展示してはどうか (家族も足を運ぶ、図書館案内に繋げる) ・文化課と提携して (資料館・図書館ツアー) を開催してはどうか
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・市外利用者の貸出サービスを行うなか、市内在住在勤の方との線引きが必要ではないか ※例えば、利用カード提供にあたり、カード発行の有料化など ・弁償基準の明確化と周知が必要ではないか

第2章 市民アンケート

2-1 アンケート概要

1. 調査目的

調査目的	豊見城市図書館基本計画策定にあたり住民意向把握を行うため、アンケート調査を実施する。	
調査概要	市民・利用者アンケート	
	調査方法	18歳以上の市民から無作為抽出し郵送、図書館での配布
	調査期間	令和3年3月
	配布数	3,000通（郵送配布）、400通（図書館での配布）
	回収数	871人（郵送回収数：575人、インターネット回答数：296人）
	小中学生アンケート	
	調査方法	各学校で直接配布
	調査期間	令和3年3月
	配布数	各小学校5年生：835通 各中学校2年生：739通
	回収数	小学校：591人（直接回収数：413人、インターネット回答数：178人） 中学校：517人（直接回収数：260人、インターネット回答数：257人）

2. 送付件数と回答数（市民アンケート）

(1) 地域別

地域（字）別の送付件数及び、回答数は以下のとおりです。

字 名	郵送件数	図書館 配布数	回答数	回収率	回答割合	
豊見城	300	400	194	64.7%	22.3%	
宜保	270		77	28.5%	8.8%	
我那覇	150		34	22.7%	3.9%	
名嘉地	60		18	30.0%	2.1%	
田頭	30		7	23.3%	0.8%	
瀬長	30		7	23.3%	0.8%	
与根	90		19	21.1%	2.2%	
伊良波	60		10	16.7%	1.1%	
座安	60		12	20.0%	1.4%	
渡橋名	60		15	25.0%	1.7%	
上田	210		50	23.8%	5.7%	
渡嘉敷	30		12	40.0%	1.4%	
翁長	120		17	14.2%	2.0%	
保栄茂	60		18	30.0%	2.1%	
高嶺	180		46	25.6%	5.3%	
平良	150		43	28.7%	4.9%	
高安	210		49	23.3%	5.6%	
饒波	60		14	23.3%	1.6%	
金良	60		12	20.0%	1.4%	
長堂	60		14	23.3%	1.6%	
嘉数	150		32	21.3%	3.7%	
真玉橋	210		43	20.5%	4.9%	
根差部	150		39	26.0%	4.5%	
豊崎	240		71	29.6%	8.2%	
市外	—			16	—	1.8%
無回答	—		—	2	—	0.2%
合 計		3,400	871	—	100.0%	

※回収率は郵送件数に対する回答数の割合

(2) 男女別

男女別の送付件数及び、回答数は以下のとおりです。

性別	郵送件数	図書館 配布数	回答数	回収率	回答割合
男	1,477	400	323	21.9%	37.1%
女	1,523		544	35.7%	62.5%
その他	—	—	4	—	0.4%
無回答	—	—	0	—	0.0%
合計		3,400	871	29.0%	100.0%

※回収率は郵送件数に対する回答数の割合

(3) 年齢別

年齢別の送付件数及び、回答数は以下のとおりです。

年代	郵送件数	図書館 配布数	回答数	回収率	回答割合
10代	222	400	31	14.0%	3.6%
20代	388		75	19.3%	8.6%
30代	503		164	32.6%	18.8%
40代	568		186	32.7%	21.4%
50代	435		158	36.3%	18.1%
60代	410		127	31.0%	14.6%
70代以上	474		130	27.4%	14.9%
無回答	—	—	0	—	0.0%
合計		3,400	871	29.0%	100.0%

※回収率は郵送件数に対する回答数の割合

2-2 アンケート結果

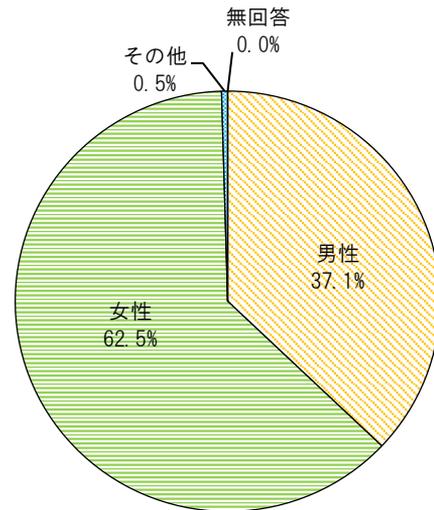
1. 市民アンケート結果

(1) 回答者属性

問1 性別を教えてください。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

■ 「男性」が37.1%、「女性」が62.5%と「女性」の回答が多くなっている

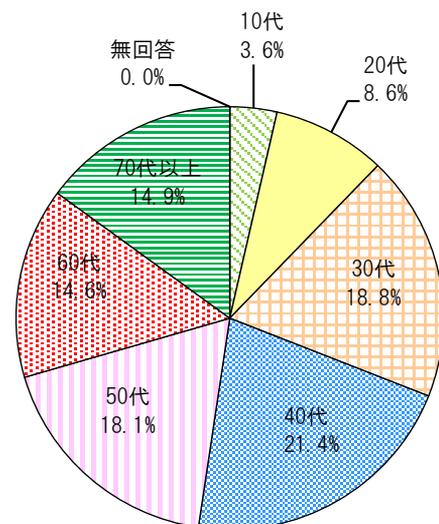
選択肢	件数	比率
1. 男性	323	37.1%
2. 女性	544	62.5%
3. その他	4	0.5%
無回答	0	0.0%
計	871	100.0%



問2 年代を教えてください。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

■ 「40代」が21.4%で最も多く、次いで「30代」18.8%、「50代」18.1%となっている
 ■ 「20代」と「10代」は合わせても12.2%で、他の年代に比べ、割合が低くなっている

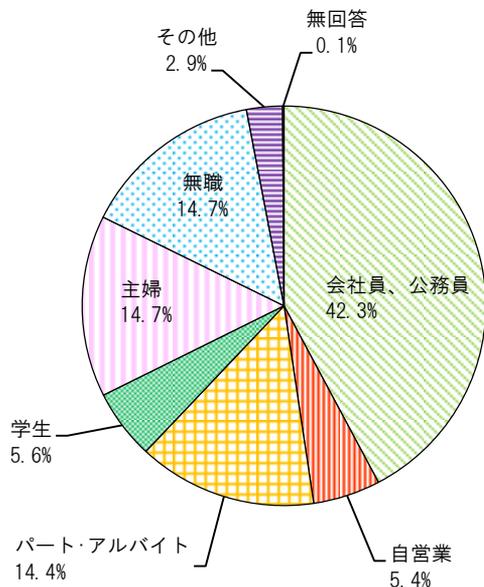
選択肢	件数	比率
1. 10代	31	3.6%
2. 20代	75	8.6%
3. 30代	164	18.8%
4. 40代	186	21.4%
5. 50代	158	18.1%
6. 60代	127	14.6%
7. 70代以上	130	14.9%
無回答	0	0.0%
計	871	100.0%



問3 職業を教えてください。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

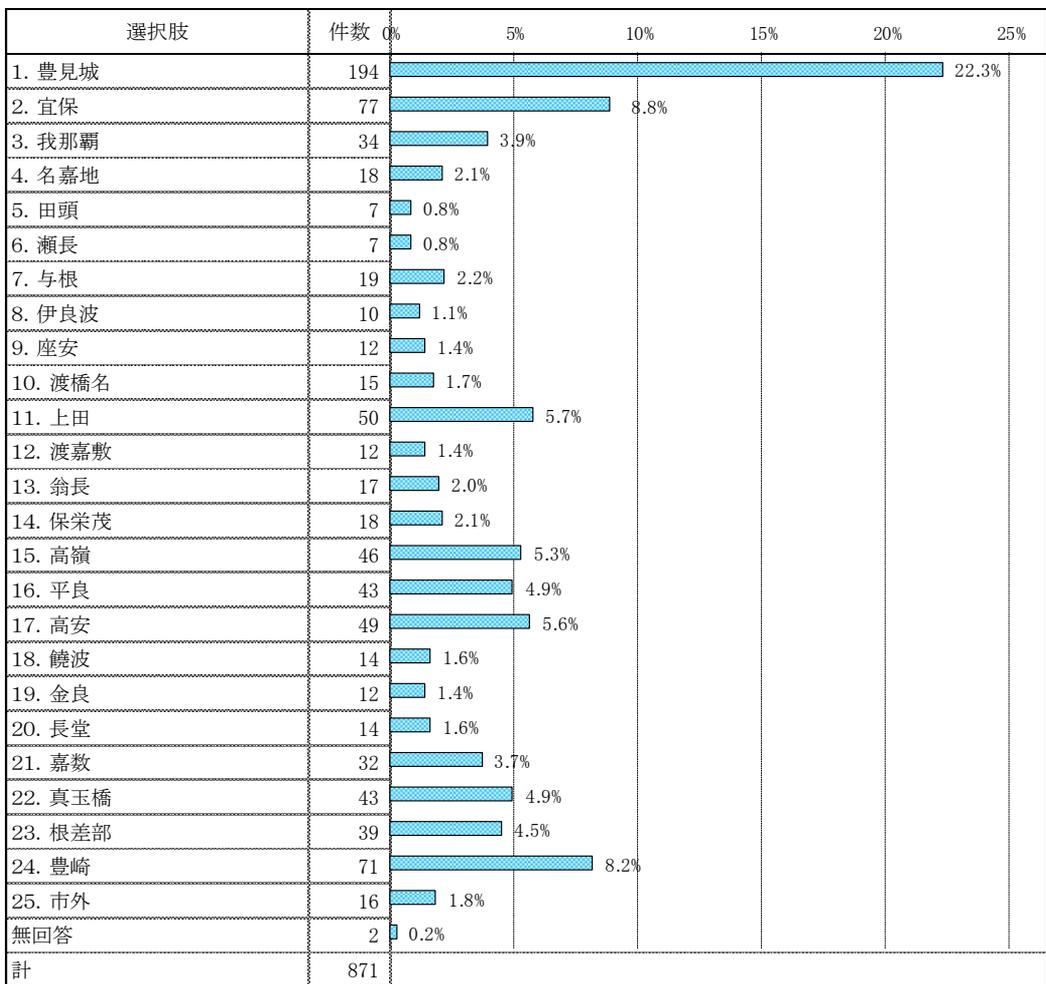
■ 「会社員、公務員」が42.3%で圧倒的に多く、次いで「主婦」14.7%、「無職」14.7%、「パート、アルバイト」14.4%となっている

選択肢	件数	比率
1. 会社員、公務員	368	42.3%
2. 自営業	47	5.4%
3. パート・アルバイト	125	14.4%
4. 学生	49	5.6%
5. 主婦	128	14.7%
6. 無職	128	14.7%
7. その他	25	2.9%
無回答	1	0.1%
計	871	100.0%



問4 お住まいの地域を教えてください。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

■ 「豊見城」が22.3%で最も多く、次いで「宜保」8.8%、「豊崎」8.2%となっている

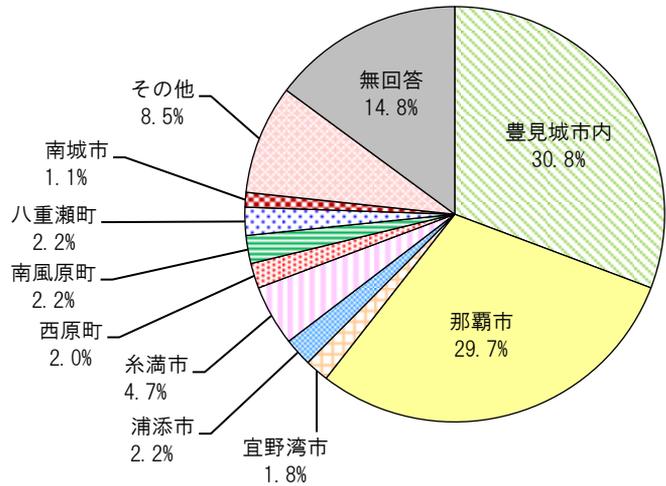


集計母数871名

問5 あなたの就業先又は就学先を教えてください。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

■「豊見城市内」と「那覇市」が共に約30%で、他の地域に比べ割合が高くなっている

選択肢	件数	比率
1. 豊見城市内	268	30.8%
2. 那覇市	259	29.7%
3. 宜野湾市	16	1.8%
4. 浦添市	19	2.2%
5. 糸満市	41	4.7%
6. 西原町	17	2.0%
7. 南風原町	19	2.2%
8. 八重瀬町	19	2.2%
9. 南城市	10	1.1%
10. その他	74	8.5%
無回答	129	14.8%
計	871	100.0%

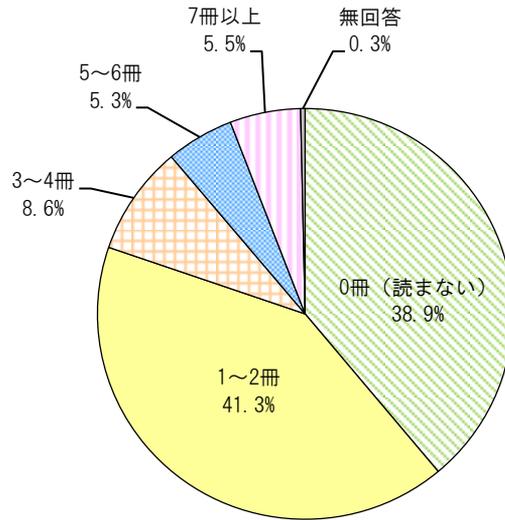


(2) 読書習慣

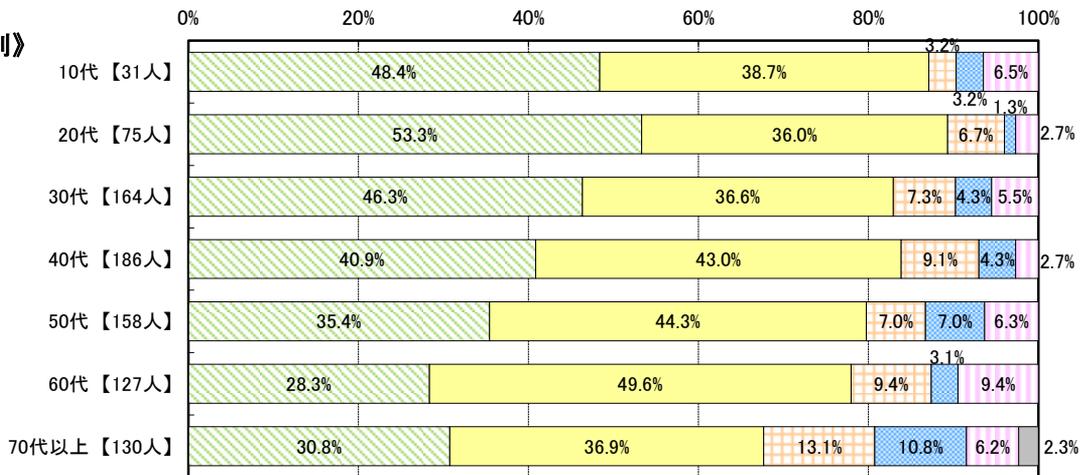
問6 本を1カ月に何冊読みますか。ただし、雑誌、マンガのほか、学校で使う教科書や学習参考書などを除きます。次の中から1つだけ選んでください。(〇は1つ)

- 「1～2冊」が41.3%で最も多く、次いで「0冊(読まない)」38.9%となっており、2冊以下との回答が約8割を占めている
- 年齢別にみると、若い年代ほど、本を読まない傾向が強くなっている

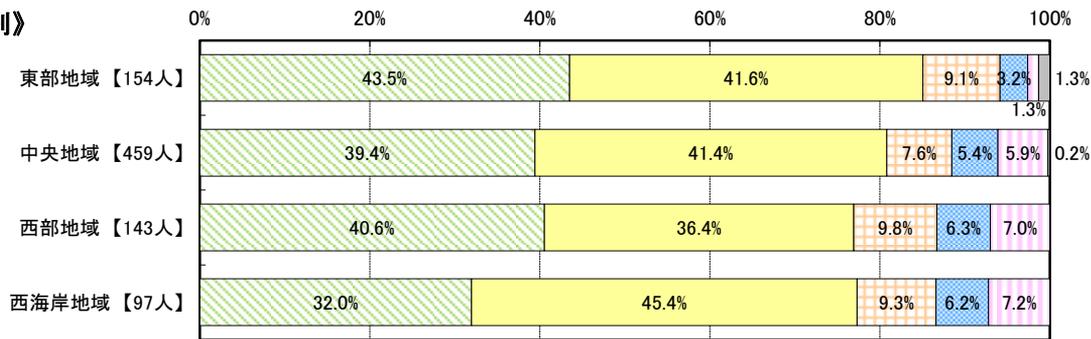
選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	339	38.9%
2. 1～2冊	360	41.3%
3. 3～4冊	75	8.6%
4. 5～6冊	46	5.3%
5. 7冊以上	48	5.5%
無回答	3	0.3%
計	871	100.0%



《年齢別》



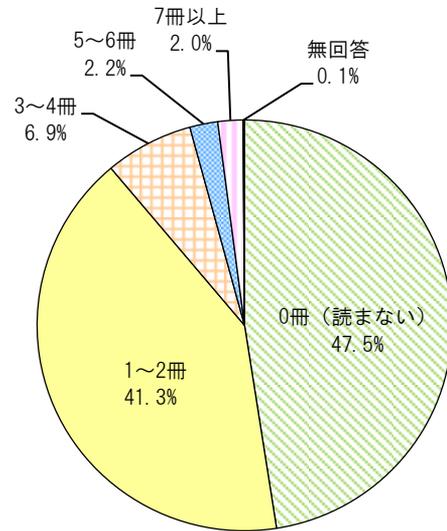
《地域別》



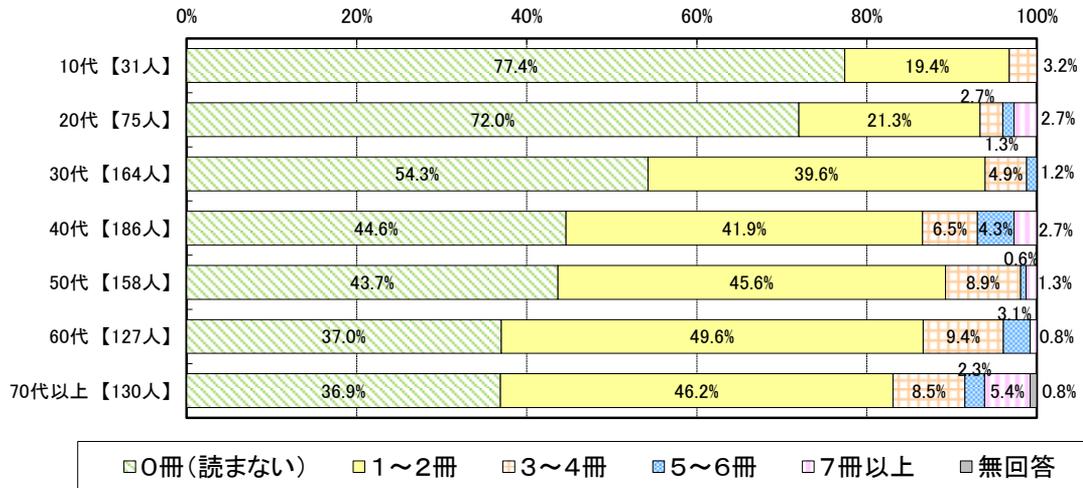
問7 雑誌を1カ月に何冊読みますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

■「0冊(読まない)」が47.5%で最も多く、次いで「1～2冊」41.3%となっており、2冊以下との回答が9割近くを占めている
 ■年齢別にみると、若い年代ほど、雑誌を読まない傾向が強くなっている

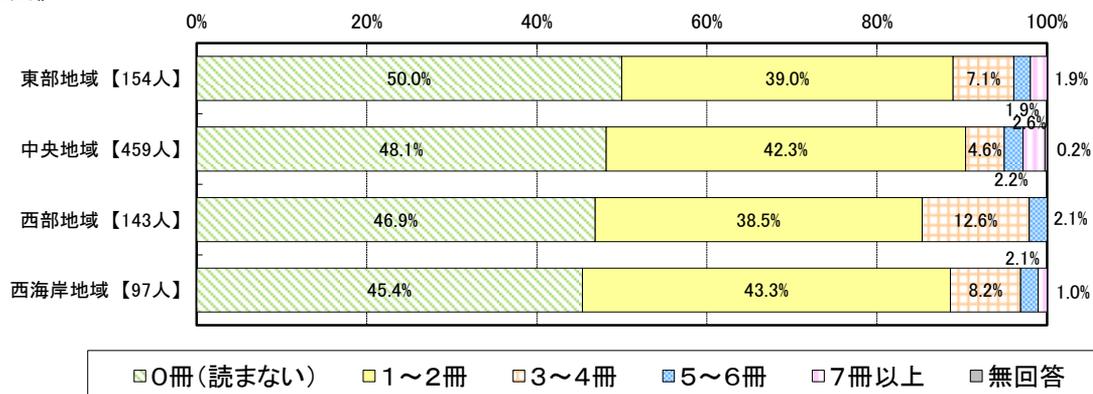
選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	414	47.5%
2. 1～2冊	360	41.3%
3. 3～4冊	60	6.9%
4. 5～6冊	19	2.2%
5. 7冊以上	17	2.0%
無回答	1	0.1%
計	871	100.0%



《年齢別》



《地域別》

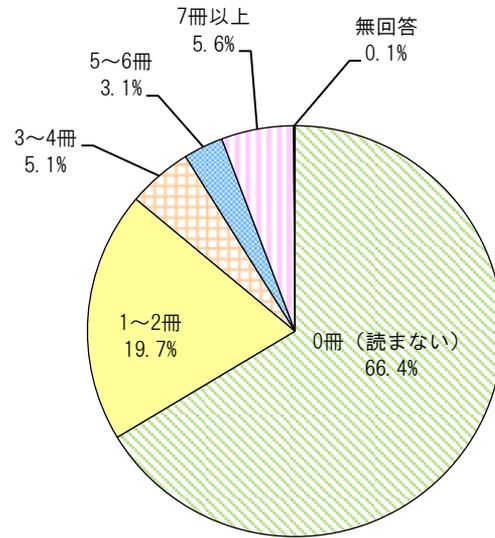


問8 マンガを1カ月に何冊読みますか。次の中から1つだけ選んでください。(○は1つ)

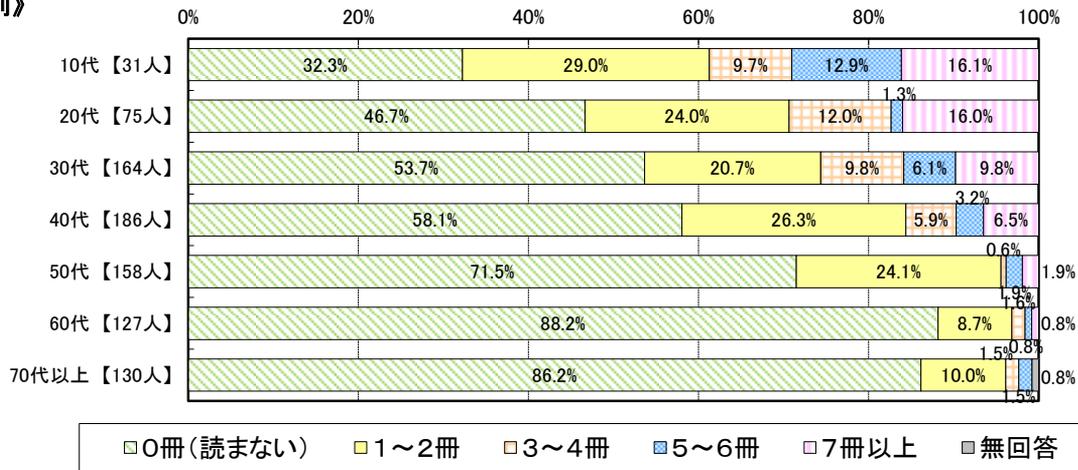
■「0冊(読まない)」が66.4%で圧倒的に多く、次いで多い「1~2冊」19.7%を合わせると、8割以上が2冊以下との回答となっている

■年齢別にみると、年代が上がるほど、マンガを読まない傾向が強くなっている

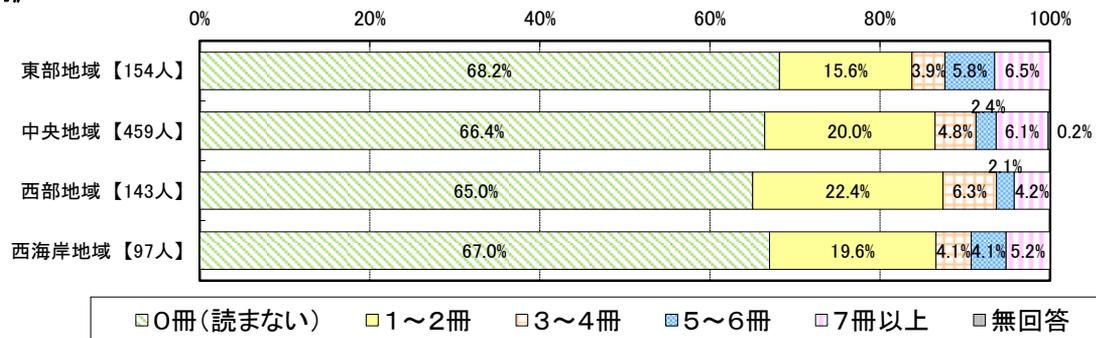
選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	578	66.4%
2. 1~2冊	172	19.7%
3. 3~4冊	44	5.1%
4. 5~6冊	27	3.1%
5. 7冊以上	49	5.6%
無回答	1	0.1%
計	871	100.0%



《年齢別》



《地域別》



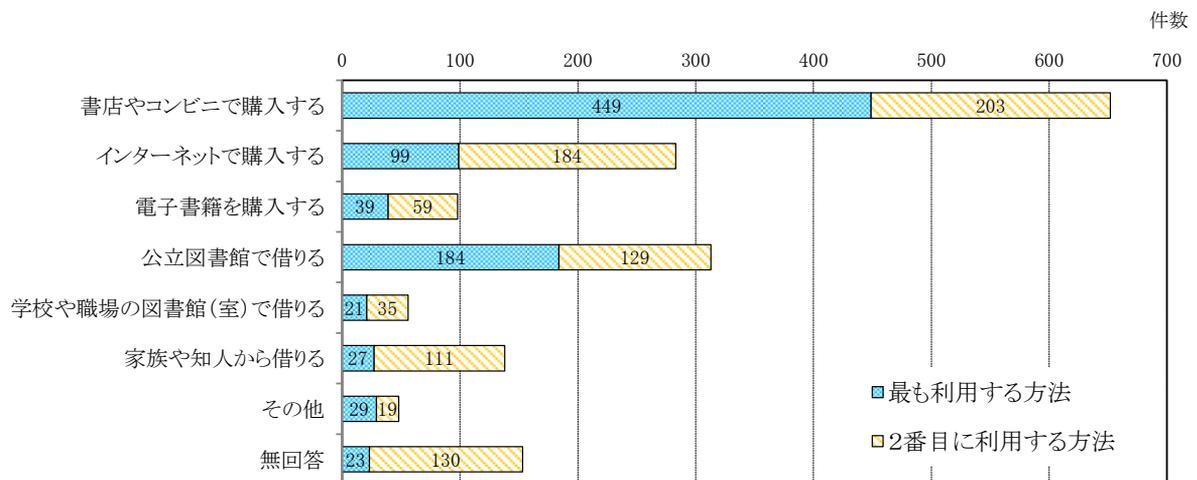
(3) 本や情報の収集機会

問9 本をどのような方法で入手しますか。次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答欄に記入してください。

- 「書店やコンビニで購入する」が最も多く、次いで「公立図書館で借りる」、「インターネットで購入する」となっている
- 年齢別にみると、10代では「学校や職場の図書館(室)で借りる」の割合も多く、また、50代以上では、「公立図書館で借りる」の割合が、他の年代に比べ高くなっている

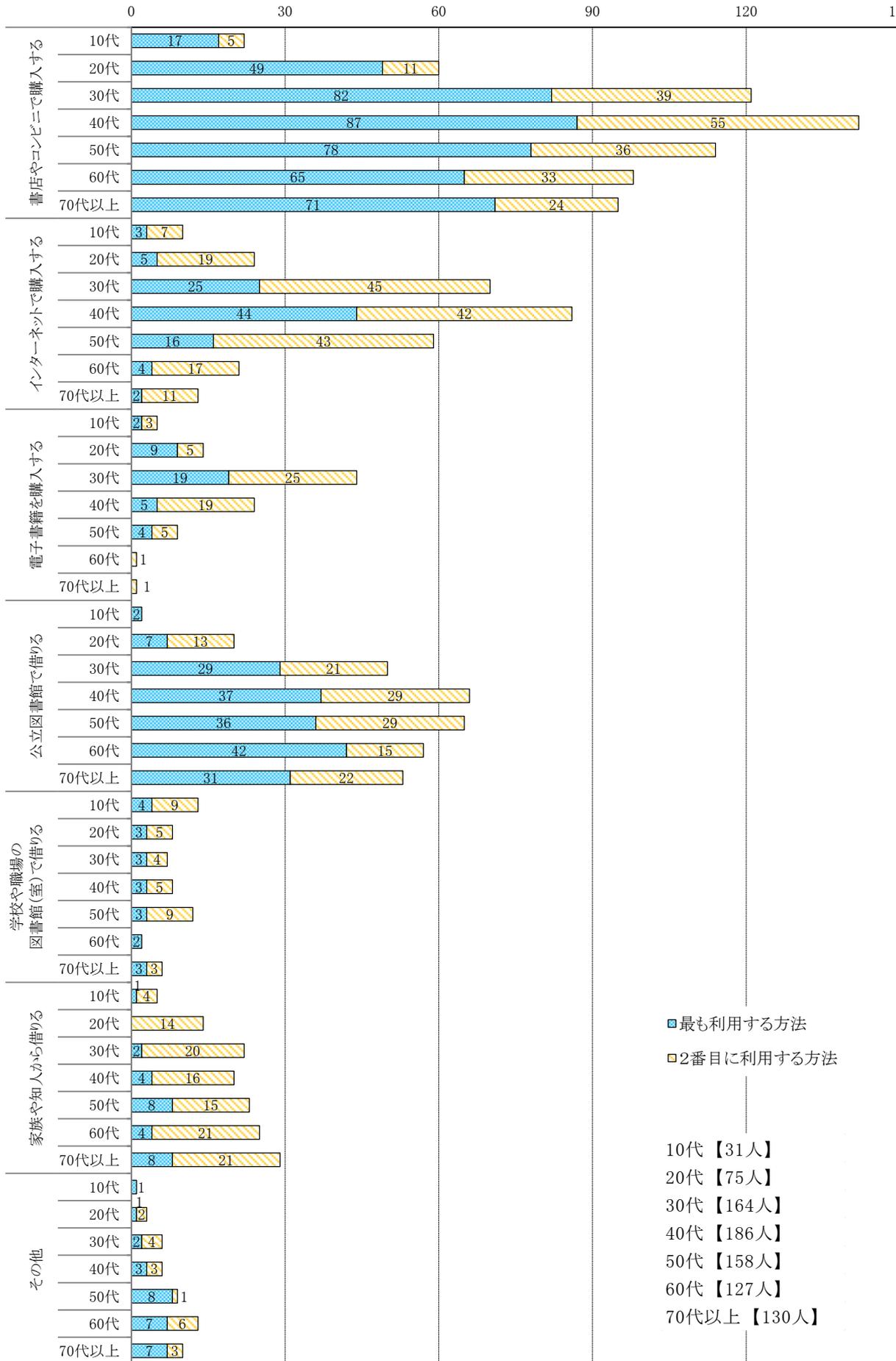
選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニで購入する	449	51.5%	203	23.3%
2. インターネットで購入する	99	11.4%	184	21.1%
3. 電子書籍を購入する	39	4.5%	59	6.8%
4. 公立図書館で借りる	184	21.1%	129	14.8%
5. 学校や職場の図書館(室)で借りる	21	2.4%	35	4.0%
6. 家族や知人から借りる	27	3.1%	111	12.8%
7. その他	29	3.3%	19	2.2%
無回答	23	2.6%	130	14.9%
計	871	100.0%	870	100.0%

※複数回答除外



《年齢別》

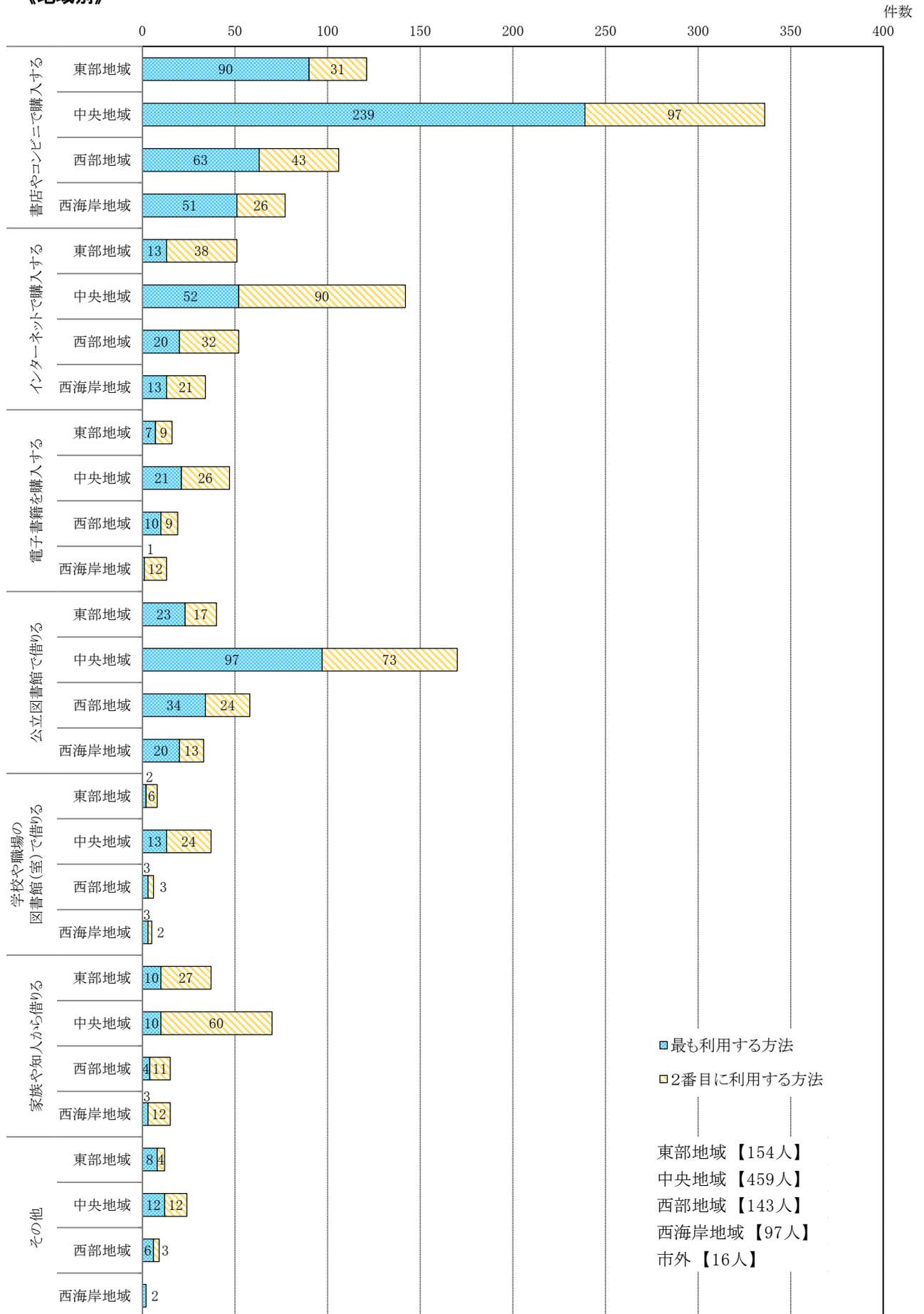
件数
150



■最も利用する方法
□2番目に利用する方法

10代 【31人】
20代 【75人】
30代 【164人】
40代 【186人】
50代 【158人】
60代 【127人】
70代以上 【130人】

《地域別》



■最も利用する方法
 □2番目に利用する方法

東部地域 【154人】
 中央地域 【459人】
 西部地域 【143人】
 西海岸地域 【97人】
 市外 【16人】

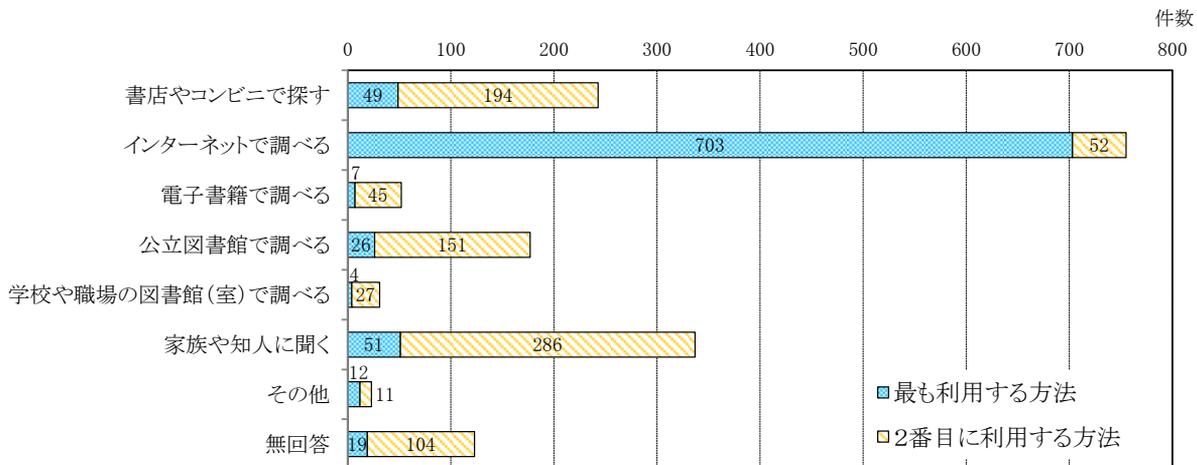
問10 あなたは知りたいことがあるとき、どのような方法で調べますか。

次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答欄に記入してください。

■「インターネットで調べる」が圧倒的に多く、次いで「家族や知人に聞く」、「書店やコンビニで探す」となっている

選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニで探す	49	5.6%	194	22.3%
2. インターネットで調べる	703	80.7%	52	6.0%
3. 電子書籍で調べる	7	0.8%	45	5.2%
4. 公立図書館で調べる	26	3.0%	151	17.4%
5. 学校や職場の図書館(室)で調べる	4	0.5%	27	3.1%
6. 家族や知人に聞く	51	5.9%	286	32.9%
7. その他	12	1.4%	11	1.3%
無回答	19	2.2%	104	12.0%
計	871	100.0%	870	100.0%

※複数回答除外

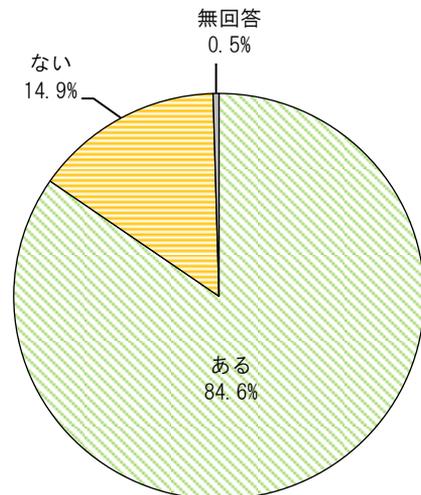


(4) 図書館の利用状況

問11 あなたは、これまで図書館（室）を利用したことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。（○を1つ）

■ 「ある」が84.6%で、8割以上が図書館(室)を利用したことがあると回答している

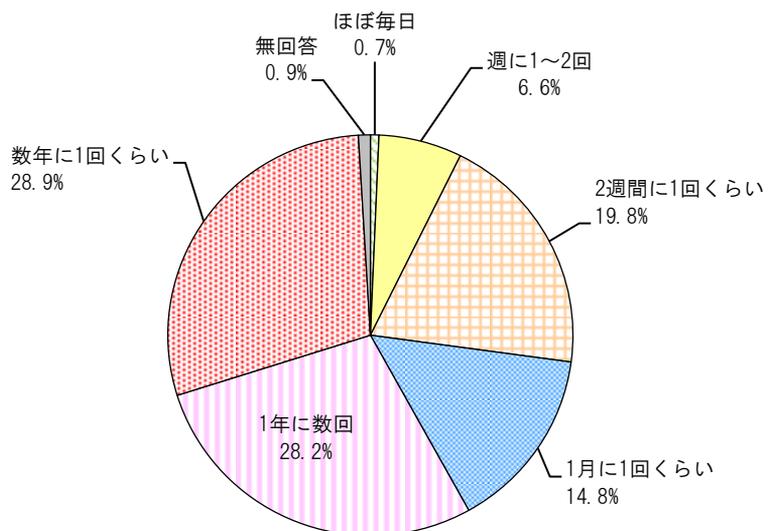
選択肢	件数	比率
1. ある	737	84.6%
2. ない	130	14.9%
無回答	4	0.5%
計	871	100.0%



問12 問11で「1」と回答した方にお尋ねします。どれくらいの頻度で図書館（室）を利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。（○を1つ）

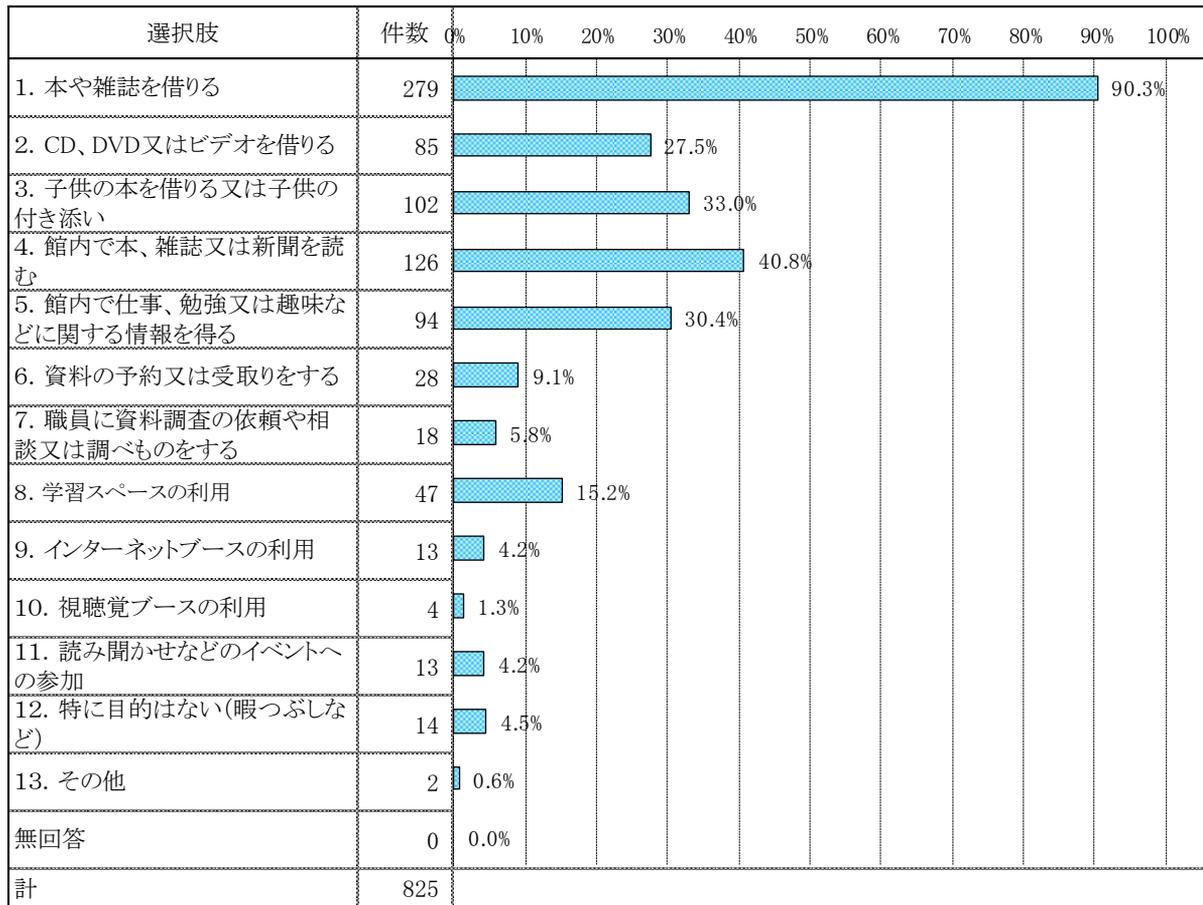
■ 「数年に1回くらい」が28.9%で最も多く、次いで「1年に数回」28.2%、「2週間に1回くらい」19.8%となっている

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	5	0.7%
2. 週に1~2回	49	6.6%
3. 2週間に1回くらい	146	19.8%
4. 1月に1回くらい	109	14.8%
5. 1年に数回	208	28.2%
6. 数年に1回くらい	213	28.9%
無回答	7	0.9%
計	737	100.0%



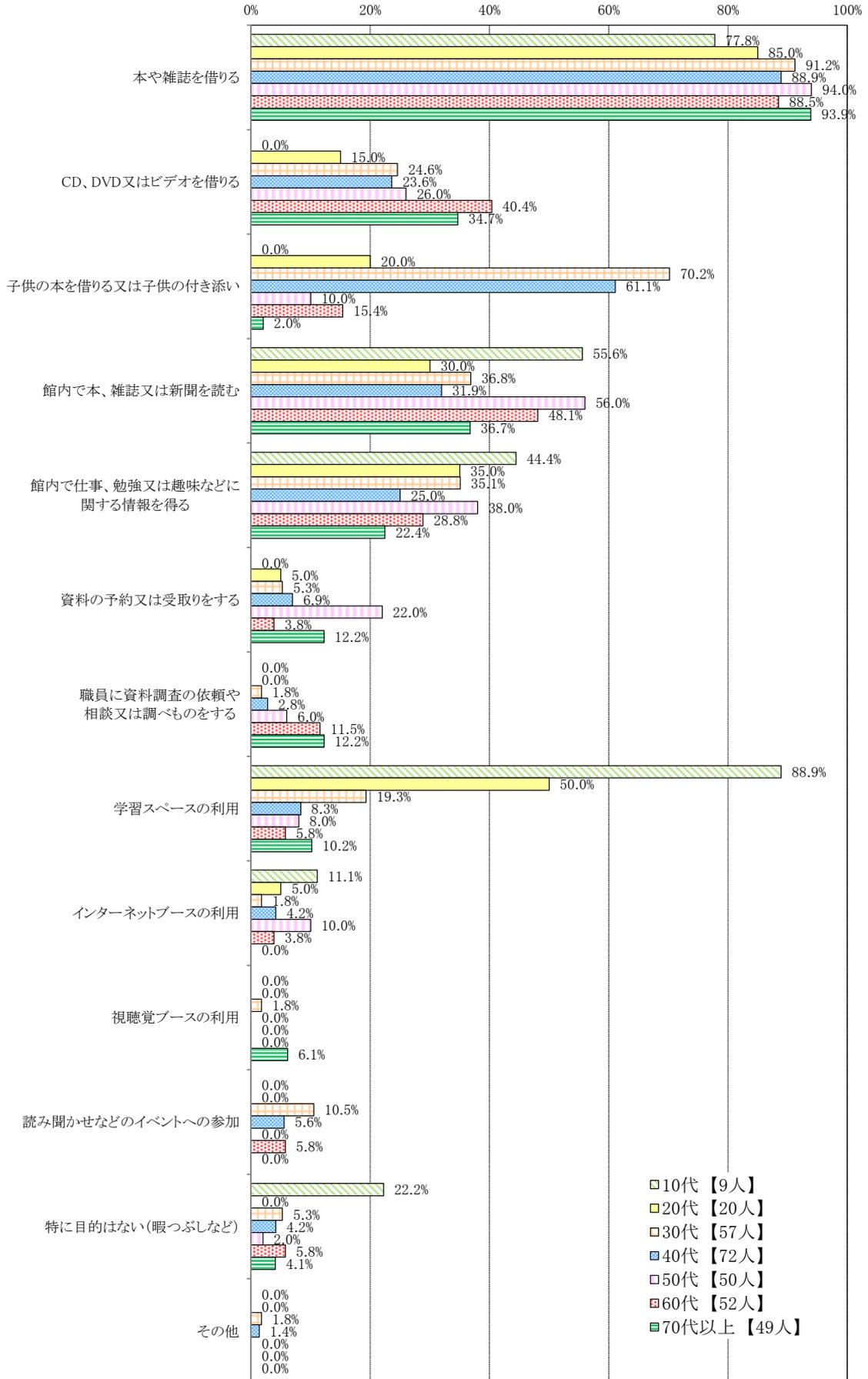
問13 問12で「1」～「4」と回答した方にお尋ねします。図書館（室）を利用する目的を教えてください。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○をいくつでも）

- 「本や雑誌を借りる」が90.3%で圧倒的に多く、次いで「館内で本、雑誌又は新聞を読む」40.8%、「子供の本を借りる又は子供の付き添い」33.0%となっている
- 年齢別にみると、10代、20代では「学習スペースの利用」の割合も高く、30～40代の子育て世代では、「子供の本を借りる又は子供の付き添い」の割合が他の年代に比べ高くなっている

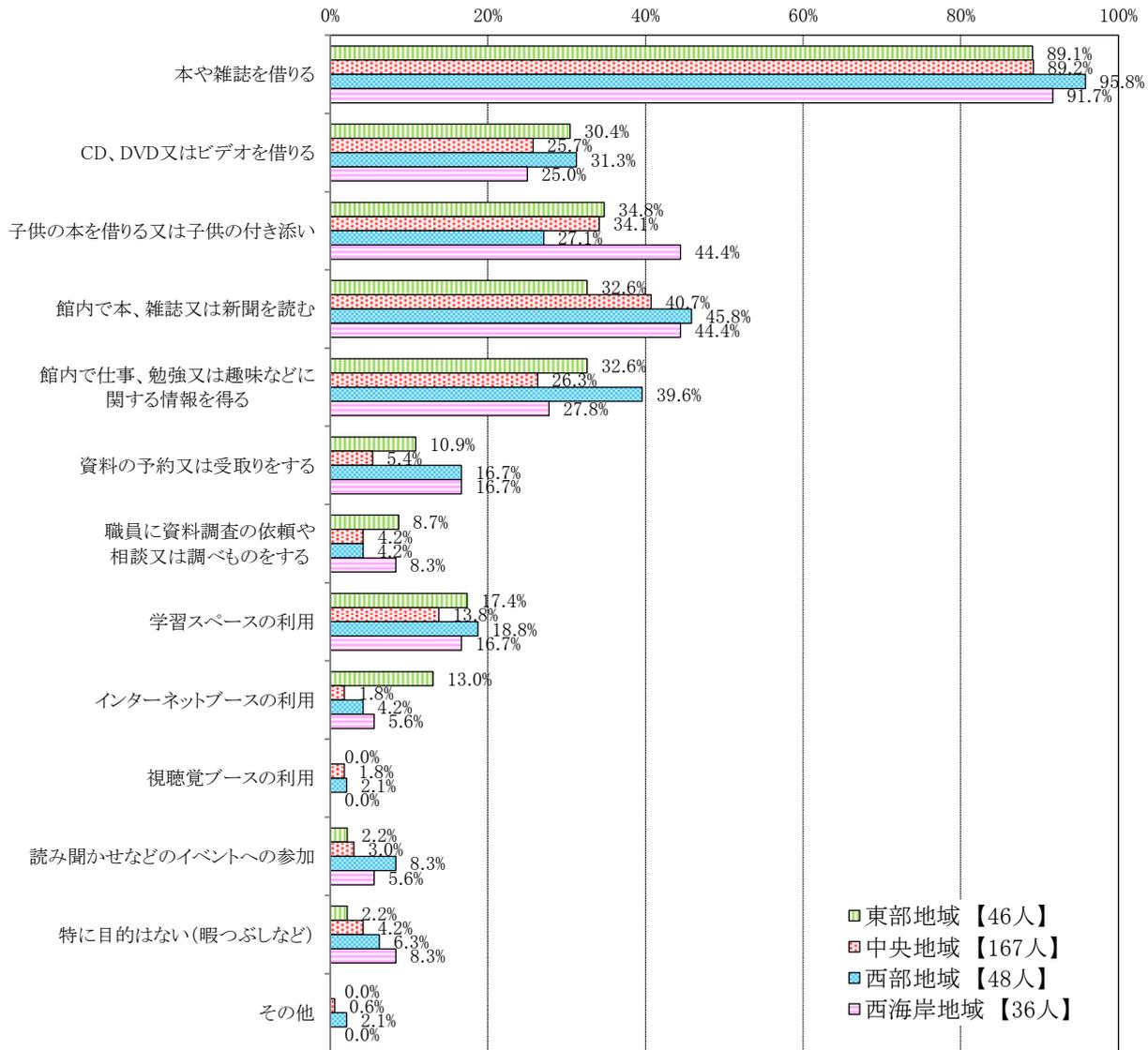


集計母数309名

《年齢別》

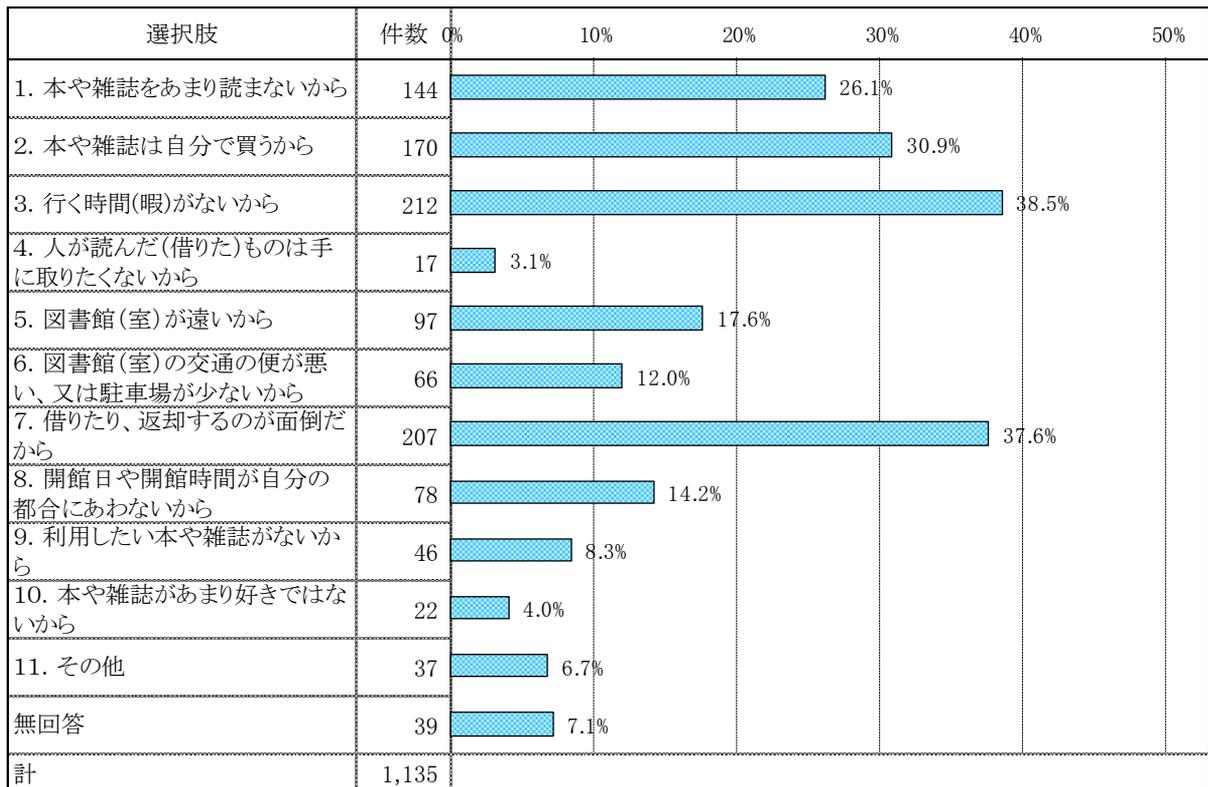


《地域別》



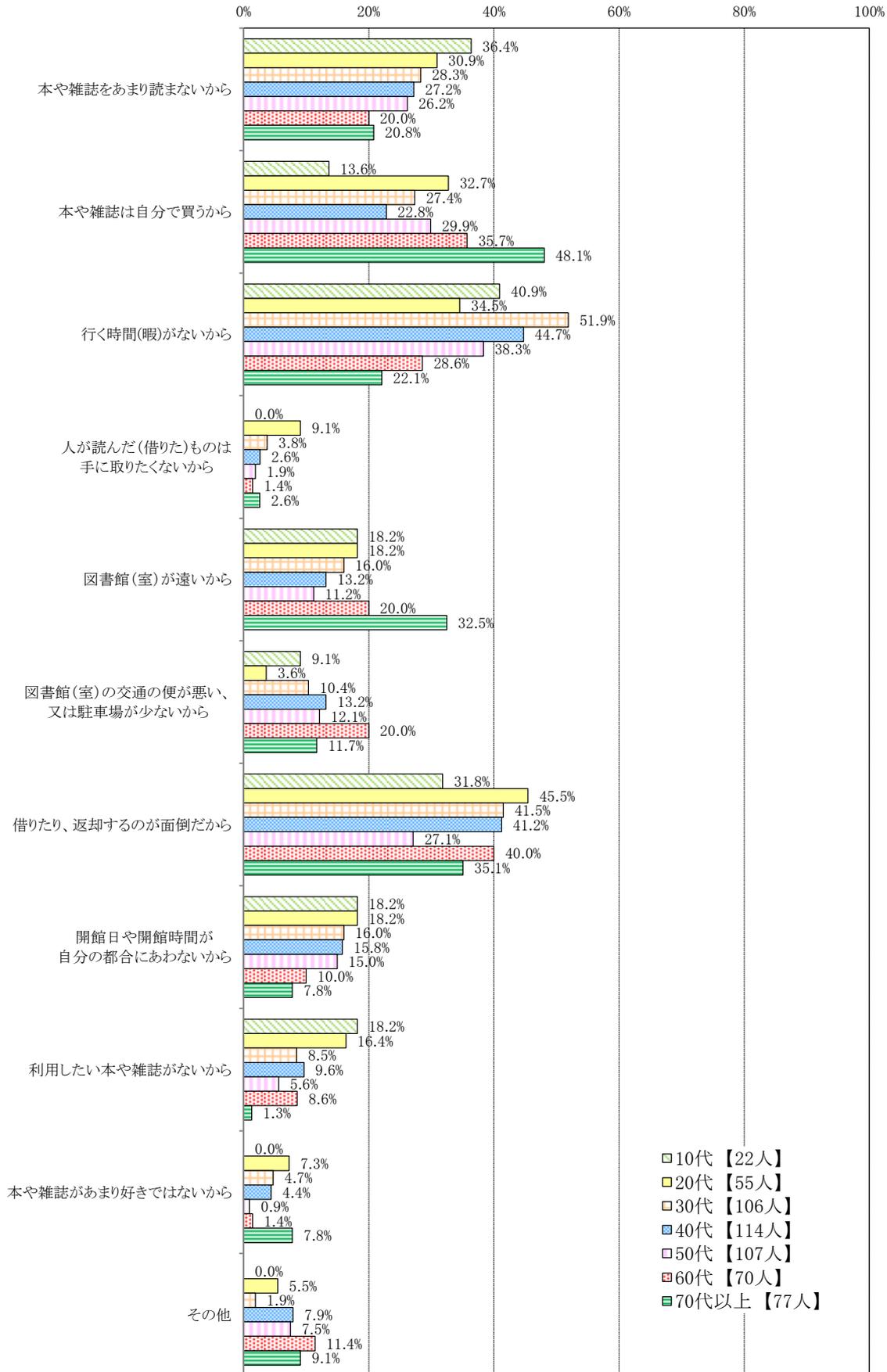
問14 問11で「2」と回答した方、また、問12で「5」または「6」と回答した方にお尋ねします。あなたが図書館（室）を利用しない・あまり利用しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（〇をいくつでも）

- 「行く時間(暇)がないから」が38.5%で最も多く、次いで「借りたり、返却するのが面倒だから」37.6%、「本や雑誌は自分で買うから」30.9%となっている
- 年齢別にみると、「本や雑誌をあまり読まないから」は若い年代ほど割合が高く、「本や雑誌は自分で買うから」は、60代以上で割合が高くなっている

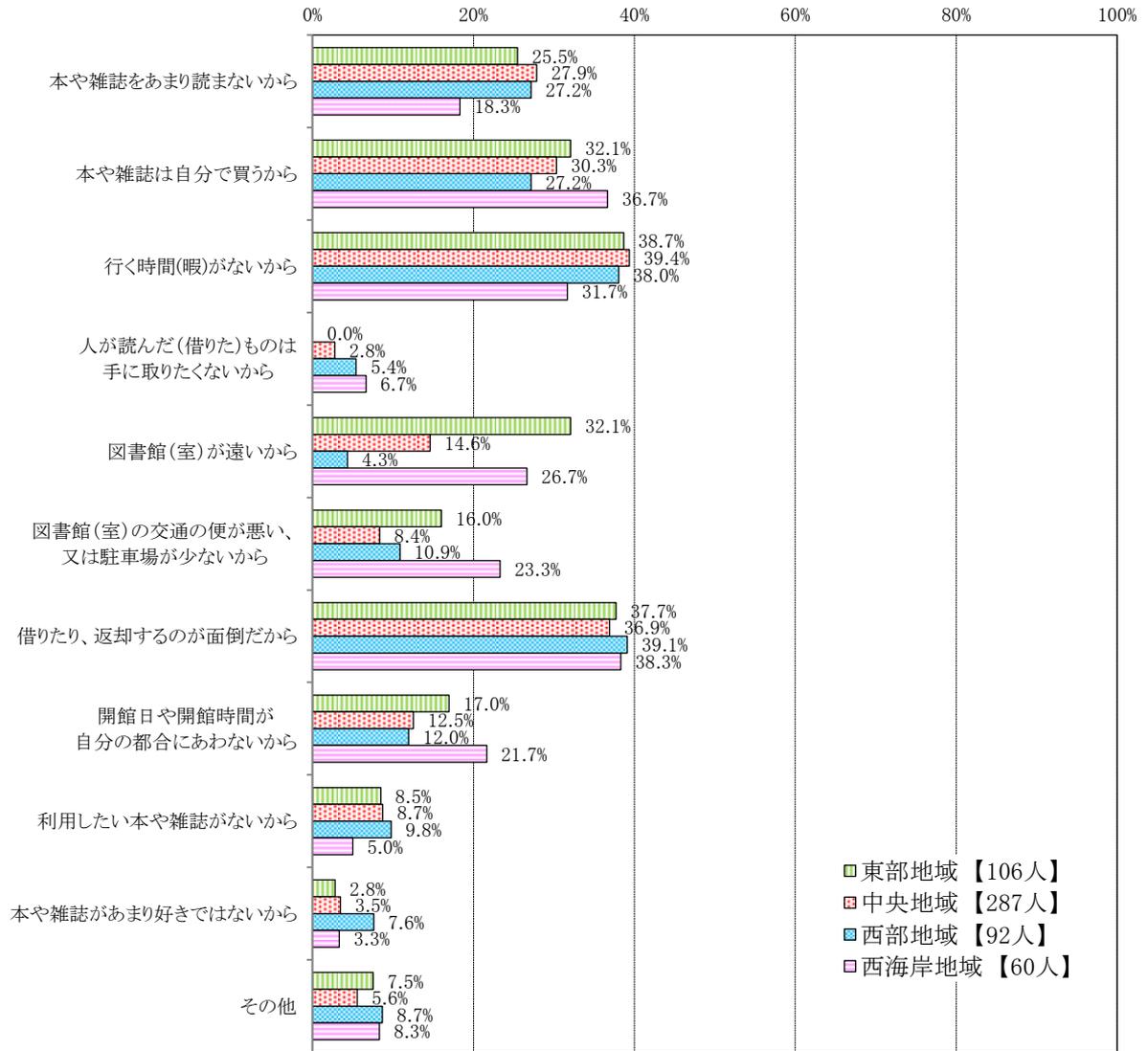


集計母数551名

《年齢別》



《地域別》

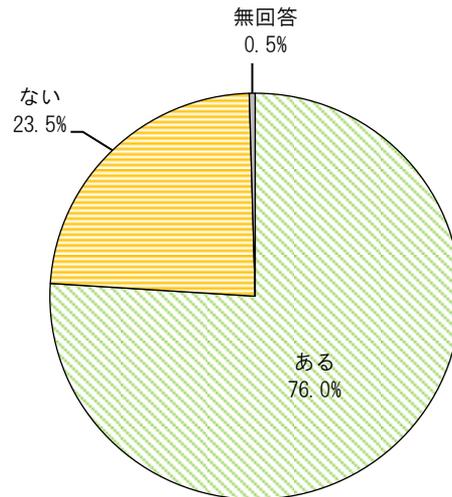


(5) 中央図書館の利用状況

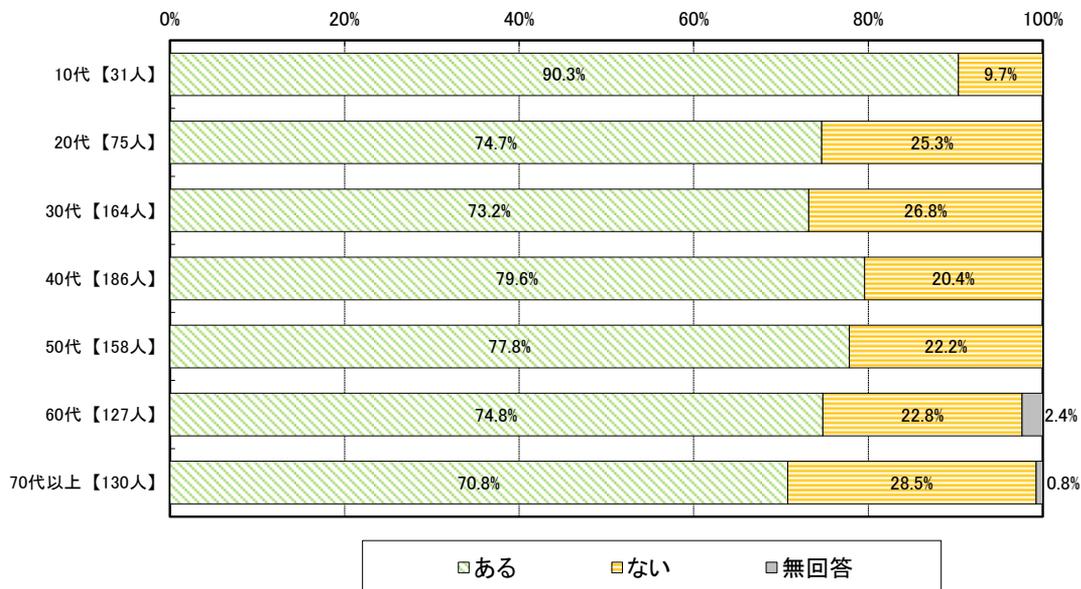
問 15 あなたは、これまでに豊見城市立中央図書館を利用したことはありますか。次の中から1つだけ選んでください。(○を1つ)

- 「ある」が76.0%で、7割以上が利用したことがあると回答している
- 年齢別にみると、10代では「ある」が9割を超え、他の年代に比べ、利用したことがある割合が特に高くなっている

選択肢	件数	比率
1. ある	662	76.0%
2. ない	205	23.5%
無回答	4	0.5%
計	871	100.0%



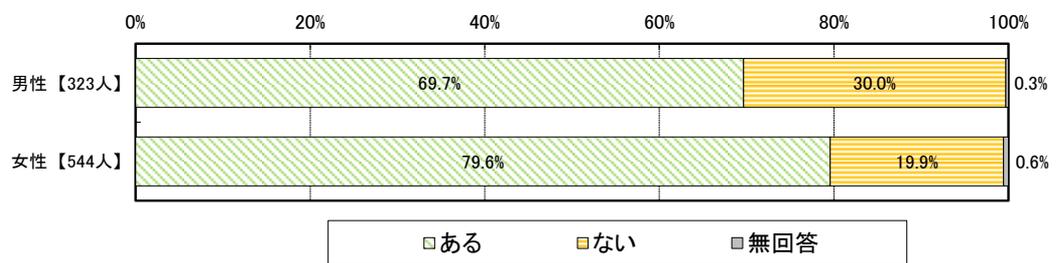
《年齢別》



《地域別》



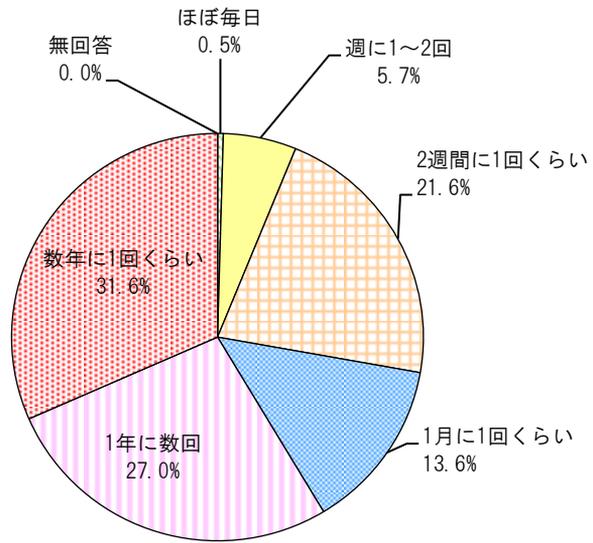
《性別》



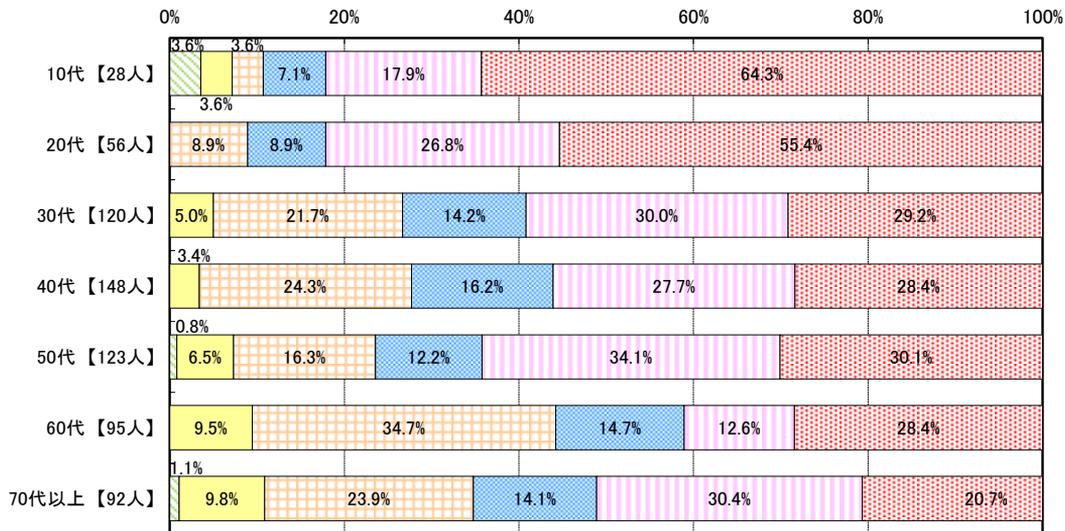
問 16 問 15 で「1」と回答した方にお尋ねします。あなたはどれくらいの頻度で中央図書館を利用していますか。次の中から1つだけ選んでください。(○を1つ)

- 「数年に1回くらい」が31.6%で最も多く、次いで「1年に数回」27.0%、「2週間に1回くらい」21.6%となっている
- 年齢別にみると、年代が上がるにつれて、利用頻度が高くなっている

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	3	0.5%
2. 週に1～2回	38	5.7%
3. 2週間に1回くらい	143	21.6%
4. 1月に1回くらい	90	13.6%
5. 1年に数回	179	27.0%
6. 数年に1回くらい	209	31.6%
無回答	0	0.0%
計	662	100.0%

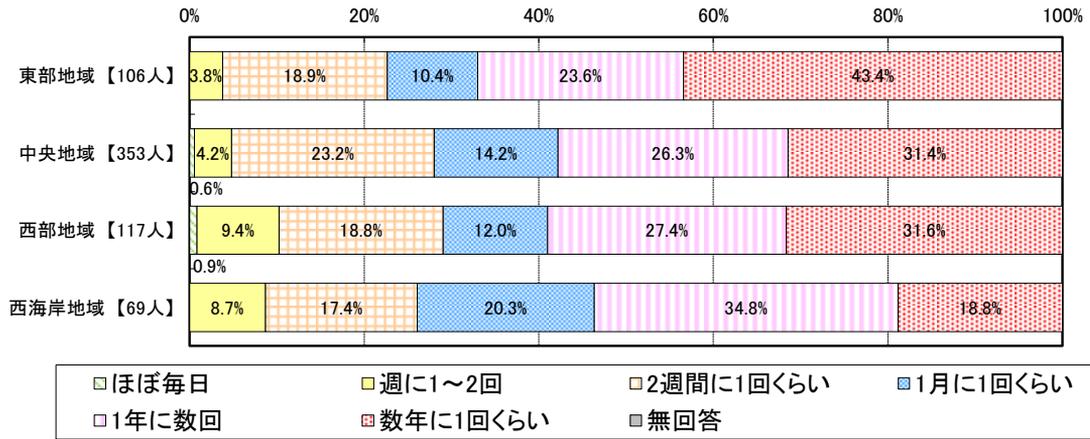


《年齢別》

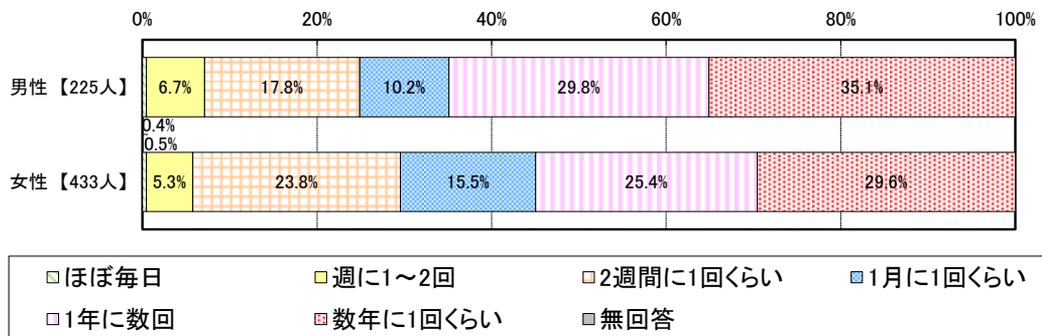


- ほぼ毎日
- 週に1～2回
- 2週間に1回くらい
- 1月に1回くらい
- 1年に数回
- 数年に1回くらい
- 無回答

《地域別》



《性別》



問 17 中央図書館を利用して、次のようなことを感じますか？（各設問毎に○をひとつずつ）

■「感じる」割合(「よく感じる」+「時々感じる」)については、『子供が読書しやすい環境が整っている』が最も高く、次いで『求めている本や面白い本に触れることができた』となっている

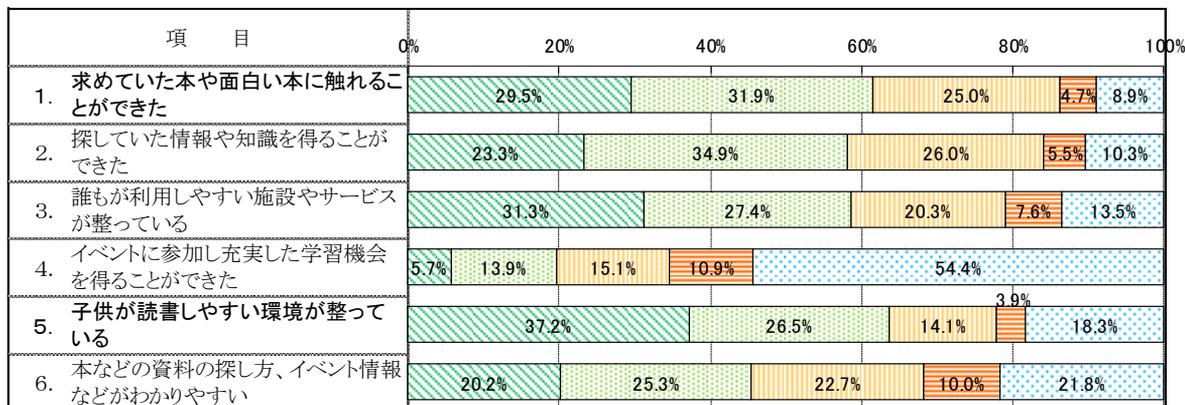
項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	わからない	無回答	計
1. 求めている本や面白い本に触れることができた	195	211	165	31	59	210	871
2. 探していた情報や知識を得ることができた	152	228	170	36	67	218	871
3. 誰もが利用しやすい施設やサービスが整っている	202	177	131	49	87	225	871
4. イベントに参加し充実した学習機会を得ることができた	36	88	95	69	343	238	869
5. 子供が読書しやすい環境が整っている	240	171	91	25	118	226	871
6. 本などの資料の探し方、イベント情報などがわかりやすい	131	164	147	65	141	222	870

※複数回答は集計除外とした。

〔割合〕

項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	わからない	計
1. 求めている本や面白い本に触れることができた	29.5%	31.9%	25.0%	4.7%	8.9%	100.0%
2. 探していた情報や知識を得ることができた	23.3%	34.9%	26.0%	5.5%	10.3%	100.0%
3. 誰もが利用しやすい施設やサービスが整っている	31.3%	27.4%	20.3%	7.6%	13.5%	100.0%
4. イベントに参加し充実した学習機会を得ることができた	5.7%	13.9%	15.1%	10.9%	54.4%	100.0%
5. 子供が読書しやすい環境が整っている	37.2%	26.5%	14.1%	3.9%	18.3%	100.0%
6. 本などの資料の探し方、イベント情報などがわかりやすい	20.2%	25.3%	22.7%	10.0%	21.8%	100.0%

※無回答は除く。



□よく感じる □時々感じる □たまに感じる □感じない □わからない

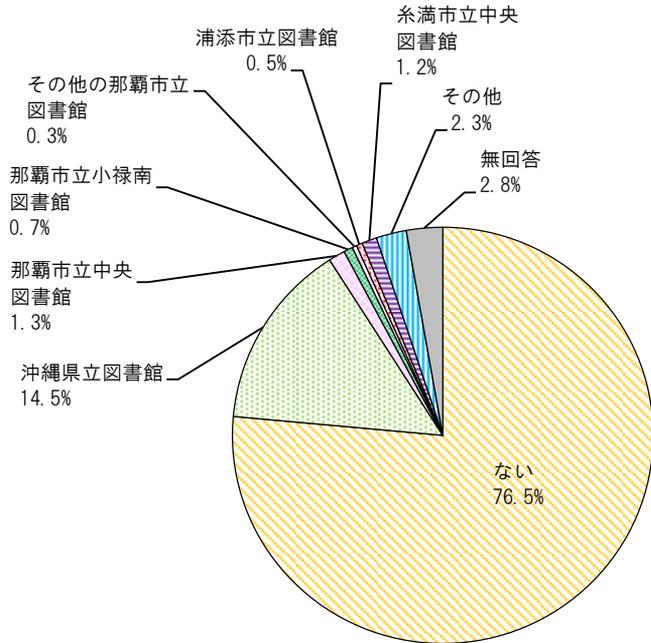
※複数回答、無回答は除く。

問 18 あなたは、中央図書館よりもよく利用する公立図書館はありますか。次の中から1つだけ選んでください。(○を1つ)

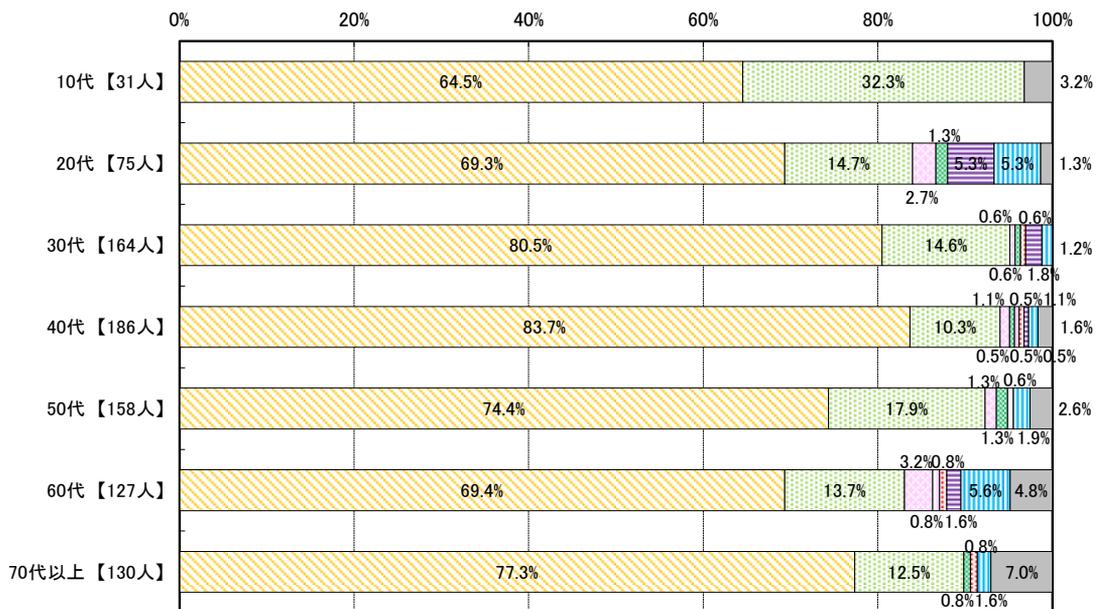
- 「ない」が76.5%で圧倒的に多くなっている
- 利用する他の図書館では「沖縄県立図書館」が14.5%で最も多くなっている
- 年齢別にみると、10代では「ない」が64.5%で、割合が最も低く、「沖縄県立図書館」の利用も3割を超えている

選択肢	件数	比率
1. ない	659	76.5%
2. 沖縄県立図書館	125	14.5%
3. 那覇市立中央図書館	11	1.3%
4. 那覇市立小禄南図書館	6	0.7%
5. その他の那覇市立図書館	3	0.3%
6. 浦添市立図書館	4	0.5%
7. 糸満市立中央図書館	10	1.2%
8. その他	20	2.3%
無回答	24	2.8%
計	862	100.0%

複数回答による集計除外9名

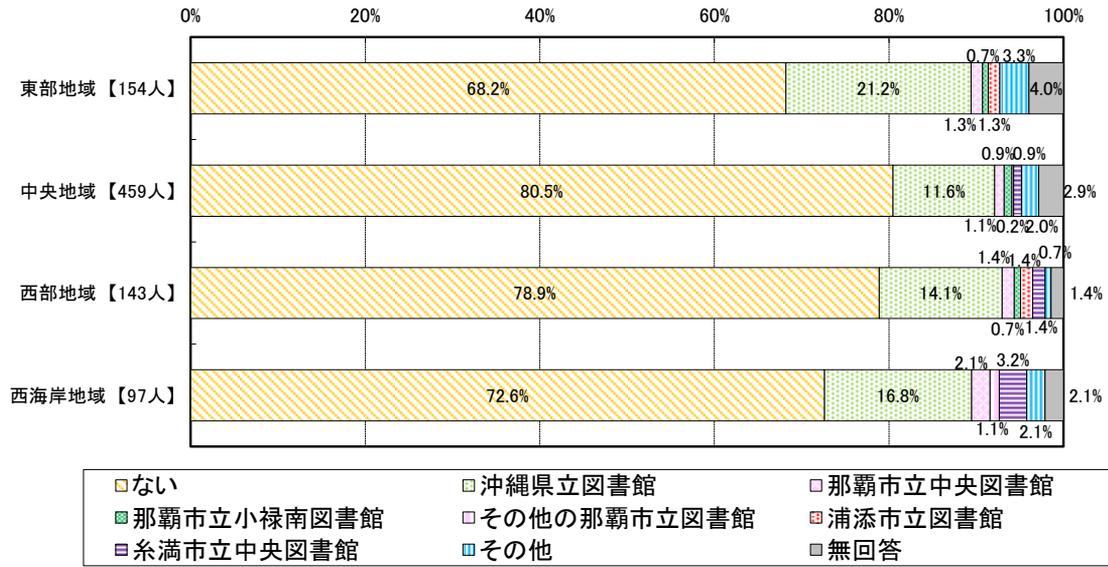


《年齢別》

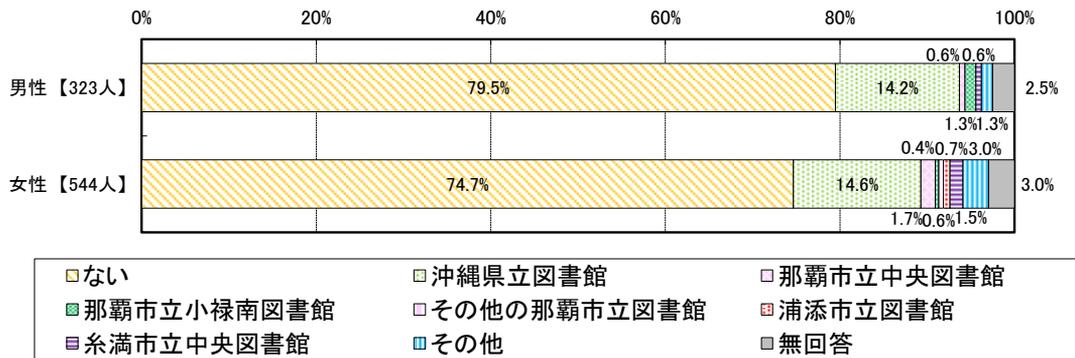


- ない
- 沖縄県立図書館
- 那覇市立中央図書館
- 那覇市立小禄南図書館
- その他の那覇市立図書館
- 浦添市立図書館
- 糸満市立中央図書館
- その他
- 無回答

《地域別》

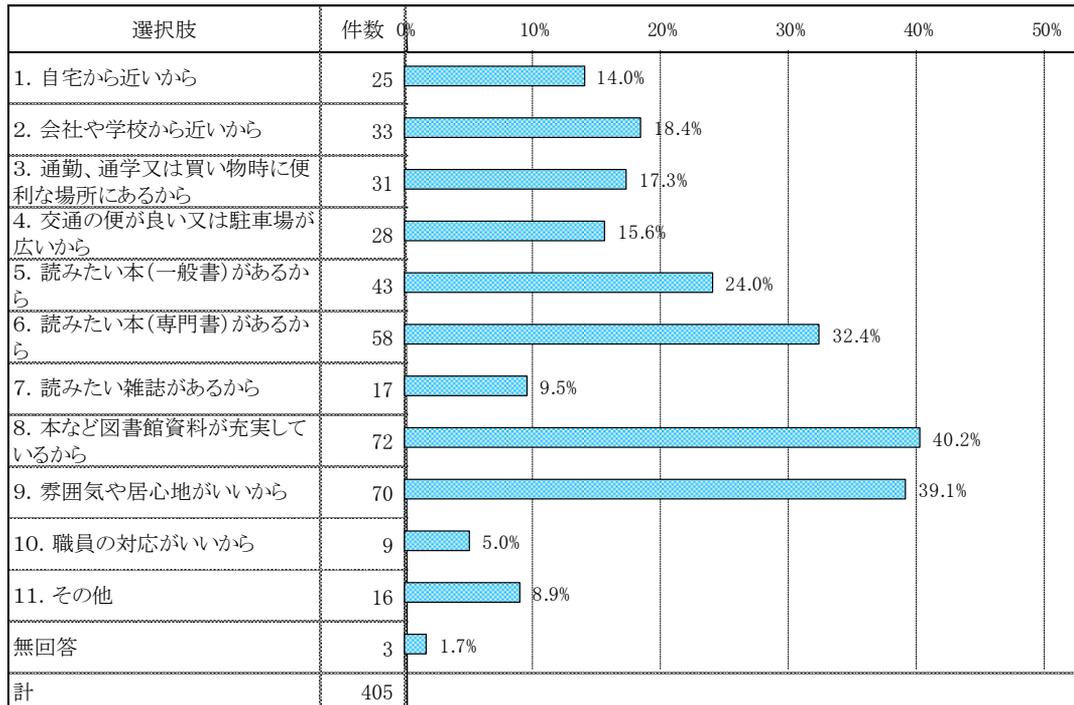


《性別》



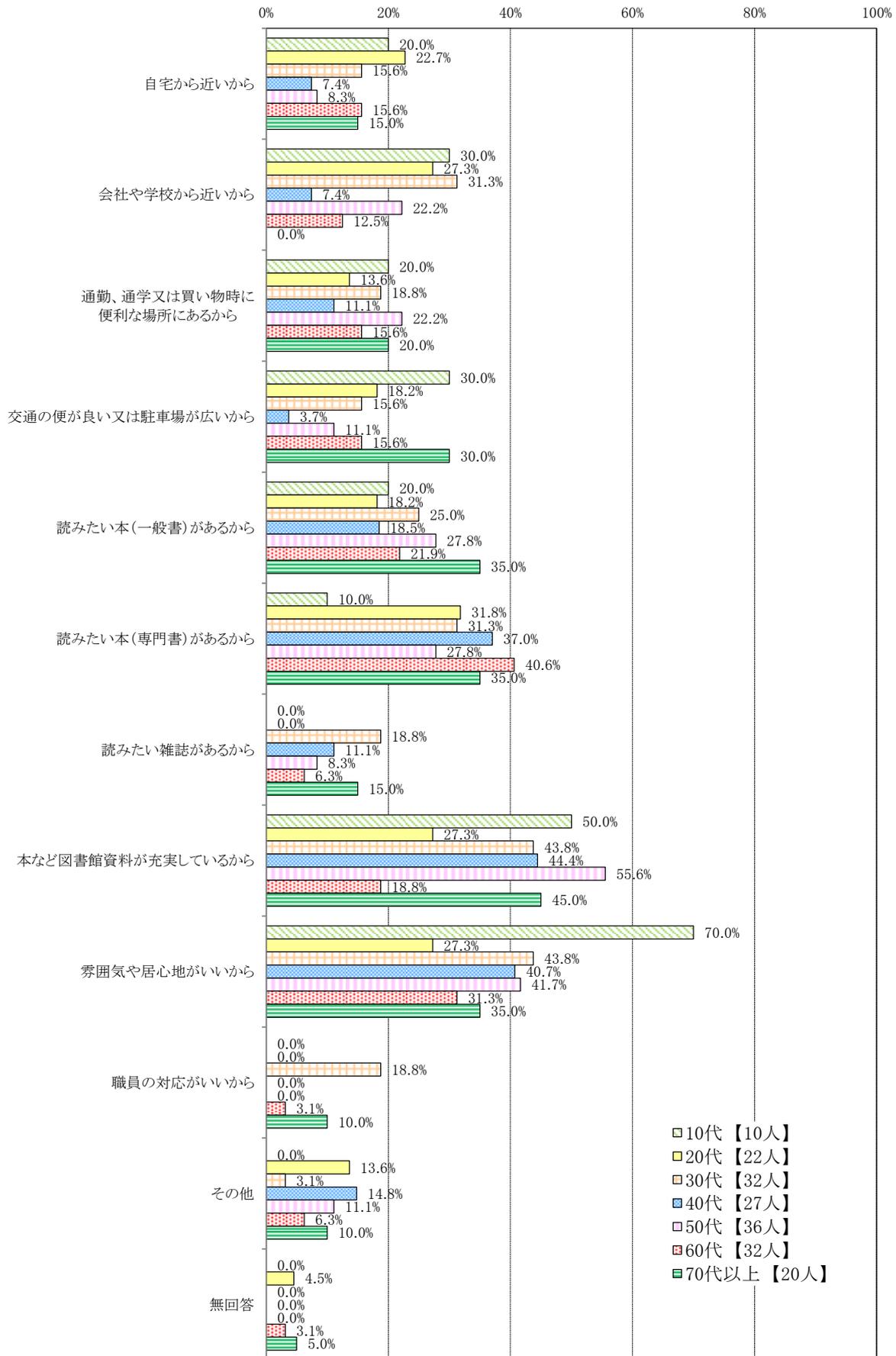
問19 問18で「2」～「8」と回答した方にお尋ねします。他の公立図書館をよく利用する理由はなんですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 「本など図書館資料が充実しているから」が40.2%で最も多く、次いで「雰囲気や居心地がいいから」39.1%、「読みたい本(専門書)」があるから」32.4%となっている
- 年齢別にみると、10代では「雰囲気や居心地がいいから」が70.0%と高い割合を占めている
- 30代以下では、「会社や学校に近いから」との回答割合も一定程度占めている

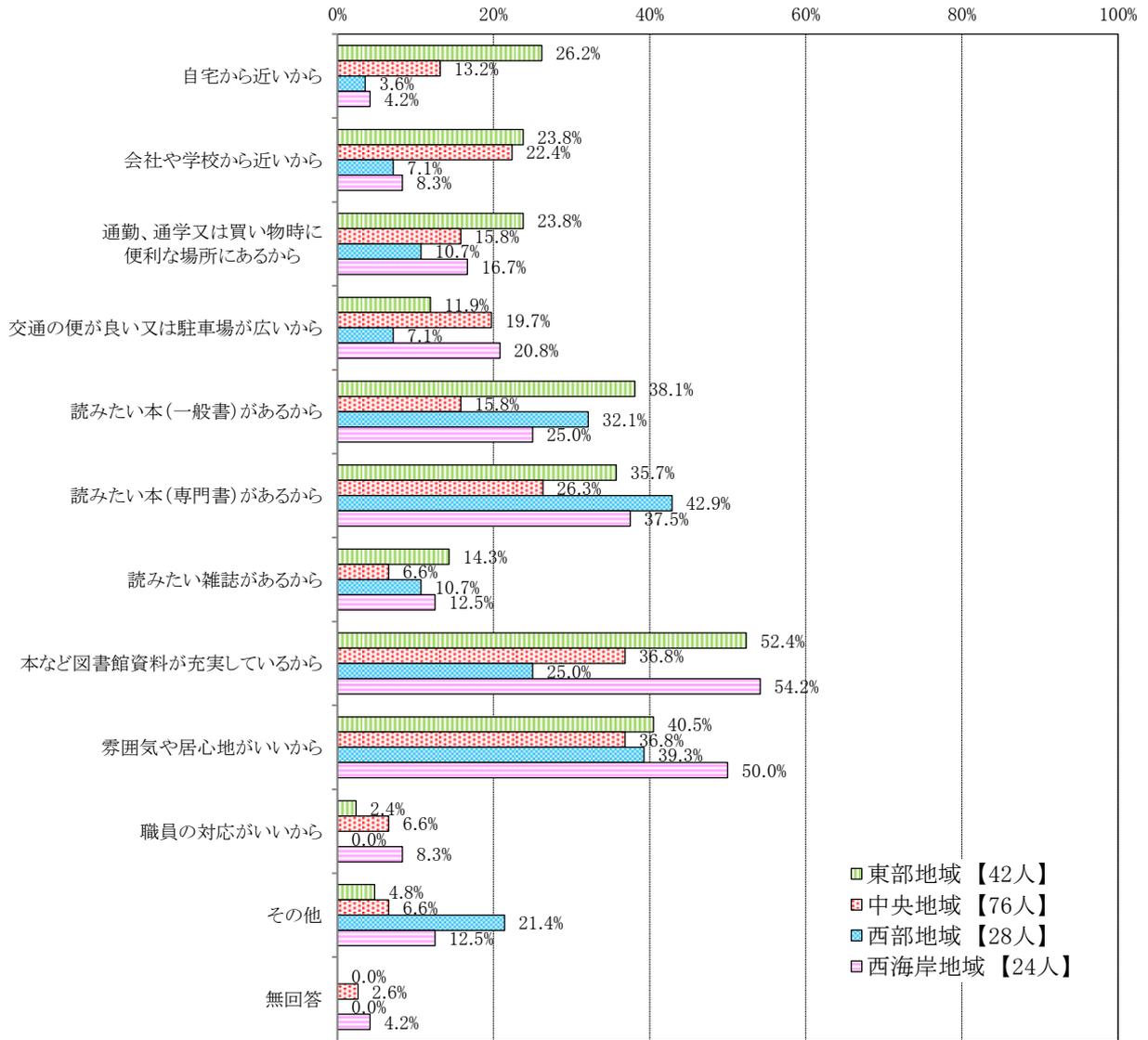


集計母数179名

《年齢別》



《地域別》

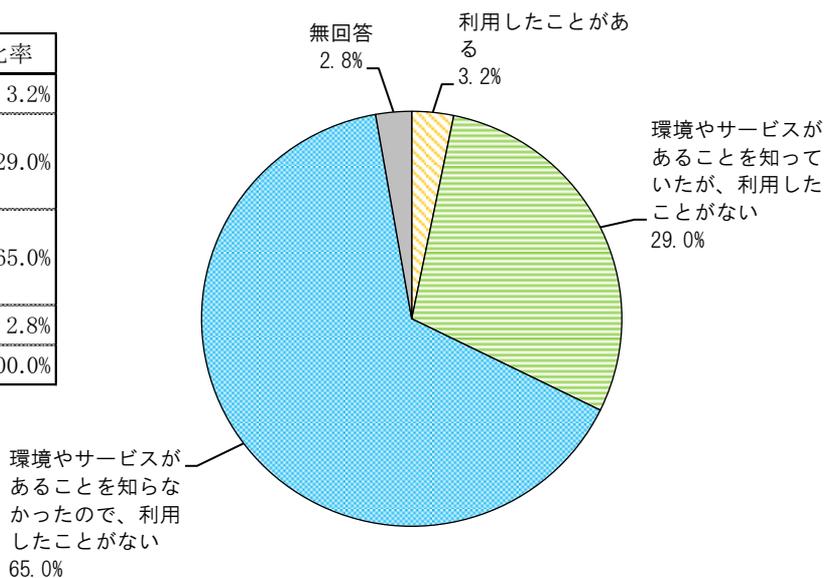


問 20 読書バリアフリーの取り組みについてお尋ねします。

中央図書館では、対面朗読室、点字図書、大活字本及びマルチメディア DAISY など、障害の有無にかかわらず誰もが利用しやすい環境やサービスを提供しています。あなたはこれらの環境やサービスを利用したことがありますか。
次の中から1つだけ選んでください。(○を1つ)

■「環境やサービスがあることを知らなかったので、利用したことがない」が65.0%で最も多く、次いで「環境やサービスがあることを知っていたが、利用したことがない」29.0%となっており、9割以上が「利用したことがない」と回答している

選択肢	件数	比率
1. 利用したことがある	28	3.2%
2. 環境やサービスがあることを知っていたが、利用したことがない	253	29.0%
3. 環境やサービスがあることを知らなかったので、利用したことがない	566	65.0%
無回答	24	2.8%
計	871	100.0%



問 21 中央図書館の今年度の満足度についてお尋ねします。

中央図書館では、令和2年度より「こどもの日」及び「文化の日」の開館、新型コロナ対策としてサーモグラフィカメラや書籍除菌機の導入、利用者出入り口の分別、電子図書館の整備などに取り組んでいるところです。また、令和元年度には、デイジーPCの設置、断熱塗装・断熱フィルムなどの工事を実施し学習環境の改善に取り組んできました。

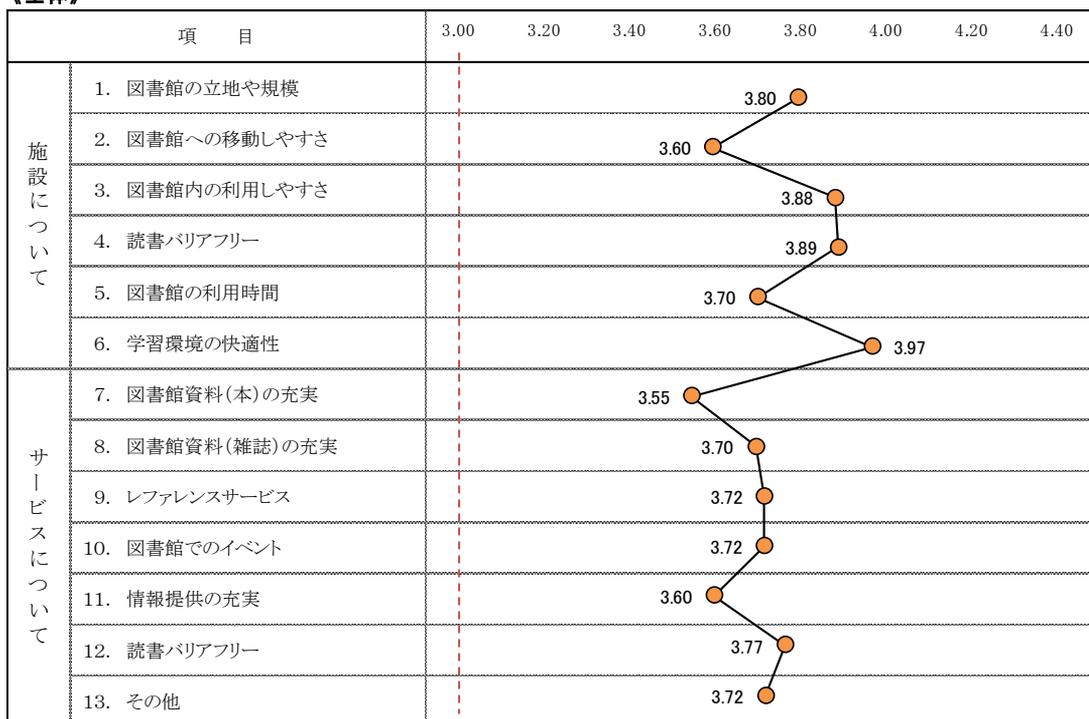
次の施設及びサービスの各項目について、令和元年度の満足度が3だとすると、今年度の満足度はどのように考えますか。(各設問のマスに○を1つ)

- すべての項目で、令和元年度に比べ満足度は高くなっている
- 『学習環境の快適性』、『読書バリアフリー』、『図書館内の利用しやすさ』など、施設についての項目で満足度が高くなっている
- 逆に、平均値(満足指数)が低い項目は、『図書館資料(本)の充実』、『図書館への移動しやすさ』、『情報提供の充実』となっており、今後の課題といえる
- 年齢別にみると、全体的には若い世代の方が平均値(満足指数)が高くなっている
- 40代では『図書館資料(本)の充実』、50代では『図書館の利用時間』『情報提供の充実』、60代では『図書館資料(雑誌)の充実』、70代以上では『図書館への移動しやすさ』といった項目が、他の年代に比べ平均値(満足指数)が低くなっている
- 地域別にみると、全体的には中央地域での平均値(満足指数)がやや高くなっている
- 『図書館の立地や規模』、『図書館への移動しやすさ』については、東部地域、西海岸地域で、平均値(満足指数)が他の地域に比べ特に低くなっている
- 性別でみると、『学習環境の快適性』、『図書館内の利用しやすさ』以外の項目はすべて、女性の平均値(満足指数)の方がやや高くなっている

◇平均値の比較

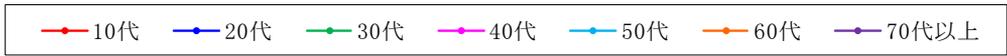
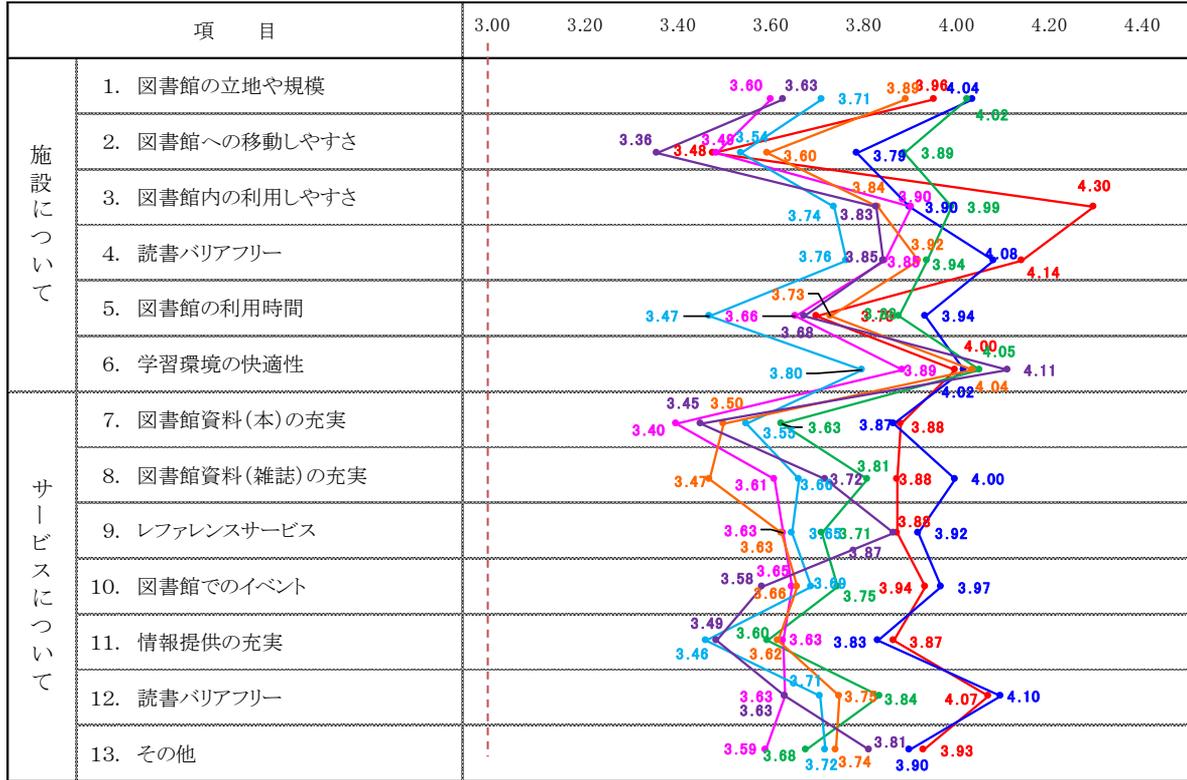
平均値は、満足…5、まあ満足…4、令和元年度…3、やや不満…2、不満…1として加重平均により算出。

《全体》

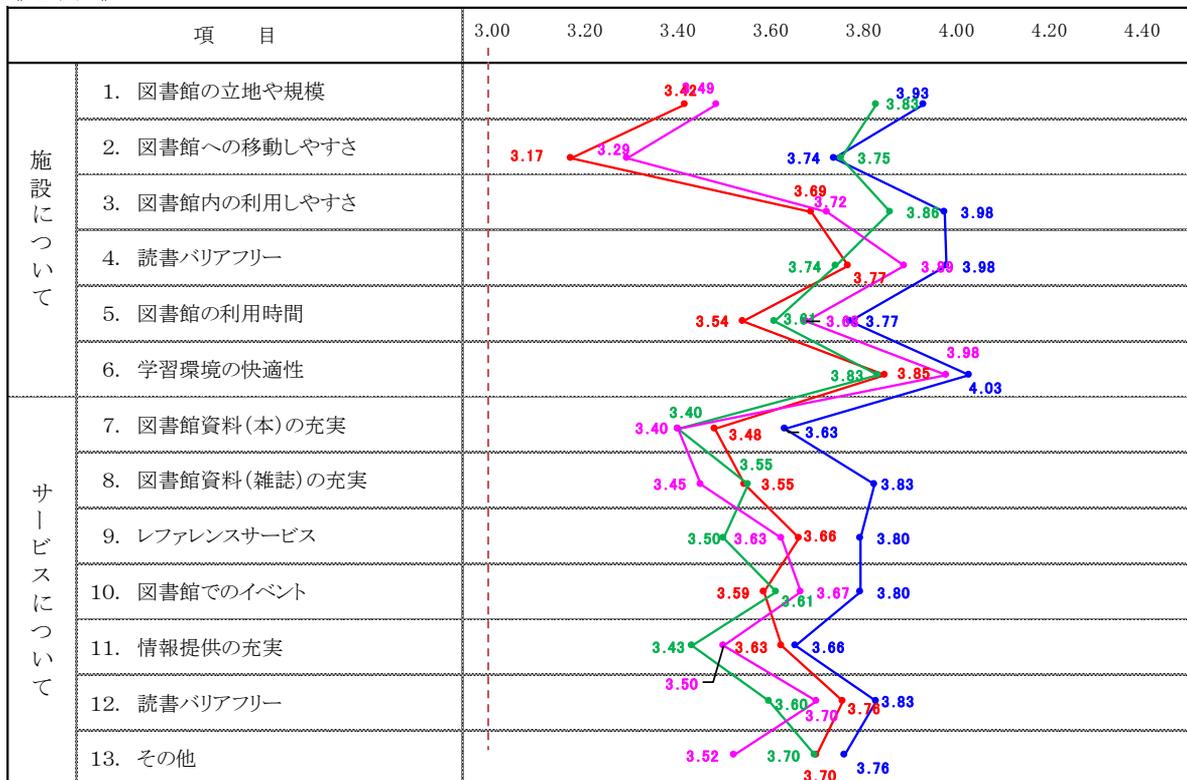


● 全体

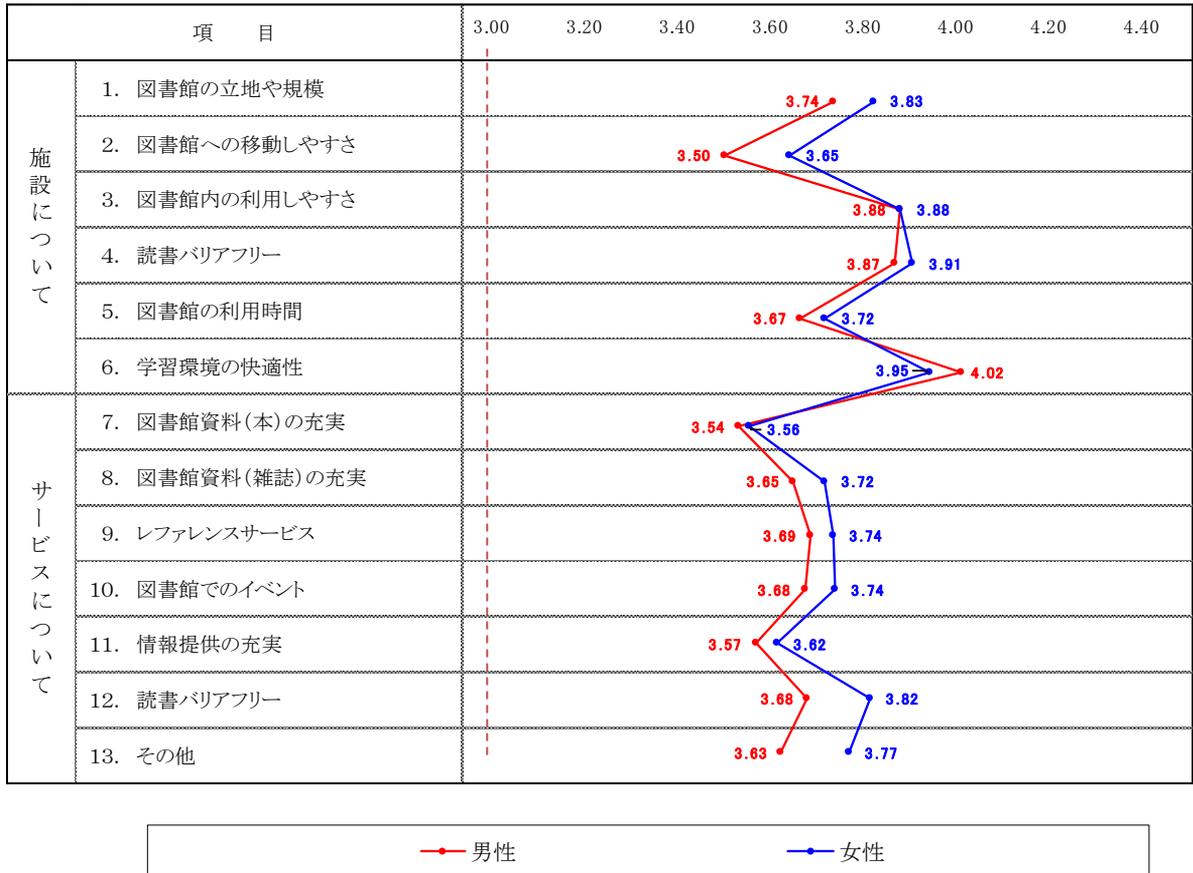
《年齢別》



《地域別》



《性別》



◇ 満足度の比較

満足度は、「満足」「まあ満足」の合計比率で比較した。

- 『図書館の立地や規模』の満足度が最も高く、次いで『図書館内の利用しやすさ』、『学習環境の快適性』となっており、おもに施設についての項目で満足度が高くなっている
- 「わからない」を除くと、『学習環境の快適性』の満足度が最も高く、次いで『図書館内の利用しやすさ』、『読書バリアフリー(施設)』となっている

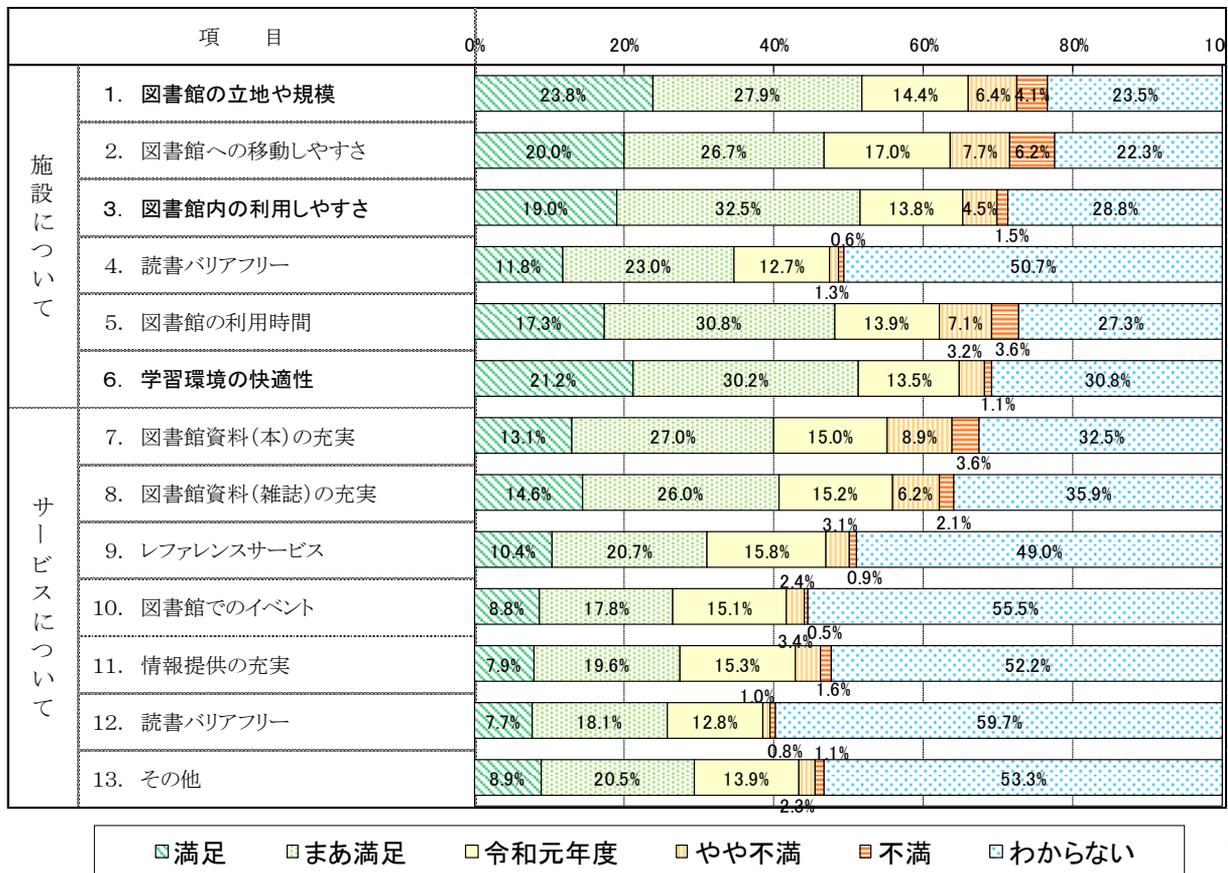
項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	無回答	計
施設について	1. 図書館の立地や規模	194	227	117	52	33	191	57	871
	2. 図書館への移動しやすさ	160	214	136	62	50	179	69	870
	3. 図書館内の利用しやすさ	152	260	110	36	12	230	71	871
	4. 読書バリアフリー	94	183	101	10	5	404	74	871
	5. 図書館の利用時間	139	247	112	57	29	219	68	871
	6. 学習環境の快適性	170	242	108	26	9	247	69	871
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	105	216	120	71	29	260	69	870
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	117	209	122	50	17	288	68	871
	9. レファレンスサービス	83	165	126	25	7	390	73	869
	10. 図書館でのイベント	70	142	120	19	4	442	74	871
	11. 情報提供の充実	63	156	122	27	13	416	74	871
	12. 読書バリアフリー	61	144	102	8	6	475	75	871
	13. その他	70	162	110	18	9	421	81	871

※複数回答は集計除外とした。

[割合]

項 目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	計
施設について	1. 図書館の立地や規模	23.8%	27.9%	14.4%	6.4%	4.1%	23.5%	100.0%
	2. 図書館への移動しやすさ	20.0%	26.7%	17.0%	7.7%	6.2%	22.3%	100.0%
	3. 図書館内の利用しやすさ	19.0%	32.5%	13.8%	4.5%	1.5%	28.8%	100.0%
	4. 読書バリアフリー	11.8%	23.0%	12.7%	1.3%	0.6%	50.7%	100.0%
	5. 図書館の利用時間	17.3%	30.8%	13.9%	7.1%	3.6%	27.3%	100.0%
	6. 学習環境の快適性	21.2%	30.2%	13.5%	3.2%	1.1%	30.8%	100.0%
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	13.1%	27.0%	15.0%	8.9%	3.6%	32.5%	100.0%
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	14.6%	26.0%	15.2%	6.2%	2.1%	35.9%	100.0%
	9. レファレンスサービス	10.4%	20.7%	15.8%	3.1%	0.9%	49.0%	100.0%
	10. 図書館でのイベント	8.8%	17.8%	15.1%	2.4%	0.5%	55.5%	100.0%
	11. 情報提供の充実	7.9%	19.6%	15.3%	3.4%	1.6%	52.2%	100.0%
	12. 読書バリアフリー	7.7%	18.1%	12.8%	1.0%	0.8%	59.7%	100.0%
	13. その他	8.9%	20.5%	13.9%	2.3%	1.1%	53.3%	100.0%

※無回答は除く。



※複数回答、無回答は除く。

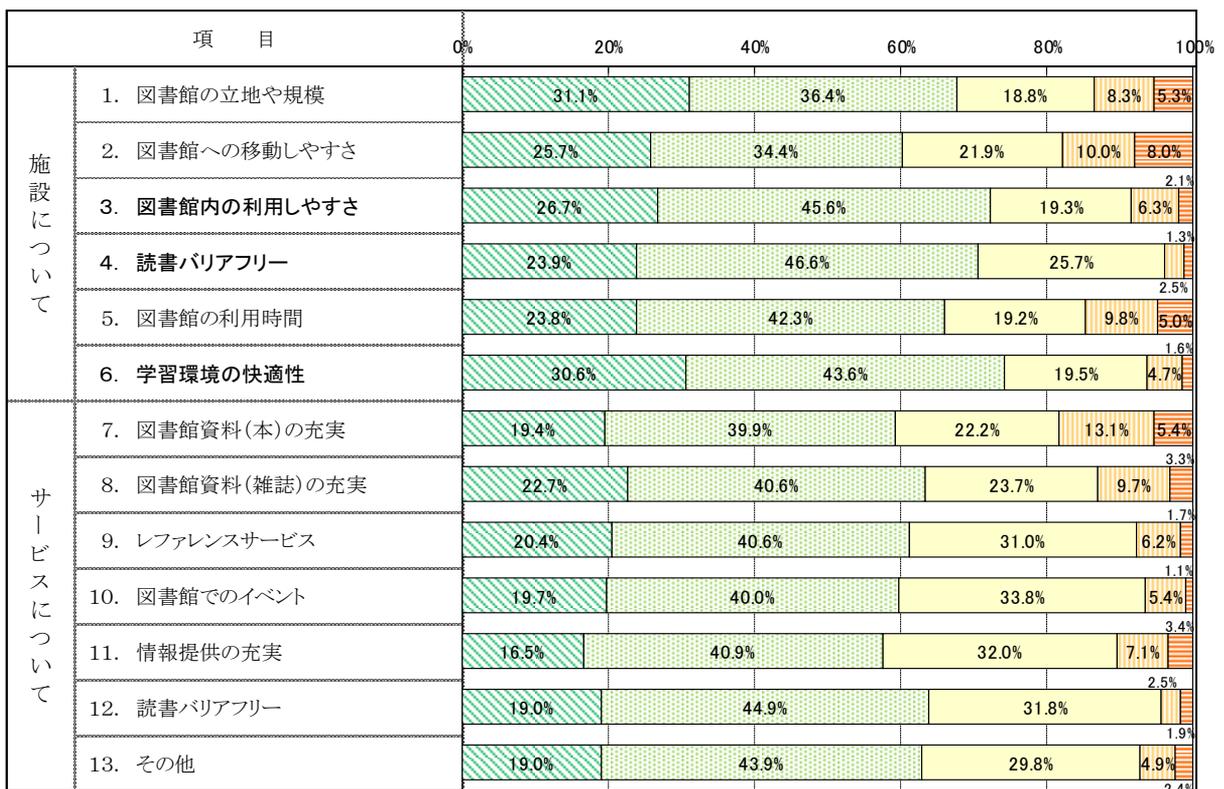
◇ わからないを除く

〔割合〕

項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	計	平均値
施設について	1. 図書館の立地や規模	31.1%	36.4%	18.8%	8.3%	5.3%	100.0%	3.80
	2. 図書館への移動しやすさ	25.7%	34.4%	21.9%	10.0%	8.0%	100.0%	3.60
	3. 図書館内の利用しやすさ	26.7%	45.6%	19.3%	6.3%	2.1%	100.0%	3.88
	4. 読書バリアフリー	23.9%	46.6%	25.7%	2.5%	1.3%	100.0%	3.89
	5. 図書館の利用時間	23.8%	42.3%	19.2%	9.8%	5.0%	100.0%	3.70
	6. 学習環境の快適性	30.6%	43.6%	19.5%	4.7%	1.6%	100.0%	3.97
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	19.4%	39.9%	22.2%	13.1%	5.4%	100.0%	3.55
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	22.7%	40.6%	23.7%	9.7%	3.3%	100.0%	3.70
	9. レファレンスサービス	20.4%	40.6%	31.0%	6.2%	1.7%	100.0%	3.72
	10. 図書館でのイベント	19.7%	40.0%	33.8%	5.4%	1.1%	100.0%	3.72
	11. 情報提供の充実	16.5%	40.9%	32.0%	7.1%	3.4%	100.0%	3.60
	12. 読書バリアフリー	19.0%	44.9%	31.8%	2.5%	1.9%	100.0%	3.77
	13. その他	19.0%	43.9%	29.8%	4.9%	2.4%	100.0%	3.72

※無回答は除く。

※平均値(満足・・5、まあ満足・・4、令和元年度・・3、やや不満・・2、不満・・1)



満足
 まあ満足
 令和元年度
 やや不満
 不満

※複数回答、無回答、「わからない」は除く。

問 22 以下は中央図書館で現在行っている取り組みの一部です。

これらの取り組みのうち、①あなたが知っているものはどれですか。②あなたが利用してみたいと思うものはどれですか。取り組みごとに1つずつ選んでください。(各設問に○は1つ)

① あなたが知っている取り組みはどれですか。

- 『図書館行事「子供向けのイベント」』については、「知っている」が5割を超えており、認知度が他に比べ高くなっている
- 『国立国会図書館デジタル複写サービス』については、「知らない」が9割を超えており、認知度が低くなっている

〔件数〕

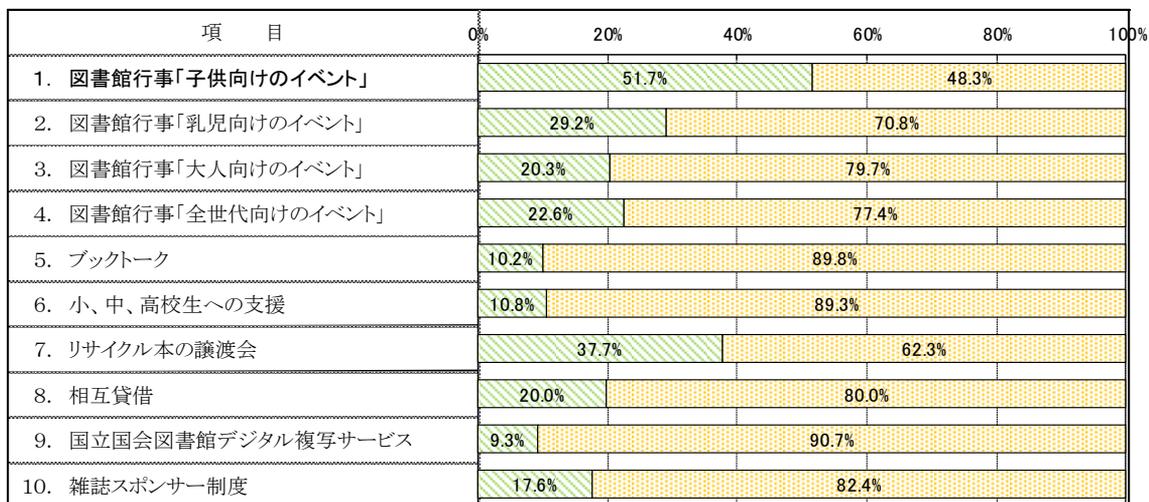
項 目	知っている	知らない	無回答	計
1. 図書館行事「子供向けのイベント」	419	392	60	871
2. 図書館行事「乳児向けのイベント」	234	567	70	871
3. 図書館行事「大人向けのイベント」	164	643	64	871
4. 図書館行事「全世代向けのイベント」	181	621	69	871
5. ブックトーク	81	717	73	871
6. 小、中、高校生への支援	86	714	71	871
7. リサイクル本の譲渡会	308	510	53	871
8. 相互貸借	161	646	64	871
9. 国立国会図書館デジタル複写サービス	74	722	75	871
10. 雑誌スポンサー制度	141	658	72	871

※複数回答は集計除外とした。

〔割合〕

項 目	知っている	知らない	計
1. 図書館行事「子供向けのイベント」	51.7%	48.3%	100.0%
2. 図書館行事「乳児向けのイベント」	29.2%	70.8%	100.0%
3. 図書館行事「大人向けのイベント」	20.3%	79.7%	100.0%
4. 図書館行事「全世代向けのイベント」	22.6%	77.4%	100.0%
5. ブックトーク	10.2%	89.8%	100.0%
6. 小、中、高校生への支援	10.8%	89.3%	100.0%
7. リサイクル本の譲渡会	37.7%	62.3%	100.0%
8. 相互貸借	20.0%	80.0%	100.0%
9. 国立国会図書館デジタル複写サービス	9.3%	90.7%	100.0%
10. 雑誌スポンサー制度	17.6%	82.4%	100.0%

※無回答は除く。



□ 知っている □ 知らない

※複数回答、無回答は除く。

② あなたが利用してみたいと思う取り組みはどれですか。

■利用してみたい取り組みとしては、『リサイクル本の譲渡会』が最も割合が高く、次いで『図書館行事「大人向けのイベント」』、『図書館行事「全世代向けのイベント」』となっている

〔件数〕

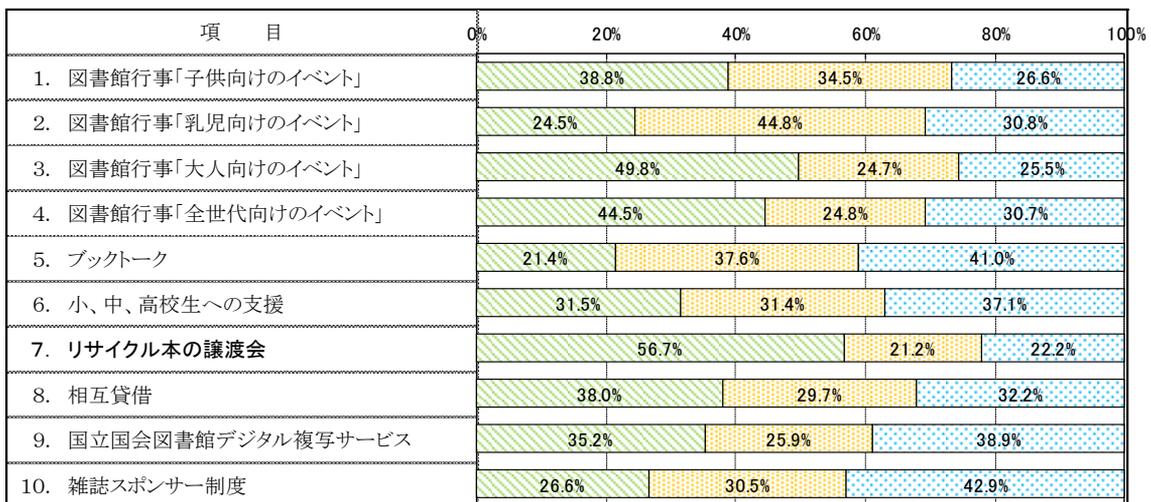
項目	思う	思わない	わからない	無回答	計
1. 図書館行事「子供向けのイベント」	306	272	210	83	871
2. 図書館行事「乳児向けのイベント」	190	348	239	94	871
3. 図書館行事「大人向けのイベント」	399	198	204	70	871
4. 図書館行事「全世代向けのイベント」	351	196	242	81	870
5. ブックトーク	167	294	320	89	870
6. 小、中、高校生への支援	247	246	291	87	871
7. リサイクル本の譲渡会	455	170	178	66	869
8. 相互貸借	302	236	256	77	871
9. 国立国会図書館デジタル複写サービス	278	204	307	82	871
10. 雑誌スポンサー制度	210	241	339	81	871

※複数回答は集計除外とした。

〔割合〕

項目	思う	思わない	わからない	計
1. 図書館行事「子供向けのイベント」	38.8%	34.5%	26.6%	100.0%
2. 図書館行事「乳児向けのイベント」	24.5%	44.8%	30.8%	100.0%
3. 図書館行事「大人向けのイベント」	49.8%	24.7%	25.5%	100.0%
4. 図書館行事「全世代向けのイベント」	44.5%	24.8%	30.7%	100.0%
5. ブックトーク	21.4%	37.6%	41.0%	100.0%
6. 小、中、高校生への支援	31.5%	31.4%	37.1%	100.0%
7. リサイクル本の譲渡会	56.7%	21.2%	22.2%	100.0%
8. 相互貸借	38.0%	29.7%	32.2%	100.0%
9. 国立国会図書館デジタル複写サービス	35.2%	25.9%	38.9%	100.0%
10. 雑誌スポンサー制度	26.6%	30.5%	42.9%	100.0%

※無回答は除く。



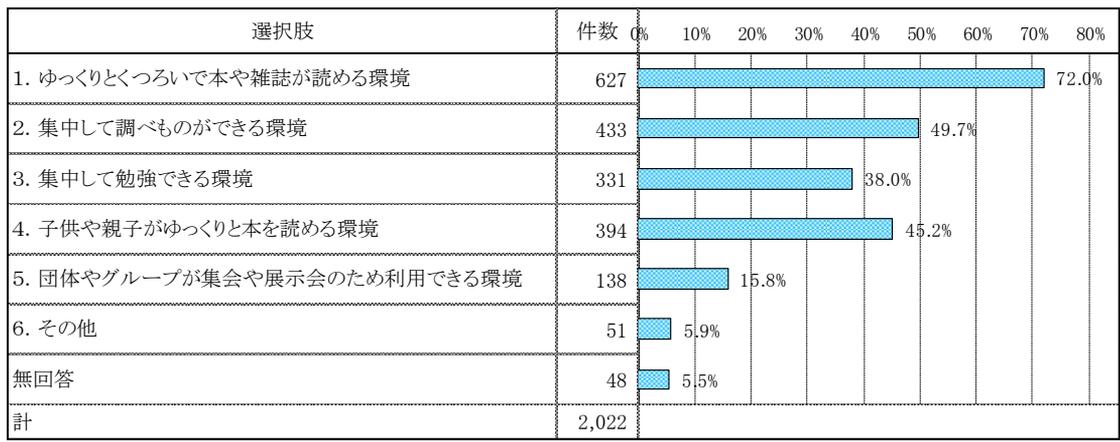
□ 思う □ 思わない □ わからない

※複数回答、無回答は除く。

問 23 中央図書館への要望を教えてください。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

① 環境面について

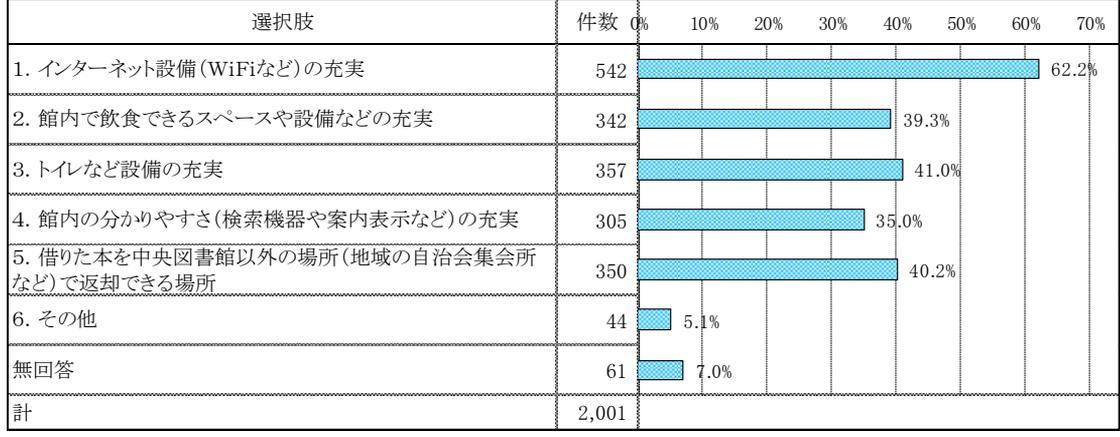
■ 「ゆっくりとくつろいで本や雑誌が読める環境」が72.0%で最も多く、次いで「集中して調べものができる環境」49.7%、「子供や親子がゆっくりと本を読める環境」45.2%となっている



集計母数871名

② 設備面について

■ 「インターネット設備(Wi-Fiなど)の充実」が62.2%で最も高く、次いで「トイレなど設備の充実」41.0%、「借りた本を中央図書館以外の場所(地域の自治会集会所などで)返却できる場所」40.2%となっている



集計母数871名

(6) その他

問 24 今後の中央図書館について、「ご意見」や「アイデア」をお持ちでしたら、ぜひお聞かせください。

- 『図書館内の利用のしやすさ』に関する意見が最も多く、内容としては、「インターネット環境の充実」「くつろげるスペース確保」「カフェ等の飲食可能なスペース」などの館内の環境や設備に関することや、「図書の予約、リクエスト等のデジタル化」「貸出、返却の効率化」「借りた図書の返却場所の多様化」など、図書の貸出等に関する意見も多く寄せられた
- 次いで『図書館資料の充実』について、「新刊本や専門書など本の種類の充実」「DVD、CDの充実」「電子書籍の拡充」などの意見も多くあった
- その他、『図書館の立地や規模』に関する意見も多く、内容としては、「移動図書館の充実」「駐車場の整備」などの意見が多く寄せられた

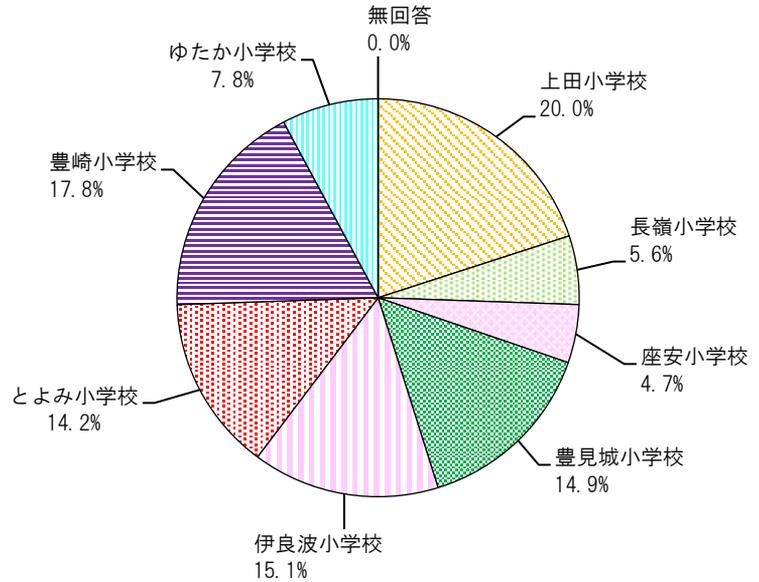
項目		件数															
		全体	性別		年齢別							地域別					
			男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	東部	中央	西部	西海岸	市外	無回答
図書館の立地や規模	立地(分室含む)	16	9	7	1		2	5	3	1	4	4	9	1	2		
	移動図書館	12	3	9		2	2	4			4		6	3	3		
	その他	2	1	1					1	1			2				
図書館への移動のしやすさ	公共交通	9	1	8			1		2	1	5	1	6	1	1		
	車でのアクセス(駐車場)	19	8	11		1	5	4	5	3	1	5	8	2	3	1	
	その他	1		1							1		1				
図書館内の利用のしやすさ	館内の環境や設備	48	14	34	1	7	14	7	6	7	6	8	23	12	3	2	
	図書の貸出等	51	13	38	2	3	10	13	9	7	7	7	24	14	5	1	
読書バリアフリー		3	1	2	1		1		1				3				
図書館の利用時間		8	3	5		1	1		1		5	2	4	1	1		
学習環境の快適性		14	4	10		2	4	3	3	1	1	3	7	1	3		
図書館資料(本)の充実		36	12	24		1	5	12	6	9	3	4	21	8	2	1	
図書館資料(雑誌)の充実		9	4	5			3	2		1	3	2	6	1			
図書館資料(漫画)の充実		3	1	2			2	1					1	2			
レファレンスサービス		2		2			1	1								2	
図書館でのイベント		27	9	18		1	8	3	8	4	3	5	13	6	3		
情報提供の充実		27	10	17		1	6	7	3	5	5	5	13	6	3		
職員の対応		22	4	18	1	1	5	1	3	4	7	2	13	7			
その他		58	20	38	1	2	8	13	9	9	16	13	27	12	4	1	1
計		367	117	250	7	22	78	76	60	53	71	61	187	77	33	8	1

2. 小学生アンケート結果

問1 あなたの学校を教えてください。(1つに○)

■通学している学校については、「上田小学校」が20.0%で最も多く、次いで「豊崎小学校」17.8%、「伊良波小学校」15.1%となっている

選択肢	件数	比率
1. 上田小学校	118	20.0%
2. 長嶺小学校	33	5.6%
3. 座安小学校	28	4.7%
4. 豊見城小学校	88	14.9%
5. 伊良波小学校	89	15.1%
6. とよみ小学校	84	14.2%
7. 豊崎小学校	105	17.8%
8. ゆたか小学校	46	7.8%
無回答	0	0.0%
計	591	100.0%

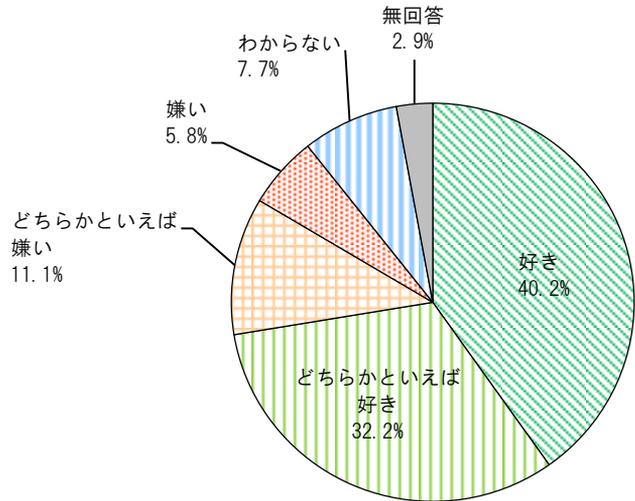


問2 あなたは本を読むことが好きですか。(1つに〇)

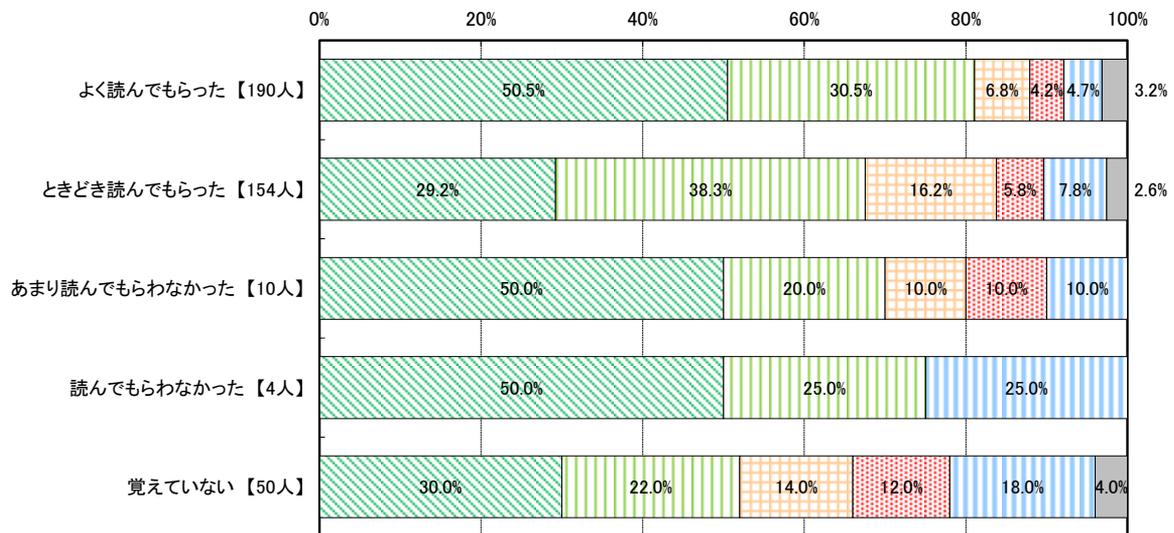
- 読書については、「好き」が40.2%で最も多く、次いで「どちらかといえば好き」32.2%となっており、合計すると約7割が本を読むことが好きと回答している
- 読み聞かせの経験別にみても、読んでもらわなかったと回答した人数が少なく、経験の有無による大きな差は見られない

選択肢	件数	比率
1. 好き	166	40.2%
2. どちらかといえば好き	133	32.2%
3. どちらかといえば嫌い	46	11.1%
4. 嫌い	24	5.8%
5. わからない	32	7.7%
無回答	12	2.9%
計	413	100.0%

※紙媒体のみ



《読み聞かせの経験別》

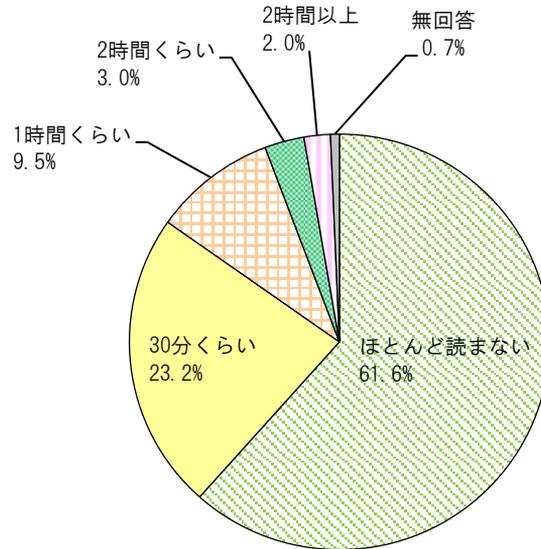


■好き ■どちらかといえば好き ■どちらかといえば嫌い ■嫌い ■わからない ■無回答

問3 あなたは学校から帰ったらどれくらいの時間（1日平均）本を読みますか。（1つに○）
 ただし、ざっし、マンガ、学校で使う教科書や学習参考書などはのぞきます。

■ 1日の読書時間については、「ほとんど読まない」が61.6%で圧倒的に多く、次いで「30分くらい」23.2%となっており、8割以上が30分以下と回答している

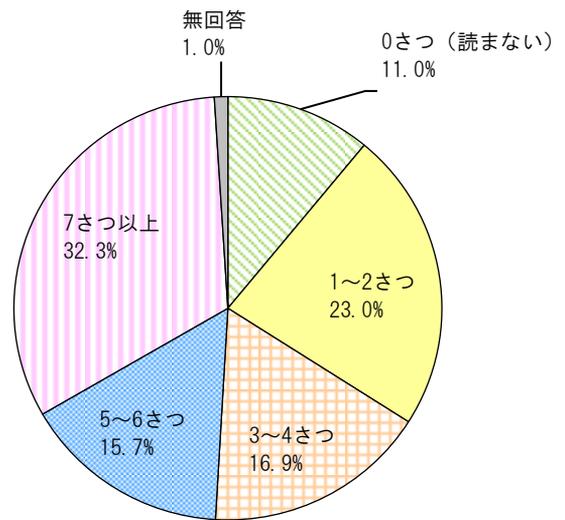
選択肢	件数	比率
1. ほとんど読まない	364	61.6%
2. 30分くらい	137	23.2%
3. 1時間くらい	56	9.5%
4. 2時間くらい	18	3.0%
5. 2時間以上	12	2.0%
無回答	4	0.7%
計	591	100.0%



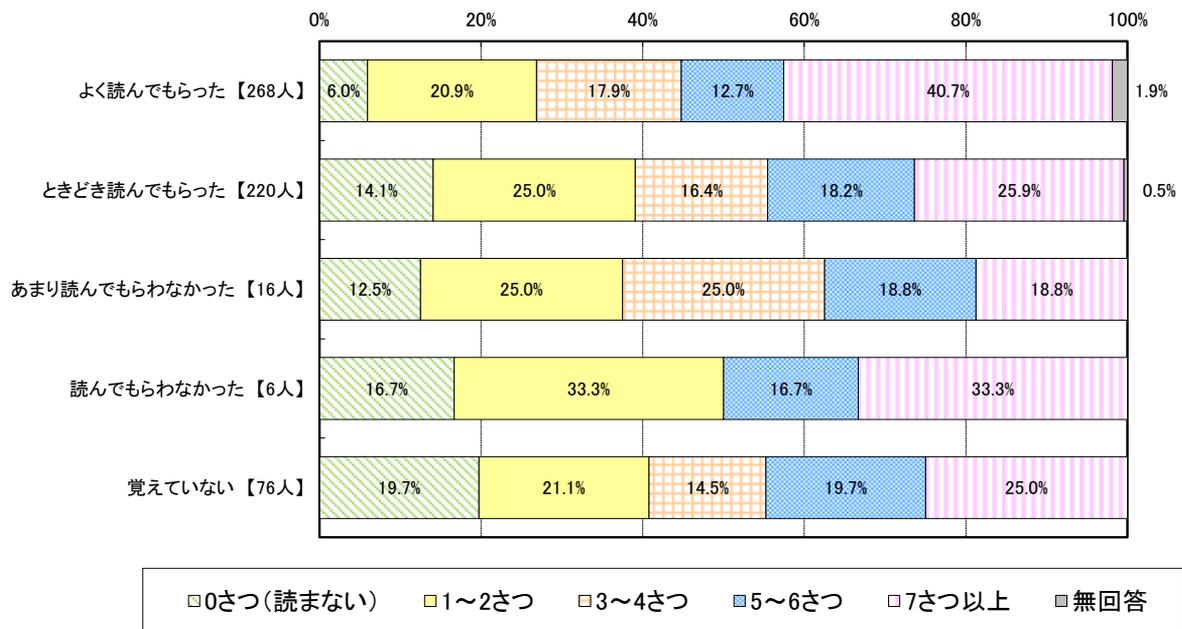
問4 あなたは本を1ヵ月に何さつ読みますか。(1つに○)
ただし、マンガやざっし、教科書や学習参考書はのぞきます。

- 1ヵ月の読書冊数については、「7冊以上」が32.3%で最も多く、次いで「1～2冊」23.0%、「3～4冊」16.9%となっている
- 読書時間の比率と照らし合わせると、読書時間が短い割には、読書量は一定程度ある様子が伺える
- 読み聞かせの経験別にみても、読んでもらわなかったと回答した人数が少なく、経験の有無による大きな差は見られない

選択肢	件数	比率
1. 0さつ(読まない)	65	11.0%
2. 1～2さつ	136	23.0%
3. 3～4さつ	100	16.9%
4. 5～6さつ	93	15.7%
5. 7さつ以上	191	32.3%
無回答	6	1.0%
計	591	100.0%



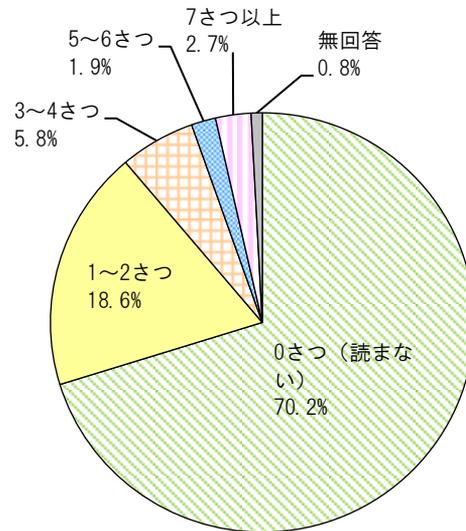
《読み聞かせの経験別》



問5 あなたはざっしを1ヵ月に何さつ読みますか。(1つに〇)

■ 1カ月の雑誌の読書冊数については、「0冊(読まない)」が70.2%で圧倒的に多く、次いで「1~2冊」18.6%となっており、9割近くが2冊以下との回答になっている

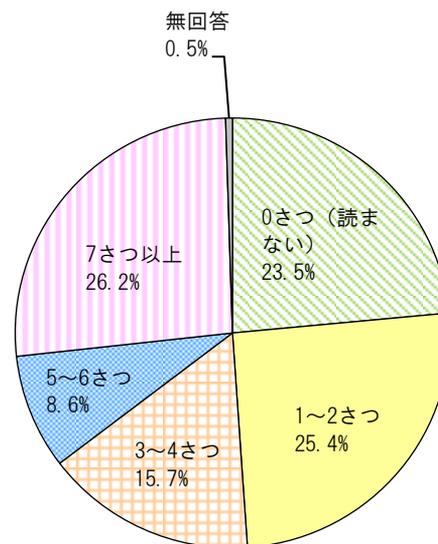
選択肢	件数	比率
1. 0さつ(読まない)	415	70.2%
2. 1~2さつ	110	18.6%
3. 3~4さつ	34	5.8%
4. 5~6さつ	11	1.9%
5. 7さつ以上	16	2.7%
無回答	5	0.8%
計	591	100.0%



問6 あなたはマンガを1ヵ月に何さつ読みますか。(1つに〇)

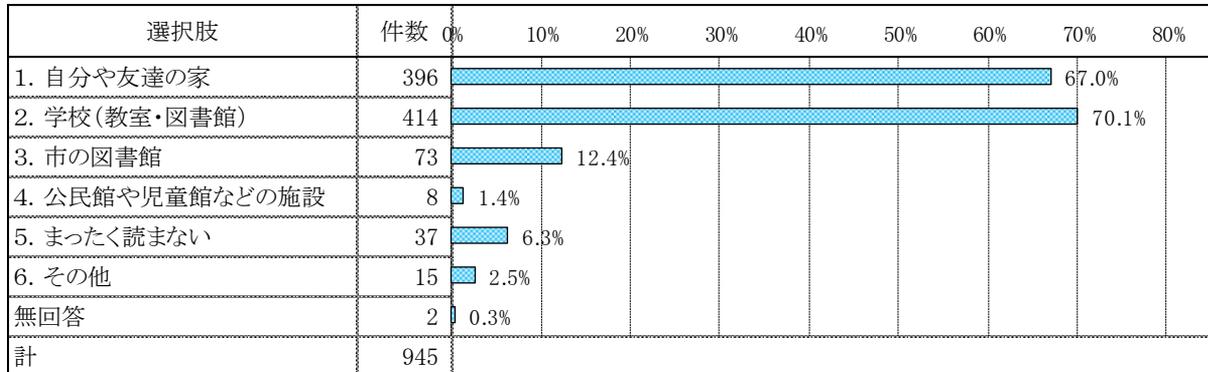
■ 1カ月のマンガの読書冊数については、「7冊以上」が26.2%で最も多く、次いで「1~2冊」25.4%、「0冊(読まない)」23.5%となっており、読む人と読まない人とで大きな差があることが伺える

選択肢	件数	比率
1. 0さつ(読まない)	139	23.5%
2. 1~2さつ	150	25.4%
3. 3~4さつ	93	15.7%
4. 5~6さつ	51	8.6%
5. 7さつ以上	155	26.2%
無回答	3	0.5%
計	591	100.0%



問7 あなたはどこで本を読んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

■本を読む場所については、「学校(教室・図書館)」が最も多く、次いで「自分や友達の家」となっている

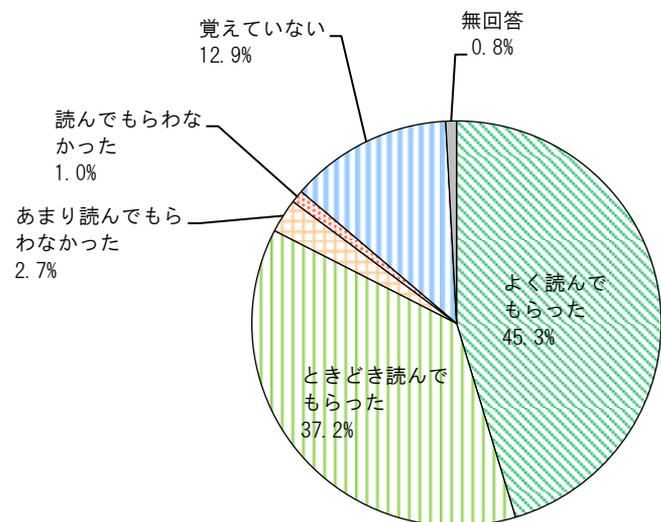


集計母数591名

問8 あなたは小さいころ(小学校に入る前)、だれかに絵本やおはなしの本を読んでもらいましたか。(1つに○)

■小さい頃の読書経験については、「よく読んでもらった」が45.3%で最も多く、次いで「ときどき読んでもらった」37.2%となっており、合計すると、約8割が絵本やおはなしの本をある程度読んでもらった経験を持っている

選択肢	件数	比率
1. よく読んでもらった	268	45.3%
2. ときどき読んでもらった	220	37.2%
3. あまり読んでもらわなかった	16	2.7%
4. 読んでもらわなかった	6	1.0%
5. 覚えていない	76	12.9%
無回答	5	0.8%
計	591	100.0%



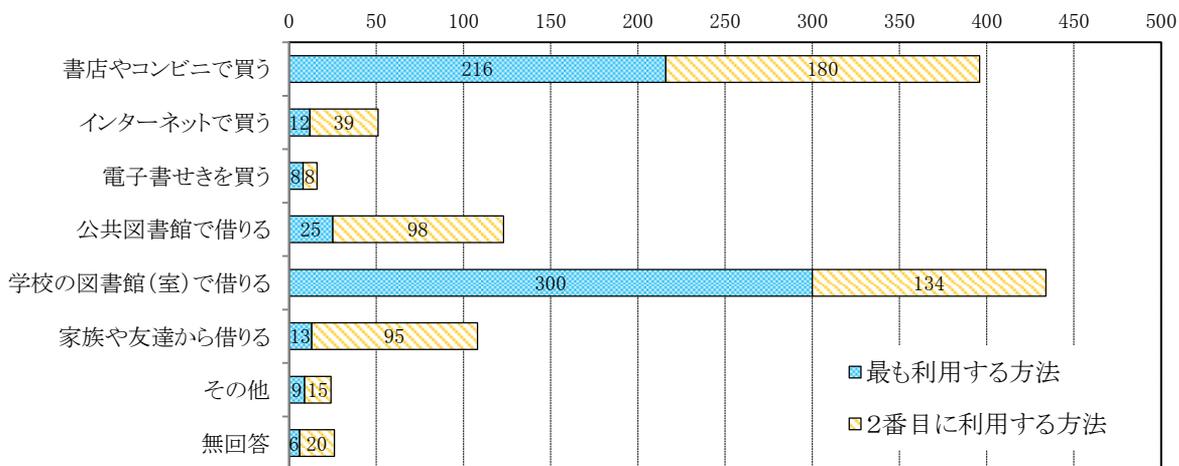
問9 あなたは本をどのような方法で入手しますか。

次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答する場所に記入してください。

■本の入手方法については、「学校の図書館(室)で借りる」が最も多く、次いで「書店やコンビニで買う」となっている

選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニで買う	216	36.7%	180	30.6%
2. インターネットで買う	12	2.0%	39	6.6%
3. 電子書せきを買う	8	1.4%	8	1.4%
4. 公共図書館で借りる	25	4.2%	98	16.6%
5. 学校の図書館(室)で借りる	300	50.9%	134	22.8%
6. 家族や友達から借りる	13	2.2%	95	16.1%
7. その他	9	1.5%	15	2.5%
無回答	6	1.0%	20	3.4%
計	589	100.0%	589	100.0%

複数回答による集計除外2名 複数回答による集計除外2名



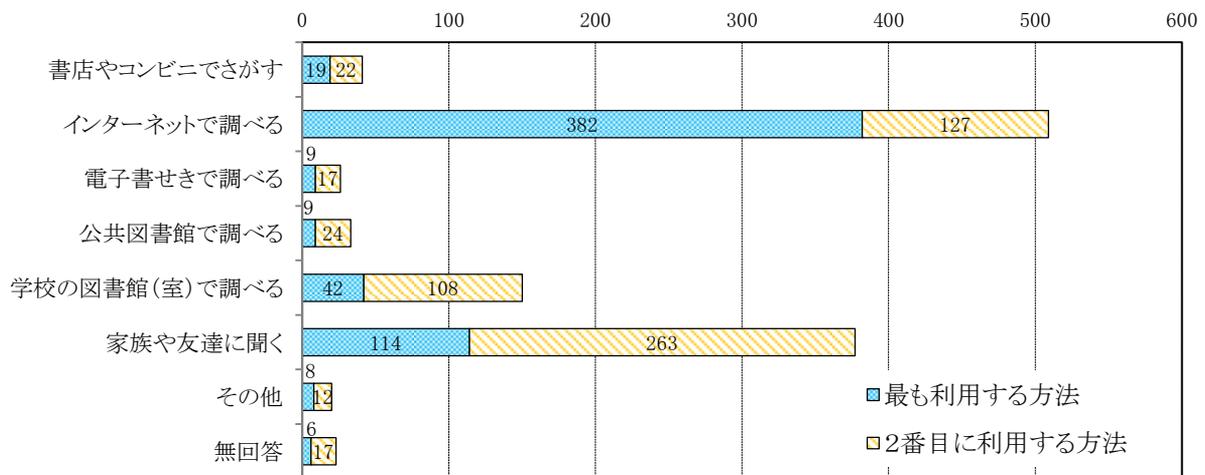
問10 あなたは知りたいことがあるとき、どのような方法で調べますか。

次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答らんに記入してください。

■ 知りたいことを調べる方法については、「インターネットで調べる」が最も多く、次いで「家族や友達に聞く」となっている

選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニでさがす	19	3.2%	22	3.7%
2. インターネットで調べる	382	64.9%	127	21.5%
3. 電子書せきで調べる	9	1.5%	17	2.9%
4. 公共図書館で調べる	9	1.5%	24	4.1%
5. 学校の図書館(室)で調べる	42	7.1%	108	18.3%
6. 家族や友達に聞く	114	19.4%	263	44.6%
7. その他	8	1.4%	12	2.0%
無回答	6	1.0%	17	2.9%
計	589	100.0%	590	100.0%

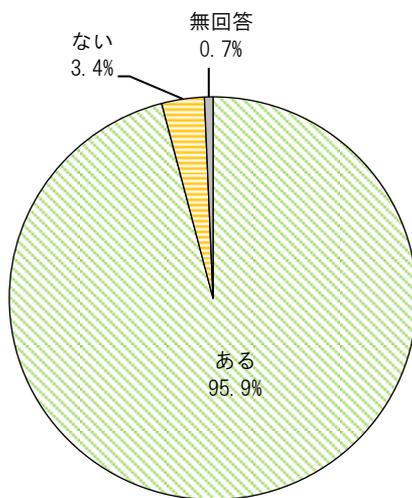
複数回答による集計除外2名 複数回答による集計除外1名



問11 あなたは、これまで図書館（室）を利用したことはありますか。（1つに○）

■図書館(室)の利用については、「ある」が95.9%で、9割以上が利用したことがあると回答している

選択肢	件数	比率
1. ある	567	95.9%
2. ない	20	3.4%
無回答	4	0.7%
計	591	100.0%

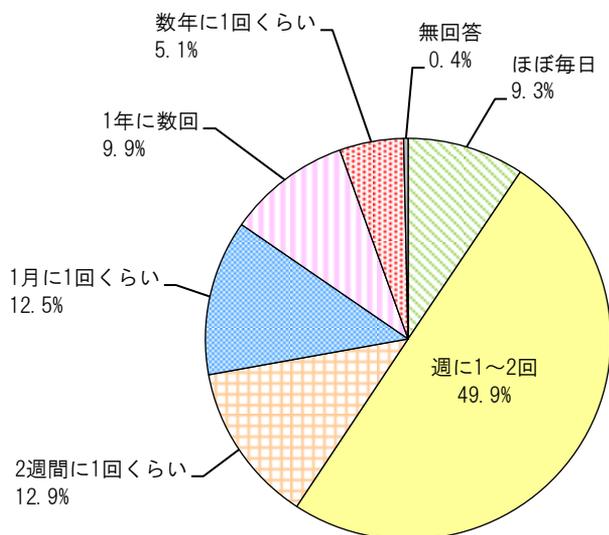


問12 問11で「1」と回答した方にお聞きします。

あなたはどれくらい図書館（室）を利用していますか。（1つに○）

■図書館を利用する頻度については、「週に1～2回」が49.9%と圧倒的に多く、次いで「2週間に1回くらい」12.9%、「1月に1回くらい」12.5%となっている

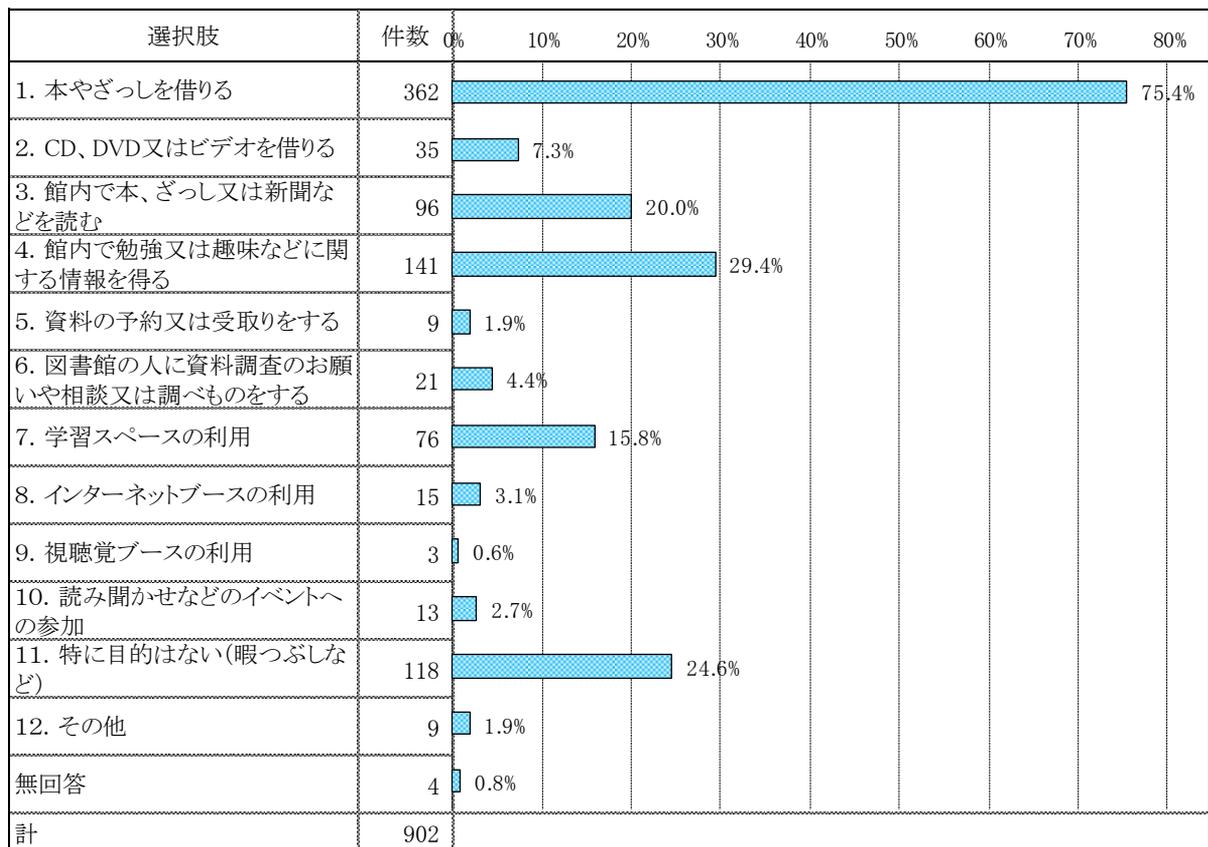
選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	53	9.3%
2. 週に1～2回	283	49.9%
3. 2週間に1回くらい	73	12.9%
4. 1月に1回くらい	71	12.5%
5. 1年に数回	56	9.9%
6. 数年に1回くらい	29	5.1%
無回答	2	0.4%
計	567	100.0%



問13 問12で「1」～「4」と回答した方にお聞きします。

図書館(室)を利用する目的を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 図書館(室)を利用する目的については、「本やざっしを借りる」が75.4%で圧倒的に多く、次いで「館内で勉強又は趣味などに関する情報を得る」29.4%となっている
- 「特に目的はない(暇つぶしなど)」との回答も24.6%となっている

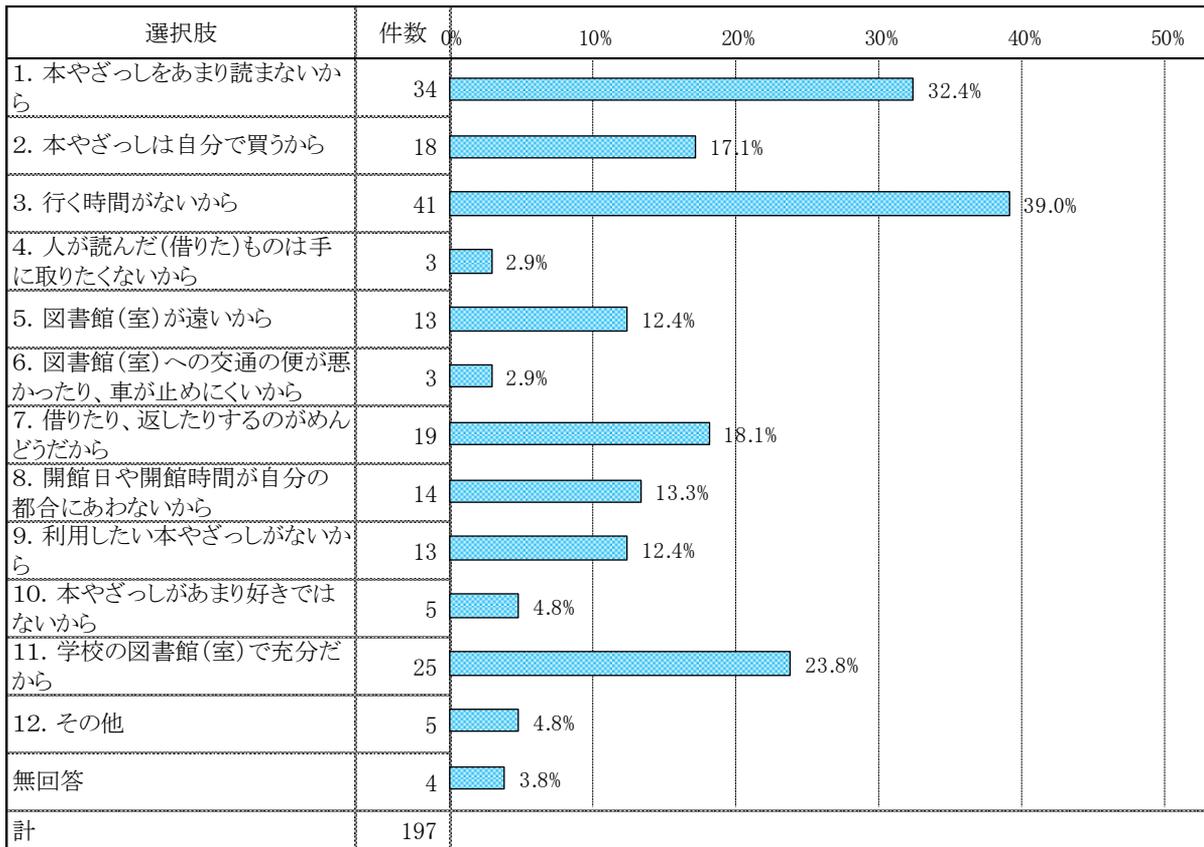


集計母数480名

問14 問11で「2」と回答した方、また、問12で「5」または「6」と回答した方にお尋ねします。

あなたが図書館（室）を利用しない・あまり利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

■ 図書館を利用しない理由については、「行く時間がないから」が39.0%最も多く、次いで「本やざっしをあまり読まないから」32.4%、「学校の図書館(室)で充分だから」23.8%となっている

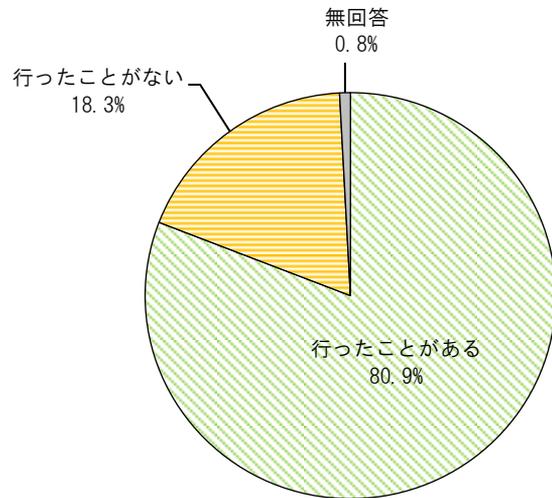


集計母数105名

問 15 あなたは中央図書館に行ったことがありますか。(1つに○)

■中央図書館の利用については、「行ったことがある」が80.9%で8割以上が行ったことがあると回答している

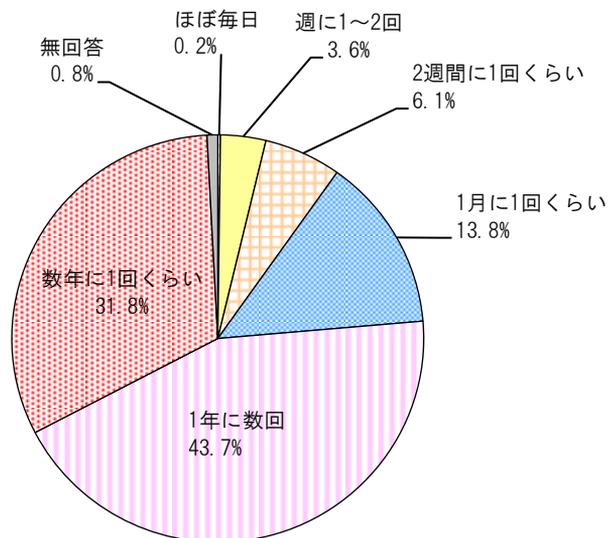
選択肢	件数	比率
1. 行ったことがある	478	80.9%
2. 行ったことがない	108	18.3%
無回答	5	0.8%
計	591	100.0%



問 16 中央図書館に「1. 行ったことがある」と答えた方におたずねします。あなたは1カ月に何回くらい中央図書館を利用しますか。(1つに○)

■中央図書館の利用頻度については、「1年に数回」が43.7%で最も多く、次いで「数年に1回くらい」31.8%となっている

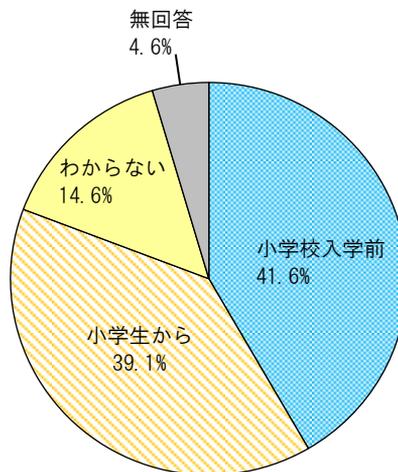
選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	1	0.2%
2. 週に1~2回	17	3.6%
3. 2週間に1回くらい	29	6.1%
4. 1月に1回くらい	66	13.8%
5. 1年に数回	209	43.7%
6. 数年に1回くらい	152	31.8%
無回答	4	0.8%
計	478	100.0%



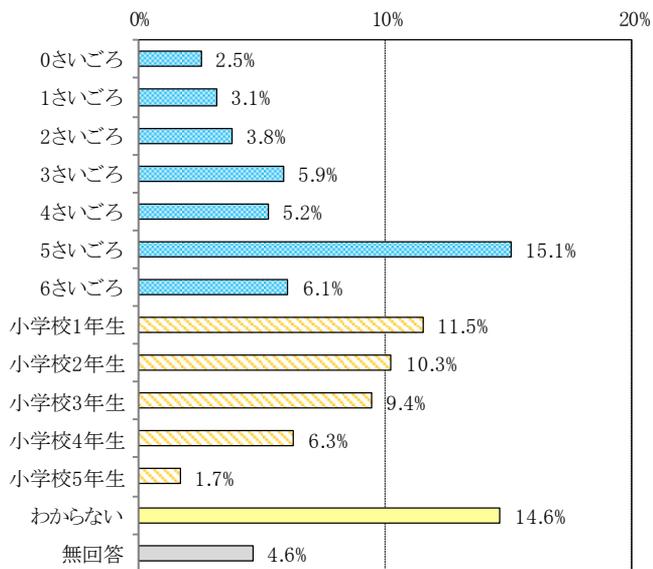
問 17 中央図書館に「1. 行ったことがある」と答えた方におたずねします。あなたは何さいころから中央図書館へ行っていますか。(1つに〇)

■中央図書館に行き始めた年齢については、「小学校入学前」「小学生から」が4割ずつで同程度である。年齢別では、「5さいごろ」が最も多く、その後小学校低学年の回答が多くなっている。

選択肢	件数	比率
1. 小学校入学前	199	41.6%
2. 小学生から	187	39.1%
3. わからない	70	14.6%
無回答	22	4.6%
計	478	100.0%



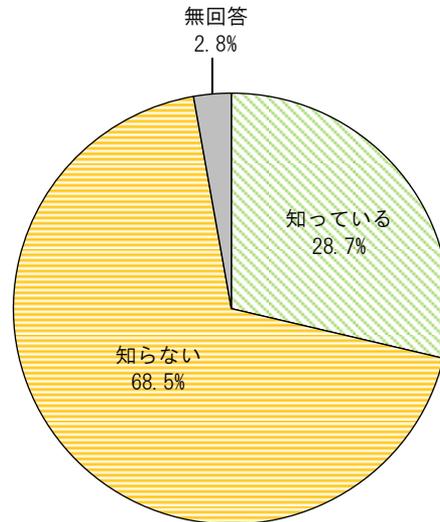
選択肢	件数	比率	
小学校入学前	1. 0さいごろ	12	2.5%
	2. 1さいごろ	15	3.1%
	3. 2さいごろ	18	3.8%
	4. 3さいごろ	28	5.9%
	5. 4さいごろ	25	5.2%
	6. 5さいごろ	72	15.1%
	7. 6さいごろ	29	6.1%
小学生から	8. 小学校1年生	55	11.5%
	9. 小学校2年生	49	10.3%
	10. 小学校3年生	45	9.4%
	11. 小学校4年生	30	6.3%
	12. 小学校5年生	8	1.7%
13. わからない	70	14.6%	
無回答	22	4.6%	
計	478	100.0%	



問 18 中央図書館に「2. 行ったことがない」と答えた方におたずねします。あなたは中央図書館がある場所を知っていますか。(1つに〇)

■中央図書館に行ったことがない人でも、その場所については、「知っている」が28.7%、「知らない」が68.5%となっており、場所は知っていても行ったことがない人が約3割を占めている

選択肢	件数	比率
1. 知っている	31	28.7%
2. 知らない	74	68.5%
無回答	3	2.8%
計	108	100.0%

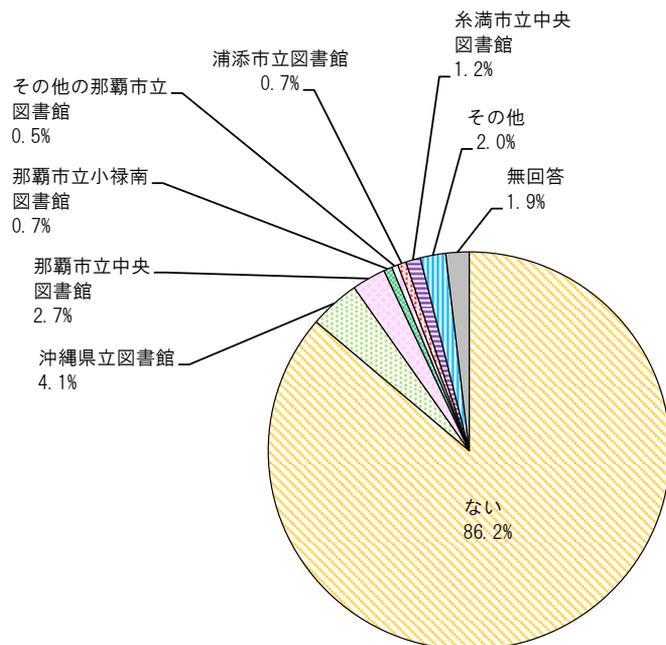


問 19 あなたは、豊見城市の図書館よりもよく利用する公立図書館はありますか。(1つに〇)

■豊見城市以外の公立図書館の利用については、「ない」が86.2%で圧倒的に多くなっている

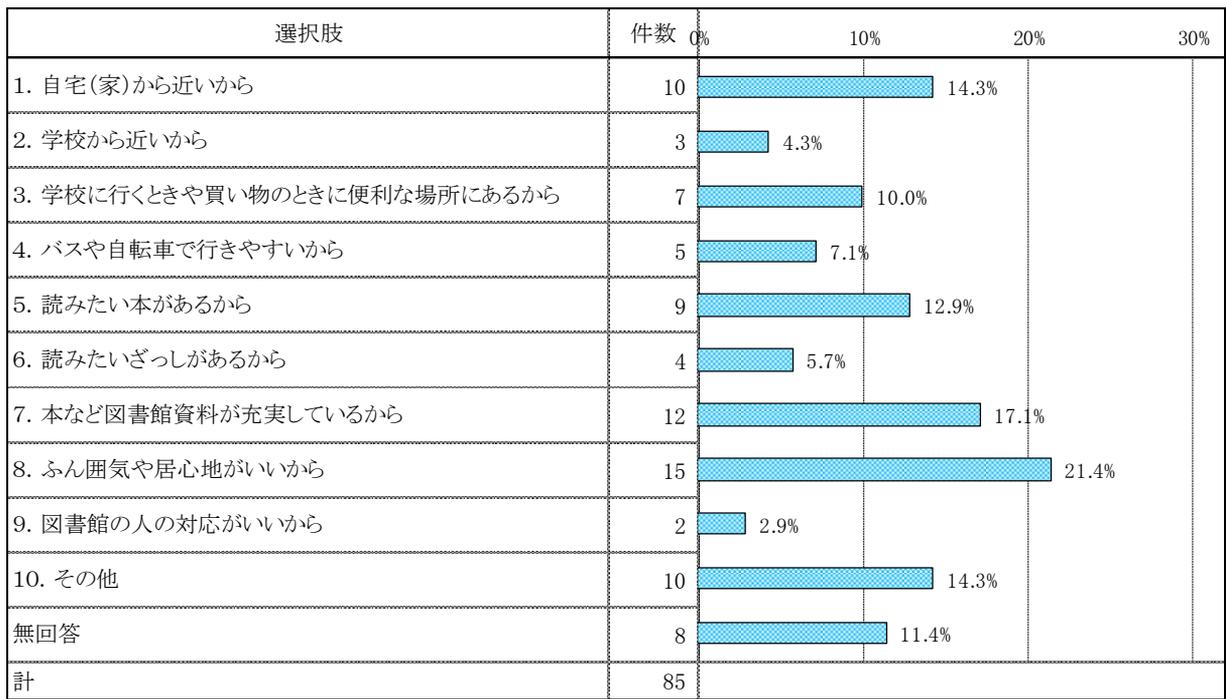
選択肢	件数	比率
1. ない	507	86.2%
2. 沖縄県立図書館	24	4.1%
3. 那覇市立中央図書館	16	2.7%
4. 那覇市立小禄南図書館	4	0.7%
5. その他の那覇市立図書館	3	0.5%
6. 浦添市立図書館	4	0.7%
7. 糸満市立中央図書館	7	1.2%
8. その他	12	2.0%
無回答	11	1.9%
計	588	100.0%

複数回答による集計除外3名



問 20 問 19 で「2」～「8」と答えた方におたずねします。あなたが中央図書館より他の公立図書館をよく利用する理由はなんですか。（1つに○）

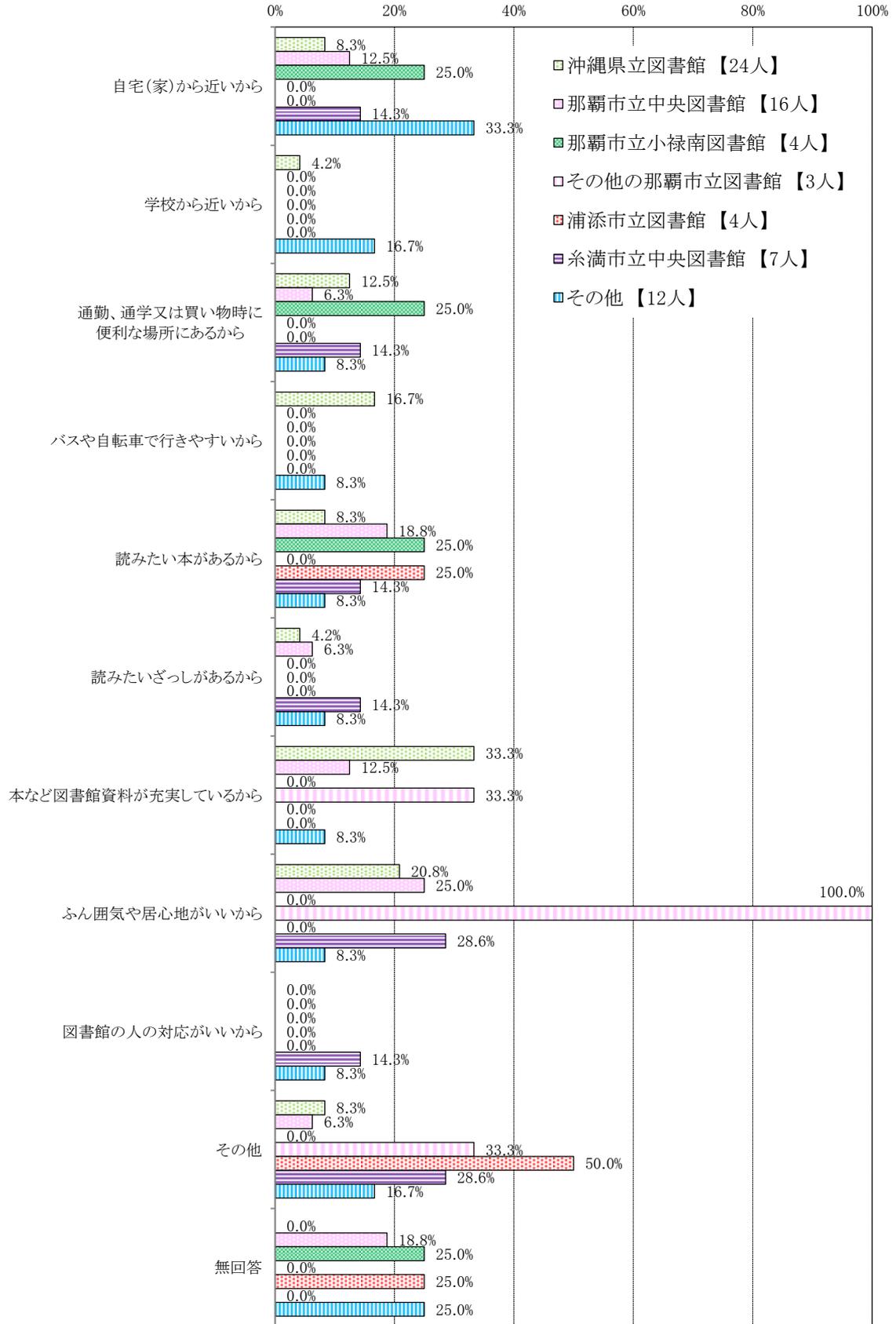
- 中央図書館より他の公立図書館をよく利用する理由については、「ふん囲気や居心地がいいから」が 21.4%で最も多く、次いで「本など図書館資料が充実しているから」17.1%となっている
- 図書館別にみると、他の公立図書館の中でも利用の多い沖縄県立図書館では、「本など図書館資料が充実しているから」が最も多い理由となっている



集計母数70名

※webの回答が複数回答可となっていたため、複数回答可の設問として集計した。

《図書館別》

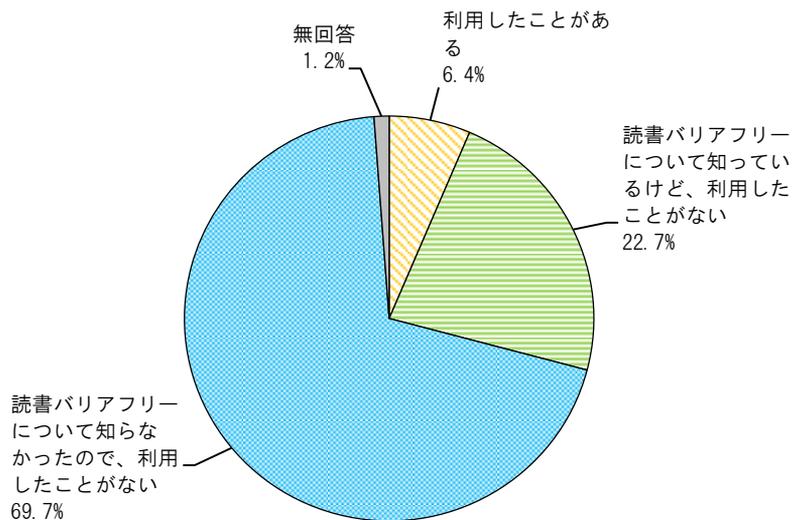


問 21 読書バリアフリーの取り組みについておたずねします。次の中から1つだけ選んでください。(1つに○)

中央図書館では、対面朗読室、点字図書、大活字本及びマルチメディア DAISY など、障害の有無にかかわらず誰もが利用しやすい環境やサービスを提供しています。あなたはこれらの環境やサービスを利用したことがありますか。

■読書バリアフリーについては、「読書バリアフリーについて知らなかったので、利用したことがない」が69.7%で圧倒的に多くなっている

選択肢	件数	比率
1. 利用したことがある	38	6.4%
2. 読書バリアフリーについて知っているけど、利用したことがない	134	22.7%
3. 読書バリアフリーについて知らなかったので、利用したことがない	412	69.7%
無回答	7	1.2%
計	591	100.0%



問 22 中央図書館の満足度を教えてください。

中央図書館では、令和2年度より「こどもの日」や「文化の日」の開館、新型コロナ対策として本のじょきん機の導入、利用者出入り口の分別、電子図書館の整備などに取り組んでいるところです。また、令和元年度には、断熱とそう断熱フィルムなどの工事を行い学習かんきょうの改ぜんに取り組んできました。

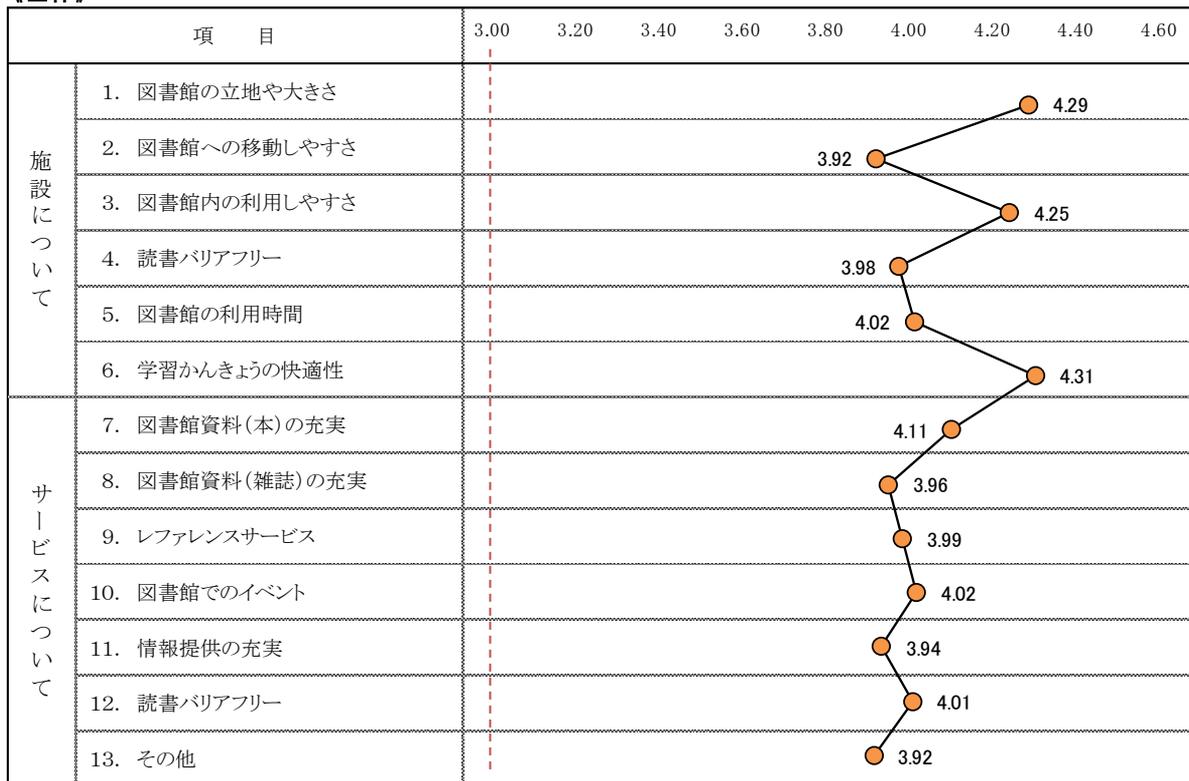
次の施設やサービスの各項目について、令和元年度の満足度が3だとすると、今年度の満足度はどのように考えますか。(各設問のマスに○を1つ)

- すべての項目で、令和元年度に比べ平均値(満足指数)は高くなっている
- 『学習かんきょうの快適性』、『図書館の立地や大きさ』、『図書館内の利用しやすさ』など、施設についての項目で平均値(満足指数)が高くなっている
- 平均値(満足指数)が低い項目は、『図書館への移動しやすさ』、『情報提供の充実』などで、今後の課題といえる。

◇ 平均値の比較

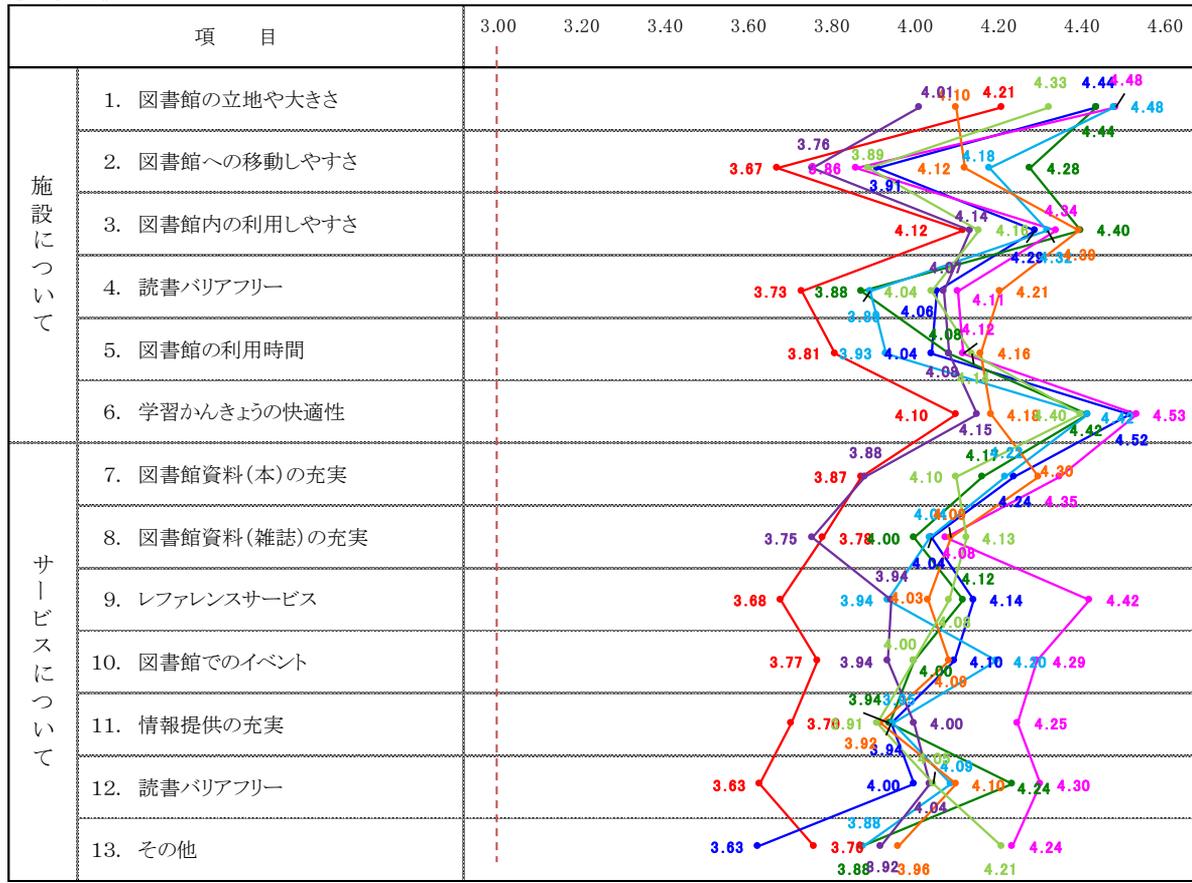
平均値は、満足…5、まあ満足…4、令和元年度…3、やや不満…2、不満…1として加重平均により算出。

《全体》



● 全体

《学校別》



- 『図書館の立地や大きさ』の満足度が最も高く、次いで『図書館内の利用しやすさ』、『学習かんきょうの快適性』となっており、おもに施設についての項目で満足度が高くなっている
- 「わからない」を除くと、『図書館の立地や大きさ』の満足度が最も高く、次いで『学習かんきょうの快適性』、『図書館内の利用しやすさ』となっている

◇ 満足度の比較

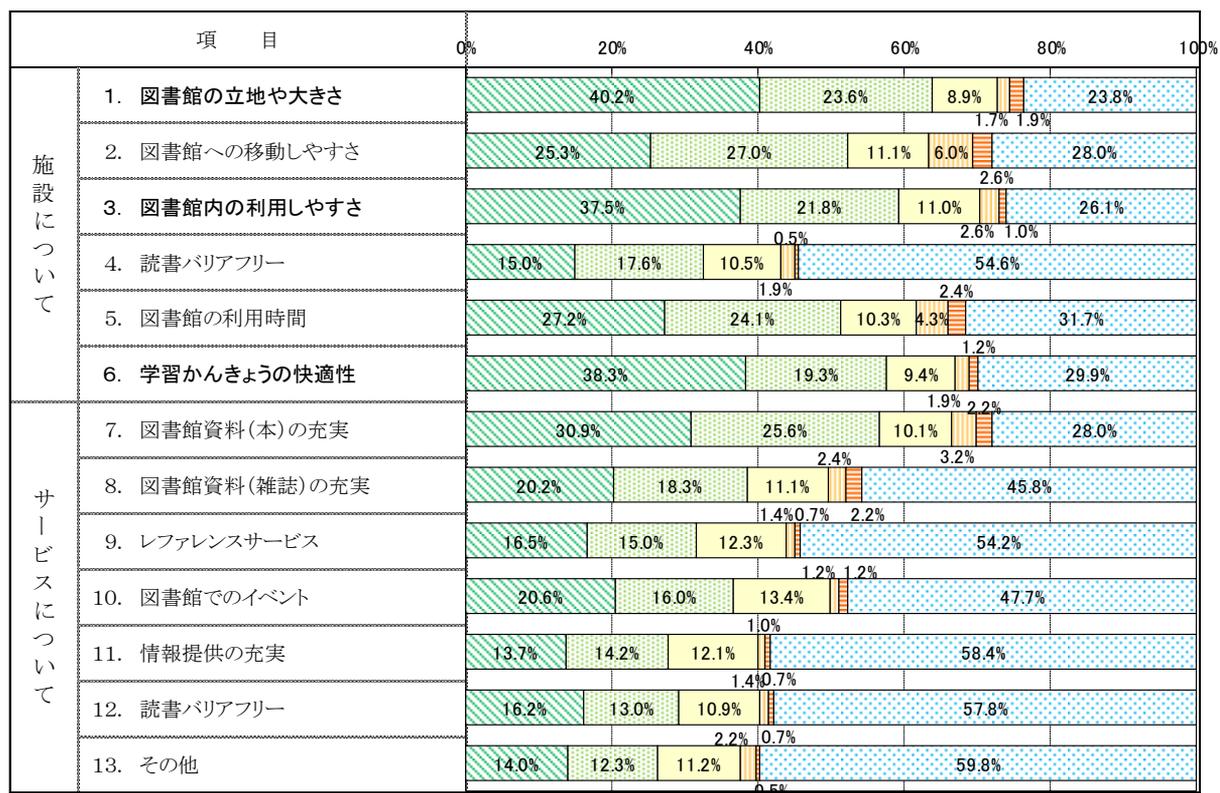
満足度は、「満足」「まあ満足」の合計比率で比較した。

		〔件数〕							
項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	無回答	計
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	235	138	52	10	11	139	4	589
	2. 図書館への移動しやすさ	148	158	65	35	15	164	4	589
	3. 図書館内の利用しやすさ	218	127	64	15	6	152	8	590
	4. 読書バリアフリー	87	102	61	11	3	317	8	589
	5. 図書館の利用時間	158	140	60	25	14	184	9	590
	6. 学習かんきょうの快適性	224	113	55	11	7	175	6	591
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	181	150	59	19	13	164	4	590
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	118	107	65	14	13	268	5	590
	9. レファレンスサービス	97	88	72	8	4	318	4	591
	10. 図書館でのイベント	120	93	78	7	7	278	7	590
	11. 情報提供の充実	80	83	71	6	4	342	5	591
	12. 読書バリアフリー	95	76	64	8	4	338	5	590
	13. その他	81	71	65	13	3	346	12	591

※複数回答は集計除外とした。

		〔割合〕							
項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	計	
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	40.2%	23.6%	8.9%	1.7%	1.9%	23.8%	100.0%	
	2. 図書館への移動しやすさ	25.3%	27.0%	11.1%	6.0%	2.6%	28.0%	100.0%	
	3. 図書館内の利用しやすさ	37.5%	21.8%	11.0%	2.6%	1.0%	26.1%	100.0%	
	4. 読書バリアフリー	15.0%	17.6%	10.5%	1.9%	0.5%	54.6%	100.0%	
	5. 図書館の利用時間	27.2%	24.1%	10.3%	4.3%	2.4%	31.7%	100.0%	
	6. 学習かんきょうの快適性	38.3%	19.3%	9.4%	1.9%	1.2%	29.9%	100.0%	
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	30.9%	25.6%	10.1%	3.2%	2.2%	28.0%	100.0%	
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	20.2%	18.3%	11.1%	2.4%	2.2%	45.8%	100.0%	
	9. レファレンスサービス	16.5%	15.0%	12.3%	1.4%	0.7%	54.2%	100.0%	
	10. 図書館でのイベント	20.6%	16.0%	13.4%	1.2%	1.2%	47.7%	100.0%	
	11. 情報提供の充実	13.7%	14.2%	12.1%	1.0%	0.7%	58.4%	100.0%	
	12. 読書バリアフリー	16.2%	13.0%	10.9%	1.4%	0.7%	57.8%	100.0%	
	13. その他	14.0%	12.3%	11.2%	2.2%	0.5%	59.8%	100.0%	

※無回答は除く。



■満足 ■まあ満足 □令和元年度 ■やや不満 ■不満 □わからない

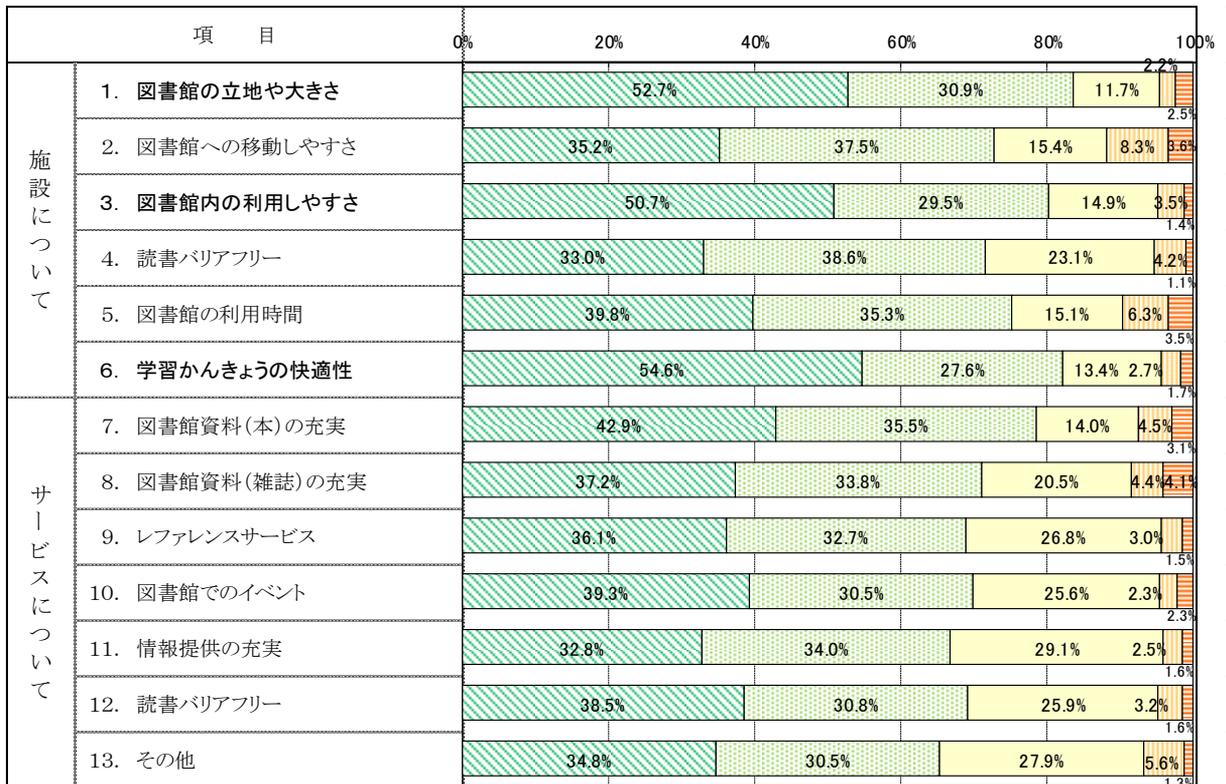
※複数回答、無回答は除く。

◇ わからないを除く

		〔割合〕						
項 目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	計	平均値
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	52.7%	30.9%	11.7%	2.2%	2.5%	100.0%	4.29
	2. 図書館への移動しやすさ	35.2%	37.5%	15.4%	8.3%	3.6%	100.0%	3.92
	3. 図書館内の利用しやすさ	50.7%	29.5%	14.9%	3.5%	1.4%	100.0%	4.25
	4. 読書バリアフリー	33.0%	38.6%	23.1%	4.2%	1.1%	100.0%	3.98
	5. 図書館の利用時間	39.8%	35.3%	15.1%	6.3%	3.5%	100.0%	4.02
	6. 学習かんきょうの快適性	54.6%	27.6%	13.4%	2.7%	1.7%	100.0%	4.31
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	42.9%	35.5%	14.0%	4.5%	3.1%	100.0%	4.11
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	37.2%	33.8%	20.5%	4.4%	4.1%	100.0%	3.96
	9. レファレンスサービス	36.1%	32.7%	26.8%	3.0%	1.5%	100.0%	3.99
	10. 図書館でのイベント	39.3%	30.5%	25.6%	2.3%	2.3%	100.0%	4.02
	11. 情報提供の充実	32.8%	34.0%	29.1%	2.5%	1.6%	100.0%	3.94
	12. 読書バリアフリー	38.5%	30.8%	25.9%	3.2%	1.6%	100.0%	4.01
	13. その他	34.8%	30.5%	27.9%	5.6%	1.3%	100.0%	3.92

※無回答は除く。

※平均値(満足・・・5、まあ満足・・・4、令和元年度・・・3、やや不満・・・2、不満・・・1)

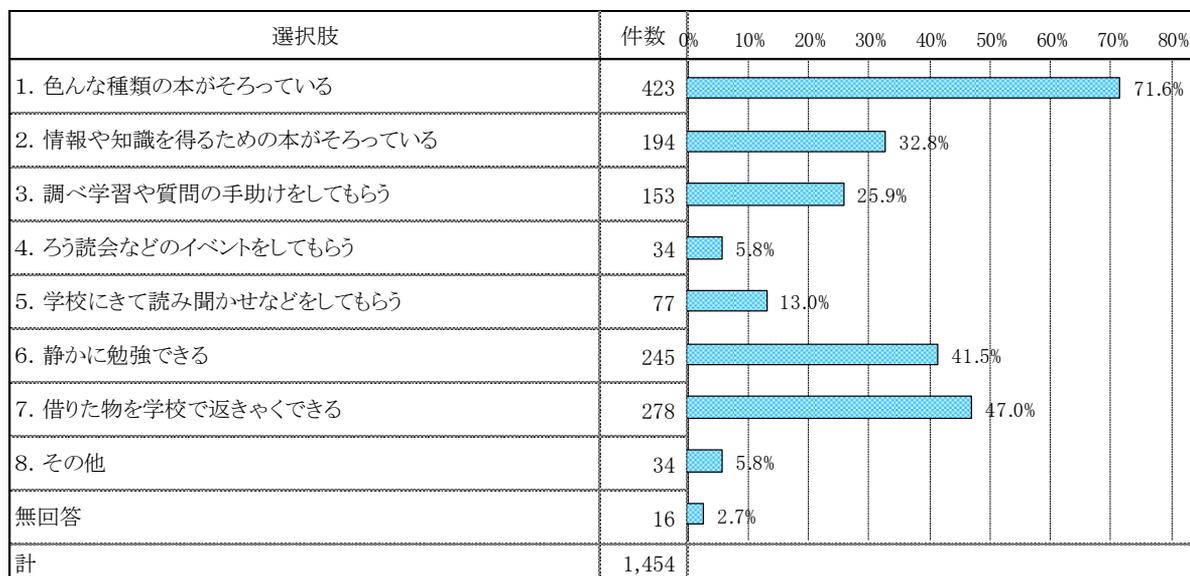


■満足 ■まあ満足 ■令和元年度 ■やや不満 ■不満

※複数回答、無回答、「わからない」は除く。

問 23 あなたは中央図書館にどんなことを希望しますか。(〇をいくつでも)

■中央図書館に希望することとしては、「色んな種類の本がそろっている」が圧倒的に多く、次いで「借りた物を学校で返さやくできる」、「静かに勉強できる」となっている

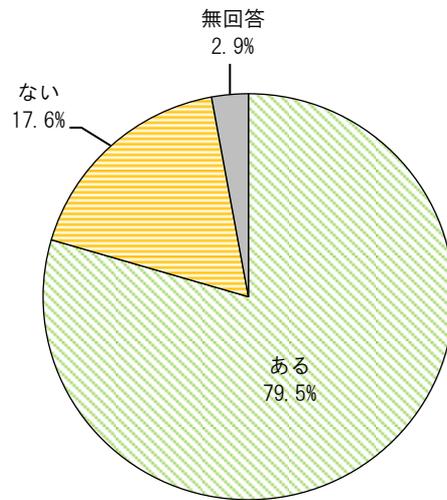


集計母数591名

問 24 あなたは授業以外で学校の図書館（室）を利用したことがありますか。（1つに〇）

■授業以外の学校図書館の利用については、「ある」が79.5%で圧倒的に多くなっている

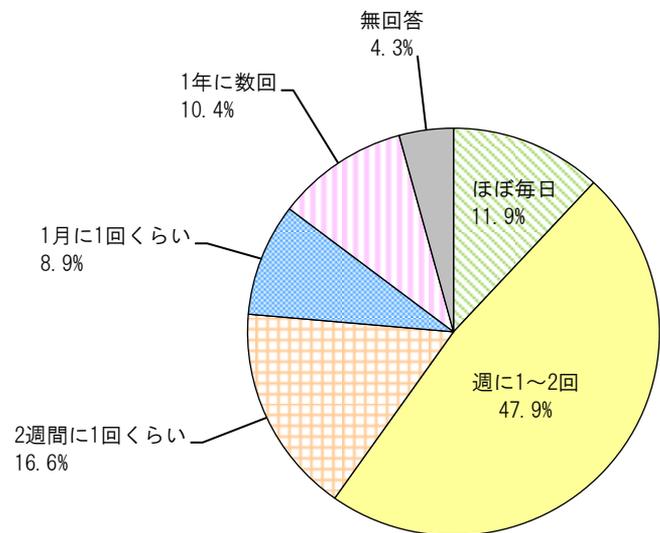
選択肢	件数	比率
1. ある	470	79.5%
2. ない	104	17.6%
無回答	17	2.9%
計	591	100.0%



問 25 授業以外で、週にどのくらい学校の図書館（室）を利用していますか。（1つに〇）

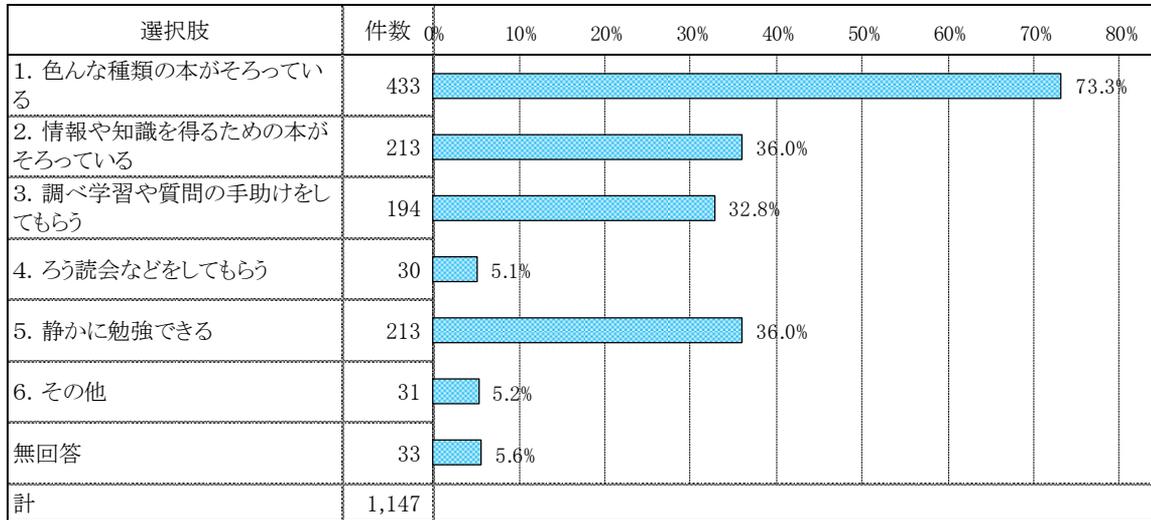
■授業以外の学校図書館の利用頻度については、「週に1～2回」が47.9%で最も多く、次いで「2週間に1回くらい」16.6%、「ほぼ毎日」11.9%となっている

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	56	11.9%
2. 週に1～2回	225	47.9%
3. 2週間に1回くらい	78	16.6%
4. 1月に1回くらい	42	8.9%
5. 1年に数回	49	10.4%
無回答	20	4.3%
計	470	100.0%



問 26 あなたは学校の図書館（室）にどんなことを希望しますか。（あてはまるものすべてに○）

■ 学校図書館に希望することとしては、「色んな種類の本がそろっている」が圧倒的に多く、次いで「情報や知識を得るための本がそろっている」、「静かに勉強できる」となっている



集計母数591名

問 27 豊見城市の図書館に関して、「ご意見」や「アイデア」などがあれば、ご自由にお書きください。

■ 図書館に関する意見としては、「本の種類、冊数を増やしてほしい」「マンガを増やしてほしい」など、図書館資料の充実に関する意見が多数あった
 ■ 「勉強する席を増やしてほしい」など、学習環境に関する意見も多数あった。

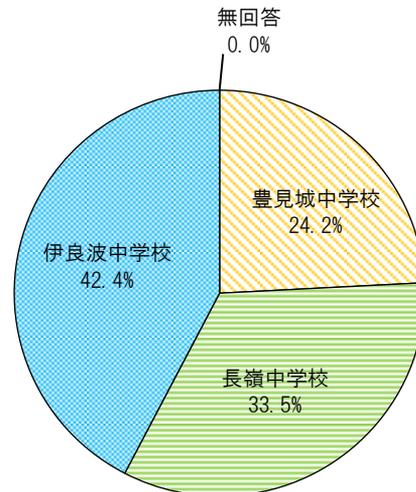
項目		件数
図書館の立地や規模	立地(分室含む)	1
	その他	1
図書館への移動のしやすさ	公共交通	1
	車でのアクセス(駐車場)	1
	その他	1
図書館内の利用のしやすさ(館内の環境や設備)		14
図書館内の利用のしやすさ(図書の貸出等)		13
図書館の利用時間		2
学習環境の快適性		11
図書館資料(本)の充実		30
図書館資料(雑誌)の充実		7
図書館資料(漫画)の充実		20
図書館でのイベント		8
情報提供の充実		5
その他		6
		121

3. 中学生アンケート結果

問1 あなたの学校を教えてください。(1つに○)

■通学している学校については、「伊良波中学校」が42.4%で最も多く、次いで「長嶺中学校」33.5%、「豊見城中学校」24.2%となっている

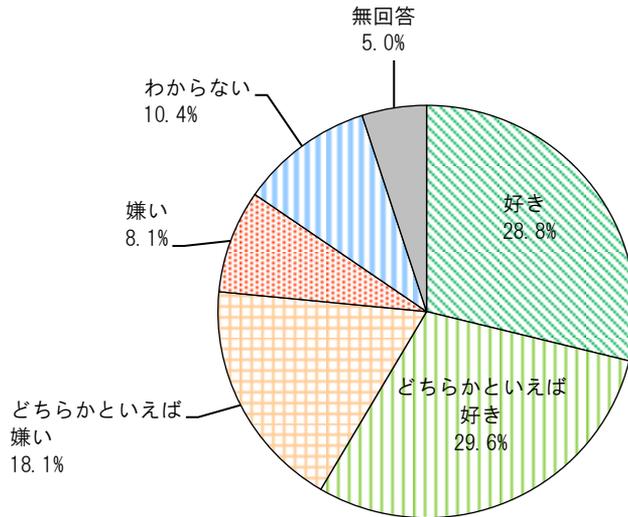
選択肢	件数	比率
1. 豊見城中学校	125	24.2%
2. 長嶺中学校	173	33.5%
3. 伊良波中学校	219	42.4%
無回答	0	0.0%
計	517	100.0%



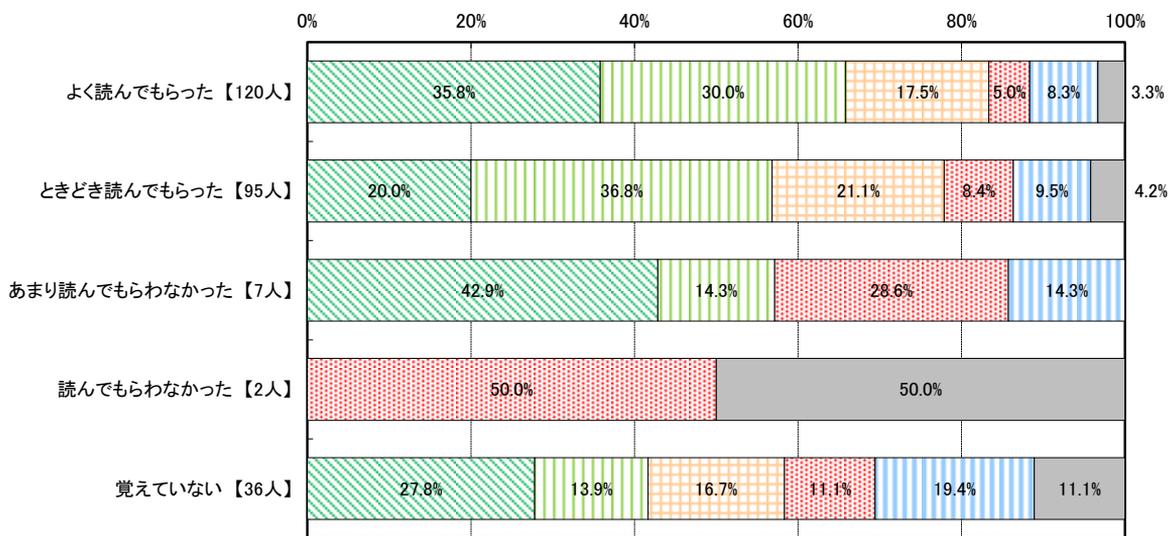
問2 あなたは本を読むことが好きですか。(1つに○)

■ 読書については、「どちらかといえば好き」が29.6%で最も多く、次いで「好き」28.8%となっており、合計すると6割近くが本を読むことが好きと回答している
 ■ 読み聞かせの経験別にみると、読んでもらわなかったと回答した人数が少ないので、経験の有無による違いはわかりにくいですが、「嫌い」との回答割合は、読み聞かせの経験が少ない方が高くなっている

選択肢	件数	比率
1. 好き	75	28.8%
2. どちらかといえば好き	77	29.6%
3. どちらかといえば嫌い	47	18.1%
4. 嫌い	21	8.1%
5. わからない	27	10.4%
無回答	13	5.0%
計	260	100.0%



《読み聞かせの経験別》

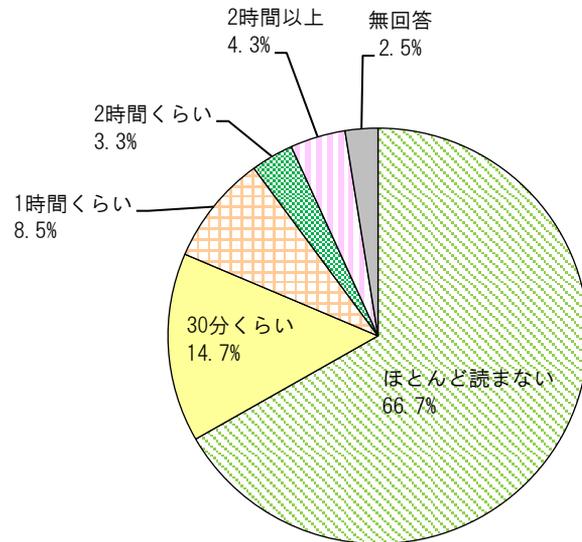


■ 好き ■ どちらかといえば好き ■ どちらかといえば嫌い ■ 嫌い ■ わからない ■ 無回答

問3 あなたは学校から帰ったらどれくらいの時間（1日平均）本を読みますか。（1つに〇）
ただし、マンガや雑誌、教科書や学習参考書は除きます。

■ 1日の読書時間については、「ほとんど読まない」が66.7%と圧倒的に多く、次いで「30分くらい」14.7%となっており、30分以下との回答が8割を超えている

選択肢	件数	比率
1. ほとんど読まない	345	66.7%
2. 30分くらい	76	14.7%
3. 1時間くらい	44	8.5%
4. 2時間くらい	17	3.3%
5. 2時間以上	22	4.3%
無回答	13	2.5%
計	517	100.0%

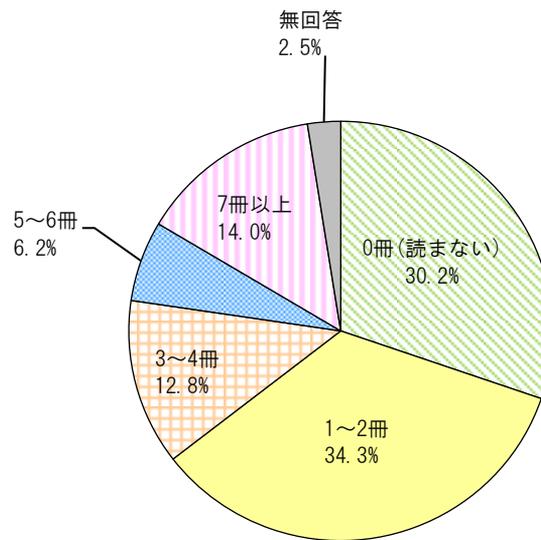


問4 あなたは1カ月に何冊の本を読みますか。(1つに○)
ただし、雑誌、マンガ、学校で使う教科書や学習参考書は除きます。

- 1カ月の読書冊数については、「1～2冊」が34.3%で最も多く、次いで「0冊(読まない)」30.2%、「7冊以上」14.0%となっている
- 読書時間の比率と照らし合わせると、読書時間が短い割には、読書量は一定程度ある様子が伺える
- 読み聞かせの経験別にみても、読んでもらわなかったと回答した人数が少なく、経験の有無による大きな差は見られない

選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	156	30.2%
2. 1～2冊	177	34.3%
3. 3～4冊	66	12.8%
4. 5～6冊	32	6.2%
5. 7冊以上	72	14.0%
無回答	13	2.5%
計	516	100.0%

複数回答による集計除外1名



《読み聞かせの経験別》



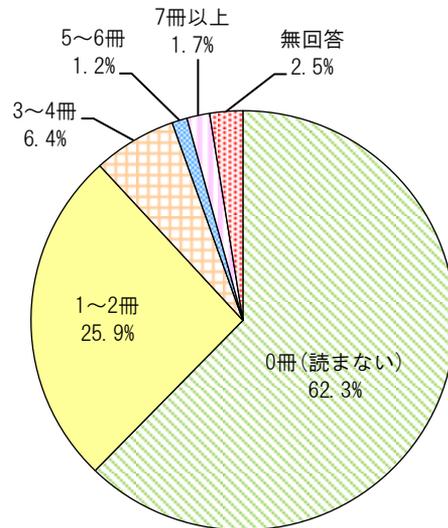
■ 0冊(読まない) ■ 1～2冊 ■ 3～4冊 ■ 5～6冊 ■ 7冊以上 ■ 無回答

問5 あなたは1カ月に何冊の雑誌を読みますか。(1つに○)

ただし、本やマンガ、教科書や学習参考書は除きます。

■1カ月の雑誌の読書冊数については、「0冊(読まない)」が62.3%で圧倒的に多く、次いで「1～2冊」25.9%となっており、9割近くが2冊以下との回答になっている

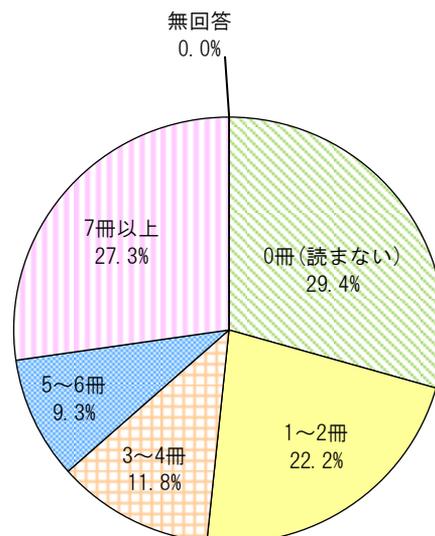
選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	322	62.3%
2. 1～2冊	134	25.9%
3. 3～4冊	33	6.4%
4. 5～6冊	6	1.2%
5. 7冊以上	9	1.7%
無回答	13	2.5%
計	517	100.0%



問6 あなたは1カ月に何冊のマンガを読みますか。(1つに○)

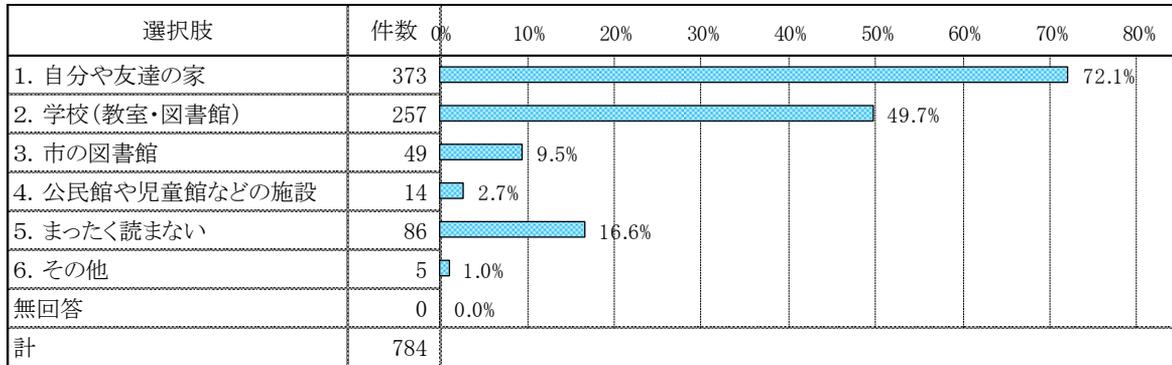
■1カ月のマンガの読書冊数については、「0冊(読まない)」が29.4%で最も多く、次いで「7冊以上」27.3%、「1～2冊」22.2%となっており、読む人と読まない人とで大きな差があることが伺える

選択肢	件数	比率
1. 0冊(読まない)	152	29.4%
2. 1～2冊	115	22.2%
3. 3～4冊	61	11.8%
4. 5～6冊	48	9.3%
5. 7冊以上	141	27.3%
無回答	0	0.0%
計	517	100.0%



問7 あなたはどこで本を読んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

■本を読む場所については、「自分や友達の家」が72.1%で最も多く、次いで「学校(教室・図書館)」49.7%となっている

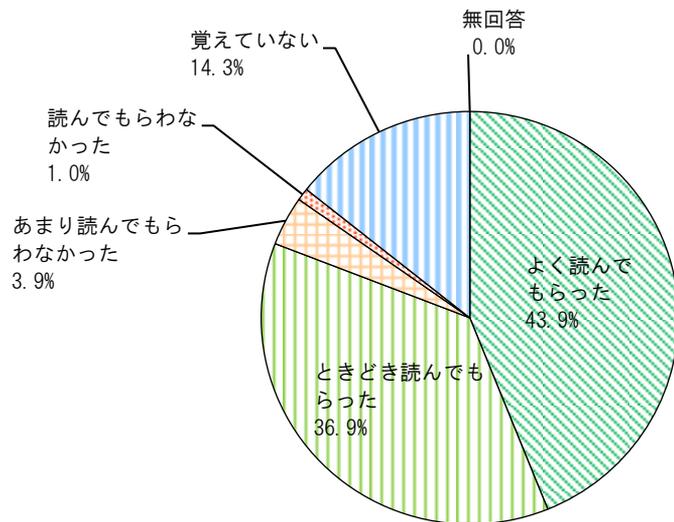


集計母数517名

問8 あなたは小さい頃(小学校に入る前)、だれかに絵本やおはなしの本を読んでもらいましたか。(1つに○)

■小さい頃の読書経験については、「よく読んでもらった」が43.9%で最も多く、次いで「ときどき読んでもらった」36.9%となっており、合計すると、約8割が絵本やおはなしの本をある程度読んでもらった経験を持っている

選択肢	件数	比率
1. よく読んでもらった	227	43.9%
2. ときどき読んでもらった	191	36.9%
3. あまり読んでもらわなかった	20	3.9%
4. 読んでもらわなかった	5	1.0%
5. 覚えていない	74	14.3%
無回答	0	0.0%
計	517	100.0%



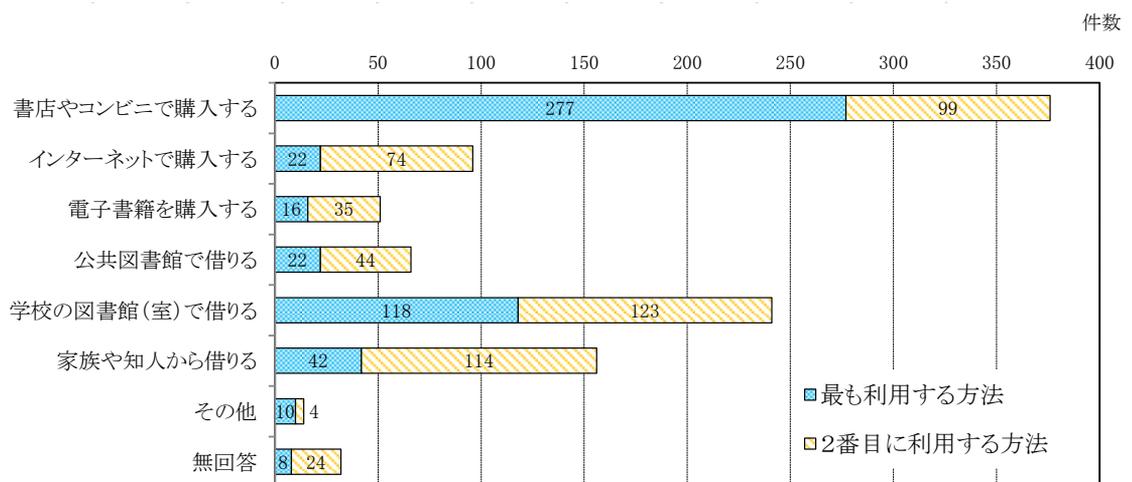
問9 あなたは本をどのような方法で入手しますか。

次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答する場所に記入してください。

■本の入手方法については、「書店やコンビニで購入する」が最も多く、次いで「学校の図書館(室)で借りる」、「家族や知人から借りる」となっている

選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニで購入する	277	53.8%	99	19.1%
2. インターネットで購入する	22	4.3%	74	14.3%
3. 電子書籍を購入する	16	3.1%	35	6.8%
4. 公共図書館で借りる	22	4.3%	44	8.5%
5. 学校の図書館(室)で借りる	118	22.9%	123	23.8%
6. 家族や知人から借りる	42	8.2%	114	22.1%
7. その他	10	1.9%	4	0.8%
無回答	8	1.6%	24	4.6%
計	515	100.0%	517	100.0%

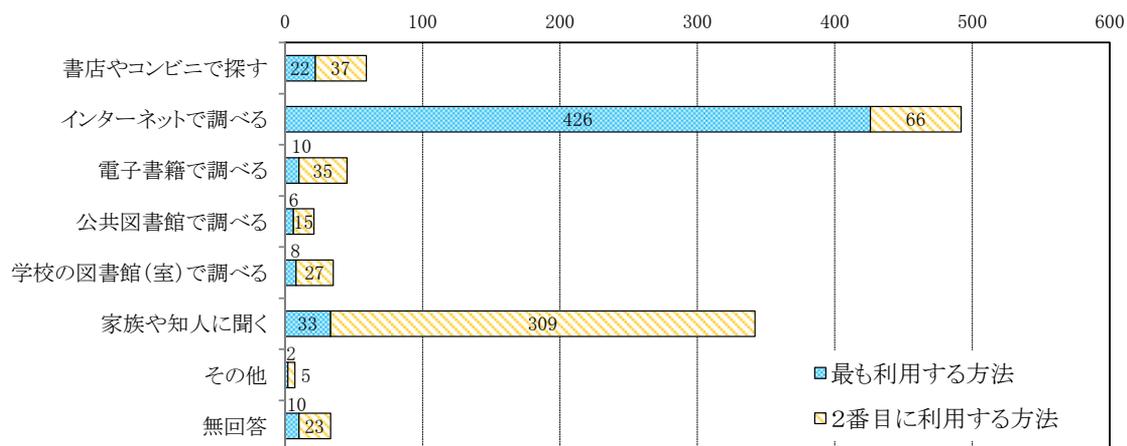
複数回答による集計除外2名



問10 あなたは知りたいことがあるとき、どのような方法で調べますか。
 次の中から最も利用する方法と2番目に利用する方法を選び、下の回答欄に記入してください。

■知りたいことを調べる方法については、「インターネットで調べる」が圧倒的に多く、次いで「家族や知人に聞く」となっている

選択肢	最も利用する方法		2番目に利用する方法	
	件数	比率	件数	比率
1. 書店やコンビニで探す	22	4.3%	37	7.2%
2. インターネットで調べる	426	82.4%	66	12.8%
3. 電子書籍で調べる	10	1.9%	35	6.8%
4. 公共図書館で調べる	6	1.2%	15	2.9%
5. 学校の図書館(室)で調べる	8	1.5%	27	5.2%
6. 家族や知人に聞く	33	6.4%	309	59.8%
7. その他	2	0.4%	5	1.0%
無回答	10	1.9%	23	4.4%
計	517	100.0%	517	100.0%

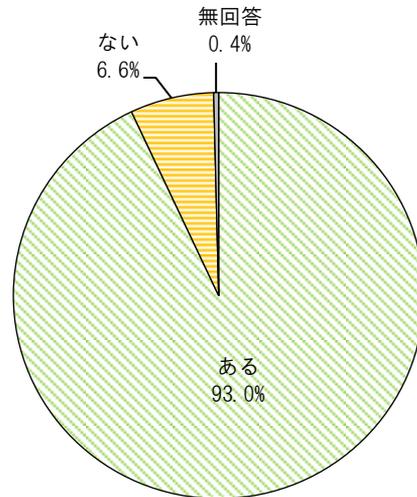


問11 あなたは、これまで図書館（室）を利用したことはありますか。（1つに○）

■図書館(室)の利用については、「ある」が93.0%で、9割以上が利用したことがあると回答している

選択肢	件数	比率
1. ある	480	93.0%
2. ない	34	6.6%
無回答	2	0.4%
計	516	100.0%

複数回答による集計除外1名

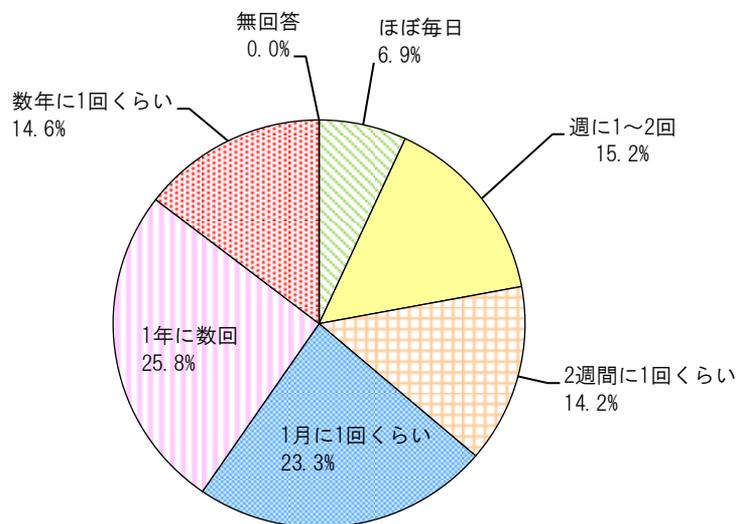


問12 問11で「1」と回答した方にお尋ねします。

あなたは図書館（室）をどれくらいの頻度で利用していますか。（1つに○）

■図書館を利用する頻度については、「1年に数回」が25.8%で最も多く、次いで「1月に1回くらい」23.3%、「週に1～2回」15.2%となっている

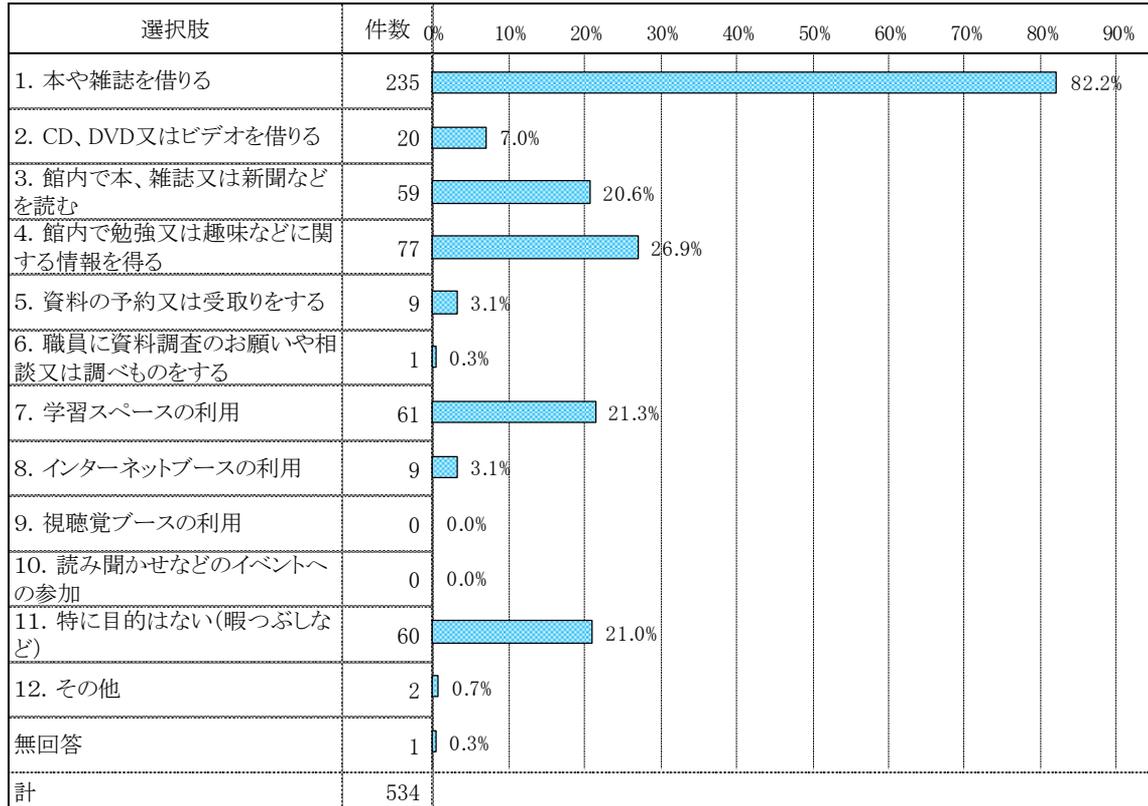
選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	33	6.9%
2. 週に1～2回	73	15.2%
3. 2週間に1回くらい	68	14.2%
4. 1月に1回くらい	112	23.3%
5. 1年に数回	124	25.8%
6. 数年に1回くらい	70	14.6%
無回答	0	0.0%
計	480	100.0%



問13 問12で「1」～「4」と回答した方にお尋ねします。

あなたが図書館（室）を利用する目的はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- 図書館(室)を利用する目的については、「本や雑誌を借りる」が82.2%で圧倒的に多く、次いで「館内で勉強又は趣味などに関する情報を得る」26.9%、「学習スペースの利用」21.3%となっている
- 「特に目的はない(暇つぶしなど)」との回答も約2割を占めている

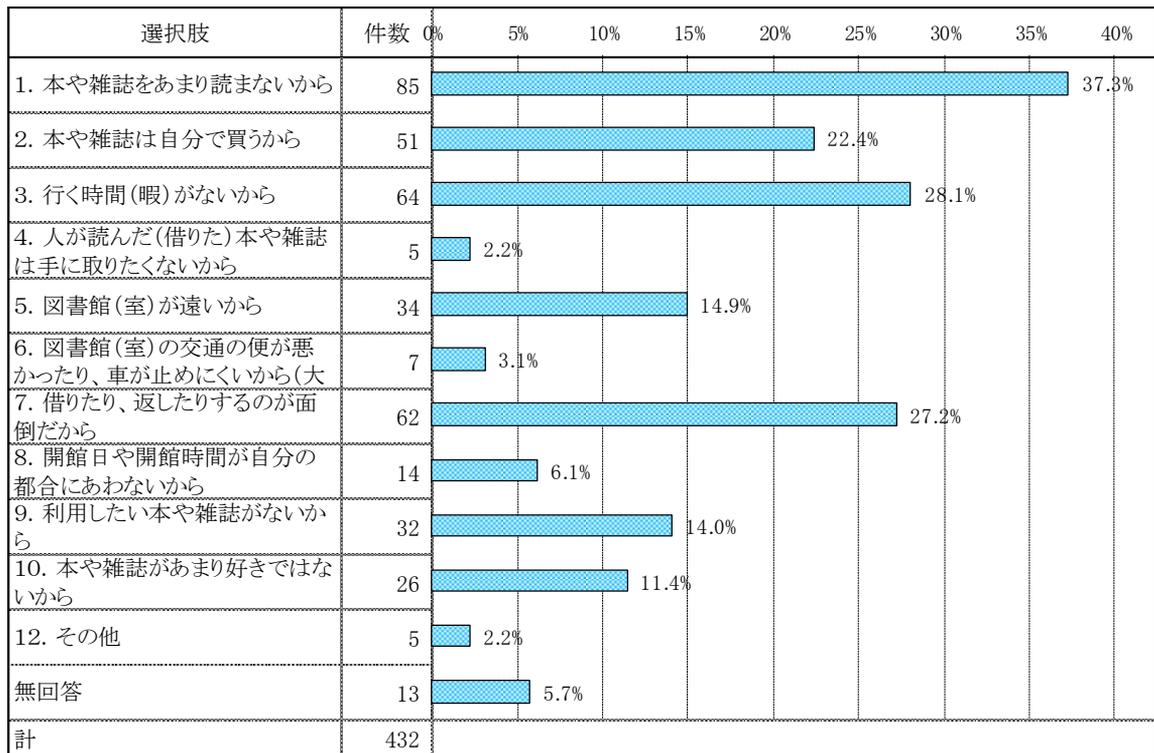


集計母数286名

問14 問11で「2」と回答した方、また、問12で「5」または「6」と回答した方にお尋ねします。

あなたが図書館（室）を利用しない・あまり利用しない理由は何ですか。（1つに○）

■図書館を利用しない理由については、「本や雑誌をあまり読まないから」が37.3%最も多く、次いで「行く時間(暇)がないから」28.1%、「借りたり、返したりするのが面倒だから」27.2%となっている



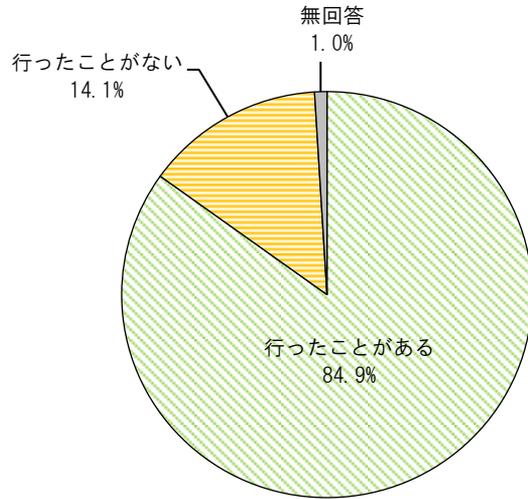
集計母数228名

※webの回答が複数回答可となっていたため、複数回答可の設問として集計した。

問 15 あなたは中央図書館に行っただことがありますか。(1つに○)

■ 中央図書館の利用については、「行ったことがある」が84.9%で、8割以上が行っただと回答している

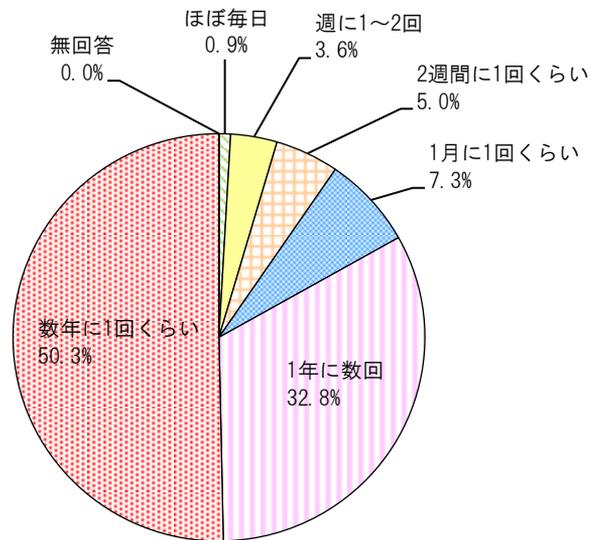
選択肢	件数	比率
1. 行ったことがある	439	84.9%
2. 行ったことがない	73	14.1%
無回答	5	1.0%
計	517	100.0%



問 16 中央図書館に「1. 行ったことがある」と答えた方におたずねします。あなたは1カ月に何回くらい中央図書館を利用しますか。(1つに○)

■ 中央図書館の利用頻度については、「数年に1回くらい」が50.3%で最も多く、次いで「1年に数回」32.8%となっている

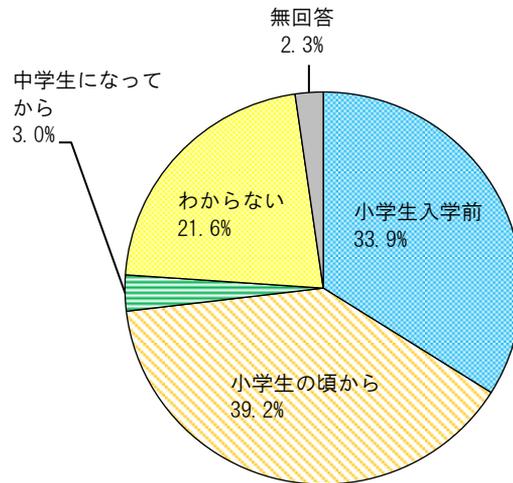
選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	4	0.9%
2. 週に1~2回	16	3.6%
3. 2週間に1回くらい	22	5.0%
4. 1月に1回くらい	32	7.3%
5. 1年に数回	144	32.8%
6. 数年に1回くらい	221	50.3%
無回答	0	0.0%
計	439	100.0%



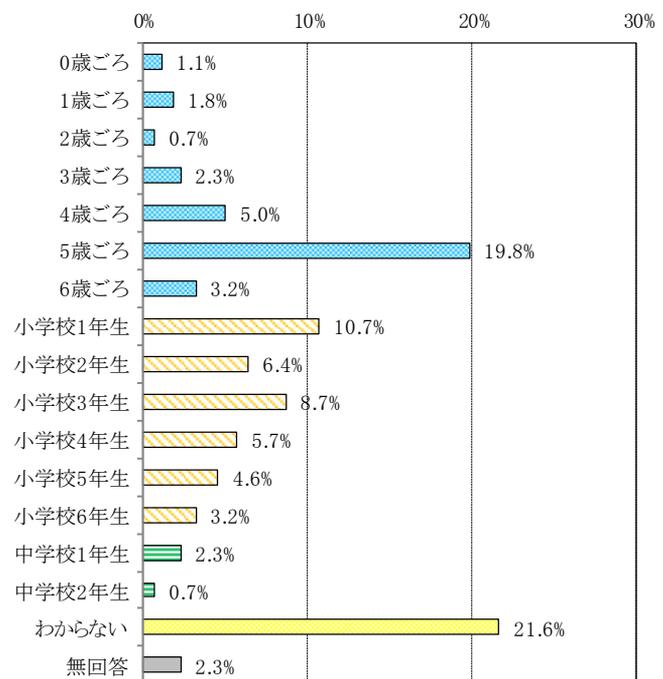
問 17 中央図書館に「1. 行ったことがある」と答えた方におたずねします。あなたは何歳ころから中央図書館へ行っていますか。(1つに〇)

- 中央図書館に行き始めた年齢については、「小学生の頃から」が39.2%で最も多くなっている
- 年齢別にみると、「5歳ごろ」が最も多く、次に小学校低学年との回答が多くなっている

選択肢	件数	比率
1. 小学生入学前	149	33.9%
2. 小学生の頃から	172	39.2%
3. 中学生になってから	13	3.0%
4. わからない	95	21.6%
無回答	10	2.3%
計	439	100.0%



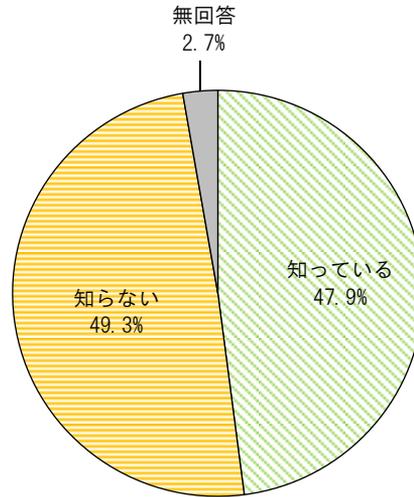
選択肢	件数	比率
小学生入学前	1. 0歳ごろ	5 1.1%
	2. 1歳ごろ	8 1.8%
	3. 2歳ごろ	3 0.7%
	4. 3歳ごろ	10 2.3%
	5. 4歳ごろ	22 5.0%
	6. 5歳ごろ	87 19.8%
	7. 6歳ごろ	14 3.2%
小学生の頃から	8. 小学校1年生	47 10.7%
	9. 小学校2年生	28 6.4%
	10. 小学校3年生	38 8.7%
	11. 小学校4年生	25 5.7%
	12. 小学校5年生	20 4.6%
	13. 小学校6年生	14 3.2%
中学生になってから	14. 中学校1年生	10 2.3%
	15. 中学校2年生	3 0.7%
16. わからない	95 21.6%	
無回答	10 2.3%	
計	439 100.0%	



問 18 中央図書館に「2. 行ったことがない」と答えた方におたずねします。あなたは中央図書館がある場所を知っていますか。(1つに○)

■ 中央図書館に行ったことがない人でも、その場所については、「知っている」が47.9%、「知らない」が49.3%となっており、場所は知っていても行ったことがない人が約半数を占めている

選択肢	件数	比率
1. 知っている	35	47.9%
2. 知らない	36	49.3%
無回答	2	2.7%
計	73	100.0%

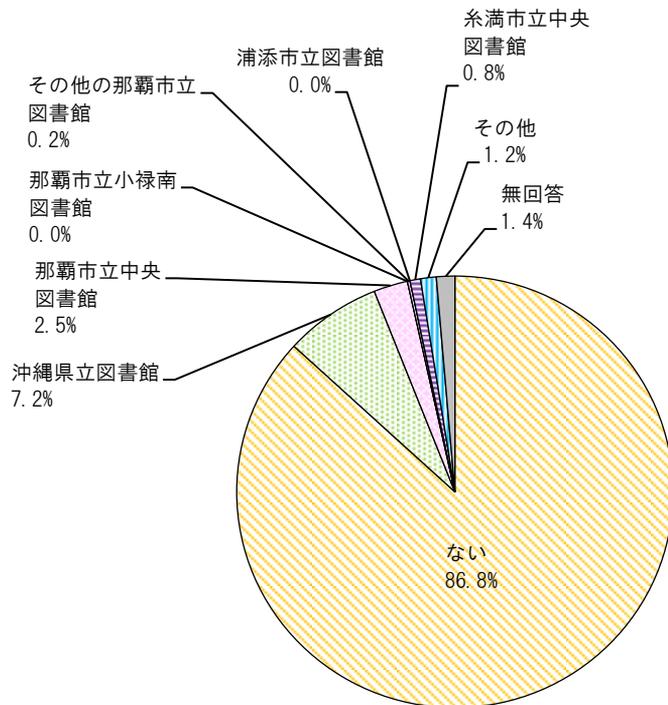


問 19 あなたは、豊見城市の図書館よりもよく利用する公立図書館はありますか。(1つに○)

■ 豊見城市以外の公立図書館の利用については、「ない」が86.8%で8割以上を占めている

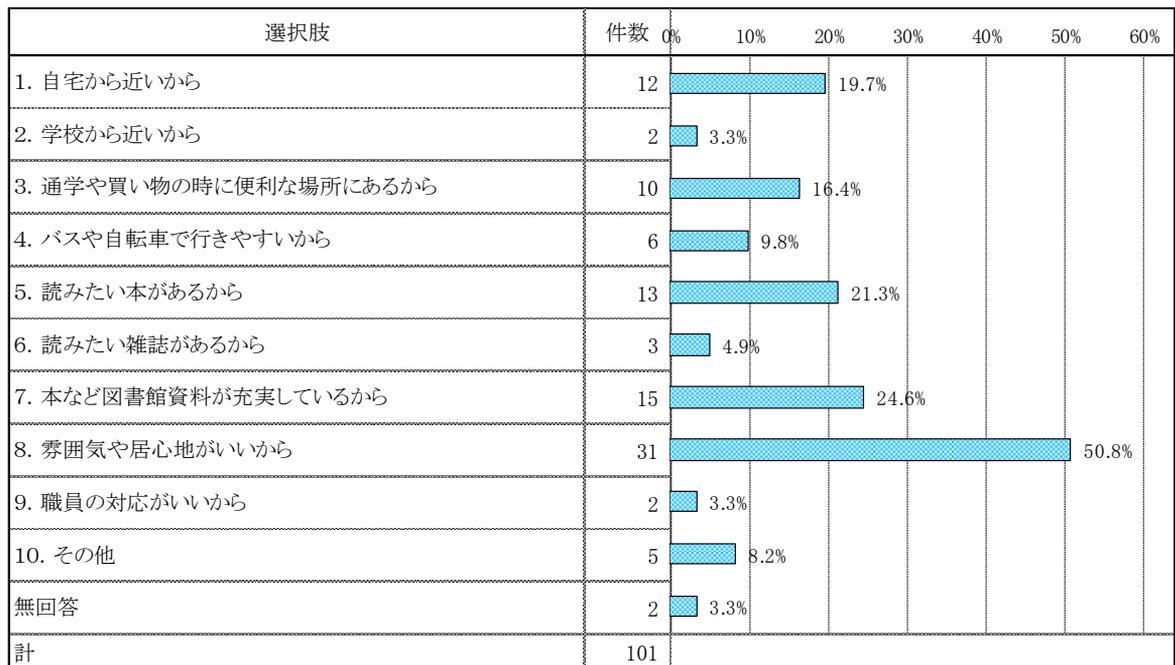
選択肢	件数	比率
1. ない	447	86.8%
2. 沖縄県立図書館	37	7.2%
3. 那覇市立中央図書館	13	2.5%
4. 那覇市立小祿南図書館	0	0.0%
5. その他の那覇市立図書館	1	0.2%
6. 浦添市立図書館	0	0.0%
7. 糸満市立中央図書館	4	0.8%
8. その他	6	1.2%
無回答	7	1.4%
計	515	100.0%

複数回答による集計除外2名



問 20 問 19 で「2」～「8」と答えた方におたずねします。あなたが中央図書館より他の公立図書館をよく利用する理由はなんですか。(1つに○)

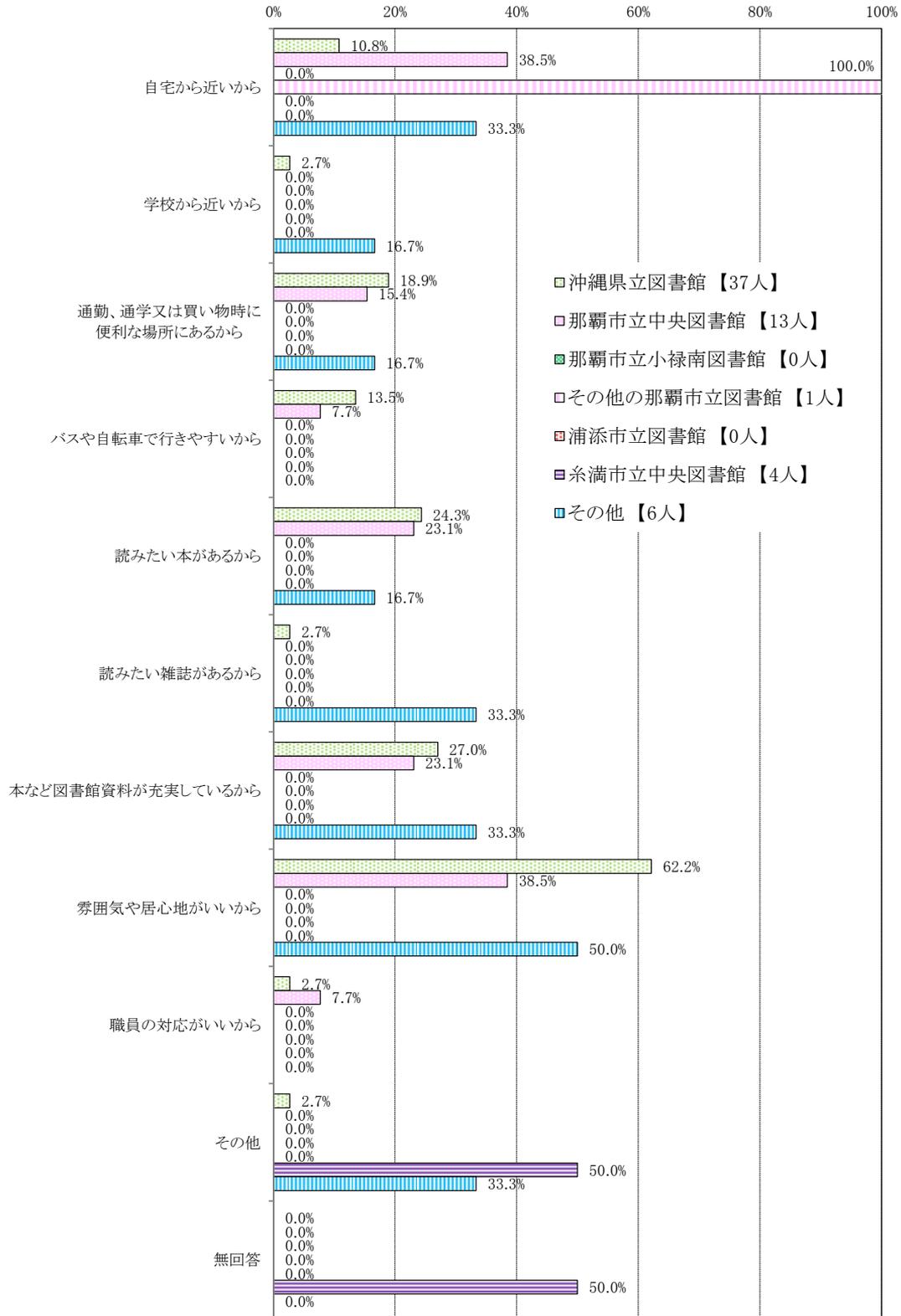
- 中央図書館より他の公立図書館をよく利用する理由については、「雰囲気や居心地がいいから」が 50.8%で最も多く、次いで「本など図書館資料が充実しているから」24.6%となっている
- 図書館別にみると、他の公立図書館の中で最も利用の多い『沖縄県立図書館』は、全体と同じ傾向であるが、次に多い『那覇市立中央図書館』では、「自宅に近いから」という理由の割合も高くなっている



集計母数61名

※webの回答が複数回答可となっていたため、複数回答可の設問として集計した。

《図書館別》



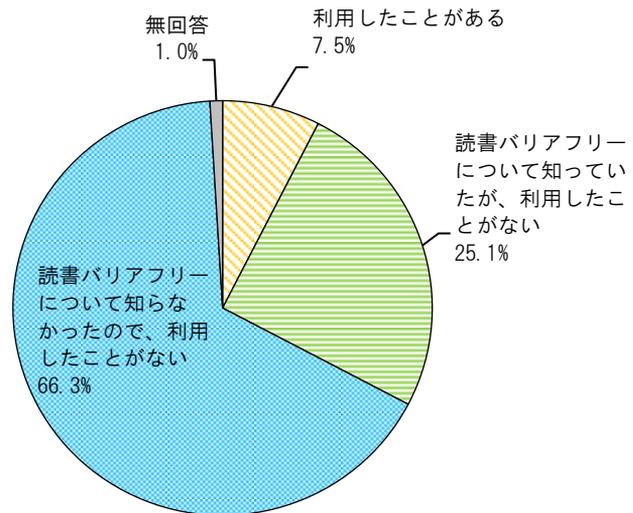
問 21 読書バリアフリーの取り組みについておたずねします。

中央図書館では、対面朗読室、点字図書、大活字本及びマルチメディア DAISY など、障害の有無にかかわらず誰もが利用しやすい環境やサービスを提供しています。あなたはこれらの環境やサービスを利用したことがありますか。

次の中から1つだけ選んでください。(1つに○)

■読書バリアフリーについては、「読書バリアフリーについて知らなかったので、利用したことがない」が66.3%で圧倒的に多くなっている

選択肢	件数	比率
1. 利用したことがある	39	7.5%
2. 読書バリアフリーについて知っていたが、利用したことがない	130	25.1%
3. 読書バリアフリーについて知らなかったので、利用したことがない	343	66.3%
無回答	5	1.0%
計	517	100.0%



問 22 中央図書館の満足度をお尋ねします。

中央図書館では、令和2年度より「こどもの日」及び「文化の日」の開館、新型コロナ対策としてサーモグラフィカメラや書籍除菌機の導入、利用者出入り口の分別、電子図書館の整備などに取り組んでいるところです。また、令和元年度には、デジープCの設置、断熱塗装・断熱フィルムなどの工事を実施し学習環境の改善に取り組んできました。

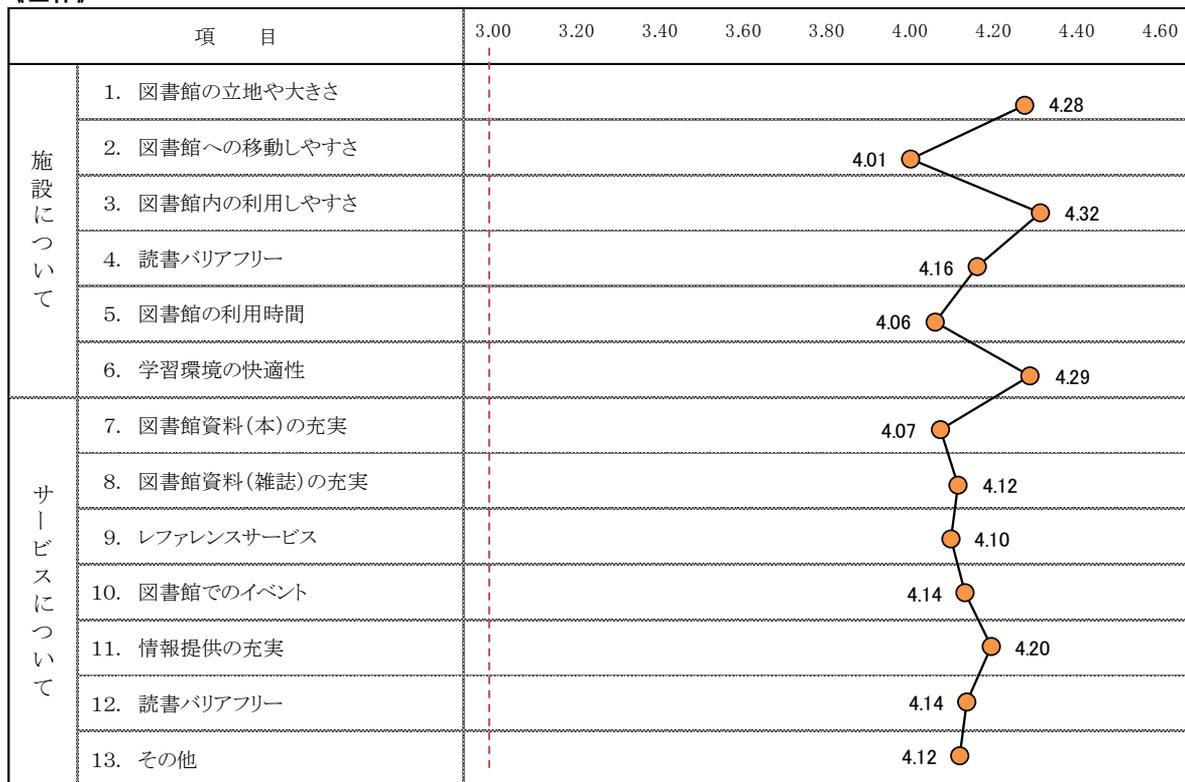
次の施設及びサービスの各項目について、令和元年度の満足度が3だとすると、今年度の満足度はどのように考えますか。(各設問のマスに○を1つ)

- すべての項目で、令和元年度に比べ平均値(満足指数)は高くなっています。特に『図書館内の利用しやすさ』、『学習環境の快適性』、『図書館の立地や大きさ』など、施設についての項目で平均値(満足指数)が高くなっている
- 平均値(満足指数)が低い項目は、『図書館への移動しやすさ』、『図書館の利用時間』、『図書館資料(本)の充実』などで、今後の課題といえる

◇ 平均値の比較

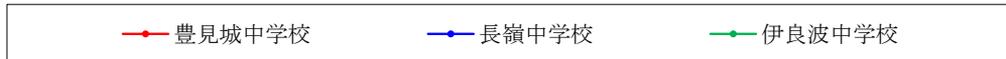
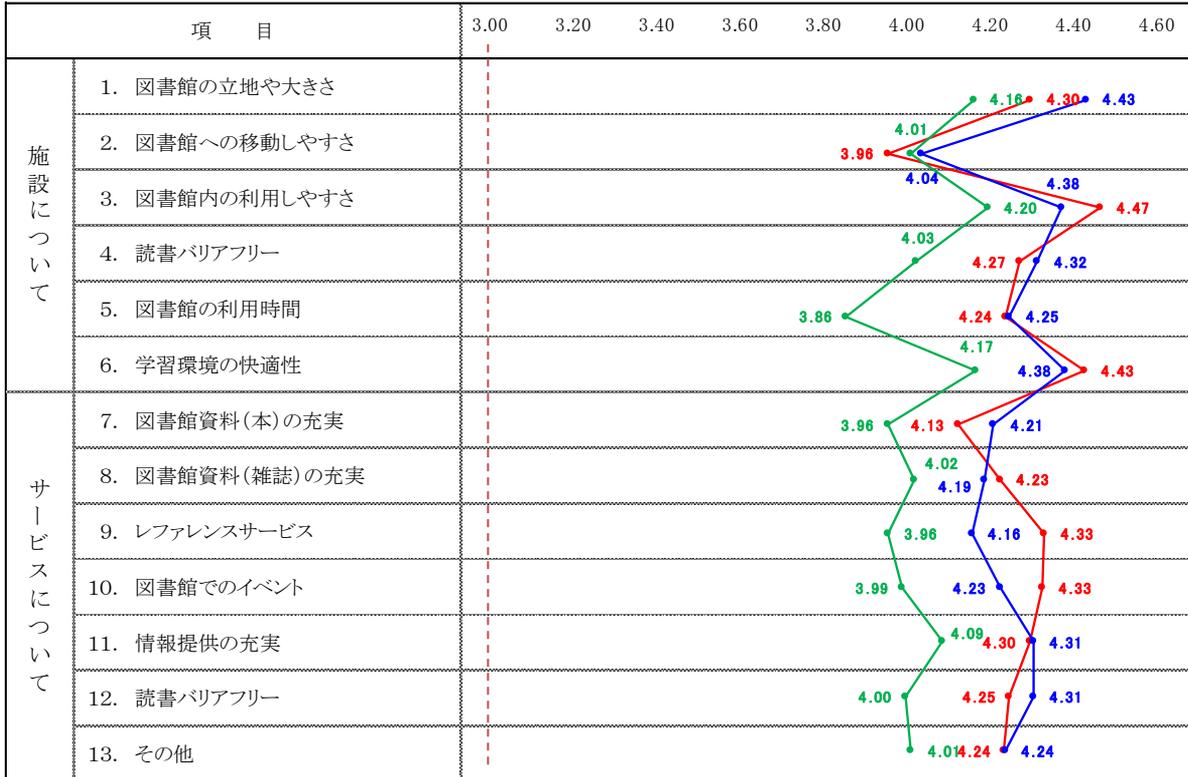
平均値は、満足…5、まあ満足…4、令和元年度…3、やや不満…2、不満…1として加重平均により算出。

《全体》



—○— 全体

《学校別》



- 『図書館の立地や大きさ』の満足度が最も高く、次いで『図書館内の利用しやすさ』、『学習環境の快適性』となっており、おもに施設についての項目で満足度が高くなっている
- 「わからない」を除いても、その傾向は変わらない

◇ 満足度の比較

満足度は、「満足」「まあ満足」の合計比率で比較した。

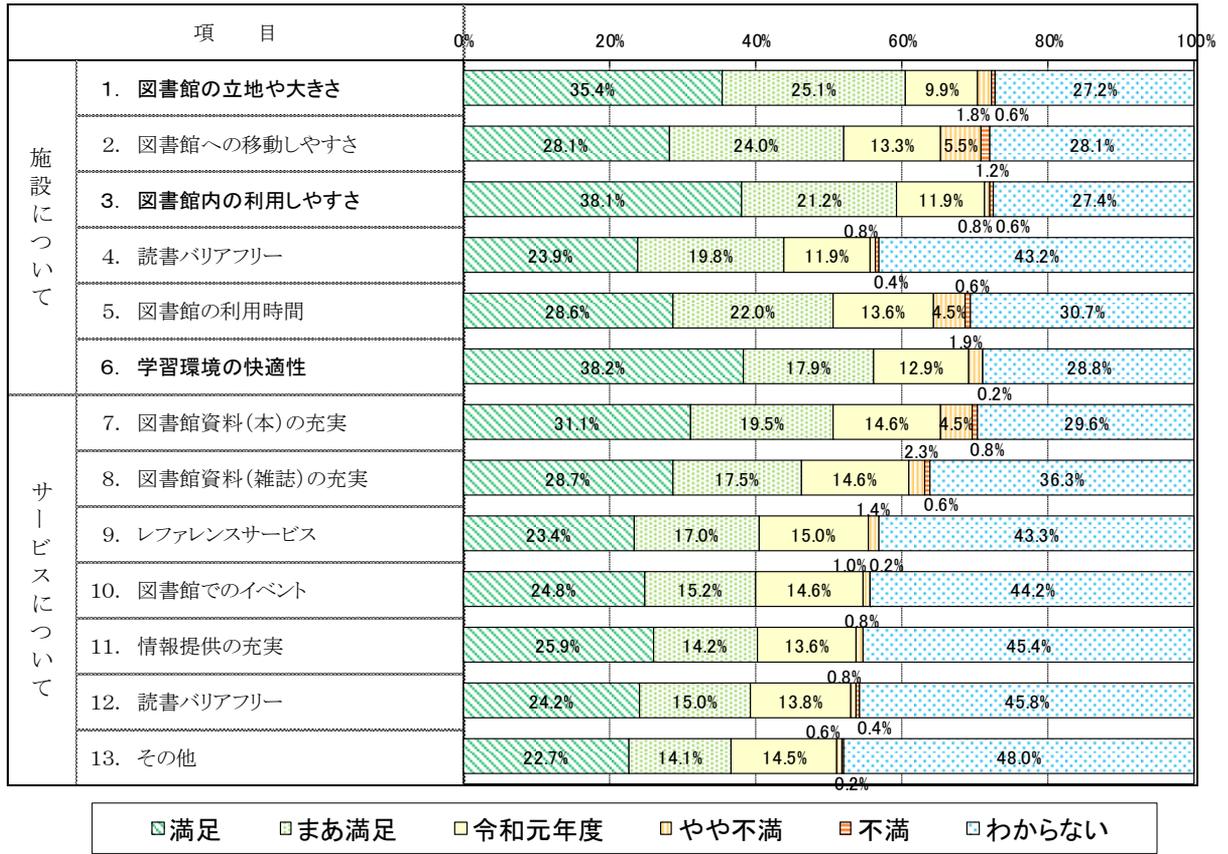
項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	無回答	計
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	182	129	51	9	3	140	3	517
	2. 図書館への移動しやすさ	144	123	68	28	6	144	4	517
	3. 図書館内の利用しやすさ	196	109	61	4	3	141	3	517
	4. 読書バリアフリー	123	102	61	4	2	222	3	517
	5. 図書館の利用時間	147	113	70	23	3	158	3	517
	6. 学習環境の快適性	196	92	66	10	1	148	4	517
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	160	100	75	23	4	152	3	517
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	147	90	75	12	3	186	4	517
	9. レファレンスサービス	120	87	77	7	0	222	4	517
	10. 図書館でのイベント	127	78	75	5	1	227	4	517
	11. 情報提供の充実	133	73	70	4	0	233	3	516
	12. 読書バリアフリー	124	77	71	4	2	235	4	517
	13. その他	116	72	74	3	1	246	5	517

※複数回答は集計除外とした。

[割合]

項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	わからない	計
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	35.4%	25.1%	9.9%	1.8%	0.6%	27.2%	100.0%
	2. 図書館への移動しやすさ	28.1%	24.0%	13.3%	5.5%	1.2%	28.1%	100.0%
	3. 図書館内の利用しやすさ	38.1%	21.2%	11.9%	0.8%	0.6%	27.4%	100.0%
	4. 読書バリアフリー	23.9%	19.8%	11.9%	0.8%	0.4%	43.2%	100.0%
	5. 図書館の利用時間	28.6%	22.0%	13.6%	4.5%	0.6%	30.7%	100.0%
	6. 学習環境の快適性	38.2%	17.9%	12.9%	1.9%	0.2%	28.8%	100.0%
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	31.1%	19.5%	14.6%	4.5%	0.8%	29.6%	100.0%
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	28.7%	17.5%	14.6%	2.3%	0.6%	36.3%	100.0%
	9. レファレンスサービス	23.4%	17.0%	15.0%	1.4%	0.0%	43.3%	100.0%
	10. 図書館でのイベント	24.8%	15.2%	14.6%	1.0%	0.2%	44.2%	100.0%
	11. 情報提供の充実	25.9%	14.2%	13.6%	0.8%	0.0%	45.4%	100.0%
	12. 読書バリアフリー	24.2%	15.0%	13.8%	0.8%	0.4%	45.8%	100.0%
	13. その他	22.7%	14.1%	14.5%	0.6%	0.2%	48.0%	100.0%

※無回答は除く。



満足
 まあ満足
 令和元年度
 やや不満
 不満
 わからない

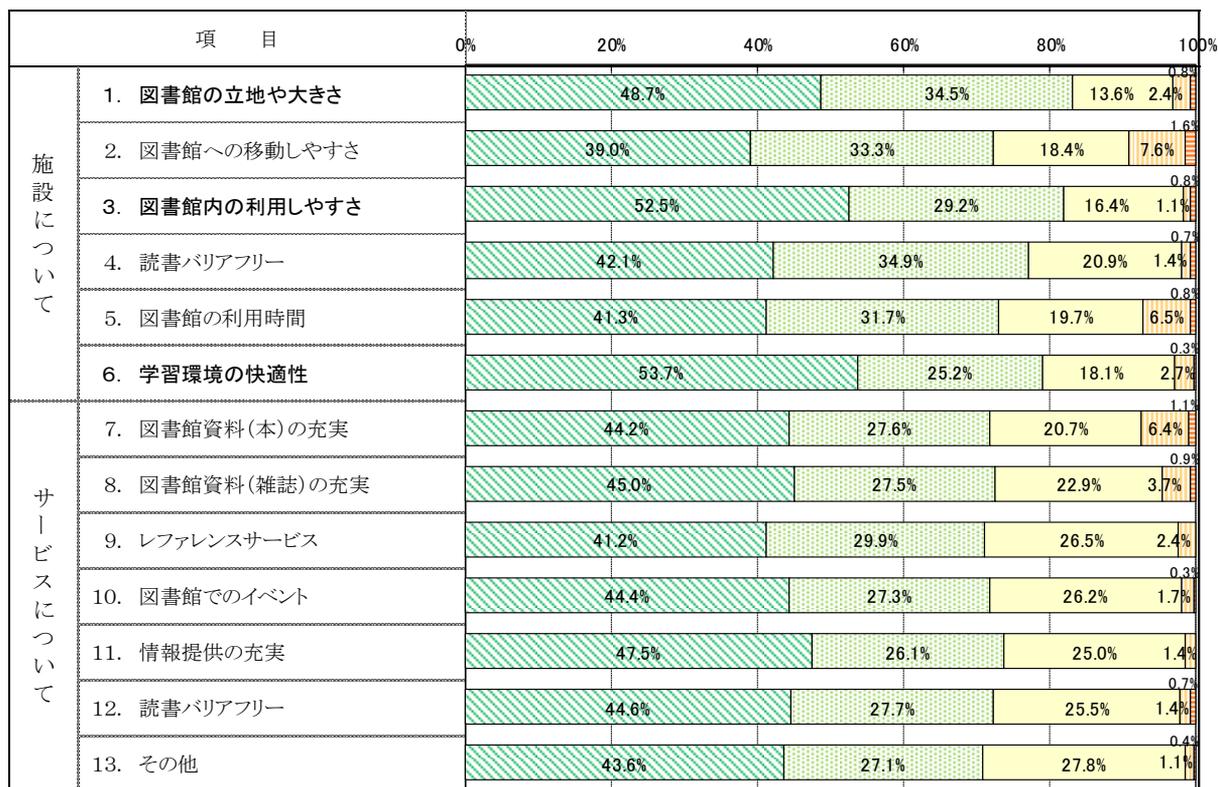
※複数回答、無回答は除く。

◇ わからないを除く

〔割合〕

項目		満足	まあ満足	令和元年度	やや不満	不満	計
施設について	1. 図書館の立地や大きさ	48.7%	34.5%	13.6%	2.4%	0.8%	100.0%
	2. 図書館への移動しやすさ	39.0%	33.3%	18.4%	7.6%	1.6%	100.0%
	3. 図書館内の利用しやすさ	52.5%	29.2%	16.4%	1.1%	0.8%	100.0%
	4. 読書バリアフリー	42.1%	34.9%	20.9%	1.4%	0.7%	100.0%
	5. 図書館の利用時間	41.3%	31.7%	19.7%	6.5%	0.8%	100.0%
	6. 学習環境の快適性	53.7%	25.2%	18.1%	2.7%	0.3%	100.0%
サービスについて	7. 図書館資料(本)の充実	44.2%	27.6%	20.7%	6.4%	1.1%	100.0%
	8. 図書館資料(雑誌)の充実	45.0%	27.5%	22.9%	3.7%	0.9%	100.0%
	9. レファレンスサービス	41.2%	29.9%	26.5%	2.4%	0.0%	100.0%
	10. 図書館でのイベント	44.4%	27.3%	26.2%	1.7%	0.3%	100.0%
	11. 情報提供の充実	47.5%	26.1%	25.0%	1.4%	0.0%	100.0%
	12. 読書バリアフリー	44.6%	27.7%	25.5%	1.4%	0.7%	100.0%
	13. その他	43.6%	27.1%	27.8%	1.1%	0.4%	100.0%

※無回答は除く。

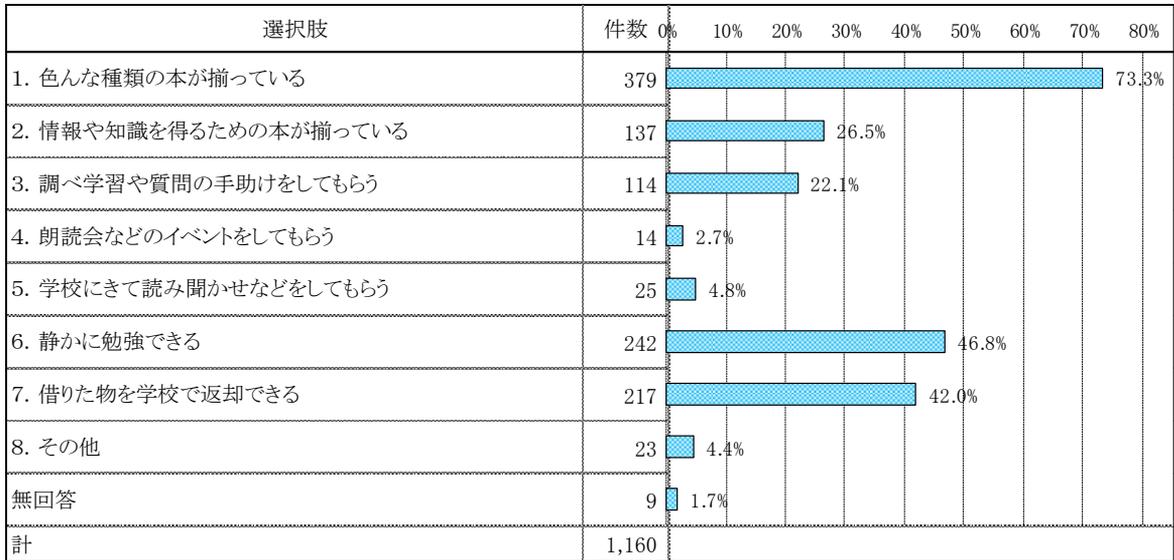


□満足 □まあ満足 □令和元年度 □やや不満 □不満

※複数回答、無回答、「わからない」は除く。

問 23 あなたは中央図書館にどんなことを希望しますか。(〇をいくつでも)

■中央図書館に希望することとしては、「色々な種類の本が揃っている」が73.3%で圧倒的に多く、次いで「静かに勉強できる」46.8%、「借りた物を学校で返却できる」42.0%となっている

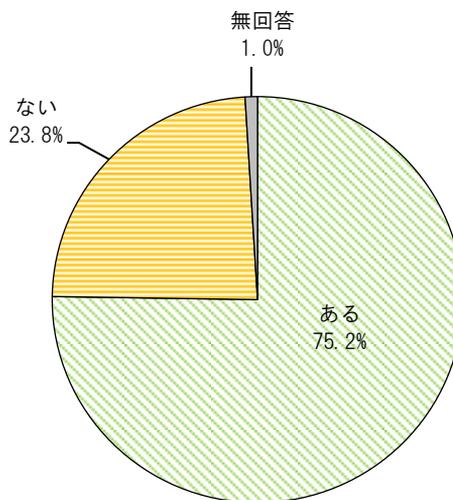


集計母数517名

問 24 あなたは授業以外で学校図書館を利用したことがありますか。(1つに○)

■授業以外の学校図書館の利用については、「ある」が75.2%で圧倒的に多くなっている

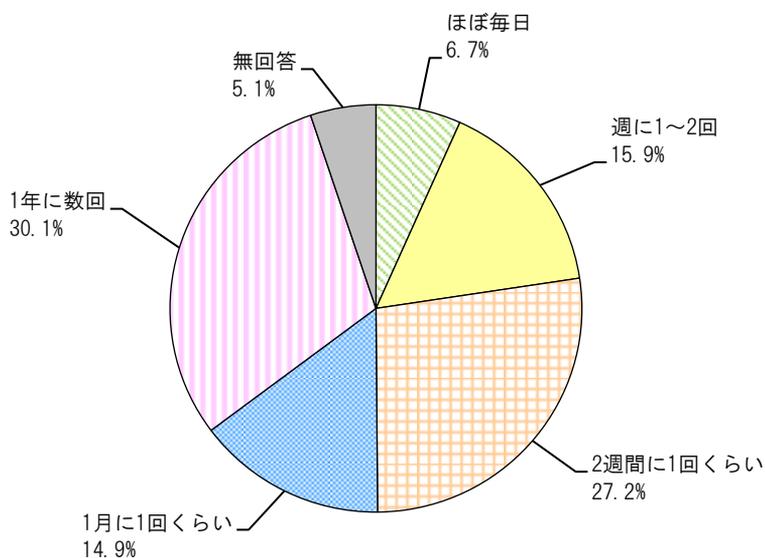
選択肢	件数	比率
1. ある	389	75.2%
2. ない	123	23.8%
無回答	5	1.0%
計	517	100.0%



問 25 授業以外で、あなたは週にどのくらい学校図書館を利用していますか。(1つに○)

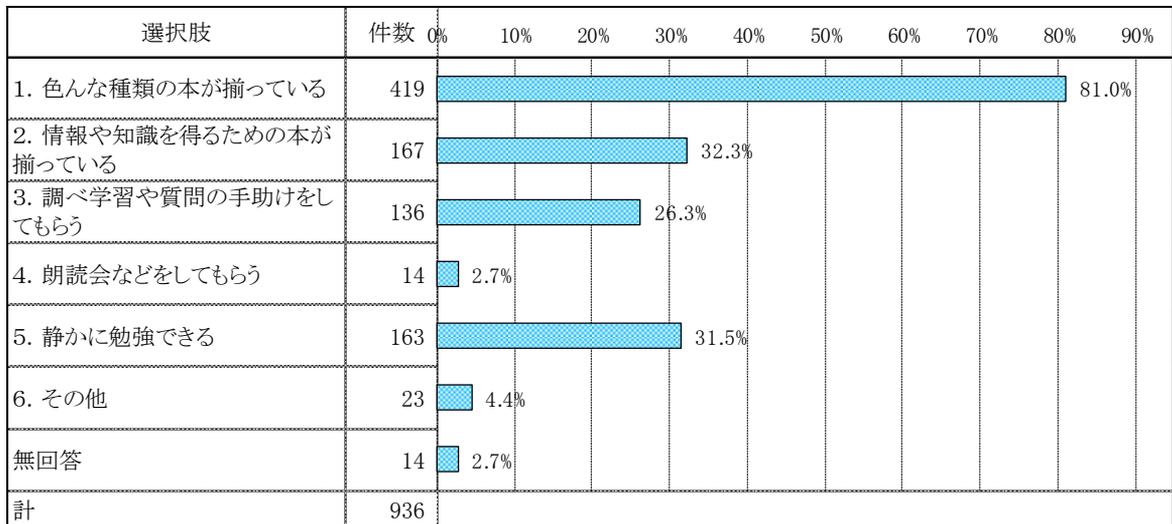
■授業以外の学校図書館の利用頻度については、「1年に数回」が30.1%で最も多く、次いで「2週間に1回くらい」27.2%、「週に1~2回」15.9%となっている

選択肢	件数	比率
1. ほぼ毎日	26	6.7%
2. 週に1~2回	62	15.9%
3. 2週間に1回くらい	106	27.2%
4. 1月に1回くらい	58	14.9%
5. 1年に数回	117	30.1%
無回答	20	5.1%
計	389	100.0%



問 26 あなたは学校図書館にどんなことを希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

- 学校図書館に希望することとしては、「色んな種類の本が揃っている」が81.0%で圧倒的に多く、次いで「情報や知識を得るための本が揃っている」32.3%、「静かに勉強できる」31.5%となっている



集計母数517名

問 27 豊見城市の図書館に関して、「ご意見」や「アイデア」などがあれば、ご自由にお書きください。

- 図書館に関する意見としては、インターネット環境や席数の確保など図書館内の利用のしやすさについての意見が多くあった
- マンガを増やしてほしい、本の種類、冊数を増やしてほしいなど、図書館資料の充実についても意見が多数あった

項目	件数	
図書館の立地や規模	立地(分室含む)	1
	移動図書館	1
	その他	2
図書館への移動のしやすさ	公共交通	2
図書館内の利用のしやすさ(館内の環境や設備)		16
図書館内の利用のしやすさ(図書の貸出等)		5
図書館の利用時間		1
学習環境の快適性		3
図書館資料(本)の充実		13
図書館資料(雑誌)の充実		3
図書館資料(漫画)の充実		18
その他		9
		65

第3章 図書館行政における課題

3-1 図書館行政における課題

これまでの現況整理や市民意向を踏まえ、図書館行政における課題を整理します。課題の整理にあたっては、設置、施設・運営、図書館資料、サービス、職員の各項目について、上位関連計画の内容、本市の現状や中央図書館の現状、市民意向を踏まえ、図書館行政における課題とそれを踏まえた方向性を整理します。

■ 図書館の課題の整理

項目 ※ () 内は基準の概要		上位関連計画	本市の現状・ 中央図書館の現状	市民意見	現状のまとめ (課題)
図書館の意義		<ul style="list-style-type: none"> 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。【図書館法】 →資料の収集・提供、読書会等の推進、社会教育の学習成果の活用機会の提供、学校や他の図書館との連携 市町村立図書館は、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、資料や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとする。(設置運営の望ましい基準) 			
設置 (市域全域のサービス網)			<ul style="list-style-type: none"> 今後も人口増加・高齢化が予想 比較的、年少人口割合(20%)、生産年齢人口割合(62.6%)が高いことから引き続き子供・子育て支援への注力も必要 市のほぼ中心に位置 公共交通により市内全域からアクセスが可能 電子図書館を整備 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館で満足度が2番目に低い項目が図書館への移動のしやすさ(満足度3.60)※特に10代、子育て世代、高齢者の満足度が低い。また、図書館から遠い地域(東部・西海岸)が低い 自由意見では分館・分室の整備や移動図書館の導入、公共交通の充実に関する要望がみられる 自由意見では駐車場不足や停めにくさに関する要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 現状では公共交通等により概ね市域全域のサービス網が形成されている 一方で、市民からはアクセス性の悪さから分館や移動図書館、公共交通によるアクセス性の向上に関する意見がみられる また、今後は人口の増加や高齢化が想定され、需要の増加や多様化、アクセスが難しい利用者の発生も考えられる 電子図書館の整備により、インターネット環境さえあれば誰もが図書を閲覧しやすい環境が整備されているが、市民の認知度や利用推進は今後の課題 →図書館や資料へのアクセス性の向上が課題
施設・運営	運営 (事業計画・目標の策定・公表、点検・評価・公表、情報公開、地域や生活時間に配慮した開館日時、図書館協議会の設置)	<ul style="list-style-type: none"> 図書館基本計画を策定し、学校図書館との連携、資料・行事の充実、ICTを活用したサービス向上(総計) 利用満足度の目標3.6(令和元年度満足度3.0※毎年0.1の向上)(総計) 業務委託の導入検討(行政改革) 雑誌スポンサー制度の周知(行政改革) 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度事業計画を策定、数値目標を持ち、点検と評価を実施。それらについては、ホームページ上で公開 図書館協議会を設置しており、事業計画や点検と評価について、審議 開館日・時間は県内の市町村とほぼ同程度 		<ul style="list-style-type: none"> 事業計画の策定や公表、評価により計画的な運営が行われている →今後も計画的な運営を維持していくことが課題
	職員・ボランティア (必要な司書・職員の確保、研修)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関する研修の実施及び研修への職員派遣を行い、職員の資質向上(総計) 社会教育行政職員の研修延べ時間の目標295時間(令和元年度236時間※毎年10時間の増加)(総計) ボランティア活動の促進など地域における読書活動の充実(子供) 	<ul style="list-style-type: none"> 28名の職員、18名の司書 全国平均と同等の職員数 県図書館協会や独自の研修を多数実施 レファレンスは全員で対応 	<ul style="list-style-type: none"> 自由意見ではいい対応と悪い対応の両方が意見としてみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 開館日や開館時間は県内市町村立図書館としては平均的であるが、市民からは開館時間の延長や開館日(特に祭日)の増加に関する意見が多い →市民ニーズを踏まえた開館日・時間の検討が課題 職員数は一定数を確保しているといえる 市民からはいい対応と悪い対応の両方の意見が出ている →引き続き資質の向上が課題
		<ul style="list-style-type: none"> ボランティア活動の促進など地域における読書活動の充実(子供) 	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアによる読み聞かせも多く実施 		<ul style="list-style-type: none"> ボランティアによる読み聞かせなど、市民が図書館に関わる運営となっている

※上位関連計画の()内は計画名を示す

- ・ 総計…総合計画
- ・ 子供…子供の読書活動推進計画
- ・ 行政改革…行政改革アクションプラン
- ・ 読バリ…読書バリアフリー法
- ・ 教育…教育大綱
- ・ 障害者…障害者計画
- ・ 公共施設…公共施設等総合管理計画

項目 ※ () 内は基準の概要		上位関連計画	本市の現状・ 中央図書館の現状	市民意見	現状のまとめ (課題)
施設・ 運営 (続き)	施設・設備 (適切な床面積、配慮 が必要な人への対応、 児童・青少年のための スペース)	<ul style="list-style-type: none"> ICT を活用した生涯学習の推進 (総計) 子供にとって利用しやすい図書館の整備 (子供) 障害種別対応図書の充実 (点字図書、大活字本等の充実) (障害者) 障害に配慮した図書の利用促進に向けた周知 (障害者) 電子図書システム、電子図書の拡充、郵送サービスの検討 (障害者) 住民ニーズに対応した効率的・効果的な管理の実現 (公共施設) 施設は原則 40 年以上使用 (公共施設) 	<p>(施設面)</p> <ul style="list-style-type: none"> 延床面積は全国上位 10%市町村と同程度で中央図書館の強み 本棚を高く積み、蔵書数を増やすのではなく、ゆとりある空間を形成している 玄関からすぐの位置に児童コーナーを設置、お話し会などを開催 中高生向けのヤングアダルトコーナーを設けるなど青少年のためのコーナーを設置 	<p>(施設面)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館に来る目的として、「本を借りる・読む (全体の約 9 割)」が多いが、若年層は「勉強 (10・20 代の半数以上)」子育て世代は「子供のつきそい (30~40 代の 6 割~7 割)」が多く、多世代の利用に配慮した施設配置が必要 中央図書館以外を利用される方の理由として「雰囲気・居心地のよさ」が多い (約 39%) 図書館への要望として「ゆっくりとくつろいで本を読める環境」が多い (約 72%) 自由意見では、ゆっくりとできる環境整備 (飲食機能等を含む) の要望がみられる 自由意見では、学習環境の向上に関する要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 床面積は他都市と比較しても高く、中央図書館の強み。ただし、現状余剰スペースはない 本棚を高く積み、蔵書数を増やすのではなく、ゆとりある空間を形成している 配慮が必要な方について、スロープの設置など施設は対応済みであり、点字図書や大活字本等も用意。ただし、バリアフリー関連の取り組みの認知度は低い 玄関からすぐの位置の児童コーナーやお話し会、ヤングアダルトコーナーの設置など、子供や青少年にとって利用しやすい環境が整備 市民からは、ゆっくりとくつろいで本を読める環境、飲食機能の設置、学習環境の向上に関する意見がみられる 図書館利用の目的は「貸出」「閲覧」以外では「子供のつきそい」「勉強」が多い 中央図書館以外をよく利用する理由として、居心地、雰囲気がいいが挙げられる (参考にすることが考えられる) <p>→多様化する市民のニーズ (飲食、Wi-Fi、自習利用など) を踏まえた図書館づくりが課題</p>
			<p>(設備面)</p> <ul style="list-style-type: none"> スロープ等の整備や点字図書・大活字本などバリアフリーにも対応 市全体では高齢化が進行 	<p>(設備面)</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館への要望として「インターネット設備 (Wi-Fi) の充実」が多い (約 62%) 読書バリアフリーの取り組みはあまり知られていない (知らない方が約 65%) 	
図書館 資料	資料収集 (十分な量の計画的な整備、利用者の多様な資料要求への対応、地域課題・多様な利用者の課題解決)	<ul style="list-style-type: none"> 子供の特性や興味関心に沿った資料の充実 (子供) アクセシブルな電子書籍の普及 (読バリ) 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書数は概ね横ばい 一人あたり蔵書数は全国平均より少なく、全国上位 10%市町村とは倍近い差がある 一人あたりの年間受入資料数は全国平均より少なく、全国上位 10%市町村とは 4 倍近い差がある 資料費は全国平均より低く、全国上位 10%市町村と 4 倍近い差がある 地域性として、住機能型の都市で、他都市より年少人口・生産年齢人口が多い 登録者は女性や子育て世代が多い 資料収集方針は地域性を踏まえたものとなっている リクエスト制度による市民意向に沿った図書の収集、相互貸借による資料の補完 アクセシブル (点字図書や大活字本等) も整備 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館以外を利用される方の理由として「本・資料の充実」が多い (約 40%) 中央図書館で満足度が最も低い項目が本の充実度 (満足度 3.55)、次に情報提供の充実度 (同 3.60) ※特に子育て世代、高齢者の満足度が低い 小中学生が中央図書館に望む項目も「多様な本の充実」が最も多い (約 7 割) 自由意見でも多様な書籍の充実に関する要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書数は比較的少なく、利用者からも図書の充実に関する意見は多い。ただし、現在の本図書館の環境を踏まえると蔵書の増加は限界がある 中央図書館以外をよく利用する理由として、図書の充実が挙げられる 専門書を含め、多様な書籍が充実している県立図書館とほど近く、相互貸借、遠隔地返却等のサービスを実施している 収集している図書については、地域性を踏まえた、資料収集方針が定められており、市民の細かい要望についてはリクエスト制度で対応を行っている。また、障害者等へ配慮したアクセシブルな図書も用意している <p>→市民のニーズや図書館の環境を踏まえ、近隣図書館とも連携した資料収集が課題</p>

項目 ※ () 内は基準の概要		上位関連計画	本市の現状・ 中央図書館の現状	市民意見	現状のまとめ (課題)
サービス	貸出等サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・総貸出数はほぼ横ばい、一人あたりの貸出冊数はやや増加傾向 ・蔵書回転率・人口あたり貸出数、人口あたり来館者数は減少傾向 ・貸出数は全国平均より少なく、全国上位10%市町村とは倍近い差がある ・予約数は全国平均より少なく、全国上位10%市町村とは10倍近い差がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用しない理由として「貸し借りが面倒」が多い (約38%) ・自由意見では、貸し借りの利便性向上 (自動化、どこでも返せる、効率化等) の要望がみられる ・自由意見では、本に興味をもつような取り組みの要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸出数は全国平均より少なく、貸出サービスに関しては相対的にはあまり利用されていない状況 ・公共図書館の貸し借りそのものが面倒との意見も多く、また、利便性向上に関する要望 (自動化や返却場所、効率化など) が多い →図書館利用の推進、貸出サービスの向上が課題
	レファレンス等サービス		<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットや館内視聴ブースの利用は減少傾向 ・文献複写枚数は全国平均と同程度であるが、全国上位10%市町村とは倍近い差がある 		
	生涯学習に関するサービス (多様な学習機会の提供、ボランティア活動の推進)	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習による地域交流の推進 (総計) ・ICTを活用した生涯学習の推進 (総計) ・新しい地域文化の創造の動きを支援 (教育) ・生涯学習のための機会やプログラムの充実 (教育) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話し会などの通年イベントや各種取り組みを実施。多くの方が参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントの認知度は低い (子供向けイベント (認知度約52%) 以外の認知度は5割以下) ・自由意見では、引き続き多様なイベントの開催 (読み聞かせ、英語、作者の講演会など) の要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に対する社会的ニーズの向上。市全体としても生涯学習の推進が求められている ・お話し会をはじめとする多様なイベントを開催し、多くの方が参加している。一方で、市民全体としては各種イベントの認知度が低い ・市民からは多様なイベントの開催が求められている →市民ニーズを踏まえた生涯学習の推進が課題
その他	読書活動	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭、地域、学校等における読書活動を計画的に推進し、自ら進んで読書に親しむ子どもの育成 (総計) ・広い視野を持ち、情報活用能力に優れた人材の育成 (教育) ・幼児期から本と触れ合う場を積極的に提供 (子供) ・職場体験など充実した体験学習ができる体制 (子供) 	<ul style="list-style-type: none"> ・お話し会などの通年イベントや各種取り組みを実施。多くの方が参加 ・ブックスタートとして、乳児一般健診時に絵本のプレゼントを実施 	<ul style="list-style-type: none"> (児童生徒) ・本を読むことが好き・どちらかといえば好きと回答する小中学生が多い (小学生の約72%、中学生の約56%) ・一方で、不読者率は小学生11%、中学生30%と、全国平均より高い ・小中学生で中央図書館に行ったことがない人の約半数が図書館の場所を知らないと回答 (若年層) ・若い世代ほど本を読んでいない (10・20代の約半数) ・若年層ほど図書館の利用頻度は低い (10・20代の半数以上は数年に1回の利用が半数以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で読み聞かせ等のイベントを開催し、幼児期から本と触れ合う場を提供しているが、比較的本を読まない子供が多い ・市全体としても子供の読書を推進しており、子供の読書率向上に向けた取り組みが求められている ・若年層についても不読率や図書館の利用頻度が低い →読書や図書館に興味をもってもらう取り組みが課題
	利用状況			<ul style="list-style-type: none"> ・本図書館を利用したことない人も一定数いる (24%) ・利用したことある人でも、ほとんど利用しない人が多い (1年に数回以下が半数以上) ・自由意見では、図書館のアピール・情報発信に関する要望がみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館を利用したことない人、ほとんど利用していない人が多い →図書館の利用につながるような効果的な情報発信が課題



上記から考えられる主要な課題

- ・基本的な満足度は高い
→今後も図書館としての機能を維持・向上していくことが求められる
(・読書活動、生涯学習の推進 ・利用推進に向けた情報発信)
- ・多様化するニーズへの対応
- ・アクセス向上 (施設へのアクセス、資料へのアクセス)

第4章 策定経緯

4-1 計画策定の経緯

本計画は以下の経緯で策定しました。

時期	経緯	内容
令和2年度		
令和2年12月	第1回策定検討委員会	・図書館行政の現状と課題について ・市民アンケートについて
令和3年3月	市民アンケート	・図書館行政に関する市民や利用者の意向把握 回収数：市民・利用者 871通 小学生 835通 中学生 739通
令和3年度		
令和3年10月	第2回策定検討委員会	・図書館行政の現状と課題について ・将来像及び基本方針について
令和3年11月	第3回策定検討委員会	・将来像及び基本方針について ・重点施策について
令和4年1月	第4回策定検討委員会	・基本計画（素案）について
令和4年2月	パブリックコメント	・令和4年2月15日～2月28日
令和4年3月	第5回策定検討委員会	・基本計画について（答申）
令和4年3月	市教育委員会	・計画の決定

4-2 参考

1. 豊見城市図書館基本計画策定検討委員会 委員名簿

	氏名	役職	分野	備考
1	浦添 正光	元琉球大学 非常勤講師	学識経験者	委員長
2	吉田 肇吾	沖縄国際大学 教授	学識経験者	副委員長
3	川上 一	豊見城中学校 校長	学校教育	
4	金城 光吉	伊良波小学校 校長	学校教育	第1回委員会まで
	當間 朝成	伊良波小学校 校長	学校教育	第2回委員会以降
5	柴田 聡史	琉球大学 准教授	社会教育	
6	外間 喬	豊見城市社会教育委員会 委員	社会教育	
7	真玉橋 美奈子	沖縄県子ども読書指導員	家庭教育	
8	照屋 眞勝	豊見城自治会長会 副会長	家庭教育	
9	野口 武悟	専修大学 教授	障害福祉	
10	大城 稔	豊見城市社会福祉協議会 事務局長	障害福祉	

2. 豊見城市図書館基本計画策定検討委員会 設置要綱

(設置)

第1条 豊見城市の図書館行政に係る長期的な計画となる豊見城市図書館基本計画（以下、「基本計画」という。）について、幅広い観点から検討し策定するため、豊見城市図書館基本計画策定検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 本市の図書館行政に関する調査、研究及び審議
- (2) 基本計画案の策定
- (3) 前2号に掲げるもののほか、計画の策定に必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、学識経験者および関係分野を代表する者等で組織し、豊見城市教育長が委嘱、又は任命（以下、「委嘱等」という。）する。

- 2 委員会には、委員長及び副委員長を置く。
- 3 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(任期)

第4条 委員の任期は、委嘱等の日から第2条に規定する所掌事務の完了までとする。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。ただし、書面をもって回答または他の委員に委任したものは出席とみなす。
- 3 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(報酬額)

第6条 委員の報酬額は別に定める。

(事務局)

第7条 事務局の構成は、豊見城市教育委員会生涯学習振興課中央図書館及び基本計画策定に係る業務委託を受けた受注者とする。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この要項は、令和2年10月14日から施行する。
- 2 この要項の施行後、最初に招集する委員会は、第5条第1項の規定にかかわらず、豊見城市教育長が招集する。
- 3 この要項は、基本計画の策定が完了した日にその効力を失う。

